

神奈川県観光産業に関する基礎調査
報告書

平成 21 年 3 月

(財) 日本交通公社

神奈川県観光産業に関する基礎調査
報告書

<目次>

第1章 調査の目的と進め方.....	1
1-1 調査の目的.....	1
1-2 調査対象エリア.....	1
1-3 調査概要.....	2
1-3-1 調査フロー.....	2
1-3-2 調査概要.....	3
1-3-3 目標サンプル数の設定.....	7
第2章 県内観光客の特性.....	9
2-1 全県の特徴.....	9
2-2 地域ごとの特徴.....	38
2-2-1 川崎・横浜.....	38
2-2-2 三浦半島.....	65
2-2-3 県央.....	86
2-2-4 湘南.....	99
2-2-5 県西.....	111
第3章 県内観光産業の現況.....	131
3-1 全県の特徴.....	131
3-2 地域ごとの特徴.....	133
3-2-1 川崎・横浜.....	133
3-2-2 三浦半島.....	135
3-2-3 県央.....	137
3-2-4 湘南.....	139
3-2-5 県西.....	141
第4章 観光消費額の推計.....	143
4-1 推計の考え方.....	143
4-2 実人数の推計.....	145
4-2-1 延観光客数の整理.....	145
4-2-2 パラメーターの整理.....	146
4-2-3 実人数の推計.....	147
4-3 観光消費総額の推計.....	149

第5章 経済波及効果の推計	151
5-1 推計の考え方	151
5-2 推計に用いる各種指標の設定	153
5-2-1 乗数理論	153
5-2-2 産業連関分析	154
5-3 推計結果	159
5-3-1 直接効果・生産波及効果・付加価値効果	159
5-3-2 雇用効果	159
5-3-3 税収効果	160
5-4 要素変化による経済波及効果への影響	164
5-4-1 全県	165
5-4-2 地域別	166
第6章 施策展開の方向性検討	171
6-1 全県	171
6-2 地域別	177
6-2-1 川崎・横浜	177
6-2-2 三浦半島	181
6-2-3 県央	185
6-2-4 湘南	188
6-2-5 県西	191

第1章 調査の目的と進め方

1-1 調査の目的

少子高齢化の中で、交流人口の増加に繋がる「観光」が次代のリーディング産業として注目され、地域間の競争も激化している。

このような状況の中で、効率的、効果的な観光政策を立案するためには、神奈川県内の観光産業の特性を明らかにすることが不可欠であることから、本調査において、「訪問者調査」及び「事業者調査」を実施し、観光による経済波及効果の推計等を行い、今後の施策立案にあたっての基礎資料とし、効果的な施策の実施につなげることを目的とする。

1-2 調査対象エリア

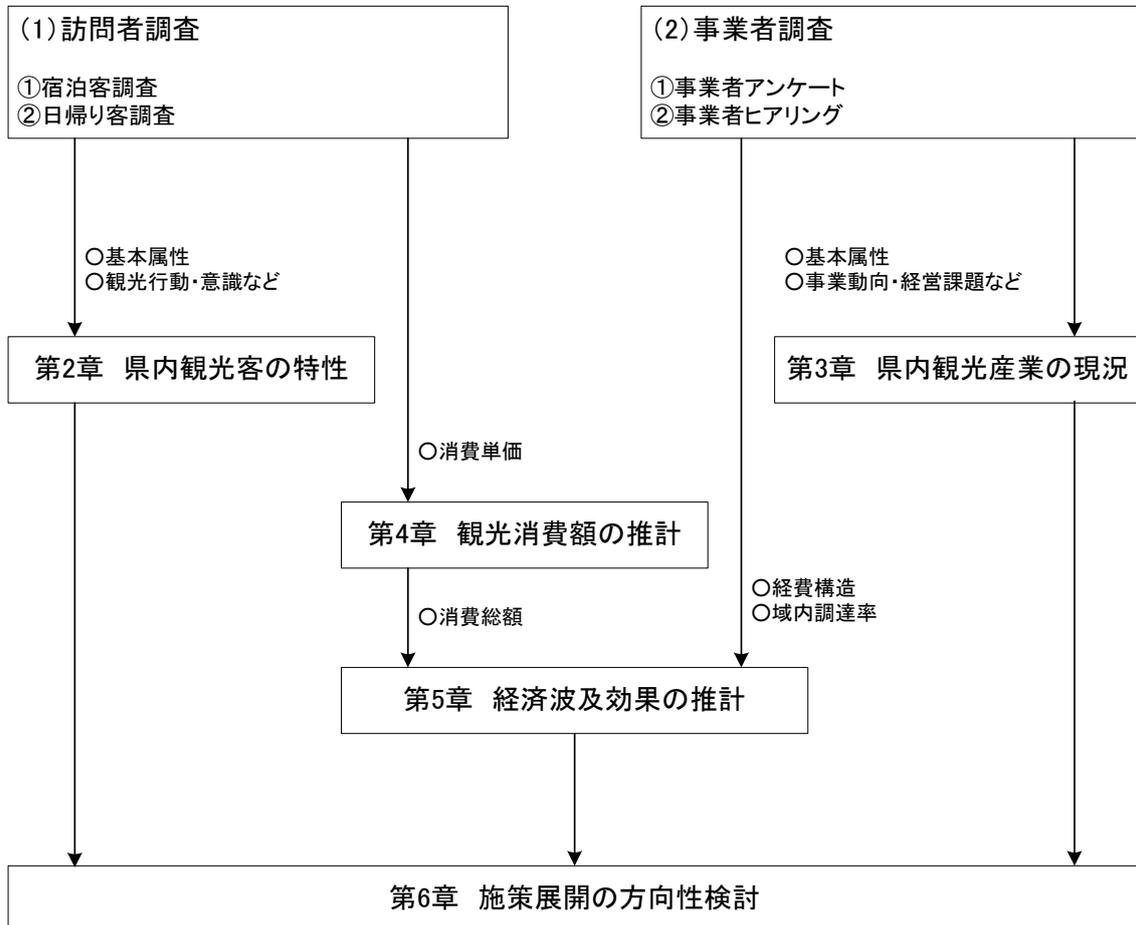
「全県」及び総合計画の5つの地域圏区分（「川崎・横浜」、「三浦半島」、「県央」、「湘南」、「県西」）と3つの重点地区（「横浜」、「鎌倉」、「箱根・湯河原」）とした。



1-3 調査概要

1-3-1 調査フロー

本調査の調査フローは以下の通りである。



1-3-2 調査概要

(1) 訪問者調査

観光消費額等の詳細を把握するため、神奈川県への訪問者の立寄先、消費額、購入内容、旅行目的、利用交通機関、満足度等を把握し、観光の特性を明らかにした。

① 宿泊客調査

県内の宿泊施設において、フロント配布、客室留め置き、ロビー配置によりアンケート用紙を配布。自記入されたものをフロントにて回収した。(一部は返信用封筒にて回収)

	協力宿泊施設数	構成比
川崎・横浜	47	26.9%
(うち横浜地区)	25	14.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	22	12.6%
三浦半島	29	16.6%
(うち鎌倉地区)	9	5.1%
(うち鎌倉地区以外)	20	11.4%
県央	11	6.3%
湘南	30	17.1%
県西	58	33.1%
(うち箱根・湯河原地区)	52	29.7%
(うち箱根・湯河原地区以外)	6	3.4%
合計	175	100.0%

※上記の協力施設数は秋、冬季調査における数。夏季調査における協力施設数は168施設。

夏季調査：平成20年7月27日(日)～平成20年8月9日(土)

秋期調査：平成20年10月26日(日)～平成20年11月8日(土)

冬季調査：平成21年1月25日(日)～平成21年2月7日(土)

(設問の内容)

○基本属性

- ・居住地
- ・性別
- ・年代

○観光行動・意識など

- ・同行人数
- ・同行者
- ・来訪の目的
- ・来訪回数
- ・事前の情報源(インターネットの活用状況 ※冬季のみ)
- ・来訪の形態
- ・立ち寄り地点数
- ・消費単価
- ・交通手段
- ・泊数(※宿泊施設(宿泊客)調査のみ)
- ・満足度
- ・再来訪意向

②日帰り客調査

県内の主要な観光施設、観光地において調査員による対面式のアンケートを実施した。

地域圏名	地区名	調査地点
川崎・横浜	横浜地区	みなとみらい
		山下公園
		三溪園
	横浜地区以外(川崎地区)	新横浜ラーメン博物館
		八景島シーパラダイス
		川崎大師平間寺
三浦半島	鎌倉地区	川崎市立日本民家園
		建長寺
		高德院(鎌倉大仏)
	鎌倉地区以外	鶴岡八幡宮
		銭洗弁財天(宇賀福神社)
		鎌倉海浜公園
県央	県央	長井海の手公園 ソレイユの丘
		三崎フィッシャリーナウオーフらり
		さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト
		津久井湖
湘南	湘南	神奈川県立七沢森林公園
		宮ヶ瀬湖
		新江ノ島水族館
		湘南海岸・江ノ島
		湘南平(高麗山公園)
		丹沢・大山
県西	箱根・湯河原地区以外	寒川神社
	箱根・湯河原地区	小田原城趾公園
		箱根町立箱根湿生花園
		箱根関所・箱根関所資料館
		桃源台
		箱根湯本駅
		箱根小涌園ユネッサン
		箱根彫刻の森美術館(※夏、秋)／箱根ラリック美術館(※冬)
		大涌谷
		万葉公園 独歩の湯

夏季調査：平成 20 年 8 月 1 日（金）、3 日（日）

秋季調査：平成 20 年 11 月 7 日（金）、9 日（日）、16 日（日）

冬季調査：平成 21 年 2 月 6 日（金）、8 日（日）、13 日（金）、15 日（日）

（設問の内容）

※宿泊客調査と同様（紙面の関係で一部設問は簡略化している）

(2) 事業者調査

観光消費がもたらす域内雇用や原材料調達等を通じた他産業への波及の実態について把握するため、観光関連の売上高、域内調達率、域内雇用等の経費構造を把握した。

また、これと併せて、業種毎に代表的な事業者へのヒアリング調査を実施し、アンケート調査結果を補足する資料として活用した。

①事業者アンケート

以下の方法にて県内の約 20,000 事業所を抽出。送付した調査票に自記入により行った。調査票の配付及び回収は郵送によった。

- ・ 県内に所在する「公務」を除く産業大分類に属する全ての事業所（平成 18 年事業所・企業統計調査結果に基づく事業所名簿を基礎とする）を母集団とし、①事業所の所在地（県総合計画における地域圏：川崎・横浜、三浦半島、県央、湘南、県西）、②産業分類、③事業所規模（従業員数）を単位とした層化を行い抽出を行った。
- ・ まず、延べ観光客数の比率に応じ、地域圏ごとに全数 20,000 の抽出数を配分した。
- ・ 次に、全事業所を「観光関連事業所」（交通・運輸業、土産販売業、飲食業、宿泊業、旅行業、観光施設業）とそれ以外の「一般事業所」に分類し、各地域圏に配分された抽出数をそれぞれに 1：1 の比率で配分した。
- ・ さらに、事業所の規模（従業員数）により、「小規模」（9 人以下）、「中規模」（10 人～99 人）、「大規模」（100 人以上）に区分し、観光関連事業所、一般事業所それぞれについて抽出数を配分した。この際、観光関連業種については一定のサンプル数を確保するため、必要に応じて全数もしくは半数を抽出した。

調査日時：平成 20 年 9 月 8 日（月）～平成 20 年 9 月 30 日（火）

(設問の内容)

○基本属性

- ・所在地
- ・業種
- ・従業員数
- ・従業員の平均年齢

○事業動向・経営課題など

- ・年間売上高
- ・年間売上高に占める各経費の割合
- ・各経費の支払い先別の割合
- ・旅行・観光客（観光関連業種）への売上比率
- ・中心となる消費者像※
- ・中心となる消費者像の年齢層※
- ・外国人客数の割合※
- ・外国人客の年間来訪数※
- ・観光客の動向と業績の関連
- ・抱えている経営課題

※観光関連事業者のみ

②事業者ヒアリング

県内の観光関連事業者（小売業、飲食業、宿泊業、観光施設業、交通運輸業、旅行業から約 40 事業者）に聞き取り調査を行い、訪問者調査、事業者調査の内容を補完した。

(聞き取り項目)

- 経費構造・各経費の調達先の区分と比率
- 観光客の動向
- 観光客のニーズ
- その他
 - ・抱えている経営課題（短期的要因、長期的要因それぞれの視点から把握）
 - ・今後の事業展開
 - ・県の観光振興施策、商業振興施策に対する要望、期待 など

1-3-3 目標サンプル数の設定

一般的に、許容できる標本誤差の範囲は3%程度とされているが、母集団が一定以上の数となる場合、この条件を満たすためのサンプル数は母集団の大きさとは無関係にほぼ同じ値となり、概ね2,000件程度であれば上記の水準を満たす。

本調査で対象とする母集団（神奈川県内をおとずれる観光客、および神奈川県内の事業者）に関しても、いずれも上記の2,000件が一定の目安になると考えられる。

しかしながら、本調査における訪問者調査では留め置きアンケートや対面式アンケートといった手法をとるためにサンプルに若干の偏りが生じることが避けられないことや、また全県を5つの政策圏域に分けて分析するために、各圏域ごとに一定の標本数を確保する必要もあることから、訪問者調査については計10,000件（全県、3季、日帰り・宿泊計）を目標とした。

また、事業者調査については、上記の考え方にに基づき2,000件（観光関連事業者・一般事業者計）を目標とした。

なお、回収されたサンプル数（有効回答数）については、訪問者調査、事業者調査ともに目標を上回る数となっている。

サンプル数（宿泊客調査）

（宿泊）

	夏		秋		冬		3季	
	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
川崎・横浜	605	34.0%	936	46.0%	753	44.4%	2,294	41.6%
（うち横浜地区）	529	29.7%	752	37.0%	579	34.1%	1,860	33.7%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	76	4.3%	184	9.0%	174	10.3%	434	7.9%
三浦半島	292	16.4%	260	12.8%	249	14.7%	801	14.5%
（うち鎌倉地区）	151	8.5%	98	4.8%	86	5.1%	335	6.1%
（うち鎌倉地区以外）	141	7.9%	162	8.0%	163	9.6%	466	8.5%
県央	39	2.2%	50	2.5%	27	1.6%	116	2.1%
湘南	187	10.5%	152	7.5%	138	8.1%	477	8.7%
県西	658	36.9%	637	31.3%	530	31.2%	1,825	33.1%
（うち箱根・湯河原地区）	604	33.9%	611	30.0%	506	29.8%	1,721	31.2%
（うち箱根・湯河原地区以外）	54	3.0%	26	1.3%	24	1.4%	104	1.9%
全県	1,781	100.0%	2,035	100.0%	1,697	100.0%	5,513	100.0%

サンプル数（日帰り客調査）

（日帰り）

	夏		秋		冬		合計	
	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
川崎・横浜	523	33.6%	435	26.8%	622	33.8%	1,580	31.5%
（うち横浜地区）	423	27.2%	314	19.4%	393	21.4%	1,130	22.5%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	100	6.4%	121	7.5%	229	12.4%	450	9.0%
三浦半島	365	23.4%	363	22.4%	467	25.4%	1,195	23.8%
（うち鎌倉地区）	272	17.5%	229	14.1%	377	20.5%	878	17.5%
（うち鎌倉地区以外）	93	6.0%	134	8.3%	90	4.9%	317	6.3%
県央	199	12.8%	217	13.4%	178	9.7%	594	11.8%
湘南	271	17.4%	280	17.3%	241	13.1%	792	15.8%
県西	199	12.8%	326	20.1%	332	18.0%	857	17.1%
（うち箱根・湯河原地区）	133	8.5%	265	16.3%	221	12.0%	619	12.3%
（うち箱根・湯河原地区以外）	66	4.2%	61	3.8%	111	6.0%	238	4.7%
全県	1,557	100.0%	1,621	100.0%	1,840	100.0%	5,018	100.0%

※日帰り客調査については、アンケートの冒頭に日帰り客か宿泊客かを口頭で質問。日帰り客のみをアンケート対象とし、宿泊客については日時と宿泊地のみ記録した。

サンプル数（事業者アンケート）

	観光関連事業者		一般事業者		合計	
	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
川崎・横浜	361	27.0%	396	27.7%	757	27.3%
（うち横浜地区）	282	21.1%	304	21.2%	586	21.2%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	79	5.9%	92	6.4%	171	6.2%
三浦半島	279	20.9%	256	17.9%	535	19.3%
（うち鎌倉地区）	154	11.5%	166	11.6%	320	11.6%
（うち鎌倉地区以外）	125	9.4%	90	6.3%	215	7.8%
県央	147	11.0%	152	10.6%	299	10.8%
湘南	223	16.7%	253	17.7%	476	17.2%
県西	326	24.4%	375	26.2%	701	25.3%
（うち箱根・湯河原地区）	250	18.7%	276	19.3%	526	19.0%
（うち箱根・湯河原地区以外）	76	5.7%	99	6.9%	175	6.3%
合計	1,336	100.0%	1,432	100.0%	2,768	100.0%

（業種別内訳）

	(観光関連事業者)								合計
	小売業	飲食業	宿泊業	交通運輸業	旅行業	観光施設業	その他	無回答	
川崎・横浜	89	87	38	70	35	6	35	1	361
（うち横浜地区）	75	74	27	47	32	5	22	0	282
（うち横浜地区以外（川崎地区））	14	13	11	23	3	1	13	1	79
三浦半島	93	96	29	31	6	9	14	1	279
（うち鎌倉地区）	55	66	6	10	1	6	9	1	154
（うち鎌倉地区以外）	38	30	23	21	5	3	5	0	125
県央	25	37	32	26	7	7	13	0	147
湘南	75	69	40	11	10	5	10	3	223
県西	78	86	104	19	3	10	21	5	326
（うち箱根・湯河原地区）	47	60	98	13	1	8	20	3	250
（うち箱根・湯河原地区以外）	31	26	6	6	2	2	1	2	76
全県	360	375	243	157	61	37	93	10	1,336

	小売業	飲食業	宿泊業	交通運輸業	旅行業	観光施設業	その他	無回答	合計
川崎・横浜	24.7%	24.1%	10.5%	19.4%	9.7%	1.7%	9.7%	0.3%	100.0%
（うち横浜地区）	26.6%	26.2%	9.6%	16.7%	11.3%	1.8%	7.8%	0.0%	100.0%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	17.7%	16.5%	13.9%	29.1%	3.8%	1.3%	16.5%	1.3%	100.0%
三浦半島	33.3%	34.4%	10.4%	11.1%	2.2%	3.2%	5.0%	0.4%	100.0%
（うち鎌倉地区）	35.7%	42.9%	3.9%	6.5%	0.6%	3.9%	5.8%	0.6%	100.0%
（うち鎌倉地区以外）	30.4%	24.0%	18.4%	16.8%	4.0%	2.4%	4.0%	0.0%	100.0%
県央	17.0%	25.2%	21.8%	17.7%	4.8%	4.8%	8.8%	0.0%	100.0%
湘南	33.6%	30.9%	17.9%	4.9%	4.5%	2.2%	4.5%	1.3%	100.0%
県西	23.9%	26.4%	31.9%	5.8%	0.9%	3.1%	6.4%	1.5%	100.0%
（うち箱根・湯河原地区）	18.8%	24.0%	39.2%	5.2%	0.4%	3.2%	8.0%	1.2%	100.0%
（うち箱根・湯河原地区以外）	40.8%	34.2%	7.9%	7.9%	2.6%	2.6%	1.3%	2.6%	100.0%
全県	26.9%	28.1%	18.2%	11.8%	4.6%	2.8%	7.0%	0.7%	100.0%

	(一般事業者)														全体
	娯楽サービス業	不動産業	駐車場業	レンタカー業	ガソリンスタンド	飲食料品製造業	工芸品製造業	繊維製品製造業	上記以外の製造業	卸売業	農林漁業	建設業	その他	無回答	
川崎・横浜	8	38	3	1	1	2	2	2	33	26	3	50	225	2	396
（うち横浜地区）	6	28	3	1	0	2	1	2	25	18	3	36	177	2	304
（うち横浜地区以外（川崎地区））	2	10	0	0	1	0	1	0	8	8	0	14	48	0	92
三浦半島	3	18	7	0	3	2	1	1	16	9	3	32	154	7	256
（うち鎌倉地区）	2	12	5	0	1	0	1	1	8	7	0	21	101	7	166
（うち鎌倉地区以外）	1	6	2	0	2	2	0	0	8	2	3	11	53	0	90
県央	3	15	2	0	0	2	0	1	21	6	1	16	78	7	152
湘南	4	17	3	0	3	1	0	1	21	7	5	29	152	10	253
県西	12	20	5	0	6	6	1	0	9	15	7	65	223	6	375
（うち箱根・湯河原地区）	9	14	4	0	3	6	1	0	4	9	4	55	164	3	276
（うち箱根・湯河原地区以外）	3	6	1	0	3	0	0	0	5	6	3	10	59	3	99
全県	30	108	20	1	13	13	4	5	100	63	19	192	832	32	1,432

	娯楽サービス業	不動産業	駐車場業	レンタカー業	ガソリンスタンド	飲食料品製造業	工芸品製造業	繊維製品製造業	上記以外の製造業	卸売業	農林漁業	建設業	その他	無回答	全体
川崎・横浜	2.0%	9.6%	0.8%	0.3%	0.3%	0.5%	0.5%	0.5%	8.3%	6.6%	0.8%	12.6%	56.8%	0.5%	100.0%
（うち横浜地区）	2.0%	9.2%	1.0%	0.3%	0.0%	0.7%	0.3%	0.7%	8.2%	5.9%	1.0%	11.8%	58.2%	0.7%	100.0%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	2.2%	10.9%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	8.7%	8.7%	0.0%	15.2%	52.2%	0.0%	100.0%
三浦半島	1.2%	7.0%	2.7%	0.0%	1.2%	0.8%	0.4%	0.4%	6.3%	3.5%	1.2%	12.5%	60.2%	2.7%	100.0%
（うち鎌倉地区）	1.2%	7.2%	3.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	0.6%	4.8%	4.2%	0.0%	12.7%	60.8%	4.2%	100.0%
（うち鎌倉地区以外）	1.1%	6.7%	2.2%	0.0%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	8.9%	2.2%	3.3%	12.2%	58.9%	0.0%	100.0%
県央	2.0%	9.9%	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.7%	13.8%	3.9%	0.7%	10.5%	51.3%	4.6%	100.0%
湘南	1.6%	6.7%	1.2%	0.0%	1.2%	0.4%	0.0%	0.4%	8.3%	2.8%	2.0%	11.5%	60.1%	4.0%	100.0%
県西	3.2%	5.3%	1.3%	0.0%	1.6%	1.6%	0.3%	0.0%	2.4%	4.0%	1.9%	17.3%	59.5%	1.6%	100.0%
（うち箱根・湯河原地区）	3.3%	5.1%	1.4%	0.0%	1.1%	2.2%	0.4%	0.0%	1.4%	3.3%	1.4%	19.9%	59.4%	1.1%	100.0%
（うち箱根・湯河原地区以外）	3.0%	6.1%	1.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%	6.1%	3.0%	10.1%	59.6%	3.0%	100.0%
全県	2.1%	7.5%	1.4%	0.1%	0.9%	0.9%	0.3%	0.3%	7.0%	4.4%	1.3%	13.4%	58.1%	2.2%	100.0%

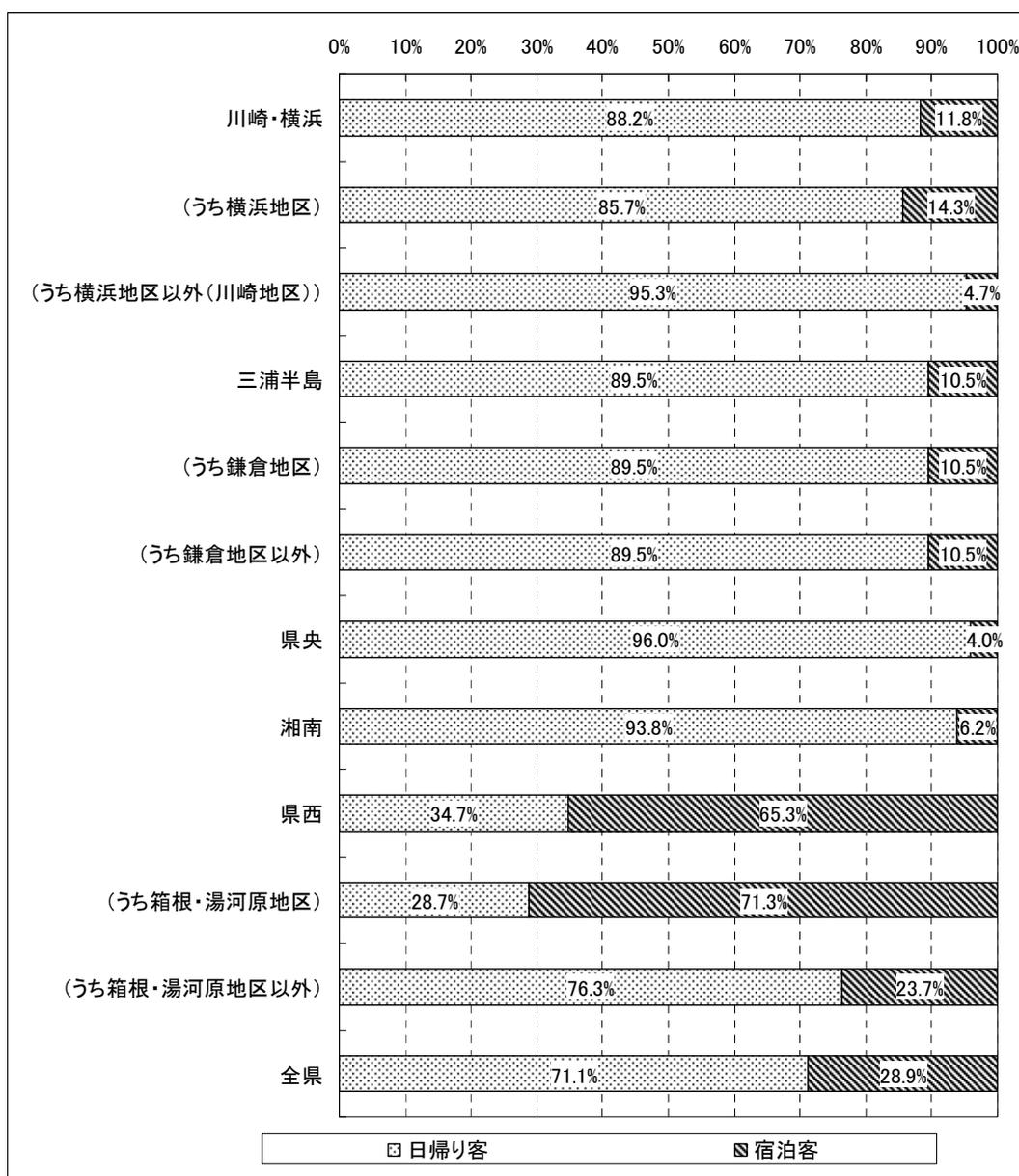
第2章 県内観光客の特性

2-1 全県の特性

○日帰り観光が中心である。

訪問者調査のうち、日帰り客調査の結果、日帰り客の比率が71.1%と宿泊客(28.9%)を大きく上回り、日帰り観光客が中心となっている。

なお、「神奈川県入込観光客調査報告書」から推計した実人数をもとに算出される日帰り客の比率は88.1%となり、訪問者調査の結果と比較してさらに高くなっている。(詳細は148pを参照)



○首都圏からの来訪が中心である。

宿泊客では県内 21.1%：県外 78.5%と県外客の方が多い。対して日帰り客では県内 60.9%：県外 38.0%と県内客が多くなり、逆の傾向となる。

宿泊客では東京からの来訪が 23.3%で最も多く、神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県の近隣 4 都県で全体の 58.2%、関東地方からの来訪で 63.4%となる。一方、日帰り客では神奈川県内からの来訪が最も多く、次いで東京都が続いている。この 2 都県で全体の 81.7%、関東地方からの来訪で 91.8%を占める。

以上のことから、首都圏を中心とする関東地方からの集客が中心であることが分かる。

(宿泊)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	12.9%	22.9%	63.9%	0.3%	100.0%
(うち横浜地区)	13.8%	25.1%	61.0%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.2%	13.6%	76.3%	0.9%	100.0%
三浦半島	22.2%	46.4%	31.0%	0.4%	100.0%
(うち鎌倉地区)	6.9%	37.6%	55.2%	0.3%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	33.3%	52.8%	13.5%	0.4%	100.0%
県央	49.1%	37.9%	12.9%	0.0%	100.0%
湘南	11.9%	30.2%	57.2%	0.6%	100.0%
県西	31.3%	52.7%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	30.6%	53.3%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	43.3%	41.3%	14.4%	1.0%	100.0%
全県	21.1%	37.1%	41.4%	0.5%	100.0%

(日帰り)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	59.4%	30.0%	9.1%	1.5%	100.0%
(うち横浜地区)	59.6%	28.6%	10.4%	1.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	59.1%	33.6%	5.8%	1.6%	100.0%
三浦半島	55.0%	33.8%	11.0%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	48.3%	36.6%	14.9%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	73.5%	26.2%	0.3%	0.0%	100.0%
県央	75.8%	22.1%	1.3%	0.8%	100.0%
湘南	74.2%	19.9%	5.4%	0.4%	100.0%
県西	49.5%	34.7%	13.7%	2.2%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	43.1%	38.6%	15.2%	3.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	66.0%	24.4%	9.7%	0.0%	100.0%
全県	60.9%	29.2%	8.8%	1.0%	100.0%

(宿泊)

(人)

	夏		秋		冬		3季	
北海道	22	1.2%	52	2.6%	34	2.0%	108	2.0%
東北	77	4.3%	106	5.2%	83	4.9%	266	4.8%
関東(県内)	385	21.6%	390	19.2%	386	22.7%	1,161	21.1%
関東(首都圏)	717	40.3%	698	34.3%	631	37.2%	2,046	37.1%
関東(首都圏以外)	113	6.3%	92	4.5%	82	4.8%	287	5.2%
甲信越	59	3.3%	85	4.2%	63	3.7%	207	3.8%
北陸	16	0.9%	33	1.6%	11	0.6%	60	1.1%
東海	152	8.5%	175	8.6%	130	7.7%	457	8.3%
近畿	134	7.5%	205	10.1%	147	8.7%	486	8.8%
中国	34	1.9%	73	3.6%	42	2.5%	149	2.7%
四国	14	0.8%	22	1.1%	19	1.1%	55	1.0%
九州	41	2.3%	95	4.7%	56	3.3%	192	3.5%
その他(海外)	3	0.2%	4	0.2%	6	0.4%	13	0.2%
不明	14	0.8%	5	0.2%	7	0.4%	26	0.5%
合計	1,781	100.0%	2,035	100.0%	1,697	100.0%	5,513	100.0%

(日帰り)

(人)

	夏		秋		冬		3季	
北海道	5	0.3%	7	0.4%	4	0.2%	16	0.3%
東北	10	0.6%	15	0.9%	13	0.7%	38	0.8%
関東(県内)	1,024	65.8%	923	56.9%	1,111	60.4%	3,058	60.9%
関東(首都圏)	376	24.1%	516	31.8%	572	31.1%	1,464	29.2%
関東(首都圏以外)	22	1.4%	27	1.7%	35	1.9%	84	1.7%
甲信越	9	0.6%	22	1.4%	20	1.1%	51	1.0%
北陸	3	0.2%	6	0.4%	3	0.2%	12	0.2%
東海	45	2.9%	70	4.3%	49	2.7%	164	3.3%
近畿	11	0.7%	15	0.9%	11	0.6%	37	0.7%
中国	5	0.3%	3	0.2%	5	0.3%	13	0.3%
四国	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	3	0.1%
九州	6	0.4%	10	0.6%	3	0.2%	19	0.4%
その他(海外)	4	0.3%	2	0.1%	1	0.1%	7	0.1%
不明	36	2.3%	4	0.2%	12	0.7%	52	1.0%
合計	1,557	100.0%	1,621	100.0%	1,840	100.0%	5,018	100.0%

(宿泊)

(人)

	夏		秋		冬		3季	
北海道	22	1.2%	52	2.6%	34	2.0%	108	2.0%
青森	5	0.3%	15	0.7%	12	0.7%	32	0.6%
岩手	9	0.5%	19	0.9%	13	0.8%	41	0.7%
宮城	20	1.1%	34	1.7%	28	1.6%	82	1.5%
秋田	10	0.6%	4	0.2%	6	0.4%	20	0.4%
山形	10	0.6%	17	0.8%	10	0.6%	37	0.7%
福島	23	1.3%	17	0.8%	14	0.8%	54	1.0%
茨城	52	2.9%	43	2.1%	35	2.1%	130	2.4%
栃木	33	1.9%	23	1.1%	28	1.6%	84	1.5%
群馬	28	1.6%	26	1.3%	19	1.1%	73	1.3%
埼玉	147	8.3%	141	6.9%	123	7.2%	411	7.5%
千葉	122	6.9%	112	5.5%	114	6.7%	348	6.3%
東京	448	25.2%	445	21.9%	394	23.2%	1,287	23.3%
神奈川	385	21.6%	390	19.2%	386	22.7%	1,161	21.1%
新潟	17	1.0%	38	1.9%	24	1.4%	79	1.4%
富山	5	0.3%	5	0.2%	4	0.2%	14	0.3%
石川	8	0.4%	19	0.9%	2	0.1%	29	0.5%
福井	3	0.2%	9	0.4%	5	0.3%	17	0.3%
山梨	10	0.6%	15	0.7%	11	0.6%	36	0.7%
長野	32	1.8%	32	1.6%	28	1.6%	92	1.7%
岐阜	14	0.8%	15	0.7%	8	0.5%	37	0.7%
静岡	60	3.4%	68	3.3%	59	3.5%	187	3.4%
愛知	78	4.4%	92	4.5%	63	3.7%	233	4.2%
三重	11	0.6%	21	1.0%	11	0.6%	43	0.8%
滋賀	10	0.6%	13	0.6%	8	0.5%	31	0.6%
京都	15	0.8%	26	1.3%	20	1.2%	61	1.1%
大阪	47	2.6%	68	3.3%	48	2.8%	163	3.0%
兵庫	31	1.7%	60	2.9%	42	2.5%	133	2.4%
奈良	12	0.7%	14	0.7%	10	0.6%	36	0.7%
和歌山	8	0.4%	3	0.1%	8	0.5%	19	0.3%
鳥取	2	0.1%	1	0.0%	2	0.1%	5	0.1%
島根	2	0.1%	5	0.2%	7	0.4%	14	0.3%
岡山	12	0.7%	17	0.8%	8	0.5%	37	0.7%
広島	13	0.7%	41	2.0%	19	1.1%	73	1.3%
山口	5	0.3%	9	0.4%	6	0.4%	20	0.4%
徳島	4	0.2%	3	0.1%	2	0.1%	9	0.2%
香川	3	0.2%	6	0.3%	5	0.3%	14	0.3%
愛媛	3	0.2%	8	0.4%	9	0.5%	20	0.4%
高知	4	0.2%	5	0.2%	3	0.2%	12	0.2%
福岡	14	0.8%	41	2.0%	14	0.8%	69	1.3%
佐賀	6	0.3%	3	0.1%	4	0.2%	13	0.2%
長崎	4	0.2%	6	0.3%	8	0.5%	18	0.3%
熊本	3	0.2%	15	0.7%	4	0.2%	22	0.4%
大分	3	0.2%	8	0.4%	7	0.4%	18	0.3%
宮崎	1	0.1%	11	0.5%	6	0.4%	18	0.3%
鹿児島	8	0.4%	6	0.3%	8	0.5%	22	0.4%
沖縄	2	0.1%	5	0.2%	5	0.3%	12	0.2%
海外	3	0.2%	4	0.2%	6	0.4%	13	0.2%
不明	14	0.8%	5	0.2%	7	0.4%	26	0.5%
合計	1,781	100.0%	2,035	100.0%	1,697	100.0%	5,513	100.0%

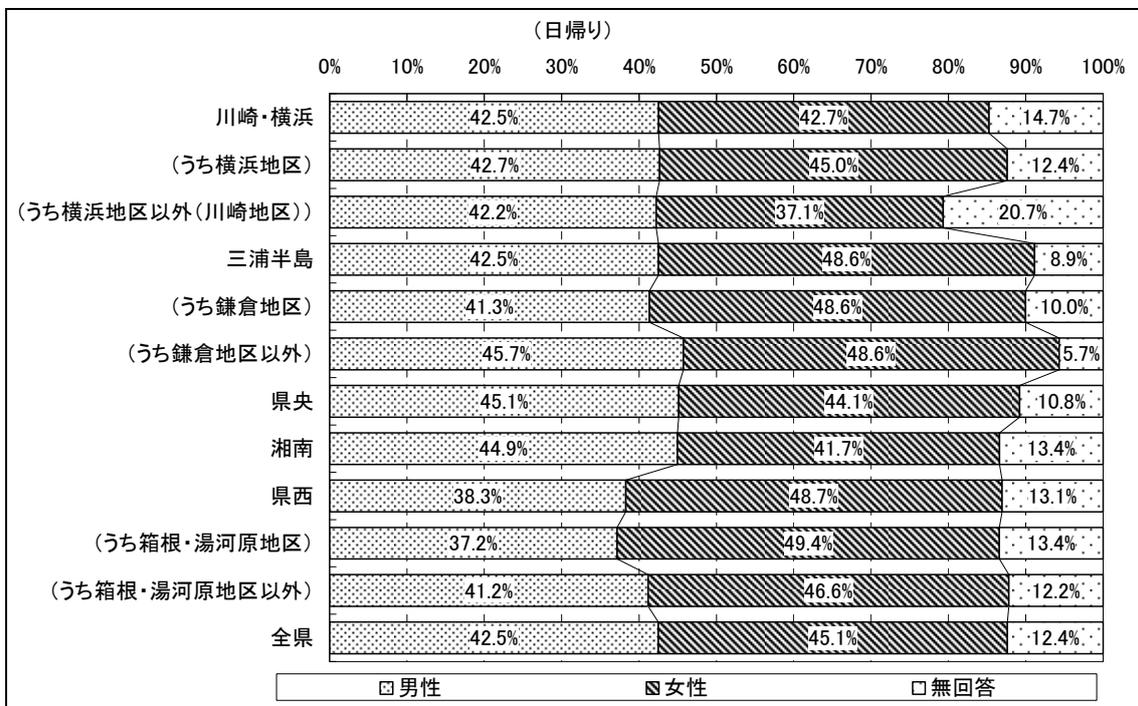
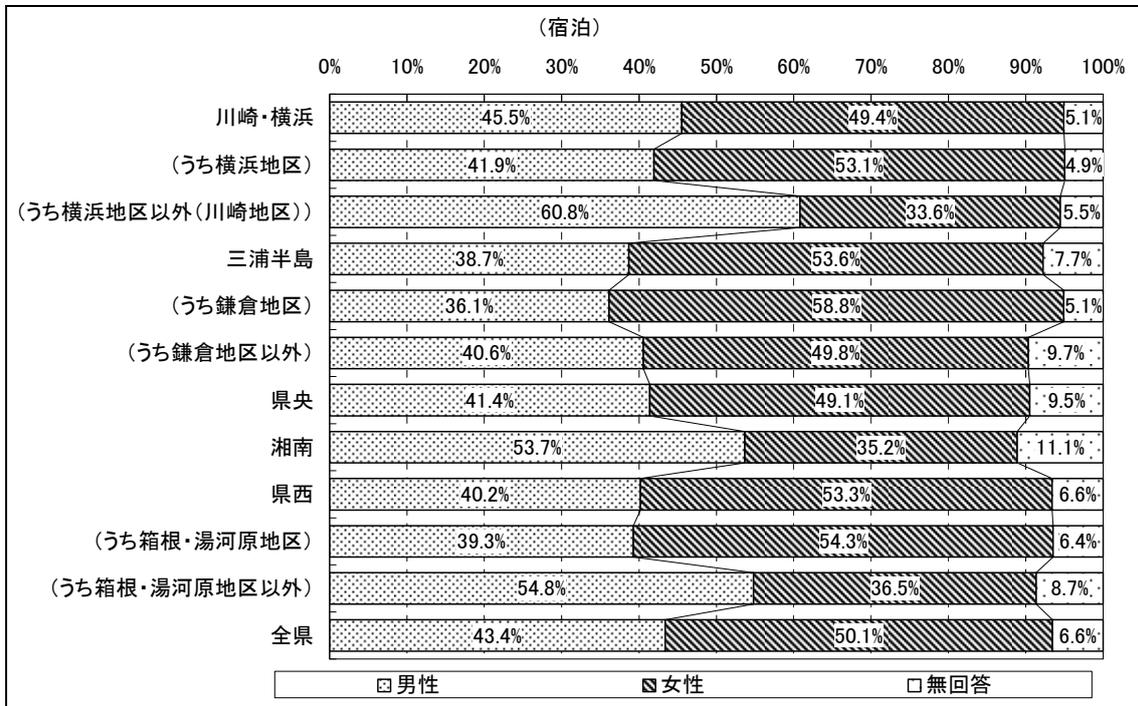
(日帰り)

(人)

	夏		秋		冬		3季	
北海道	5	0.3%	7	0.4%	4	0.2%	16	0.3%
青森	3	0.2%	1	0.1%	1	0.1%	5	0.1%
岩手	0	0.0%	1	0.1%	3	0.2%	4	0.1%
宮城	3	0.2%	5	0.3%	4	0.2%	12	0.2%
秋田	0	0.0%	1	0.1%	3	0.2%	4	0.1%
山形	3	0.2%	1	0.1%	0	0.0%	4	0.1%
福島	1	0.1%	6	0.4%	2	0.1%	9	0.2%
茨城	12	0.8%	15	0.9%	11	0.6%	38	0.8%
栃木	3	0.2%	5	0.3%	10	0.5%	18	0.4%
群馬	7	0.4%	7	0.4%	14	0.8%	28	0.6%
埼玉	43	2.8%	64	3.9%	93	5.1%	200	4.0%
千葉	45	2.9%	89	5.5%	86	4.7%	220	4.4%
東京	288	18.5%	363	22.4%	393	21.4%	1,044	20.8%
神奈川	1,024	65.8%	923	56.9%	1,111	60.4%	3,058	60.9%
新潟	1	0.1%	3	0.2%	4	0.2%	8	0.2%
富山	1	0.1%	3	0.2%	0	0.0%	4	0.1%
石川	2	0.1%	1	0.1%	3	0.2%	6	0.1%
福井	0	0.0%	2	0.1%	0	0.0%	2	0.0%
山梨	5	0.3%	16	1.0%	9	0.5%	30	0.6%
長野	3	0.2%	3	0.2%	7	0.4%	13	0.3%
岐阜	3	0.2%	1	0.1%	1	0.1%	5	0.1%
静岡	34	2.2%	63	3.9%	41	2.2%	138	2.8%
愛知	8	0.5%	6	0.4%	7	0.4%	21	0.4%
三重	1	0.1%	0	0.0%	2	0.1%	3	0.1%
滋賀	0	0.0%	2	0.1%	1	0.1%	3	0.1%
京都	3	0.2%	3	0.2%	2	0.1%	8	0.2%
大阪	6	0.4%	6	0.4%	5	0.3%	17	0.3%
兵庫	1	0.1%	4	0.2%	1	0.1%	6	0.1%
奈良	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
和歌山	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鳥取	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
島根	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
岡山	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
広島	2	0.1%	1	0.1%	4	0.2%	7	0.1%
山口	0	0.0%	2	0.1%	1	0.1%	3	0.1%
徳島	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
香川	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%
愛媛	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.0%
高知	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
福岡	1	0.1%	6	0.4%	0	0.0%	7	0.1%
佐賀	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	1	0.0%
長崎	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.1%
熊本	1	0.1%	2	0.1%	0	0.0%	3	0.1%
大分	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%
宮崎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鹿児島	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%	2	0.0%
沖縄	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.0%
海外	4	0.3%	2	0.1%	1	0.1%	7	0.1%
不明	36	2.3%	4	0.2%	12	0.7%	52	1.0%
合計	1,557	100.0%	1,621	100.0%	1,840	100.0%	5,018	100.0%

○女性の比率がやや高い。

性別は男女ほぼ半数ずつだが、若干女性の比率が高くなっている。



○様々な世代の観光客が来訪している。

宿泊客は 30 代以上を中心に幅広い年代の客層が訪れている。日帰り客では宿泊客と比較して 20 代、30 代を中心とする比較的若い世代の比率が高くなっているが、やはり様々な世代の観光客が来訪していることがわかる。

(宿泊)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	1.1%	11.4%	26.1%	25.8%	20.4%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区)	1.2%	11.7%	27.3%	25.3%	19.2%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.9%	10.1%	21.0%	27.9%	25.3%	13.8%	0.9%	100.0%
三浦半島	1.5%	9.9%	15.9%	20.5%	23.2%	26.8%	2.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.8%	17.6%	17.6%	18.5%	25.7%	16.7%	2.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	1.3%	4.3%	14.6%	21.9%	21.5%	34.1%	2.4%	100.0%
県央	0.0%	7.8%	23.3%	19.0%	22.4%	25.9%	1.7%	100.0%
湘南	1.7%	10.1%	20.3%	22.9%	22.2%	20.1%	2.7%	100.0%
県西	1.3%	8.5%	17.5%	15.7%	22.2%	32.2%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.4%	8.4%	17.0%	16.0%	22.2%	32.3%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	9.6%	26.0%	9.6%	22.1%	29.8%	2.9%	100.0%
全県	1.3%	10.0%	21.2%	21.3%	21.6%	22.7%	1.9%	100.0%

(日帰り)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	4.6%	12.3%	20.8%	15.0%	15.9%	23.9%	7.4%	100.0%
(うち横浜地区)	5.8%	14.7%	21.9%	14.8%	15.6%	21.9%	5.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	6.4%	18.0%	15.6%	16.9%	29.1%	12.4%	100.0%
三浦半島	3.3%	16.2%	21.3%	16.0%	16.7%	22.8%	3.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	4.3%	18.0%	17.7%	15.8%	15.8%	24.3%	4.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	0.6%	11.4%	31.2%	16.4%	19.2%	18.6%	2.5%	100.0%
県央	2.2%	13.5%	22.1%	21.2%	18.0%	16.2%	6.9%	100.0%
湘南	3.0%	18.6%	23.9%	14.5%	14.0%	22.2%	3.8%	100.0%
県西	1.1%	14.9%	23.9%	17.5%	16.0%	20.2%	6.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.0%	16.6%	21.8%	18.7%	16.0%	18.9%	6.9%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.3%	10.5%	29.4%	14.3%	16.0%	23.5%	5.0%	100.0%
全県	3.1%	14.8%	22.1%	16.3%	16.1%	21.8%	5.7%	100.0%

○少人数グループの比率が高い。

宿泊客、日帰り客ともに2人づれを中心として少人数グループの比率が高い。宿泊客では全体の59.6%、日帰り客では54.8%が1人もしくは2人での来訪となっており、4人以下での来訪となると宿泊客では全体の85.3%、日帰り客では82.5%と8割以上を占める。

(宿泊)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	22.1%	44.4%	13.4%	10.5%	3.3%	1.3%	0.9%	2.9%	1.2%	100.0%
(うち横浜地区)	16.2%	47.0%	15.0%	11.9%	3.7%	1.2%	0.8%	3.1%	1.0%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.5%	33.2%	6.5%	4.4%	1.6%	1.8%	1.2%	2.1%	1.8%	100.0%
三浦半島	10.6%	44.8%	14.4%	13.0%	5.1%	3.4%	2.6%	5.4%	0.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	56.7%	11.3%	6.6%	1.8%	0.3%	0.3%	1.2%	0.9%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	36.3%	16.5%	17.6%	7.5%	5.6%	4.3%	8.4%	0.6%	100.0%
県央	10.3%	39.7%	15.5%	12.1%	5.2%	2.6%	3.4%	11.2%	0.0%	100.0%
湘南	38.4%	30.6%	9.9%	7.1%	2.5%	2.1%	0.4%	7.5%	1.5%	100.0%
県西	1.3%	49.6%	17.3%	12.0%	6.1%	4.4%	2.0%	5.5%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	50.3%	17.3%	12.0%	6.2%	4.4%	1.9%	5.1%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	37.5%	17.3%	12.5%	5.8%	5.8%	4.8%	12.5%	2.9%	100.0%
全県	14.7%	44.9%	14.6%	11.1%	4.5%	2.7%	1.5%	4.7%	1.3%	100.0%

(日帰り)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	17.2%	43.0%	14.5%	9.4%	4.1%	1.9%	1.5%	6.5%	2.0%	100.0%
(うち横浜地区)	17.7%	45.1%	14.7%	8.7%	3.5%	1.6%	1.2%	5.8%	1.8%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	37.8%	14.0%	11.1%	5.3%	2.7%	2.4%	8.2%	2.7%	100.0%
三浦半島	10.2%	46.8%	15.1%	12.3%	5.4%	2.0%	0.8%	6.3%	1.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	12.1%	52.4%	14.2%	8.9%	2.5%	1.4%	0.7%	6.5%	1.4%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	31.2%	17.4%	21.8%	13.2%	3.8%	1.3%	5.7%	0.6%	100.0%
県央	8.1%	39.6%	19.4%	18.2%	6.4%	2.4%	0.8%	4.4%	0.8%	100.0%
湘南	16.2%	35.7%	16.9%	11.6%	6.8%	2.5%	1.1%	6.6%	2.5%	100.0%
県西	6.4%	43.1%	14.9%	12.7%	7.5%	3.0%	1.3%	7.7%	3.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	6.0%	45.7%	14.1%	12.4%	6.1%	2.7%	0.6%	8.2%	4.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.6%	36.1%	17.2%	13.4%	10.9%	3.8%	2.9%	6.3%	1.7%	100.0%
全県	12.4%	42.4%	15.7%	12.0%	5.7%	2.3%	1.2%	6.4%	2.0%	100.0%

○夫婦にとってはゆっくりくつろげる宿泊の目的地、また、友人や家族にとっては、気軽に訪れる日帰り観光地としての性格がある。

宿泊客では夫婦での来訪が 28.8%と最も多く、子ども連れ家族が 22.3%で続いている。また日帰り客では友人・知人が 26.3%で最も多く、子ども連れ家族が 25.1%、夫婦が 23.0%と続いている。夫婦にとってはゆっくりくつろげる宿泊の目的地、また、友人や家族にとっては、気軽に訪れる日帰り観光地としての性格がある。

(宿泊)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族(両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	22.1%	25.6%	23.5%	11.4%	13.1%	4.1%	0.3%	0.4%	0.9%
(うち横浜地区)	16.2%	27.6%	26.6%	12.6%	14.1%	3.3%	0.2%	0.3%	0.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.2%	17.1%	9.9%	6.2%	8.8%	7.8%	0.7%	0.7%	0.9%
三浦半島	10.6%	28.3%	26.5%	17.1%	16.9%	2.5%	0.4%	0.1%	2.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	29.6%	16.1%	14.0%	14.0%	2.1%	0.0%	0.3%	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	27.5%	33.9%	19.3%	18.9%	2.8%	0.6%	0.0%	1.3%
県央	10.3%	26.7%	19.8%	16.4%	21.6%	2.6%	1.7%	2.6%	1.7%
湘南	38.4%	15.5%	11.9%	8.4%	10.3%	9.2%	1.9%	1.7%	1.9%
県西	1.3%	36.6%	21.9%	22.2%	18.1%	2.0%	0.8%	0.5%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	37.2%	22.0%	22.4%	17.4%	1.7%	0.5%	0.6%	0.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	26.9%	20.2%	19.2%	28.8%	5.8%	5.8%	0.0%	2.9%
全県	14.7%	28.8%	22.3%	15.7%	15.2%	3.6%	0.6%	0.6%	1.2%

(日帰り)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族(両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	17.2%	20.2%	21.5%	10.2%	25.7%	0.9%	2.0%	2.2%	0.6%
(うち横浜地区)	17.7%	20.1%	19.8%	8.6%	28.6%	1.0%	2.2%	2.2%	0.7%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	20.4%	25.6%	14.2%	18.4%	0.9%	1.6%	2.2%	0.4%
三浦半島	10.3%	25.7%	19.8%	9.1%	31.9%	1.4%	2.6%	1.0%	0.7%
(うち鎌倉地区)	12.2%	24.8%	12.6%	8.2%	35.2%	1.3%	2.7%	1.1%	0.7%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	28.1%	39.7%	11.7%	22.7%	1.9%	2.2%	0.6%	0.6%
県央	7.7%	28.8%	37.9%	7.9%	12.6%	0.5%	2.0%	1.7%	1.0%
湘南	14.9%	19.3%	28.0%	6.1%	28.4%	1.8%	1.6%	1.0%	2.4%
県西	6.2%	23.9%	27.5%	10.0%	27.3%	2.2%	1.8%	0.9%	1.6%
(うち箱根・湯河原地区)	5.8%	23.7%	22.3%	10.0%	29.7%	2.3%	1.9%	0.6%	1.5%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.1%	24.4%	41.2%	10.1%	21.0%	2.1%	1.3%	1.7%	2.1%
全県	12.2%	23.0%	25.1%	9.0%	26.3%	1.4%	2.1%	1.5%	1.1%

男女別に同行者を見てみると、男性は夫婦での来訪の比率が宿泊客で 35.3%、日帰り客で 27.0%とともに最も高くなっているが、女性についてみると、宿泊客では子ども連れ家族が 24.3%で最も割合が高く、夫婦が 23.6%、その他家族(両親や兄弟など)が 22.1%と続く。また日帰り客では友人・知人が 33.8%、子ども連れ家族が 25.2%と様々な訪問者と訪れている様子うかがえる。

(宿泊)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族(両親や兄弟など)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他	母数
男性	20.4%	35.3%	20.3%	7.9%	9.5%	5.9%	0.6%	0.6%	1.4%	100.0%
女性	10.0%	23.6%	24.3%	22.1%	20.3%	1.7%	0.5%	0.4%	0.8%	100.0%
無回答	13.3%	25.7%	20.4%	17.7%	14.1%	3.3%	2.2%	1.4%	1.9%	100.0%
合計	14.7%	28.8%	22.3%	15.7%	15.2%	3.6%	0.6%	0.6%	1.2%	100.0%

(日帰り)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族(両親や兄弟など)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他	母数
男性	17.6%	27.0%	24.7%	6.1%	19.9%	2.0%	1.9%	1.5%	1.2%	100.0%
女性	7.9%	18.9%	25.2%	11.5%	33.8%	0.7%	2.5%	1.5%	1.1%	100.0%
無回答	9.2%	24.5%	26.2%	9.7%	20.9%	1.6%	1.0%	1.0%	1.3%	100.0%
合計	12.2%	23.0%	25.1%	9.0%	26.3%	1.4%	2.1%	1.5%	1.1%	100.0%

○異なる特性を持つ観光地を多数有するため、目的は多様化している。

来訪の目的として、宿泊客では温泉浴が29.9%と最も多く、買い物・飲食が19.9%、自然・風景鑑賞が17.3%と続いている。

対して日帰り客では自然・風景鑑賞が42.6%と最も多く、遺跡・文化財の鑑賞が19.6%、買い物・飲食が11.3%と続く。

こういった目的の多様性は、異なる特性を持つ観光地を多数有する神奈川県ならではの特徴と言える。

(宿泊)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	買い物・飲食	27.2%	その他の「見物・鑑賞」	16.5%	行祭事・イベントなどの見物	14.5%	遊園地などのレジャー施設	12.3%	自然・風景鑑賞	8.8%
(うち横浜地区)	買い物・飲食	30.8%	その他の「見物・鑑賞」	17.3%	行祭事・イベントなどの見物	15.2%	遊園地などのレジャー施設	14.5%	自然・風景鑑賞	10.1%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	その他の「見物・鑑賞」	13.4%	買い物・飲食	11.8%	行祭事・イベントなどの見物	11.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	5.3%	その他の「体験」	4.6%
三浦半島	温泉浴	27.6%	自然・風景鑑賞	24.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	20.0%	買い物・飲食	19.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.9%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	40.9%	自然・風景鑑賞	22.7%	買い物・飲食	21.2%	行祭事・イベントなどの見物	9.9%	その他の「見物・鑑賞」	9.0%
(うち鎌倉地区以外)	温泉浴	45.3%	自然・風景鑑賞	25.8%	買い物・飲食	18.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.8%	博物館・動植物園などの見物	8.2%
県央	温泉浴	57.8%	自然・風景鑑賞	16.4%	趣味・研究	9.5%	ハイキング・ピクニック	8.6%	買い物・飲食	6.9%
湘南	遺跡・文化財などの鑑賞	13.0%	行祭事・イベントなどの見物	10.7%	自然・風景鑑賞	9.6%	その他の「見物・鑑賞」	9.6%	買い物・飲食	8.6%
県西	温泉浴	71.4%	自然・風景鑑賞	26.9%	買い物・飲食	14.5%	博物館・動植物園などの見物	11.5%	その他の「見物・鑑賞」	7.8%
(うち箱根・湯河原地区)	温泉浴	73.6%	自然・風景鑑賞	26.8%	買い物・飲食	13.8%	博物館・動植物園などの見物	12.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	温泉浴	35.6%	自然・風景鑑賞	27.9%	買い物・飲食	26.0%	ドライブ	7.7%	その他の「見物・鑑賞」	4.8%
全県	温泉浴	29.9%	買い物・飲食	19.9%	自然・風景鑑賞	17.3%	その他の「見物・鑑賞」	11.7%	行祭事・イベントなどの見物	9.5%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	博物館・動植物園などの見物	7.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	7.5%	その他の「体験」	3.3%	スポーツ見物	2.7%	その他の「運動」	2.3%
(うち横浜地区)	博物館・動植物園などの見物	8.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	8.0%	その他の「体験」	3.0%	スポーツ見物	2.6%	その他の「運動」	2.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	自然・風景鑑賞	3.2%	遊園地などのレジャー施設	3.2%	博物館・動植物園などの見物	2.8%	スポーツ見物	2.8%	趣味・研究	2.5%
三浦半島	行祭事・イベントなどの見物	7.4%	博物館・動植物園などの見物	6.2%	その他の「体験」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.5%	ハイキング・ピクニック	4.4%
(うち鎌倉地区)	その他の「体験」	5.1%	博物館・動植物園などの見物	3.6%	ハイキング・ピクニック	3.6%	温泉浴	3.0%	その他の「運動」	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	遊園地などのレジャー施設	6.9%	ドライブ	5.8%	行祭事・イベントなどの見物	5.6%	その他の「体験」	5.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	4.9%
県央	その他の「見物・鑑賞」	5.2%	ドライブ	5.2%	その他の「体験」	3.4%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.6%	果物狩り	2.6%
湘南	その他の「体験」	6.1%	その他の「運動」	4.8%	温泉浴	4.4%	博物館・動植物園などの見物	4.0%	趣味・研究	3.1%
県西	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.3%	行祭事・イベントなどの見物	4.2%	ハイキング・ピクニック	4.2%	趣味・研究	3.7%
(うち箱根・湯河原地区)	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.5%	行祭事・イベントなどの見物	4.3%	ハイキング・ピクニック	4.1%	趣味・研究	3.7%
(うち箱根・湯河原地区以外)	釣り	4.8%	ハイキング・ピクニック	4.8%	博物館・動植物園などの見物	3.8%	タイピングなどのマリンスポーツ	3.8%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.9%
全県	遺跡・文化財などの鑑賞	9.3%	博物館・動植物園などの見物	8.2%	遊園地などのレジャー施設	7.1%	ドライブ	3.9%	その他の「体験」	3.3%

(日帰り)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	自然・風景鑑賞	32.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.5%	買い物・飲食	17.0%	行祭事・イベントなどの見物	9.8%	博物館・動植物園などの見物	7.1%
(うち横浜地区)	自然・風景鑑賞	37.7%	買い物・飲食	22.9%	遺跡・文化財などの鑑賞	13.5%	行祭事・イベントなどの見物	12.9%	博物館・動植物園などの見物	8.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	遺跡・文化財などの鑑賞	27.6%	自然・風景鑑賞	20.0%	趣味・研究	4.4%	ハイキング・ピクニック	4.2%	博物館・動植物園などの見物	2.4%
三浦半島	自然・風景鑑賞	43.0%	遺跡・文化財などの鑑賞	42.9%	買い物・飲食	14.3%	ハイキング・ピクニック	10.2%	行祭事・イベントなどの見物	6.3%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	58.0%	自然・風景鑑賞	46.4%	ハイキング・ピクニック	11.6%	行祭事・イベントなどの見物	7.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.8%
(うち鎌倉地区以外)	買い物・飲食	37.9%	自然・風景鑑賞	33.8%	遊園地などのレジャー施設	21.5%	ドライブ	12.0%	温泉浴	7.3%
県央	自然・風景鑑賞	55.7%	ハイキング・ピクニック	14.6%	遊園地などのレジャー施設	12.5%	行祭事・イベントなどの見物	10.1%	ドライブ	10.1%
湘南	自然・風景鑑賞	40.7%	博物館・動植物園などの見物	16.3%	ハイキング・ピクニック	10.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%	ドライブ	7.2%
県西	自然・風景鑑賞	53.1%	温泉浴	32.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.9%	博物館・動植物園などの見物	9.9%	ドライブ	7.9%
(うち箱根・湯河原地区)	自然・風景鑑賞	55.3%	温泉浴	40.4%	博物館・動植物園などの見物	8.9%	ドライブ	7.8%	買い物・飲食	5.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	遺跡・文化財などの鑑賞	51.3%	自然・風景鑑賞	47.5%	博物館・動植物園などの見物	12.6%	温泉浴	10.9%	ドライブ	8.4%
全県	自然・風景鑑賞	42.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	19.6%	買い物・飲食	11.3%	博物館・動植物園などの見物	7.5%	ハイキング・ピクニック	7.2%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	その他の「見物・鑑賞」	6.5%	遊園地などのレジャー施設	5.2%	ハイキング・ピクニック	3.3%	趣味・研究	2.7%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区)	その他の「見物・鑑賞」	8.5%	遊園地などのレジャー施設	7.3%	ハイキング・ピクニック	2.9%	趣味・研究	2.0%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	行祭事・イベントなどの見物	2.0%	買い物・飲食	2.0%	その他の「運動」	2.0%	その他の「体験」	1.8%	その他の「見物・鑑賞」	1.6%
三浦半島	その他の「見物・鑑賞」	6.2%	遊園地などのレジャー施設	5.9%	ドライブ	5.4%	温泉浴	2.8%	趣味・研究	2.8%
(うち鎌倉地区)	買い物・飲食	5.8%	ドライブ	3.0%	その他の「運動」	2.7%	趣味・研究	2.6%	博物館・動植物園などの見物	1.9%
(うち鎌倉地区以外)	その他の「体験」	6.6%	ハイキング・ピクニック	6.3%	果物狩り	6.0%	博物館・動植物園などの見物	4.4%	その他の「見物・鑑賞」	4.4%
県央	買い物・飲食	5.6%	趣味・研究	3.9%	博物館・動植物園などの見物	3.0%	その他の「見物・鑑賞」	3.0%	温泉浴	2.5%
湘南	登山	6.4%	買い物・飲食	5.6%	スポーツ見物	4.0%	その他の「体験」	3.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	3.5%
県西	買い物・飲食	6.2%	その他の「見物・鑑賞」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.4%	趣味・研究	2.6%	ハイキング・ピクニック	2.2%
(うち箱根・湯河原地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	5.0%	遊園地などのレジャー施設	4.8%	その他の「見物・鑑賞」	4.2%	ハイキング・ピクニック	2.4%	趣味・研究	2.3%
(うち箱根・湯河原地区以外)	その他の「見物・鑑賞」	7.6%	買い物・飲食	7.1%	行祭事・イベントなどの見物	5.9%	その他の「運動」	5.0%	遊園地などのレジャー施設	3.4%
全県	温泉浴	6.8%	行祭事・イベントなどの見物	6.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.0%	遊園地などのレジャー施設	5.8%	ドライブ	5.3%

○複数回にわたって来訪しているリピーターの客層が中心。

宿泊客では48.3%、日帰り客では47.7%が10回以上の来訪経験のあるリピーターである。前述のように近隣都県からの来訪が多いことから、一度だけでなく複数回にわたって来訪している客層が中心である様子が分かる。

(宿泊)

	初めて	2回目	3～5回	6～9回	10回以上	無回答	合計 (除県内在住)
川崎・横浜	7.9%	8.9%	24.8%	9.8%	45.9%	2.8%	100.0%
(うち横浜地区)	8.5%	10.0%	26.4%	9.7%	43.0%	2.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	5.4%	4.1%	18.2%	10.2%	57.8%	4.3%	100.0%
三浦半島	7.5%	7.3%	25.7%	9.6%	45.5%	4.5%	100.0%
(うち鎌倉地区)	9.0%	10.3%	27.3%	6.8%	43.1%	3.5%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	6.0%	4.4%	24.1%	12.3%	47.8%	5.4%	100.0%
県央	6.3%	6.3%	17.5%	6.3%	55.6%	7.9%	100.0%
湘南	9.5%	5.7%	20.6%	10.4%	47.9%	5.9%	100.0%
県西	6.0%	4.4%	20.1%	10.9%	53.2%	5.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	5.7%	4.4%	20.4%	10.9%	53.4%	5.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	11.5%	4.9%	13.1%	11.5%	49.2%	9.8%	100.0%
全県	7.4%	7.0%	23.1%	10.1%	48.3%	4.1%	100.0%

(日帰り)

	初めて	2回目	3～5回	6～9回	10回以上	無回答	合計
川崎・横浜	9.7%	7.5%	18.3%	9.6%	48.0%	6.9%	100.0%
(うち横浜地区)	10.0%	8.2%	20.3%	9.8%	48.1%	3.6%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.0%	6.0%	13.4%	9.0%	47.8%	14.9%	100.0%
三浦半島	9.5%	12.4%	22.2%	8.1%	43.9%	3.9%	100.0%
(うち鎌倉地区)	10.5%	13.5%	23.8%	7.8%	39.8%	4.6%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.6%	6.0%	13.3%	9.6%	67.5%	0.0%	100.0%
県央	5.5%	2.7%	8.2%	3.4%	67.8%	12.3%	100.0%
湘南	9.8%	7.6%	15.6%	9.8%	43.3%	13.8%	100.0%
県西	9.1%	8.2%	21.0%	6.5%	47.5%	7.8%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	9.4%	7.9%	22.0%	6.6%	45.4%	8.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.3%	9.8%	15.9%	6.1%	57.3%	3.7%	100.0%
全県	9.2%	8.6%	18.9%	8.1%	47.7%	7.4%	100.0%

○来訪地域の利便性や目的等に応じて様々な交通機関が利用されている。

宿泊客では自家用車の利用率が34.6%と最も高いが、JR在来線が31.8%、その他私鉄が27.8%と自動車に次いで鉄道の利用率も高くなっている。

日帰り客では自家用車の利用率が37.1%と最も高いが、JR在来線が22.8%、その他私鉄が21.8%とやはり自動車に次いで鉄道の利用率も高くなっている。

以上より、路線等の発達した都市部では公共交通機関、地方部では自家用車といったように来訪地域の利便性や目的等に応じて様々な交通機関が利用されていることがうかがえる。

(宿泊)

	①航空機	②新幹線	③JR在来線	④その他私鉄	⑤貸切・定期観光バス	⑥高速バス	⑦路線バス	⑧自家用車	⑨タクシー	⑩レンタカー	⑪船舶(フェリー、遊覧船など)	⑫その他
川崎・横浜	16.5%	29.0%	37.5%	23.8%	1.1%	3.5%	3.4%	24.9%	4.4%	0.9%	1.4%	0.4%
(うち横浜地区)	15.0%	27.3%	36.8%	24.6%	1.3%	3.5%	3.2%	27.8%	4.2%	0.7%	1.7%	0.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	22.8%	36.4%	40.3%	20.5%	0.5%	3.5%	4.1%	12.2%	4.8%	1.8%	0.2%	0.9%
三浦半島	5.9%	16.4%	35.6%	30.5%	0.9%	1.6%	7.1%	38.1%	4.4%	1.4%	0.6%	1.2%
(うち鎌倉地区)	10.7%	33.1%	58.8%	24.2%	0.6%	3.0%	5.4%	17.3%	5.7%	0.9%	0.3%	1.2%
(うち鎌倉地区以外)	2.4%	4.3%	18.9%	35.0%	1.1%	0.6%	8.4%	53.0%	3.4%	1.7%	0.9%	1.3%
県央	2.6%	6.0%	14.7%	25.0%	0.9%	0.0%	12.9%	62.1%	4.3%	2.6%	0.0%	2.6%
湘南	10.7%	23.5%	42.6%	23.1%	0.2%	3.4%	5.9%	30.8%	4.8%	2.1%	0.8%	1.0%
県西	1.4%	7.8%	21.2%	33.2%	1.7%	1.7%	8.2%	44.4%	3.8%	1.3%	3.2%	1.3%
(うち箱根・湯河原地区)	1.5%	8.0%	20.3%	34.7%	1.7%	1.8%	8.6%	44.0%	3.7%	1.2%	3.4%	1.1%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	4.8%	35.6%	6.7%	1.9%	0.0%	1.0%	51.0%	4.8%	1.9%	1.0%	3.8%
全県	9.1%	19.2%	31.8%	27.8%	1.2%	2.5%	5.9%	34.6%	4.2%	1.2%	1.8%	0.9%

(日帰り)

	①航空機	②新幹線	③JR在来線	④その他私鉄	⑤貸切・定期観光バス	⑥高速バス	⑦路線バス	⑧自家用車	⑨タクシー	⑩レンタカー	⑪船舶(フェリー、遊覧船など)	⑫その他
川崎・横浜	0.4%	1.8%	22.0%	29.4%	1.8%	0.1%	7.5%	28.7%	0.8%	0.1%	0.2%	3.3%
(うち横浜地区)	0.4%	2.1%	26.7%	25.5%	1.7%	0.0%	8.9%	25.0%	0.8%	0.1%	0.3%	2.4%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.2%	0.9%	10.2%	39.3%	2.0%	0.2%	3.8%	38.0%	0.9%	0.0%	0.0%	5.6%
三浦半島	0.3%	1.0%	49.0%	11.5%	2.0%	0.3%	4.9%	28.5%	0.8%	0.2%	0.3%	2.5%
(うち鎌倉地区)	0.5%	1.4%	65.7%	6.8%	2.1%	0.3%	2.8%	15.8%	0.7%	0.2%	0.2%	2.8%
(うち鎌倉地区以外)	0.0%	0.0%	2.8%	24.6%	1.9%	0.0%	10.7%	63.4%	0.9%	0.0%	0.6%	1.6%
県央	0.0%	0.0%	5.2%	4.2%	0.5%	0.0%	3.4%	63.3%	0.0%	0.2%	0.0%	5.1%
湘南	0.1%	0.5%	7.4%	30.4%	0.5%	0.1%	4.5%	35.9%	0.1%	0.4%	0.0%	4.9%
県西	0.2%	1.4%	13.9%	26.5%	2.5%	0.8%	4.3%	47.7%	0.4%	0.8%	0.1%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	0.3%	1.3%	7.9%	32.8%	2.9%	1.1%	4.5%	48.5%	0.3%	1.1%	0.2%	0.6%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	1.7%	29.4%	10.1%	1.3%	0.0%	3.8%	45.8%	0.4%	0.0%	0.0%	1.7%
全県	0.3%	1.1%	22.8%	21.8%	1.6%	0.2%	5.4%	37.1%	0.5%	0.3%	0.2%	3.2%

※日帰り客調査の夏季、秋期調査においては交通手段を尋ねる質問を設けなかったため、消費額の回答内容等から類推している。

○ネットを通じて得た情報と口コミ等の生きた情報を組み合わせて活用している。

宿泊客の情報源としてはインターネットの利用率が 40.1%最も高く、次いで口コミが 23.3%で続いている。日帰り客では口コミが 24.6%と最も多く、インターネットが 14.1%で続いている。

以上より、ネットを通じて得た情報と口コミ等の生きた情報を組み合わせて活用している様子がうかがえる。

(宿泊)

	① 家族や友人の 口コミ	② 旅行ガイド ブック	③ 旅行雑誌	④ 旅行会社パン フレット	⑤ 旅行会社店 頭の情報	⑥ テレビ・ラ ジオ	⑦ インター ネット	⑧ 駅や社内の ポスター	⑨ 行政の観光 キャンペーン 等のパンフレ ット	⑩ タウン誌・フ リーペーパー	⑪ その他
川崎・横浜	22.1%	16.3%	8.1%	11.2%	4.5%	1.7%	46.2%	0.7%	2.0%	2.6%	9.5%
(うち横浜地区)	21.7%	18.8%	9.6%	12.5%	4.6%	1.7%	47.3%	0.5%	1.9%	2.6%	8.5%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	23.7%	5.3%	1.4%	5.8%	4.1%	1.4%	41.2%	1.6%	2.1%	2.5%	14.1%
三浦半島	28.7%	16.4%	10.6%	7.0%	3.0%	2.7%	32.0%	2.0%	2.9%	2.1%	18.2%
(うち鎌倉地区)	22.1%	28.1%	13.7%	6.6%	3.9%	2.7%	37.3%	3.6%	1.5%	0.9%	14.6%
(うち鎌倉地区以外)	33.5%	7.9%	8.4%	7.3%	2.4%	2.8%	28.1%	0.9%	3.9%	3.0%	20.8%
県央	27.6%	8.6%	10.3%	1.7%	0.0%	0.9%	37.9%	0.0%	6.9%	4.3%	8.6%
湘南	19.9%	11.3%	3.8%	2.3%	1.0%	2.3%	40.7%	1.0%	2.3%	1.9%	20.3%
県西	23.2%	16.1%	10.0%	15.9%	5.7%	2.2%	36.1%	1.6%	4.0%	2.1%	10.9%
(うち箱根・湯河原地区)	23.1%	16.7%	10.2%	16.8%	6.0%	2.2%	35.1%	1.7%	4.1%	2.2%	10.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	25.0%	4.8%	6.7%	1.0%	0.0%	1.9%	52.9%	1.0%	2.9%	0.0%	12.5%
全県	23.3%	15.6%	8.8%	11.2%	4.3%	2.0%	40.1%	1.2%	2.9%	2.3%	12.2%

(日帰り)

	① 家族や友人の 口コミ	② 旅行ガイド ブック	③ 旅行雑誌	④ 旅行会社パン フレット	⑤ 旅行会社店 頭の情報	⑥ テレビ・ラ ジオ	⑦ インター ネット	⑧ 駅や社内の ポスター	⑨ 行政の観光 キャンペーン 等のパンフレ ット	⑩ タウン誌・フ リーペーパー	⑪ その他
川崎・横浜	23.2%	4.9%	2.8%	2.0%	0.4%	4.2%	13.0%	2.2%	1.8%	1.9%	19.7%
(うち横浜地区)	21.2%	6.0%	3.5%	2.2%	0.5%	5.3%	15.6%	2.9%	2.0%	2.2%	16.8%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	28.4%	2.2%	1.1%	1.6%	0.0%	1.3%	6.7%	0.4%	1.1%	1.1%	26.9%
三浦半島	21.0%	14.6%	8.4%	2.3%	0.3%	5.0%	16.3%	1.2%	0.8%	1.0%	17.9%
(うち鎌倉地区)	20.2%	18.6%	10.1%	3.1%	0.3%	3.9%	12.2%	0.5%	0.9%	0.2%	14.9%
(うち鎌倉地区以外)	23.3%	3.5%	3.5%	0.0%	0.0%	8.2%	27.8%	3.2%	0.6%	3.2%	26.2%
県央	24.7%	1.9%	2.0%	1.0%	0.0%	1.2%	15.3%	1.2%	1.5%	1.7%	20.4%
湘南	35.2%	3.9%	1.1%	1.1%	0.6%	2.5%	7.8%	2.5%	1.1%	0.3%	26.5%
県西	22.2%	14.7%	7.1%	2.2%	0.9%	4.0%	17.7%	1.2%	1.6%	0.8%	20.8%
(うち箱根・湯河原地区)	21.3%	17.4%	8.7%	2.3%	1.1%	5.0%	19.4%	1.5%	1.6%	1.0%	17.4%
(うち箱根・湯河原地区以外)	24.4%	7.6%	2.9%	2.1%	0.4%	1.3%	13.4%	0.4%	1.7%	0.4%	29.4%
全県	24.6%	8.4%	4.5%	1.9%	0.4%	3.7%	14.1%	1.7%	1.4%	1.2%	20.6%

インターネットの利用方法については、宿泊客では「宿泊施設の予約など」が65.2%で最も多く、「個別施設の情報収集」43.3%で続いている。一方、日帰り客では「個別施設の情報収集」が61.2%で最も高くなっている。

(宿泊)

	①訪問地選定	②個別施設等の情報収集	③交通機関の予約など	④観光施設の予約印刷など	⑤宿泊施設の予約など	⑥その他	母数
10代	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	30.0%	0.0%	100.0%
20代	21.3%	50.6%	14.6%	16.9%	79.8%	1.1%	100.0%
30代	27.4%	50.0%	11.1%	13.5%	61.5%	2.4%	100.0%
40代	14.8%	38.3%	16.4%	7.7%	69.9%	4.4%	100.0%
50代	29.1%	37.6%	14.9%	7.1%	62.4%	4.3%	100.0%
60歳以上	26.9%	43.3%	7.7%	7.7%	58.7%	5.8%	100.0%
無回答	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	71.4%	0.0%	100.0%
合計	23.6%	43.3%	12.9%	10.4%	65.2%	3.5%	100.0%

(日帰り)

	①訪問地選定	②個別施設等の情報収集	③交通機関の予約など	④観光施設の予約印刷など	⑤宿泊施設の予約など	⑥その他	母数
10代	0.0%	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
20代	24.3%	62.2%	2.7%	10.8%	2.7%	5.4%	100.0%
30代	25.0%	57.8%	3.1%	9.4%	9.4%	7.8%	100.0%
40代	28.6%	55.1%	2.0%	12.2%	0.0%	12.2%	100.0%
50代	37.8%	54.1%	2.7%	5.4%	5.4%	5.4%	100.0%
60歳以上	25.0%	66.7%	4.2%	0.0%	8.3%	25.0%	100.0%
無回答	10.0%	100.0%	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	100.0%
合計	26.4%	61.2%	3.5%	8.8%	4.8%	9.7%	100.0%

○大多数が個人で手配する個人旅行での来訪となっている。

宿泊客で 79.4%、日帰り客で 88.4%と大多数が個人で手配する個人旅行での来訪であり、パッケージツアーなど旅行会社の利用は少ない。

(宿泊)

	個人旅行	フリープラン型のパッケージ旅行	観光ツアー付きのパッケージ旅行	団体旅行(地域や職場、学校など)	無回答	合計
川崎・横浜	76.9%	14.8%	0.7%	1.9%	5.7%	100.0%
(うち横浜地区)	75.6%	16.7%	0.8%	2.0%	4.8%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	82.5%	6.7%	0.2%	1.4%	9.2%	100.0%
三浦半島	84.3%	7.4%	0.6%	2.4%	5.4%	100.0%
(うち鎌倉地区)	81.5%	11.3%	0.3%	2.1%	4.8%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	86.3%	4.5%	0.9%	2.6%	5.8%	100.0%
県央	90.5%	0.9%	0.0%	4.3%	4.3%	100.0%
湘南	78.4%	1.9%	0.2%	5.5%	14.0%	100.0%
県西	79.9%	12.5%	0.5%	2.0%	5.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	79.3%	13.2%	0.6%	1.9%	5.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	90.4%	1.0%	0.0%	3.8%	4.8%	100.0%
全県	79.4%	11.6%	0.6%	2.3%	6.1%	100.0%

(日帰り)

	個人旅行	フリープラン型のパッケージ旅行	観光ツアー付きのパッケージ旅行	団体旅行(地域や職場、学校など)	無回答	合計
川崎・横浜	84.9%	0.4%	1.1%	4.9%	8.5%	100.0%
(うち横浜地区)	86.3%	0.5%	1.3%	5.1%	6.7%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	81.6%	0.2%	0.7%	4.4%	13.1%	100.0%
三浦半島	92.7%	0.3%	1.1%	4.1%	1.8%	100.0%
(うち鎌倉地区)	92.3%	0.5%	1.4%	4.1%	1.8%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	94.0%	0.0%	0.3%	4.1%	1.6%	100.0%
県央	91.9%	0.0%	0.7%	2.2%	5.2%	100.0%
湘南	87.5%	0.4%	0.3%	3.9%	8.0%	100.0%
県西	87.4%	1.9%	2.2%	4.2%	4.3%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	86.6%	2.6%	2.6%	4.4%	3.9%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	89.5%	0.0%	1.3%	3.8%	5.5%	100.0%
全県	88.4%	0.6%	1.1%	4.1%	5.7%	100.0%

来訪の形態と交通手段についてみると、宿泊客、日帰り客いずれも、「個人旅行」では「自家用車」、「パッケージ旅行（フリープラン）」では「鉄道」、「パッケージ旅行（観光ツアー付き）」では「貸し切り・定期観光バス」の利用率がそれぞれ最も高い。

(宿泊)

	①航空機	②新幹線	③JR在来線	④その他私鉄	⑤貸切・定期観光バス	⑥高速バス	⑦路線バス	⑧自家用車	⑨タクシー	⑩レンタカー	⑪船舶（フェリー、遊覧船など）	⑫その他	母数
個人旅行	7.7%	17.2%	31.8%	27.2%	0.4%	2.6%	5.9%	38.8%	4.0%	1.2%	1.7%	0.8%	100.0%
パッケージ旅行（フリープラン）	17.7%	32.5%	34.4%	37.2%	1.1%	3.0%	7.4%	17.0%	4.4%	1.4%	3.5%	1.1%	100.0%
パッケージ旅行（観光ツアー付き）	28.1%	28.1%	15.6%	18.8%	37.5%	0.0%	3.1%	18.8%	9.4%	0.0%	6.3%	0.0%	100.0%
団体旅行	10.9%	21.7%	34.9%	29.5%	17.8%	1.6%	7.0%	13.2%	3.1%	1.6%	1.6%	3.1%	100.0%
無回答	9.8%	18.3%	26.3%	18.9%	1.8%	1.8%	3.6%	22.5%	5.9%	1.5%	0.3%	1.2%	100.0%
総計	9.1%	19.2%	31.8%	27.8%	1.2%	2.5%	5.9%	34.6%	4.2%	1.2%	1.8%	0.9%	100.0%

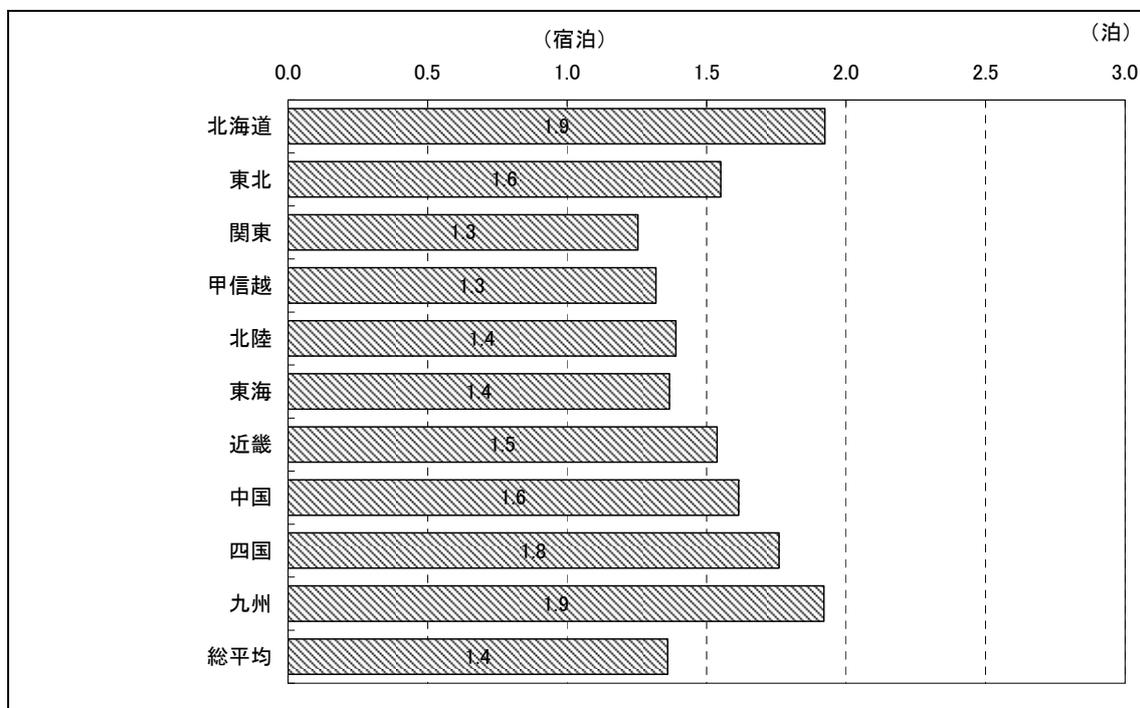
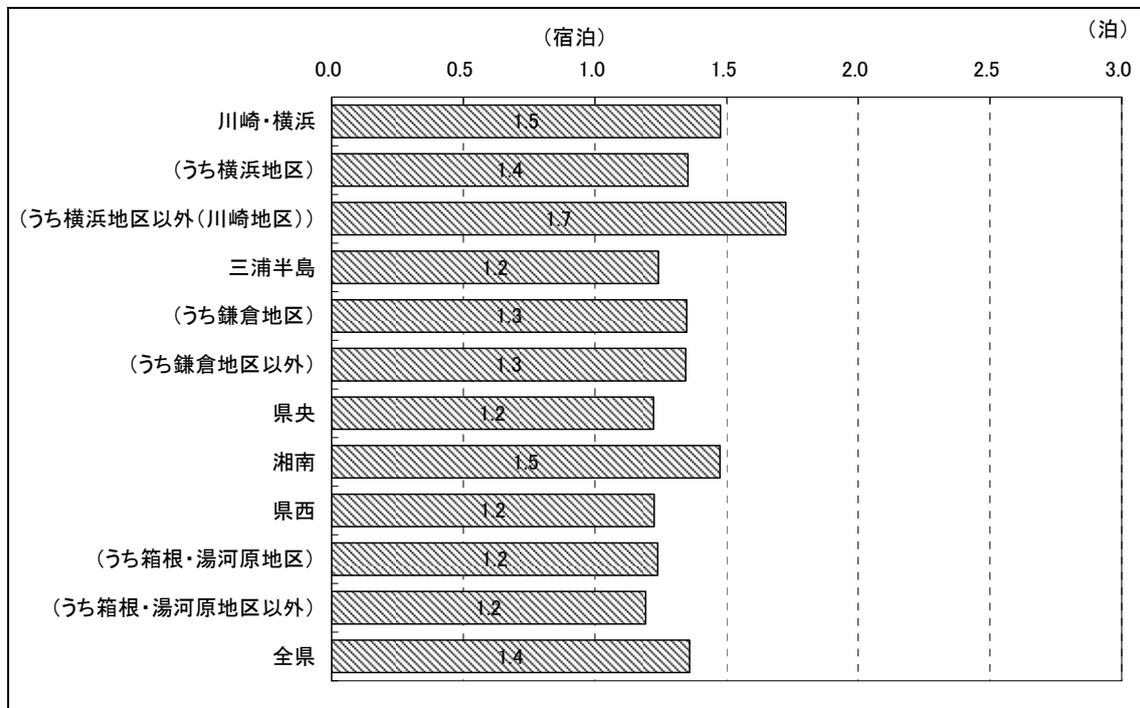
(日帰り)

	①航空機	②新幹線	③JR在来線	④その他私鉄	⑤貸切・定期観光バス	⑥高速バス	⑦路線バス	⑧自家用車	⑨タクシー	⑩レンタカー	⑪船舶（フェリー、遊覧船など）	⑫その他	母数
個人旅行	0.2%	1.1%	11.2%	7.3%	0.3%	0.2%	5.2%	39.6%	0.6%	0.3%	0.2%	3.2%	100.0%
パッケージ旅行（フリープラン）	6.7%	0.0%	16.7%	10.0%	36.7%	3.3%	3.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
パッケージ旅行（観光ツアー付き）	0.0%	1.8%	3.6%	1.8%	37.5%	0.0%	1.8%	7.1%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	100.0%
団体旅行	0.5%	1.0%	15.9%	3.9%	16.4%	0.5%	8.2%	2.9%	0.5%	0.5%	0.0%	2.4%	100.0%
無回答	0.3%	0.7%	4.9%	4.2%	0.7%	0.0%	6.6%	32.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	100.0%
総計	0.3%	1.1%	10.9%	6.9%	1.6%	0.2%	5.4%	37.1%	0.5%	0.3%	0.2%	3.2%	100.0%

※日帰り客調査の夏季、秋期調査においては交通手段を尋ねる質問を設けなかったため、消費額の回答内容等から類推している。

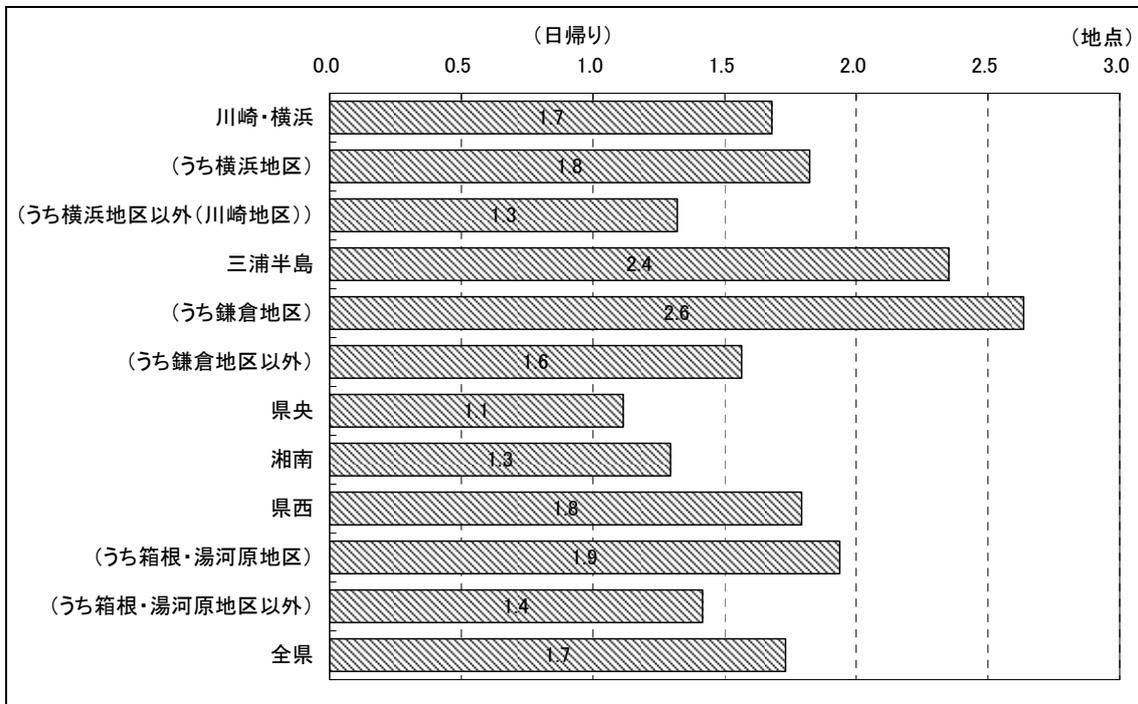
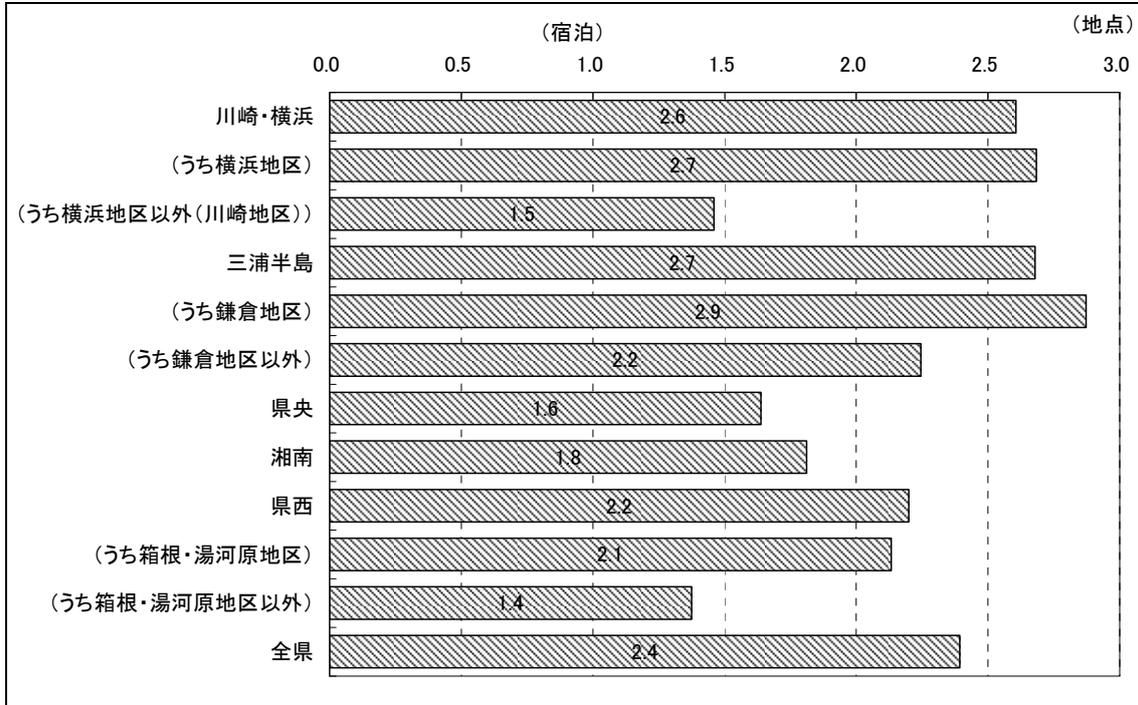
○遠方からの訪問者の方が宿泊数が多くなっている。

平均宿泊数は、平均 1.4 泊となっている。また、訪問者の居住地別に見ると、北海道や四国、九州など遠方からの訪問者の方が平均宿泊数が多くなっている。



○比較的近接している観光地間で立ち寄り率が高い。

立ち寄り地点数は、宿泊客で平均 2.4 地点、日帰り客で平均 1.7 地点となっている。



主要な観光地への立ち寄り比率についてみると、いずれの地域においても、同一地域内の観光地への立ち寄り比率が高くなっている。このことから、立ち寄りには地域内の近接する観光地間で完結する傾向が強く、県内を広域的に移動するといったケースは少ないことが伺える。

(宿泊)

	箱根	湯河原・真鶴	小田原	鎌倉	湘南海岸	江の島	三崎・城ヶ島	葉山	横須賀	逗子	横浜	川崎	宮ヶ瀬	津久井	丹沢・大山	その他	母数
川崎・横浜	2.5%	0.3%	0.7%	9.4%	0.0%	5.1%	0.5%	0.3%	2.4%	0.9%	72.6%	5.8%	0.0%	0.1%	0.1%	15.9%	100.0%
(うち横浜地区)	2.5%	0.4%	0.6%	10.6%	0.0%	5.5%	0.6%	0.4%	2.4%	1.0%	82.0%	2.6%	0.0%	0.1%	0.1%	15.8%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	2.3%	0.2%	1.2%	4.4%	0.0%	3.7%	0.2%	0.2%	2.1%	0.2%	32.3%	19.8%	0.0%	0.2%	0.2%	16.1%	100.0%
三浦半島	1.9%	0.5%	1.0%	35.6%	0.0%	22.5%	25.7%	3.0%	30.6%	5.6%	17.0%	1.1%	0.2%	0.0%	0.2%	28.0%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.5%	0.3%	1.5%	69.0%	0.0%	42.4%	0.0%	2.7%	2.4%	8.1%	16.7%	0.6%	0.3%	0.0%	0.3%	35.8%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	2.1%	0.6%	0.6%	11.6%	0.0%	8.2%	44.2%	3.2%	50.9%	3.9%	17.2%	1.5%	0.2%	0.0%	0.2%	22.3%	100.0%
県央	5.2%	2.6%	0.9%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	6.9%	1.7%	23.3%	8.6%	9.5%	56.0%	100.0%
湘南	4.2%	1.3%	3.4%	21.8%	0.0%	25.2%	0.2%	0.6%	1.0%	1.9%	12.6%	1.9%	0.6%	0.4%	7.5%	28.7%	100.0%
県西	61.2%	9.8%	10.0%	2.7%	0.0%	3.1%	0.2%	0.2%	0.7%	0.2%	3.6%	0.3%	0.4%	0.1%	1.4%	27.8%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	64.0%	8.4%	9.6%	2.5%	0.0%	2.8%	0.2%	0.2%	0.6%	0.2%	3.5%	0.3%	0.3%	0.1%	0.6%	28.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	15.4%	32.7%	17.3%	5.8%	0.0%	6.7%	1.0%	0.0%	1.9%	0.0%	5.8%	1.0%	1.0%	0.0%	15.4%	23.1%	100.0%
全県	22.0%	3.6%	4.1%	11.9%	0.0%	8.7%	4.0%	0.7%	5.8%	1.4%	35.1%	2.9%	0.7%	0.3%	1.4%	23.5%	100.0%

各地域のサンプル数に対する比率が60%以上
 各地域のサンプル数に対する比率が40%以上60%未満
 各地域のサンプル数に対する比率が20%以上40%未満

(日帰り)

	箱根	湯河原・真鶴	小田原	鎌倉	湘南海岸	江の島	三崎・城ヶ島	葉山	横須賀	逗子	横浜	川崎	宮ヶ瀬	津久井	丹沢・大山	その他	母数
川崎・横浜	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%	0.0%	0.4%	0.2%	0.0%	0.3%	0.1%	72.4%	18.7%	0.1%	0.1%	0.0%	24.7%	100.0%
(うち横浜地区)	0.0%	0.0%	0.1%	0.5%	0.0%	0.6%	0.3%	0.0%	0.2%	0.1%	99.9%	0.7%	0.1%	0.0%	0.0%	12.1%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	3.3%	63.8%	0.0%	0.2%	0.0%	56.4%	100.0%
三浦半島	0.0%	0.2%	0.1%	73.9%	0.0%	9.4%	15.6%	0.1%	15.1%	0.6%	2.8%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	39.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	0.0%	0.2%	0.1%	99.9%	0.0%	12.6%	0.9%	0.0%	1.1%	0.3%	2.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	46.5%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.3%	56.2%	0.3%	53.6%	1.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.1%	100.0%
県央	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	56.7%	17.0%	0.7%	37.4%	100.0%
湘南	0.1%	0.0%	0.1%	5.9%	0.0%	58.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	19.3%	29.9%	100.0%
県西	60.0%	8.1%	28.6%	0.9%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	31.5%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	80.3%	10.2%	1.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.9%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.1%	2.5%	100.0%	2.5%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	20.2%	100.0%
全県	10.3%	1.4%	5.0%	18.9%	0.0%	11.6%	3.8%	0.0%	3.7%	0.2%	23.7%	6.0%	6.7%	2.0%	3.1%	31.8%	100.0%

各地域のサンプル数に対する比率が60%以上
 各地域のサンプル数に対する比率が40%以上60%未満
 各地域のサンプル数に対する比率が20%以上40%未満

また、宿泊客の前泊地、後泊地についてみると、いずれの場合も「東京」の比率が最も高く、次いで「静岡」「千葉」が続いている。「東京」は豊富な魅力の多様さや電車で1時間以内で来訪できる利便性が反映されていると想定される。また、「静岡」は熱海や伊東など、神奈川県に近接する温泉地や、「千葉」では東京ディズニーリゾートの立地する舞浜周辺などに宿泊するケースが多いと想定される。

(前泊地)

	夏		秋		冬		3季	
北海道	2	2.0%	4	3.1%	1	1.1%	7	2.2%
青森	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	0.3%
岩手	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
宮城	0	0.0%	0	0.0%	2	2.1%	2	0.6%
秋田	0	0.0%	0	0.0%	2	2.1%	2	0.6%
山形	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.3%
福島	0	0.0%	1	0.8%	1	1.1%	2	0.6%
茨城	0	0.0%	2	1.5%	1	1.1%	3	0.9%
栃木	1	1.0%	5	3.8%	0	0.0%	6	1.9%
群馬	2	2.0%	2	1.5%	2	2.1%	6	1.9%
埼玉	2	2.0%	1	0.8%	5	5.3%	8	2.5%
千葉	13	13.3%	14	10.7%	7	7.4%	34	10.5%
東京	39	39.8%	52	39.7%	32	34.0%	123	38.1%
神奈川	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新潟	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.6%
富山	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
石川	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	0.3%
福井	0	0.0%	1	0.8%	1	1.1%	2	0.6%
山梨	6	6.1%	11	8.4%	2	2.1%	19	5.9%
長野	0	0.0%	3	2.3%	4	4.3%	7	2.2%
岐阜	1	1.0%	0	0.0%	1	1.1%	2	0.6%
静岡	20	20.4%	23	17.6%	20	21.3%	63	19.5%
愛知	0	0.0%	4	3.1%	1	1.1%	5	1.5%
三重	1	1.0%	2	1.5%	0	0.0%	3	0.9%
滋賀	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.3%
京都	2	2.0%	0	0.0%	2	2.1%	4	1.2%
大阪	2	2.0%	2	1.5%	2	2.1%	6	1.9%
兵庫	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.3%
奈良	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	0.3%
和歌山	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
鳥取	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
島根	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
岡山	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
広島	1	1.0%	0	0.0%	2	2.1%	3	0.9%
山口	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
徳島	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
香川	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
愛媛	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
高知	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
福岡	1	1.0%	1	0.8%	0	0.0%	2	0.6%
佐賀	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
長崎	0	0.0%	0	0.0%	2	2.1%	2	0.6%
熊本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大分	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
宮崎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鹿児島	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	0.3%
合計	98	100.0%	131	100.0%	94	100.0%	323	100.0%

(後泊地)

	夏		秋		冬		3季	
北海道	0	0.0%	4	3.4%	2	2.6%	6	2.1%
青森	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
岩手	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	1	0.4%
宮城	1	1.2%	0	0.0%	1	1.3%	2	0.7%
秋田	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
山形	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
福島	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
茨城	0	0.0%	2	1.7%	1	1.3%	3	1.1%
栃木	1	1.2%	1	0.8%	2	2.6%	4	1.4%
群馬	2	2.4%	0	0.0%	1	1.3%	3	1.1%
埼玉	1	1.2%	2	1.7%	3	3.9%	6	2.1%
千葉	6	7.1%	10	8.4%	5	6.6%	21	7.5%
東京	40	47.1%	56	47.1%	43	56.6%	139	49.6%
神奈川	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新潟	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	1	0.4%
富山	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
石川	0	0.0%	2	1.7%	0	0.0%	2	0.7%
福井	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
山梨	8	9.4%	5	4.2%	2	2.6%	15	5.4%
長野	3	3.5%	3	2.5%	0	0.0%	6	2.1%
岐阜	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
静岡	15	17.6%	21	17.6%	11	14.5%	47	16.8%
愛知	2	2.4%	4	3.4%	1	1.3%	7	2.5%
三重	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
滋賀	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
京都	2	2.4%	4	3.4%	1	1.3%	7	2.5%
大阪	1	1.2%	2	1.7%	1	1.3%	4	1.4%
兵庫	1	1.2%	2	1.7%	0	0.0%	3	1.1%
奈良	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
和歌山	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鳥取	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
島根	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
岡山	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
広島	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
山口	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
徳島	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
香川	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
愛媛	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
高知	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
福岡	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
佐賀	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
長崎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
熊本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大分	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
宮崎	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.4%
鹿児島	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	85	100.0%	119	100.0%	76	100.0%	280	100.0%

○来訪の満足度は全般的に高く、来訪回数が高くなるほど再来訪意向も強くなる。

宿泊客では88.1%、日帰り客では81.1%が「大いに満足」もしくは「どちらかといえば満足」と回答しており、来訪の満足度は高い。満足の要因としては、宿泊客では「食べ物・食事」、「景観」、日帰り客では「景観」、「施設自体の魅力」、「食べ物・食事」などが上位に挙げられている。

(宿泊)

	①大いに満足	②どちらかといえば満足	③どちらかといえば不満	④大いに不満	⑤何とも言えない	無回答	合計
川崎・横浜	44.1%	43.7%	1.8%	0.2%	4.4%	5.8%	100.0%
(うち横浜地区)	47.8%	42.6%	1.6%	0.2%	2.5%	5.3%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	27.9%	48.6%	2.5%	0.5%	12.7%	7.8%	100.0%
三浦半島	46.9%	40.7%	1.6%	0.5%	3.0%	7.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	45.4%	40.3%	1.2%	0.3%	5.7%	7.2%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	48.1%	41.0%	1.9%	0.6%	1.1%	7.3%	100.0%
県央	45.7%	44.8%	2.6%	0.0%	2.6%	4.3%	100.0%
湘南	27.7%	49.9%	1.5%	0.2%	9.6%	11.1%	100.0%
県西	48.1%	43.2%	1.4%	0.5%	1.0%	5.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	48.2%	43.3%	1.3%	0.6%	0.9%	5.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	47.1%	42.3%	2.9%	0.0%	2.9%	4.8%	100.0%
全県	44.4%	43.7%	1.6%	0.4%	3.5%	6.4%	100.0%

(日帰り)

	①大いに満足	②どちらかといえば満足	③どちらかといえば不満	④大いに不満	⑤何とも言えない	無回答	合計
川崎・横浜	51.6%	30.3%	1.3%	0.3%	6.5%	10.0%	100.0%
(うち横浜地区)	51.6%	30.3%	1.2%	0.4%	7.3%	9.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	51.8%	30.2%	1.6%	0.2%	4.2%	12.0%	100.0%
三浦半島	45.1%	35.1%	1.0%	0.3%	3.6%	15.0%	100.0%
(うち鎌倉地区)	47.5%	34.4%	0.6%	0.2%	2.8%	14.5%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	38.5%	36.9%	2.2%	0.3%	5.7%	16.4%	100.0%
県央	43.9%	43.3%	3.2%	0.7%	7.2%	1.7%	100.0%
湘南	40.8%	34.8%	2.7%	0.1%	4.2%	17.4%	100.0%
県西	46.1%	35.9%	2.1%	0.5%	4.8%	10.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	50.9%	32.0%	2.1%	0.2%	5.5%	9.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	33.6%	46.2%	2.1%	1.3%	2.9%	13.9%	100.0%
全県	46.5%	34.6%	1.8%	0.3%	5.2%	11.5%	100.0%

(満足の要因)

(宿泊)

	①食べ物・食事	②景観	③接客・応対	④施設自体の魅力	⑤交通の便	⑥アトラクション・体験の内容	⑦施設利用料・食事代等の価格	⑧観光情報の提供	⑨駐車場	⑩その他
川崎・横浜	61.1%	46.5%	35.9%	28.4%	36.9%	11.2%	11.8%	6.4%	1.3%	5.0%
（うち横浜地区）	63.3%	51.1%	36.0%	30.1%	34.4%	12.5%	11.1%	6.7%	1.3%	5.1%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	50.0%	23.5%	35.2%	19.9%	49.7%	4.5%	15.7%	4.5%	1.2%	4.5%
三浦半島	64.1%	60.1%	31.6%	26.4%	34.0%	8.5%	17.5%	6.7%	3.3%	7.5%
（うち鎌倉地区）	56.8%	66.2%	32.4%	20.6%	28.9%	6.3%	10.5%	9.1%	1.7%	9.1%
（うち鎌倉地区以外）	69.2%	55.9%	31.1%	30.4%	37.6%	10.1%	22.4%	5.1%	4.3%	6.5%
県央	49.5%	35.2%	47.6%	38.1%	20.0%	5.7%	15.2%	4.8%	2.9%	9.5%
湘南	43.5%	36.5%	34.9%	18.1%	30.0%	8.1%	13.8%	5.1%	1.6%	10.3%
県西	60.2%	52.8%	46.0%	33.4%	33.2%	5.4%	15.5%	4.6%	2.0%	7.9%
（うち箱根・湯河原地区）	59.6%	53.1%	46.8%	34.8%	34.4%	5.4%	15.8%	4.8%	2.2%	7.9%
（うち箱根・湯河原地区以外）	71.0%	48.4%	32.3%	10.8%	12.9%	5.4%	10.8%	1.1%	0.0%	6.5%
全県	59.6%	49.7%	38.9%	29.3%	34.4%	8.5%	14.1%	5.7%	1.9%	6.9%

(日帰り)

	①食べ物・食事	②景観	③接客・応対	④施設自体の魅力	⑤交通の便	⑥アトラクション・体験の内容	⑦施設利用料・食事代等の価格	⑧観光情報の提供	⑨駐車場	⑩その他
川崎・横浜	27.1%	52.8%	5.0%	26.9%	15.9%	8.9%	1.2%	1.5%	1.5%	8.3%
（うち横浜地区）	32.2%	58.6%	3.2%	18.5%	14.7%	10.9%	1.4%	1.8%	1.1%	8.4%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	14.4%	38.2%	9.5%	48.0%	19.0%	3.8%	0.5%	0.5%	2.7%	7.9%
三浦半島	26.8%	66.2%	2.5%	15.1%	12.0%	4.2%	0.5%	0.6%	0.6%	7.4%
（うち鎌倉地区）	20.0%	73.9%	2.4%	16.0%	13.5%	1.0%	0.1%	0.6%	0.4%	5.7%
（うち鎌倉地区以外）	47.3%	43.1%	2.9%	12.6%	7.5%	13.8%	1.7%	0.8%	1.3%	12.6%
県央	10.8%	61.2%	2.3%	16.8%	10.8%	11.8%	3.7%	1.7%	2.7%	11.2%
湘南	11.7%	58.9%	1.3%	26.4%	9.2%	5.3%	0.7%	0.8%	3.7%	12.9%
県西	18.8%	59.2%	4.6%	26.9%	15.5%	3.0%	1.6%	1.7%	0.9%	6.7%
（うち箱根・湯河原地区）	19.5%	61.6%	5.1%	23.0%	14.0%	3.7%	1.8%	1.6%	0.8%	8.2%
（うち箱根・湯河原地区以外）	16.8%	52.6%	3.2%	37.4%	19.5%	1.1%	1.1%	2.1%	1.1%	2.6%
全県	21.3%	59.0%	3.5%	22.8%	13.3%	6.6%	1.3%	1.3%	1.7%	8.8%

(不満足の原因)

(宿泊)

	①食べ物・食事	②景観	③接客・応対	④施設自体の魅力	⑤交通の便	⑥アトラクション・体験の内容	⑦施設利用料・食事代等の価格	⑧観光情報の提供	⑨駐車場	⑩その他
川崎・横浜	23.9%	13.0%	19.6%	15.2%	19.6%	8.7%	13.0%	8.7%	10.9%	26.1%
（うち横浜地区）	24.2%	12.1%	24.2%	18.2%	18.2%	6.1%	12.1%	12.1%	12.1%	21.2%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	23.1%	15.4%	7.7%	7.7%	23.1%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%	38.5%
三浦半島	17.6%	11.8%	5.9%	29.4%	11.8%	5.9%	17.6%	5.9%	11.8%	17.6%
（うち鎌倉地区）	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%
（うち鎌倉地区以外）	16.7%	16.7%	8.3%	33.3%	16.7%	8.3%	25.0%	0.0%	8.3%	16.7%
県央	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
湘南	12.5%	0.0%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
県西	36.1%	8.3%	19.4%	47.2%	25.0%	0.0%	16.7%	8.3%	11.1%	5.6%
（うち箱根・湯河原地区）	39.4%	9.1%	21.2%	45.5%	18.2%	0.0%	18.2%	9.1%	12.1%	6.1%
（うち箱根・湯河原地区以外）	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全県	25.5%	10.0%	20.0%	30.0%	20.0%	4.5%	13.6%	7.3%	10.0%	17.3%

(日帰り)

	①食べ物・食事	②景観	③接客・応対	④施設自体の魅力	⑤交通の便	⑥アトラクション・体験の内容	⑦施設利用料・食事代等の価格	⑧観光情報の提供	⑨駐車場	⑩その他
川崎・横浜	15.4%	26.9%	0.0%	23.1%	11.5%	0.0%	15.4%	7.7%	3.8%	26.9%
（うち横浜地区）	16.7%	27.8%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	16.7%	11.1%	0.0%	27.8%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	12.5%	25.0%	0.0%	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%
三浦半島	0.0%	6.7%	13.3%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	40.0%
（うち鎌倉地区）	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%
（うち鎌倉地区以外）	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%
県央	4.3%	4.3%	0.0%	17.4%	17.4%	34.8%	4.3%	0.0%	13.0%	47.8%
湘南	4.5%	13.6%	4.5%	18.2%	9.1%	4.5%	22.7%	4.5%	4.5%	18.2%
県西	4.5%	18.2%	4.5%	22.7%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	50.0%
（うち箱根・湯河原地区）	7.1%	21.4%	7.1%	28.6%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	35.7%
（うち箱根・湯河原地区以外）	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
全県	6.5%	14.8%	3.7%	19.4%	11.1%	9.3%	10.2%	3.7%	5.6%	36.1%

同時に再来訪意向も強く、宿泊客では 81.9%、日帰り客では 70.2%が「また来たい」「機会があれば来たい」としている。

また、来訪回数と再来訪意向の関係を見ると、宿泊客、日帰り客ともに来訪回数が多くなるほど、また来たいと回答する割合が高くなっている。

(宿泊)

	また来たい	機会があれば来たい	どちらとも言えない	あまり来たいと思わない	来たいと思わない	無回答	総計
県内在住	61.5%	12.1%	6.2%	0.2%	0.0%	20.0%	100.0%
初めて	46.0%	35.2%	7.4%	2.2%	0.0%	9.3%	100.0%
2回目	50.5%	34.9%	5.5%	0.7%	0.3%	8.1%	100.0%
3～5回	58.2%	27.0%	4.2%	0.1%	0.0%	10.6%	100.0%
6～9回	60.0%	24.0%	5.2%	0.7%	0.0%	10.2%	100.0%
10回以上	70.8%	14.5%	3.7%	0.1%	0.0%	10.7%	100.0%
無回答	38.1%	25.4%	1.7%	0.6%	0.0%	34.3%	100.0%
総計	62.1%	19.8%	4.7%	0.3%	0.0%	13.1%	100.0%

(日帰り)

	また来たい	機会があれば来たい	どちらとも言えない	あまり来たいと思わない	来たいと思わない	無回答	総計
県内在住	49.8%	8.8%	2.2%	0.2%	0.1%	39.0%	100.0%
初めて	68.1%	20.4%	3.7%	0.5%	0.0%	7.3%	100.0%
2回目	65.9%	20.7%	5.0%	1.1%	0.0%	7.3%	100.0%
3～5回	69.9%	21.9%	2.3%	0.0%	0.3%	5.6%	100.0%
6～9回	77.2%	14.4%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	100.0%
10回以上	81.3%	10.5%	1.4%	0.2%	0.2%	6.4%	100.0%
無回答	31.2%	5.8%	0.6%	0.0%	0.6%	61.7%	100.0%
総計	59.1%	11.1%	2.2%	0.2%	0.1%	27.2%	100.0%

○宿泊客の平均消費単価は 30,511 円、日帰り客では 4,682 円。

宿泊客の平均消費単価は 30,511 円、日帰り客では 4,682 円となっている。

他地域の調査結果と比較して、相対的に平均消費単価は低いですが、この要因としては、本調査では旅行にかかった費用の総額ではなく、県内で支払われた金額のみ回答を得ていること、また、一人当たりの金額として回答を得ていることなどが影響していると思われる。

(宿泊)項目別 県内分

	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買 い物代	施設入場 料・施設利 用料	その他	計
	電車代・タ クシー・バ ス代	駐車場・ガ ソリン・レン タカー代	周遊券など						
川崎・横浜	1,870	870	151	11,777	8,721	6,532	1,410	599	31,930
(うち横浜地区)	1,646	887	164	11,291	8,727	7,084	1,473	599	31,872
(うち横浜地区以外(川崎地区))	2,869	796	94	13,944	8,693	4,070	1,127	601	32,192
三浦半島	1,309	898	129	13,896	5,155	4,173	1,554	389	27,503
(うち鎌倉地区)	1,553	355	131	12,581	7,000	4,696	1,575	226	28,117
(うち鎌倉地区以外)	1,126	1,304	127	14,880	3,775	3,782	1,538	512	27,044
県央	1,261	1,429	23	17,859	4,800	1,711	619	200	27,902
湘南	2,490	1,494	78	12,058	7,599	3,659	1,580	781	29,739
県西	1,585	984	551	17,125	4,146	4,317	1,326	338	30,374
(うち箱根・湯河原地区)	1,602	979	571	17,232	4,236	4,444	1,367	330	30,760
(うち箱根・湯河原地区以外)	1,302	1,073	210	15,314	2,631	2,162	627	485	23,804
全県	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489	30,511

(日帰り)項目別 県内分

	交通費			飲食代	土産品・買 い物代	施設入場 料・施設利 用料	その他	合計
	電車代・タ クシー・バ ス代	駐車場・ガ ソリン・レン タカー代	周遊券など					
川崎・横浜	921	335	30	1,618	1,078	498	35	4,515
(うち横浜地区)	1,028	375	38	1,813	1,078	596	11	4,939
(うち横浜地区以外(川崎地区))	637	229	8	1,100	1,076	236	99	3,385
三浦半島	795	472	93	1,765	1,367	408	7	4,908
(うち鎌倉地区)	862	307	99	1,593	1,289	418	8	4,576
(うち鎌倉地区以外)	611	926	79	2,236	1,583	381	7	5,822
県央	213	561	18	1,080	588	352	20	2,832
湘南	876	482	48	1,093	548	827	42	3,916
県西	1,362	721	114	1,773	1,426	1,137	48	6,579
(うち箱根・湯河原地区)	1,653	854	158	2,029	1,550	1,349	58	7,651
(うち箱根・湯河原地区以外)	628	385	2	1,127	1,115	603	21	3,881
全県	880	482	61	1,539	1,071	620	30	4,682

また、訪問者調査の土産物についての自由回答より内容を区分し、購入者単価と購入者数を推計し、総額ベースでの内訳を推計した。それによれば、全県では「食料品」が 40.2%で最も高く、「繊維製品」26.4%、「その他の工業製品」12.1%と続いている。

(土産品の内訳推計・総額ベース)

	農林水産業	食料品	繊維製品	パルプ・紙・ 木製品	その他の製 造工業製品	窯業・土木 製品	金属製品	電気機械	合計
川崎・横浜	0.7%	32.1%	43.5%	3.7%	15.2%	2.2%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区)	0.5%	31.0%	45.2%	3.1%	15.7%	1.8%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	39.6%	31.3%	8.5%	11.8%	5.1%	2.2%	0.0%	100.0%
三浦半島	23.8%	41.9%	10.2%	9.1%	10.6%	0.8%	3.6%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.9%	54.6%	11.0%	15.4%	10.4%	1.5%	5.2%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	51.1%	26.1%	9.1%	1.2%	10.8%	0.0%	1.6%	0.0%	100.0%
県央	31.7%	37.5%	7.5%	4.0%	7.1%	12.1%	0.0%	0.0%	100.0%
湘南	6.3%	33.9%	37.0%	4.3%	14.2%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%
県西	9.7%	54.6%	7.1%	9.5%	7.9%	9.4%	1.8%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	8.5%	55.4%	5.6%	10.3%	8.1%	10.1%	2.0%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	24.6%	44.5%	25.6%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全県	8.3%	40.2%	26.4%	6.3%	12.1%	4.3%	2.3%	0.1%	100.0%

なお、居住地別にみると、宿泊客、日帰り客ともに「関東」「東海」といった比較的アクセスの良い地域と比較してそれ以外の地域では単価が高い傾向にある。

(宿泊)

(円)

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など					
北海道	40,654	2,807	902	195	14,783	11,433	6,985	3,271	278
東北	32,693	2,033	691	168	11,400	8,494	7,972	1,392	542
関東	29,110	1,343	1,031	286	14,815	5,546	4,284	1,364	442
甲信越	29,845	1,507	1,362	193	9,687	7,972	6,316	1,792	1,015
北陸	30,488	2,210	697	533	11,833	7,418	5,940	1,774	83
東海	30,215	1,518	1,397	134	12,505	6,853	6,103	1,488	217
近畿	34,585	2,645	828	195	14,727	8,096	6,334	1,295	464
中国	31,957	3,850	278	664	10,600	7,539	6,570	1,310	1,145
四国	38,149	3,968	407	1,174	14,738	10,500	5,137	981	1,245
九州	33,856	3,500	173	169	10,902	9,834	7,417	863	997
その他(海外)	67,388	7,688	0	138	33,375	17,125	8,688	375	0
無回答	14,749	534	214	225	9,963	2,549	625	640	0
総計	30,511	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489

(日帰り)

(円)

	総額	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など				
北海道	11,082	8,065	0	0	838	1,625	554	0
東北	11,506	5,187	17	333	1,967	3,667	336	0
関東	4,357	731	469	47	1,492	974	612	32
甲信越	8,267	2,006	767	20	2,260	2,533	680	0
北陸	11,273	0	455	1,818	2,273	6,318	409	0
東海	6,787	1,316	973	130	1,823	1,679	845	20
近畿	10,724	5,341	471	794	1,651	1,915	553	0
中国	19,242	8,222	0	0	8,512	2,192	315	0
四国	7,943	193	0	0	4,750	2,333	667	0
九州	8,517	2,304	89	57	2,239	3,263	563	0
その他(海外)	6,743	500	143	0	1,814	3,571	714	0
無回答	4,146	407	783	20	1,117	435	1,385	0
総数	4,682	880	482	61	1,539	1,071	620	30

また、県内在住者と県外からの訪問者を比較すると、宿泊客、日帰り客ともに県外からの訪問者の方が、消費総額が高くなっている。

(宿泊)

(円)

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など					
県外	31,068	1,870	905	289	13,646	6,836	5,570	1,448	504
県内	28,407	1,203	1,234	203	15,335	5,329	3,444	1,223	435
無回答	1,710	0	1,710	0	0	0	0	0	0
総計	30,511	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489

(日帰り)

(円)

	総額	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など				
県外	6,336	1,421	573	115	1,901	1,605	686	35
県内	3,622	535	421	27	1,309	732	571	27
無回答	4,146	407	783	20	1,117	435	1,385	0
総計	4,682	880	482	61	1,539	1,071	620	30

来訪回数と消費総額の関係を見ると、宿泊客では、来訪回数が多くなるにつれて消費総額高くなるのに対し、日帰り客では2回より来訪回数が多くなるにつれて消費総額が低くなる傾向にある。

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など					
県内在住	28,455	1,184	1,239	205	15,516	5,366	3,274	1,233	438
初めて	31,035	2,513	694	564	12,319	7,098	5,889	1,710	247
2回目	27,738	1,789	1,041	157	10,254	6,625	5,583	1,909	380
3～5回	29,235	1,701	781	283	12,281	6,445	5,483	1,829	432
6～9回	32,073	1,966	1,058	216	14,273	6,893	6,030	1,299	338
10回以上	32,296	1,829	963	266	14,904	7,021	5,498	1,205	610
無回答	28,960	2,235	624	555	11,415	6,047	6,182	1,146	757
総計	30,511	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489

	総額	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など				
県内在住	3,636	536	422	25	1,311	736	576	30
初めて	6,488	1,884	413	77	1,489	1,770	780	74
2回目	7,224	1,807	517	211	2,211	1,854	623	0
3～5回	7,071	1,795	596	169	1,946	1,825	716	24
6～9回	6,388	1,488	399	250	1,841	1,736	644	30
10回以上	5,632	1,015	654	52	1,880	1,355	644	33
無回答	4,860	1,095	313	125	1,468	1,022	836	0
総計	4,682	880	482	61	1,539	1,071	620	30

また、男女別に消費総額をみると、宿泊客、日帰り客ともに女性の方が土産品・買い物代の金額が高くなっている。

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など					
男性	31,232	1,738	1,159	207	14,707	7,107	4,231	1,547	536
女性	30,060	1,675	828	341	13,407	6,120	5,936	1,271	482
無回答	29,008	2,169	840	155	13,681	5,608	4,925	1,426	205
合計	30,511	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489

	総額	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など				
男性	4,468	807	596	60	1,505	871	591	39
女性	4,805	905	394	64	1,494	1,265	662	21
無回答	4,993	1,052	411	56	1,842	1,041	562	30
合計	4,682	880	482	61	1,539	1,071	620	30

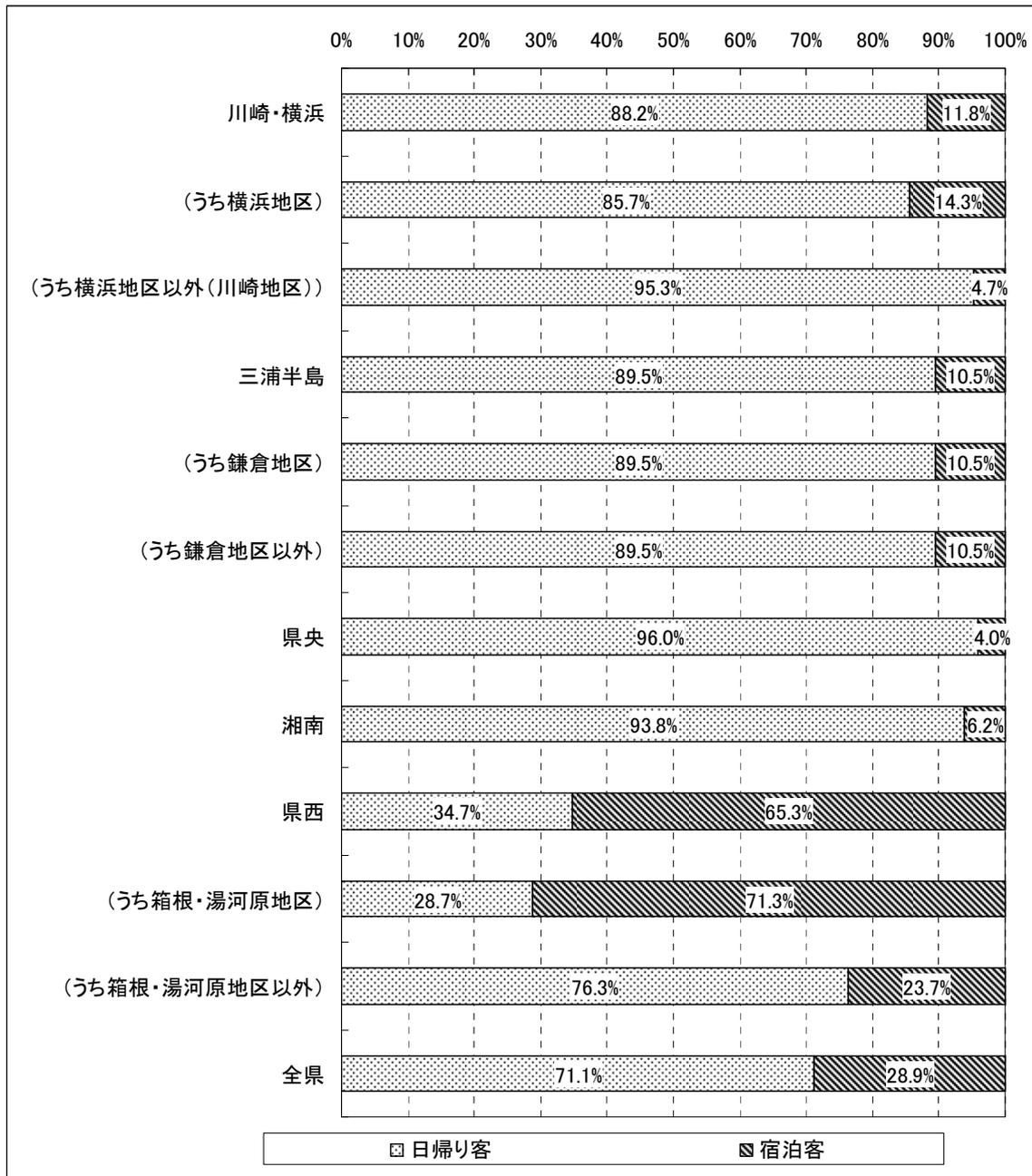
2-2 地域ごとの特性

2-2-1 川崎・横浜

○首都圏からの日帰り観光の目的地となっている

○宿泊客は広域的に全国から集客している

日帰り客が観光客全体の88.2%を占める日帰り観光中心の地域である。



宿泊客は 86.8%が県外客であり、うち首都圏以外からの来訪が 63.9%を占める。

日帰り客では 59.4%が県内客であり、宿泊客とは逆の傾向を示している。県外客 39.1%うち首都圏の占める比率は全県と比較すると若干高い水準となっており、首都圏からの日帰り観光の目的地となっている様子が見えてくる。

(宿泊)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	12.9%	22.9%	63.9%	0.3%	100.0%
(うち横浜地区)	13.8%	25.1%	61.0%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.2%	13.6%	76.3%	0.9%	100.0%
三浦半島	22.2%	46.4%	31.0%	0.4%	100.0%
(うち鎌倉地区)	6.9%	37.6%	55.2%	0.3%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	33.3%	52.8%	13.5%	0.4%	100.0%
県央	49.1%	37.9%	12.9%	0.0%	100.0%
湘南	11.9%	30.2%	57.2%	0.6%	100.0%
県西	31.3%	52.7%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	30.6%	53.3%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	43.3%	41.3%	14.4%	1.0%	100.0%
全県	21.1%	37.1%	41.4%	0.5%	100.0%

(日帰り)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	59.4%	30.0%	9.1%	1.5%	100.0%
(うち横浜地区)	59.6%	28.6%	10.4%	1.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	59.1%	33.6%	5.8%	1.6%	100.0%
三浦半島	55.0%	33.8%	11.0%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	48.3%	36.6%	14.9%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	73.5%	26.2%	0.3%	0.0%	100.0%
県央	75.8%	22.1%	1.3%	0.8%	100.0%
湘南	74.2%	19.9%	5.4%	0.4%	100.0%
県西	49.5%	34.7%	13.7%	2.2%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	43.1%	38.6%	15.2%	3.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	66.0%	24.4%	9.7%	0.0%	100.0%
全県	60.9%	29.2%	8.8%	1.0%	100.0%

○幅広い年代が買い物・飲食や自然・風景鑑賞を目的に少人数グループで来訪している。

全県と比較すると20～40代の比率が若干高くなっているものの、やはり幅広い年代の客層が来訪している。また、来訪人数は全県と比較すると3人以下の比率が高くなっている。

(宿泊)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	1.1%	11.4%	26.1%	25.8%	20.4%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区)	1.2%	11.7%	27.3%	25.3%	19.2%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.9%	10.1%	21.0%	27.9%	25.3%	13.8%	0.9%	100.0%
三浦半島	1.5%	9.9%	15.9%	20.5%	23.2%	26.8%	2.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.8%	17.6%	17.6%	18.5%	25.7%	16.7%	2.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	1.3%	4.3%	14.6%	21.9%	21.5%	34.1%	2.4%	100.0%
県央	0.0%	7.8%	23.3%	19.0%	22.4%	25.9%	1.7%	100.0%
湘南	1.7%	10.1%	20.3%	22.9%	22.2%	20.1%	2.7%	100.0%
県西	1.3%	8.5%	17.5%	15.7%	22.2%	32.2%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.4%	8.4%	17.0%	16.0%	22.2%	32.3%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	9.6%	26.0%	9.6%	22.1%	29.8%	2.9%	100.0%
全県	1.3%	10.0%	21.2%	21.3%	21.6%	22.7%	1.9%	100.0%

(日帰り)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	4.6%	12.3%	20.8%	15.0%	15.9%	23.9%	7.4%	100.0%
(うち横浜地区)	5.8%	14.7%	21.9%	14.8%	15.6%	21.9%	5.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	6.4%	18.0%	15.6%	16.9%	29.1%	12.4%	100.0%
三浦半島	3.3%	16.2%	21.3%	16.0%	16.7%	22.8%	3.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	4.3%	18.0%	17.7%	15.8%	15.8%	24.3%	4.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	0.6%	11.4%	31.2%	16.4%	19.2%	18.6%	2.5%	100.0%
県央	2.2%	13.5%	22.1%	21.2%	18.0%	16.2%	6.9%	100.0%
湘南	3.0%	18.6%	23.9%	14.5%	14.0%	22.2%	3.8%	100.0%
県西	1.1%	14.9%	23.9%	17.5%	16.0%	20.2%	6.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.0%	16.6%	21.8%	18.7%	16.0%	18.9%	6.9%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.3%	10.5%	29.4%	14.3%	16.0%	23.5%	5.0%	100.0%
全県	3.1%	14.8%	22.1%	16.3%	16.1%	21.8%	5.7%	100.0%

(宿泊)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	22.1%	44.4%	13.4%	10.5%	3.3%	1.3%	0.9%	2.9%	1.2%	100.0%
(うち横浜地区)	16.2%	47.0%	15.0%	11.9%	3.7%	1.2%	0.8%	3.1%	1.0%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.5%	33.2%	6.5%	4.4%	1.6%	1.8%	1.2%	2.1%	1.8%	100.0%
三浦半島	10.6%	44.8%	14.4%	13.0%	5.1%	3.4%	2.6%	5.4%	0.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	56.7%	11.3%	6.6%	1.8%	0.3%	0.3%	1.2%	0.9%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	36.3%	16.5%	17.6%	7.5%	5.6%	4.3%	8.4%	0.6%	100.0%
県央	10.3%	39.7%	15.5%	12.1%	5.2%	2.6%	3.4%	11.2%	0.0%	100.0%
湘南	38.4%	30.6%	9.9%	7.1%	2.5%	2.1%	0.4%	7.5%	1.5%	100.0%
県西	1.3%	49.6%	17.3%	12.0%	6.1%	4.4%	2.0%	5.5%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	50.3%	17.3%	12.0%	6.2%	4.4%	1.9%	5.1%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	37.5%	17.3%	12.5%	5.8%	5.8%	4.8%	12.5%	2.9%	100.0%
全県	14.7%	44.9%	14.6%	11.1%	4.5%	2.7%	1.5%	4.7%	1.3%	100.0%

(日帰り)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	17.2%	43.0%	14.5%	9.4%	4.1%	1.9%	1.5%	6.5%	2.0%	100.0%
(うち横浜地区)	17.7%	45.1%	14.7%	8.7%	3.5%	1.6%	1.2%	5.8%	1.8%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	37.8%	14.0%	11.1%	5.3%	2.7%	2.4%	8.2%	2.7%	100.0%
三浦半島	10.2%	46.8%	15.1%	12.3%	5.4%	2.0%	0.8%	6.3%	1.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	12.1%	52.4%	14.2%	8.9%	2.5%	1.4%	0.7%	6.5%	1.4%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	31.2%	17.4%	21.8%	13.2%	3.8%	1.3%	5.7%	0.6%	100.0%
県央	8.1%	39.6%	19.4%	18.2%	6.4%	2.4%	0.8%	4.4%	0.8%	100.0%
湘南	16.2%	35.7%	16.9%	11.6%	6.8%	2.5%	1.1%	6.6%	2.5%	100.0%
県西	6.4%	43.1%	14.9%	12.7%	7.5%	3.0%	1.3%	7.7%	3.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	6.0%	45.7%	14.1%	12.4%	6.1%	2.7%	0.6%	8.2%	4.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.6%	36.1%	17.2%	13.4%	10.9%	3.8%	2.9%	6.3%	1.7%	100.0%
全県	12.4%	42.4%	15.7%	12.0%	5.7%	2.3%	1.2%	6.4%	2.0%	100.0%

同行者としては宿泊客では夫婦が25.6%と最も多く、子ども連れの家族が23.5%で続いている。また、日帰り客では友人・知人が25.7%で最も多く、子ども連れ家族が21.5%、夫婦が20.2%と続いている。

(宿泊)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族 (両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	22.1%	25.6%	23.5%	11.4%	13.1%	4.1%	0.3%	0.4%	0.9%
(うち横浜地区)	16.2%	27.6%	26.6%	12.6%	14.1%	3.3%	0.2%	0.3%	0.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.2%	17.1%	9.9%	6.2%	8.8%	7.8%	0.7%	0.7%	0.9%
三浦半島	10.6%	28.3%	26.5%	17.1%	16.9%	2.5%	0.4%	0.1%	2.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	29.6%	16.1%	14.0%	14.0%	2.1%	0.0%	0.3%	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	27.5%	33.9%	19.3%	18.9%	2.8%	0.6%	0.0%	1.3%
県央	10.3%	26.7%	19.8%	16.4%	21.6%	2.6%	1.7%	2.6%	1.7%
湘南	38.4%	15.5%	11.9%	8.4%	10.3%	9.2%	1.9%	1.7%	1.9%
県西	1.3%	36.6%	21.9%	22.2%	18.1%	2.0%	0.8%	0.5%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	37.2%	22.0%	22.4%	17.4%	1.7%	0.5%	0.6%	0.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	26.9%	20.2%	19.2%	28.8%	5.8%	5.8%	0.0%	2.9%
全県	14.7%	28.8%	22.3%	15.7%	15.2%	3.6%	0.6%	0.6%	1.2%

(日帰り)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族 (両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	17.2%	20.2%	21.5%	10.2%	25.7%	0.9%	2.0%	2.2%	0.6%
(うち横浜地区)	17.7%	20.1%	19.8%	8.6%	28.6%	1.0%	2.2%	2.2%	0.7%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	20.4%	25.6%	14.2%	18.4%	0.9%	1.6%	2.2%	0.4%
三浦半島	10.3%	25.7%	19.8%	9.1%	31.9%	1.4%	2.6%	1.0%	0.7%
(うち鎌倉地区)	12.2%	24.8%	12.6%	8.2%	35.2%	1.3%	2.7%	1.1%	0.7%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	28.1%	39.7%	11.7%	22.7%	1.9%	2.2%	0.6%	0.6%
県央	7.7%	28.8%	37.9%	7.9%	12.6%	0.5%	2.0%	1.7%	1.0%
湘南	14.9%	19.3%	28.0%	6.1%	28.4%	1.8%	1.6%	1.0%	2.4%
県西	6.2%	23.9%	27.5%	10.0%	27.3%	2.2%	1.8%	0.9%	1.6%
(うち箱根・湯河原地区)	5.8%	23.7%	22.3%	10.0%	29.7%	2.3%	1.9%	0.6%	1.5%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.1%	24.4%	41.2%	10.1%	21.0%	2.1%	1.3%	1.7%	2.1%
全県	12.2%	23.0%	25.1%	9.0%	26.3%	1.4%	2.1%	1.5%	1.1%

来訪の目的としては宿泊客では買い物・飲食が27.2%、日帰り客では自然・風景鑑賞が32.7%とそれぞれ最も高くなっている。

(宿泊)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	買い物・飲食	27.2%	その他の「見物・鑑賞」	16.5%	行祭り・イベントなどの見物	14.5%	遊園地などのレジャー施設	12.3%	自然・風景鑑賞	8.8%
(うち横浜地区)	買い物・飲食	30.8%	その他の「見物・鑑賞」	17.3%	行祭り・イベントなどの見物	15.2%	遊園地などのレジャー施設	14.5%	自然・風景鑑賞	10.1%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	その他の「見物・鑑賞」	13.4%	買い物・飲食	11.8%	行祭り・イベントなどの見物	11.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	5.3%	その他の「体験」	4.6%
三浦半島	温泉浴	27.6%	自然・風景鑑賞	24.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	20.0%	買い物・飲食	19.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.9%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	40.9%	自然・風景鑑賞	22.7%	買い物・飲食	21.2%	行祭り・イベントなどの見物	9.9%	その他の「見物・鑑賞」	9.0%
(うち鎌倉地区以外)	温泉浴	45.3%	自然・風景鑑賞	25.8%	買い物・飲食	18.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.8%	博物館・動植物園などの見物	8.2%
県央	温泉浴	57.8%	自然・風景鑑賞	16.4%	趣味・研究	9.5%	ハイキング・ピクニック	8.6%	買い物・飲食	6.9%
湘南	遺跡・文化財などの鑑賞	13.0%	行祭り・イベントなどの見物	10.7%	自然・風景鑑賞	9.6%	その他の「見物・鑑賞」	9.6%	買い物・飲食	8.6%
県西	温泉浴	71.4%	自然・風景鑑賞	26.9%	買い物・飲食	14.5%	博物館・動植物園などの見物	11.5%	その他の「見物・鑑賞」	7.8%
(うち箱根・湯河原地区)	温泉浴	73.6%	自然・風景鑑賞	26.8%	買い物・飲食	13.8%	博物館・動植物園などの見物	12.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	温泉浴	35.6%	自然・風景鑑賞	27.9%	買い物・飲食	26.0%	ドライブ	7.7%	その他の「見物・鑑賞」	4.8%
全県	温泉浴	29.9%	買い物・飲食	19.9%	自然・風景鑑賞	17.3%	その他の「見物・鑑賞」	11.7%	行祭り・イベントなどの見物	9.5%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	博物館・動植物園などの見物	7.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	7.5%	その他の「体験」	3.3%	スポーツ見物	2.7%	その他の「運動」	2.3%
(うち横浜地区)	博物館・動植物園などの見物	8.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	8.0%	その他の「体験」	3.0%	スポーツ見物	2.6%	その他の「運動」	2.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	自然・風景鑑賞	3.2%	遊園地などのレジャー施設	3.2%	博物館・動植物園などの見物	2.8%	スポーツ見物	2.8%	趣味・研究	2.5%
三浦半島	行祭り・イベントなどの見物	7.4%	博物館・動植物園などの見物	6.2%	その他の「体験」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.5%	ハイキング・ピクニック	4.4%
(うち鎌倉地区)	その他の「体験」	5.1%	博物館・動植物園などの見物	3.6%	ハイキング・ピクニック	3.6%	温泉浴	3.0%	その他の「運動」	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	遊園地などのレジャー施設	6.9%	ドライブ	5.8%	行祭り・イベントなどの見物	5.6%	その他の「体験」	5.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	4.9%
県央	その他の「見物・鑑賞」	5.2%	ドライブ	5.2%	その他の「体験」	3.4%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.6%	果物狩り	2.6%
湘南	その他の「体験」	6.1%	その他の「運動」	4.8%	温泉浴	4.4%	博物館・動植物園などの見物	4.0%	趣味・研究	3.1%
県西	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.3%	行祭り・イベントなどの見物	4.2%	ハイキング・ピクニック	4.2%	趣味・研究	3.7%
(うち箱根・湯河原地区)	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.5%	行祭り・イベントなどの見物	4.3%	ハイキング・ピクニック	4.1%	趣味・研究	3.7%
(うち箱根・湯河原地区以外)	釣り	4.8%	ハイキング・ピクニック	4.8%	博物館・動植物園などの見物	3.8%	タイピングなどのマリンスポーツ	3.8%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.9%
全県	遺跡・文化財などの鑑賞	9.3%	博物館・動植物園などの見物	8.2%	遊園地などのレジャー施設	7.1%	ドライブ	3.9%	その他の「体験」	3.3%

(日帰り)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	自然・風景鑑賞	32.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.5%	買い物・飲食	17.0%	行祭事・イベントなどの見物	9.8%	博物館・動植物園などの見物	7.1%
(うち横浜地区)	自然・風景鑑賞	37.7%	買い物・飲食	22.9%	遺跡・文化財などの鑑賞	13.5%	行祭事・イベントなどの見物	12.9%	博物館・動植物園などの見物	8.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	遺跡・文化財などの鑑賞	27.6%	自然・風景鑑賞	20.0%	趣味・研究	4.4%	ハイキング・ピクニック	4.2%	博物館・動植物園などの見物	2.4%
三浦半島	自然・風景鑑賞	43.0%	遺跡・文化財などの鑑賞	42.9%	買い物・飲食	14.3%	ハイキング・ピクニック	10.2%	行祭事・イベントなどの見物	6.3%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	58.0%	自然・風景鑑賞	46.4%	ハイキング・ピクニック	11.6%	行祭事・イベントなどの見物	7.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.8%
(うち鎌倉地区以外)	買い物・飲食	37.9%	自然・風景鑑賞	33.8%	遊園地などのレジャー施設	21.5%	ドライブ	12.0%	温泉浴	7.3%
県央	自然・風景鑑賞	55.7%	ハイキング・ピクニック	14.6%	遊園地などのレジャー施設	12.5%	行祭事・イベントなどの見物	10.1%	ドライブ	10.1%
湘南	自然・風景鑑賞	40.7%	博物館・動植物園などの見物	16.3%	ハイキング・ピクニック	10.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%	ドライブ	7.2%
県西	自然・風景鑑賞	53.1%	温泉浴	32.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.9%	博物館・動植物園などの見物	9.9%	ドライブ	7.9%
(うち箱根・湯河原地区)	自然・風景鑑賞	55.3%	温泉浴	40.4%	博物館・動植物園などの見物	8.9%	ドライブ	7.8%	買い物・飲食	5.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	遺跡・文化財などの鑑賞	51.3%	自然・風景鑑賞	47.5%	博物館・動植物園などの見物	12.6%	温泉浴	10.9%	ドライブ	8.4%
全県	自然・風景鑑賞	42.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	19.6%	買い物・飲食	11.3%	博物館・動植物園などの見物	7.5%	ハイキング・ピクニック	7.2%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	その他の「見物・鑑賞」	6.5%	遊園地などのレジャー施設	5.2%	ハイキング・ピクニック	3.3%	趣味・研究	2.7%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区)	その他の「見物・鑑賞」	8.5%	遊園地などのレジャー施設	7.3%	ハイキング・ピクニック	2.9%	趣味・研究	2.0%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	行祭事・イベントなどの見物	2.0%	買い物・飲食	2.0%	その他の「運動」	2.0%	その他の「体験」	1.8%	その他の「見物・鑑賞」	1.6%
三浦半島	その他の「見物・鑑賞」	6.2%	遊園地などのレジャー施設	5.9%	ドライブ	5.4%	温泉浴	2.8%	趣味・研究	2.8%
(うち鎌倉地区)	買い物・飲食	5.8%	ドライブ	3.0%	その他の「運動」	2.7%	趣味・研究	2.6%	博物館・動植物園などの見物	1.9%
(うち鎌倉地区以外)	その他の「体験」	6.6%	ハイキング・ピクニック	6.3%	果物狩り	6.0%	博物館・動植物園などの見物	4.4%	その他の「見物・鑑賞」	4.4%
県央	買い物・飲食	5.6%	趣味・研究	3.9%	博物館・動植物園などの見物	3.0%	その他の「見物・鑑賞」	3.0%	温泉浴	2.5%
湘南	登山	6.4%	買い物・飲食	5.6%	スポーツ見物	4.0%	その他の「体験」	3.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	3.5%
県西	買い物・飲食	6.2%	その他の「見物・鑑賞」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.4%	趣味・研究	2.6%	ハイキング・ピクニック	2.2%
(うち箱根・湯河原地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	5.0%	遊園地などのレジャー施設	4.8%	その他の「見物・鑑賞」	4.2%	ハイキング・ピクニック	2.4%	趣味・研究	2.3%
(うち箱根・湯河原地区以外)	その他の「見物・鑑賞」	7.6%	買い物・飲食	7.1%	行祭事・イベントなどの見物	5.9%	その他の「運動」	5.0%	遊園地などのレジャー施設	3.4%
全県	温泉浴	6.8%	行祭事・イベントなどの見物	6.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.0%	遊園地などのレジャー施設	5.8%	ドライブ	5.3%

以上のことから、比較的若い世代が買い物や飲食、自然観賞などを目的に夫婦や子ども連れ家族などの少人数グループで来訪していることがうかがえる。

○他の地域と比較して鉄道やバスなど公共交通機関の路線や運行本数が充実しているため
鉄道の利用率が高い

交通手段としては宿泊客ではJR在来線が37.5%と最も高く、その他私鉄が23.8%となっているが、自家用車も24.9%の利用率となっている。

日帰り客では、その他私鉄が29.4%で最も高く、自家用車が28.7%でそれに続いている。

(宿泊)

	①航空機	②新幹線	③JR在来線	④その他私鉄	⑤貸切バス・定期観光バス	⑥高速バス	⑦路線バス	⑧自家用車	⑨タクシー	⑩レンタカー	⑪船舶(フェリー、遊覧船など)	⑫その他
川崎・横浜	16.5%	29.0%	37.5%	23.8%	1.1%	3.5%	3.4%	24.9%	4.4%	0.9%	1.4%	0.4%
(うち横浜地区)	15.0%	27.3%	36.8%	24.6%	1.3%	3.5%	3.2%	27.8%	4.2%	0.7%	1.7%	0.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	22.8%	36.4%	40.3%	20.5%	0.5%	3.5%	4.1%	12.2%	4.8%	1.8%	0.2%	0.9%
三浦半島	5.9%	16.4%	35.6%	30.5%	0.9%	1.6%	7.1%	38.1%	4.4%	1.4%	0.6%	1.2%
(うち鎌倉地区)	10.7%	33.1%	58.8%	24.2%	0.6%	3.0%	5.4%	17.3%	5.7%	0.9%	0.3%	1.2%
(うち鎌倉地区以外)	2.4%	4.3%	18.9%	35.0%	1.1%	0.6%	8.4%	53.0%	3.4%	1.7%	0.9%	1.3%
県央	2.6%	6.0%	14.7%	25.0%	0.9%	0.0%	12.9%	62.1%	4.3%	2.6%	0.0%	2.6%
湘南	10.7%	23.5%	42.6%	23.1%	0.2%	3.4%	5.9%	30.8%	4.8%	2.1%	0.8%	1.0%
県西	1.4%	7.8%	21.2%	33.2%	1.7%	1.7%	8.2%	44.4%	3.8%	1.3%	3.2%	1.3%
(うち箱根・湯河原地区)	1.5%	8.0%	20.3%	34.7%	1.7%	1.8%	8.6%	44.0%	3.7%	1.2%	3.4%	1.1%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	4.8%	35.6%	6.7%	1.9%	0.0%	1.0%	51.0%	4.8%	1.9%	1.0%	3.8%
全県	9.1%	19.2%	31.8%	27.8%	1.2%	2.5%	5.9%	34.6%	4.2%	1.2%	1.8%	0.9%

(日帰り)

	①航空機	②新幹線	③JR在来線	④その他私鉄	⑤貸切バス・定期観光バス	⑥高速バス	⑦路線バス	⑧自家用車	⑨タクシー	⑩レンタカー	⑪船舶(フェリー、遊覧船など)	⑫その他
川崎・横浜	0.4%	1.8%	22.0%	29.4%	1.8%	0.1%	7.5%	28.7%	0.8%	0.1%	0.2%	3.3%
(うち横浜地区)	0.4%	2.1%	26.7%	25.5%	1.7%	0.0%	8.9%	25.0%	0.8%	0.1%	0.3%	2.4%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.2%	0.9%	10.2%	39.3%	2.0%	0.2%	3.8%	38.0%	0.9%	0.0%	0.0%	5.6%
三浦半島	0.3%	1.0%	49.0%	11.5%	2.0%	0.3%	4.9%	28.5%	0.8%	0.2%	0.3%	2.5%
(うち鎌倉地区)	0.5%	1.4%	65.7%	6.8%	2.1%	0.3%	2.8%	15.8%	0.7%	0.2%	0.2%	2.8%
(うち鎌倉地区以外)	0.0%	0.0%	2.8%	24.6%	1.9%	0.0%	10.7%	63.4%	0.9%	0.0%	0.6%	1.6%
県央	0.0%	0.0%	5.2%	4.2%	0.5%	0.0%	3.4%	63.3%	0.0%	0.2%	0.0%	5.1%
湘南	0.1%	0.5%	7.4%	30.4%	0.5%	0.1%	4.5%	35.9%	0.1%	0.4%	0.0%	4.9%
県西	0.2%	1.4%	13.9%	26.5%	2.5%	0.8%	4.3%	47.7%	0.4%	0.8%	0.1%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	0.3%	1.3%	7.9%	32.8%	2.9%	1.1%	4.5%	48.5%	0.3%	1.1%	0.2%	0.6%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	1.7%	29.4%	10.1%	1.3%	0.0%	3.8%	45.8%	0.4%	0.0%	0.0%	1.7%
全県	0.3%	1.1%	22.8%	21.8%	1.6%	0.2%	5.4%	37.1%	0.5%	0.3%	0.2%	3.2%

※日帰り客調査の夏季、秋期調査においては交通手段を尋ねる質問を設けなかったため、消費額の回答内容等から類推している。

○食事や買い物といった来訪目的が実際の消費にも結びついている。

消費単価は宿泊客では 31,930 円と全県と比較して高くなっており、特に、飲食代や土産品・買い物代の金額が高くなっている。

日帰り客では圏域全体では 4,515 円と全県と比較すると若干低くなっているが、飲食代や土産品・買い物代は全県を若干上回っている。

来訪の目的として食事や買物が上位に挙げられていたことから、来訪目的が実際の消費にも結びついていることが示唆される。

(宿泊)項目別 県内分

(円)

	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など						
川崎・横浜	1,870	870	151	11,777	8,721	6,532	1,410	599	31,930
(うち横浜地区)	1,646	887	164	11,291	8,727	7,084	1,473	599	31,872
(うち横浜地区以外(川崎地区))	2,869	796	94	13,944	8,693	4,070	1,127	601	32,192
三浦半島	1,309	898	129	13,896	5,155	4,173	1,554	389	27,503
(うち鎌倉地区)	1,553	355	131	12,581	7,000	4,696	1,575	226	28,117
(うち鎌倉地区以外)	1,126	1,304	127	14,880	3,775	3,782	1,538	512	27,044
県央	1,261	1,429	23	17,859	4,800	1,711	619	200	27,902
湘南	2,490	1,494	78	12,058	7,599	3,659	1,580	781	29,739
県西	1,585	984	551	17,125	4,146	4,317	1,326	338	30,374
(うち箱根・湯河原地区)	1,602	979	571	17,232	4,236	4,444	1,367	330	30,760
(うち箱根・湯河原地区以外)	1,302	1,073	210	15,314	2,631	2,162	627	485	23,804
全県	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489	30,511

(日帰り)項目別 県内分

(円)

	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	合計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など					
川崎・横浜	921	335	30	1,618	1,078	498	35	4,515
(うち横浜地区)	1,028	375	38	1,813	1,078	596	11	4,939
(うち横浜地区以外(川崎地区))	637	229	8	1,100	1,076	236	99	3,385
三浦半島	795	472	93	1,765	1,367	408	7	4,908
(うち鎌倉地区)	862	307	99	1,593	1,289	418	8	4,576
(うち鎌倉地区以外)	611	926	79	2,236	1,583	381	7	5,822
県央	213	561	18	1,080	588	352	20	2,832
湘南	876	482	48	1,093	548	827	42	3,916
県西	1,362	721	114	1,773	1,426	1,137	48	6,579
(うち箱根・湯河原地区)	1,653	854	158	2,029	1,550	1,349	58	7,651
(うち箱根・湯河原地区以外)	628	385	2	1,127	1,115	603	21	3,881
全県	880	482	61	1,539	1,071	620	30	4,682

(その他関連データ)

○居住地(県内・県外)別 来訪の目的

(宿泊・川崎・横浜)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	買い物・飲食	27.4%	その他の「見物・鑑賞」	16.6%	行祭事・イベントなどの見物	14.6%	遊園地などのレジャー施設	12.7%	自然・風景鑑賞	8.7%
県内	買い物・飲食	26.6%	その他の「見物・鑑賞」	15.8%	行祭事・イベントなどの見物	14.1%	遊園地などのレジャー施設	10.1%	自然・風景鑑賞	9.8%
総計	買い物・飲食	27.2%	その他の「見物・鑑賞」	16.5%	行祭事・イベントなどの見物	14.5%	遊園地などのレジャー施設	12.3%	自然・風景鑑賞	8.8%

(日帰り・川崎・横浜)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	自然・風景鑑賞	28.2%	買い物・飲食	19.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	18.8%	行祭事・イベントなどの見物	12.3%	博物館・動植物園などの見物	8.1%
県内	自然・風景鑑賞	36.0%	遺跡・文化財などの鑑賞	16.9%	買い物・飲食	15.2%	行祭事・イベントなどの見物	8.4%	博物館・動植物園などの見物	6.5%
総計	自然・風景鑑賞	32.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.5%	買い物・飲食	17.0%	行祭事・イベントなどの見物	9.8%	博物館・動植物園などの見物	7.1%

○居住地(県内・県外)別 消費単価

(宿泊・川崎・横浜)

(円)

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など					
県外	32,598	1,967	873	157	11,751	8,821	6,917	1,463	648
県内	27,234	1,185	849	111	11,957	8,019	3,824	1,032	256
総計	31,930	1,870	870	151	11,777	8,721	6,532	1,410	599

(日帰り・川崎・横浜)

(円)

	総額	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など				
県外	6,428	1,592	485	65	2,072	1,746	441	26
県内	3,210	462	233	6	1,305	628	534	41
総計	4,515	921	335	30	1,618	1,078	498	35

○居住地(県内・県外)別 来訪の形態

(宿泊・川崎・横浜)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	76.3%	16.1%	0.8%	1.8%	5.1%	100.0%
県内	82.8%	6.7%	0.0%	2.4%	8.1%	100.0%
総計	76.9%	14.8%	0.7%	1.9%	5.7%	100.0%

(日帰り・川崎・横浜)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	79.9%	0.8%	2.8%	10.2%	6.3%	100.0%
県内	89.1%	0.2%	0.1%	1.6%	8.9%	100.0%
総計	84.9%	0.4%	1.1%	4.9%	8.5%	100.0%

○居住地（県内・県外）別 立ち寄り地点数

（宿泊・川崎・横浜）

	平均立ち寄り地点数
県外	2.7
県内	2.1
総計	2.6

（日帰り・川崎・横浜）

	平均立ち寄り地点数
県外	2.0
県内	1.5
総計	1.7

○居住地（県内・県外）別 満足度

（宿泊・川崎・横浜）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	42.8%	45.5%	1.9%	0.2%	4.8%	4.8%	100.0%
県内	53.2%	32.7%	1.0%	0.3%	2.0%	10.8%	100.0%
総計	44.1%	43.7%	1.8%	0.2%	4.4%	5.8%	100.0%

（日帰り・川崎・横浜）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	52.4%	31.7%	1.6%	0.2%	7.4%	6.6%	100.0%
県内	52.3%	29.9%	1.2%	0.4%	6.0%	10.2%	100.0%
総計	51.6%	30.3%	1.3%	0.3%	6.5%	10.0%	100.0%

【横浜地区】

○宿泊客は広域的に全国から集客しているが、日帰り客は近隣都県からの日帰り観光の目的地となっている。

横浜地区では、県外客の比率は宿泊客で86.1%が県外客、うち61.0%が首都圏以外の遠方地域からの来訪となっている。このことから横浜という都市観光地の魅力によって広域的に全国から集客していることが分かる。

一方、日帰り客では59.6%が県内からの訪問客となっている。

(宿泊)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	12.9%	22.9%	63.9%	0.3%	100.0%
(うち横浜地区)	13.8%	25.1%	61.0%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.2%	13.6%	76.3%	0.9%	100.0%
三浦半島	22.2%	46.4%	31.0%	0.4%	100.0%
(うち鎌倉地区)	6.9%	37.6%	55.2%	0.3%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	33.3%	52.8%	13.5%	0.4%	100.0%
県央	49.1%	37.9%	12.9%	0.0%	100.0%
湘南	11.9%	30.2%	57.2%	0.6%	100.0%
県西	31.3%	52.7%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	30.6%	53.3%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	43.3%	41.3%	14.4%	1.0%	100.0%
全県	21.1%	37.1%	41.4%	0.5%	100.0%

(日帰り)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	59.4%	30.0%	9.1%	1.5%	100.0%
(うち横浜地区)	59.6%	28.6%	10.4%	1.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	59.1%	33.6%	5.8%	1.6%	100.0%
三浦半島	55.0%	33.8%	11.0%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	48.3%	36.6%	14.9%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	73.5%	26.2%	0.3%	0.0%	100.0%
県央	75.8%	22.1%	1.3%	0.8%	100.0%
湘南	74.2%	19.9%	5.4%	0.4%	100.0%
県西	49.5%	34.7%	13.7%	2.2%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	43.1%	38.6%	15.2%	3.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	66.0%	24.4%	9.7%	0.0%	100.0%
全県	60.9%	29.2%	8.8%	1.0%	100.0%

○比較的若い世代の比率が高く、様々な商業施設や飲食店が主要な来訪の目的となっている。

横浜地区では全県と比較すると宿泊客で30代、40代、日帰り客で20代、30代といった比較的若い世代の比率がやや高くなっている。

(宿泊)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	1.1%	11.4%	26.1%	25.8%	20.4%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区)	1.2%	11.7%	27.3%	25.3%	19.2%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.9%	10.1%	21.0%	27.9%	25.3%	13.8%	0.9%	100.0%
三浦半島	1.5%	9.9%	15.9%	20.5%	23.2%	26.8%	2.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.8%	17.6%	17.6%	18.5%	25.7%	16.7%	2.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	1.3%	4.3%	14.6%	21.9%	21.5%	34.1%	2.4%	100.0%
県央	0.0%	7.8%	23.3%	19.0%	22.4%	25.9%	1.7%	100.0%
湘南	1.7%	10.1%	20.3%	22.9%	22.2%	20.1%	2.7%	100.0%
県西	1.3%	8.5%	17.5%	15.7%	22.2%	32.2%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.4%	8.4%	17.0%	16.0%	22.2%	32.3%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	9.6%	26.0%	9.6%	22.1%	29.8%	2.9%	100.0%
全県	1.3%	10.0%	21.2%	21.3%	21.6%	22.7%	1.9%	100.0%

(日帰り)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	4.6%	12.3%	20.8%	15.0%	15.9%	23.9%	7.4%	100.0%
(うち横浜地区)	5.8%	14.7%	21.9%	14.8%	15.6%	21.9%	5.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	6.4%	18.0%	15.6%	16.9%	29.1%	12.4%	100.0%
三浦半島	3.3%	16.2%	21.3%	16.0%	16.7%	22.8%	3.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	4.3%	18.0%	17.7%	15.8%	15.8%	24.3%	4.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	0.6%	11.4%	31.2%	16.4%	19.2%	18.6%	2.5%	100.0%
県央	2.2%	13.5%	22.1%	21.2%	18.0%	16.2%	6.9%	100.0%
湘南	3.0%	18.6%	23.9%	14.5%	14.0%	22.2%	3.8%	100.0%
県西	1.1%	14.9%	23.9%	17.5%	16.0%	20.2%	6.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.0%	16.6%	21.8%	18.7%	16.0%	18.9%	6.9%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.3%	10.5%	29.4%	14.3%	16.0%	23.5%	5.0%	100.0%
全県	3.1%	14.8%	22.1%	16.3%	16.1%	21.8%	5.7%	100.0%

来訪の目的として宿泊客では買い物・飲食が30.8%と最も多いが、圏域全体と比較して比率は高くなっている。また、日帰り客では自然・風景鑑賞が37.7%と最も多く、買い物・飲食が22.9%でそれに次いで多くなっている。このことから、様々な商業施設や飲食店が主要な来訪の目的となっていることが分かる。

(宿泊)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	買い物・飲食	27.2%	その他の「見物・鑑賞」	16.5%	行祭事・イベントなどの見物	14.5%	遊園地などのレジャー施設	12.3%	自然・風景鑑賞	8.8%
(うち横浜地区)	買い物・飲食	30.8%	その他の「見物・鑑賞」	17.3%	行祭事・イベントなどの見物	15.2%	遊園地などのレジャー施設	14.5%	自然・風景鑑賞	10.1%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	その他の「見物・鑑賞」	13.4%	買い物・飲食	11.8%	行祭事・イベントなどの見物	11.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	5.3%	その他の「体験」	4.6%
三浦半島	温泉浴	27.6%	自然・風景鑑賞	24.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	20.0%	買い物・飲食	19.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.9%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	40.9%	自然・風景鑑賞	22.7%	買い物・飲食	21.2%	行祭事・イベントなどの見物	9.9%	その他の「見物・鑑賞」	9.0%
(うち鎌倉地区以外)	温泉浴	45.3%	自然・風景鑑賞	25.8%	買い物・飲食	18.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.8%	博物館・動植物園などの見物	8.2%
県央	温泉浴	57.8%	自然・風景鑑賞	16.4%	趣味・研究	9.5%	ハイキング・ピクニック	8.6%	買い物・飲食	6.9%
湘南	遺跡・文化財などの鑑賞	13.0%	行祭事・イベントなどの見物	10.7%	自然・風景鑑賞	9.6%	その他の「見物・鑑賞」	9.6%	買い物・飲食	8.6%
県西	温泉浴	71.4%	自然・風景鑑賞	26.9%	買い物・飲食	14.5%	博物館・動植物園などの見物	11.5%	その他の「見物・鑑賞」	7.8%
(うち箱根・湯河原地区)	温泉浴	73.6%	自然・風景鑑賞	26.8%	買い物・飲食	13.8%	博物館・動植物園などの見物	12.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	温泉浴	35.6%	自然・風景鑑賞	27.9%	買い物・飲食	26.0%	ドライブ	7.7%	その他の「見物・鑑賞」	4.8%
全県	温泉浴	29.9%	買い物・飲食	19.9%	自然・風景鑑賞	17.3%	その他の「見物・鑑賞」	11.7%	行祭事・イベントなどの見物	9.5%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	博物館・動植物園などの見物	7.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	7.5%	その他の「体験」	3.3%	スポーツ見物	2.7%	その他の「運動」	2.3%
(うち横浜地区)	博物館・動植物園などの見物	8.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	8.0%	その他の「体験」	3.0%	スポーツ見物	2.6%	その他の「運動」	2.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	自然・風景鑑賞	3.2%	遊園地などのレジャー施設	3.2%	博物館・動植物園などの見物	2.8%	スポーツ見物	2.8%	趣味・研究	2.5%
三浦半島	行祭事・イベントなどの見物	7.4%	博物館・動植物園などの見物	6.2%	その他の「体験」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.5%	ハイキング・ピクニック	4.4%
(うち鎌倉地区)	その他の「体験」	5.1%	博物館・動植物園などの見物	3.6%	ハイキング・ピクニック	3.6%	温泉浴	3.0%	その他の「運動」	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	遊園地などのレジャー施設	6.9%	ドライブ	5.8%	行祭事・イベントなどの見物	5.6%	その他の「体験」	5.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	4.9%
県央	その他の「見物・鑑賞」	5.2%	ドライブ	5.2%	その他の「体験」	3.4%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.6%	果物狩り	2.6%
湘南	その他の「体験」	6.1%	その他の「運動」	4.8%	温泉浴	4.4%	博物館・動植物園などの見物	4.0%	趣味・研究	3.1%
県西	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.3%	行祭事・イベントなどの見物	4.2%	ハイキング・ピクニック	4.2%	趣味・研究	3.7%
(うち箱根・湯河原地区)	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.5%	行祭事・イベントなどの見物	4.3%	ハイキング・ピクニック	4.1%	趣味・研究	3.7%
(うち箱根・湯河原地区以外)	釣り	4.8%	ハイキング・ピクニック	4.8%	博物館・動植物園などの見物	3.8%	タイピングなどのマリンスポーツ	3.8%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.9%
全県	遺跡・文化財などの鑑賞	9.3%	博物館・動植物園などの見物	8.2%	遊園地などのレジャー施設	7.1%	ドライブ	3.9%	その他の「体験」	3.3%

(日帰り)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	自然・風景鑑賞	32.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.5%	買い物・飲食	17.0%	行祭事・イベントなどの見物	9.8%	博物館・動植物園などの見物	7.1%
(うち横浜地区)	自然・風景鑑賞	37.7%	買い物・飲食	22.9%	遺跡・文化財などの鑑賞	13.5%	行祭事・イベントなどの見物	12.9%	博物館・動植物園などの見物	8.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	遺跡・文化財などの鑑賞	27.6%	自然・風景鑑賞	20.0%	趣味・研究	4.4%	ハイキング・ピクニック	4.2%	博物館・動植物園などの見物	2.4%
三浦半島	自然・風景鑑賞	43.0%	遺跡・文化財などの鑑賞	42.9%	買い物・飲食	14.3%	ハイキング・ピクニック	10.2%	行祭事・イベントなどの見物	6.3%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	58.0%	自然・風景鑑賞	46.4%	ハイキング・ピクニック	11.6%	行祭事・イベントなどの見物	7.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.8%
(うち鎌倉地区以外)	買い物・飲食	37.9%	自然・風景鑑賞	33.8%	遊園地などのレジャー施設	21.5%	ドライブ	12.0%	温泉浴	7.3%
県央	自然・風景鑑賞	55.7%	ハイキング・ピクニック	14.6%	遊園地などのレジャー施設	12.5%	行祭事・イベントなどの見物	10.1%	ドライブ	10.1%
湘南	自然・風景鑑賞	40.7%	博物館・動植物園などの見物	16.3%	ハイキング・ピクニック	10.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%	ドライブ	7.2%
県西	自然・風景鑑賞	53.1%	温泉浴	32.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.9%	博物館・動植物園などの見物	9.9%	ドライブ	7.9%
(うち箱根・湯河原地区)	自然・風景鑑賞	55.3%	温泉浴	40.4%	博物館・動植物園などの見物	8.9%	ドライブ	7.8%	買い物・飲食	5.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	遺跡・文化財などの鑑賞	51.3%	自然・風景鑑賞	47.5%	博物館・動植物園などの見物	12.6%	温泉浴	10.9%	ドライブ	8.4%
全県	自然・風景鑑賞	42.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	19.6%	買い物・飲食	11.3%	博物館・動植物園などの見物	7.5%	ハイキング・ピクニック	7.2%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	その他の「見物・鑑賞」	6.5%	遊園地などのレジャー施設	5.2%	ハイキング・ピクニック	3.3%	趣味・研究	2.7%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区)	その他の「見物・鑑賞」	8.5%	遊園地などのレジャー施設	7.3%	ハイキング・ピクニック	2.9%	趣味・研究	2.0%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	行祭事・イベントなどの見物	2.0%	買い物・飲食	2.0%	その他の「運動」	2.0%	その他の「体験」	1.8%	その他の「見物・鑑賞」	1.6%
三浦半島	その他の「見物・鑑賞」	6.2%	遊園地などのレジャー施設	5.9%	ドライブ	5.4%	温泉浴	2.8%	趣味・研究	2.8%
(うち鎌倉地区)	買い物・飲食	5.8%	ドライブ	3.0%	その他の「運動」	2.7%	趣味・研究	2.6%	博物館・動植物園などの見物	1.9%
(うち鎌倉地区以外)	その他の「体験」	6.6%	ハイキング・ピクニック	6.3%	果物狩り	6.0%	博物館・動植物園などの見物	4.4%	その他の「見物・鑑賞」	4.4%
県央	買い物・飲食	5.6%	趣味・研究	3.9%	博物館・動植物園などの見物	3.0%	その他の「見物・鑑賞」	3.0%	温泉浴	2.5%
湘南	登山	6.4%	買い物・飲食	5.6%	スポーツ見物	4.0%	その他の「体験」	3.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	3.5%
県西	買い物・飲食	6.2%	その他の「見物・鑑賞」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.4%	趣味・研究	2.6%	ハイキング・ピクニック	2.2%
(うち箱根・湯河原地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	5.0%	遊園地などのレジャー施設	4.8%	その他の「見物・鑑賞」	4.2%	ハイキング・ピクニック	2.4%	趣味・研究	2.3%
(うち箱根・湯河原地区以外)	その他の「見物・鑑賞」	7.6%	買い物・飲食	7.1%	行祭事・イベントなどの見物	5.9%	その他の「運動」	5.0%	遊園地などのレジャー施設	3.4%
全県	温泉浴	6.8%	行祭事・イベントなどの見物	6.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.0%	遊園地などのレジャー施設	5.8%	ドライブ	5.3%

宿泊客、日帰り客ともに2人での来訪が最も多く、なおかつ圏域全体と比較して高い比率となっている。

また、同行者としては宿泊客では夫婦が27.6%、子ども連れの家族が26.6%と続いている。また、日帰り客では友人・知人が28.6%と高い比率となっている。

(宿泊)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	22.1%	44.4%	13.4%	10.5%	3.3%	1.3%	0.9%	2.9%	1.2%	100.0%
(うち横浜地区)	16.2%	47.0%	15.0%	11.9%	3.7%	1.2%	0.8%	3.1%	1.0%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.5%	33.2%	6.5%	4.4%	1.6%	1.8%	1.2%	2.1%	1.8%	100.0%
三浦半島	10.6%	44.8%	14.4%	13.0%	5.1%	3.4%	2.6%	5.4%	0.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	56.7%	11.3%	6.6%	1.8%	0.3%	0.3%	1.2%	0.9%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	36.3%	16.5%	17.6%	7.5%	5.6%	4.3%	8.4%	0.6%	100.0%
県央	10.3%	39.7%	15.5%	12.1%	5.2%	2.6%	3.4%	11.2%	0.0%	100.0%
湘南	38.4%	30.6%	9.9%	7.1%	2.5%	2.1%	0.4%	7.5%	1.5%	100.0%
県西	1.3%	49.6%	17.3%	12.0%	6.1%	4.4%	2.0%	5.5%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	50.3%	17.3%	12.0%	6.2%	4.4%	1.9%	5.1%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	37.5%	17.3%	12.5%	5.8%	5.8%	4.8%	12.5%	2.9%	100.0%
全県	14.7%	44.9%	14.6%	11.1%	4.5%	2.7%	1.5%	4.7%	1.3%	100.0%

(日帰り)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	17.2%	43.0%	14.5%	9.4%	4.1%	1.9%	1.5%	6.5%	2.0%	100.0%
(うち横浜地区)	17.7%	45.1%	14.7%	8.7%	3.5%	1.6%	1.2%	5.8%	1.8%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	37.8%	14.0%	11.1%	5.3%	2.7%	2.4%	8.2%	2.7%	100.0%
三浦半島	10.2%	46.8%	15.1%	12.3%	5.4%	2.0%	0.8%	6.3%	1.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	12.1%	52.4%	14.2%	8.9%	2.5%	1.4%	0.7%	6.5%	1.4%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	31.2%	17.4%	21.8%	13.2%	3.8%	1.3%	5.7%	0.6%	100.0%
県央	8.1%	39.6%	19.4%	18.2%	6.4%	2.4%	0.8%	4.4%	0.8%	100.0%
湘南	16.2%	35.7%	16.9%	11.6%	6.8%	2.5%	1.1%	6.6%	2.5%	100.0%
県西	6.4%	43.1%	14.9%	12.7%	7.5%	3.0%	1.3%	7.7%	3.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	6.0%	45.7%	14.1%	12.4%	6.1%	2.7%	0.6%	8.2%	4.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.6%	36.1%	17.2%	13.4%	10.9%	3.8%	2.9%	6.3%	1.7%	100.0%
全県	12.4%	42.4%	15.7%	12.0%	5.7%	2.3%	1.2%	6.4%	2.0%	100.0%

(宿泊)

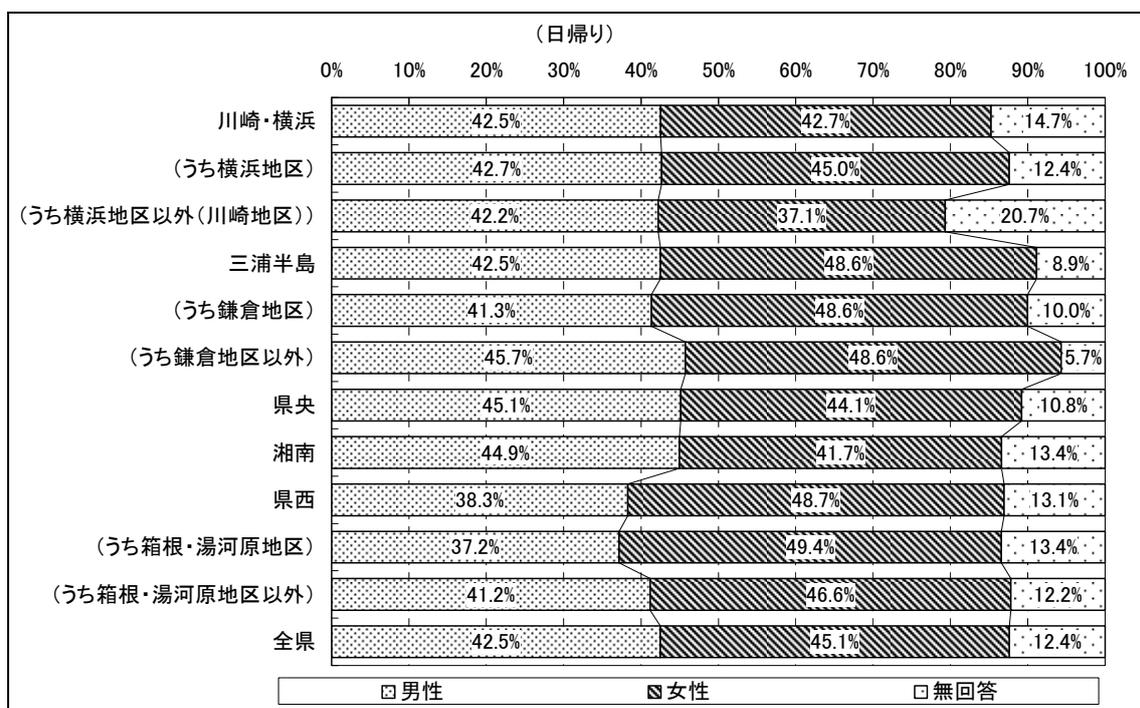
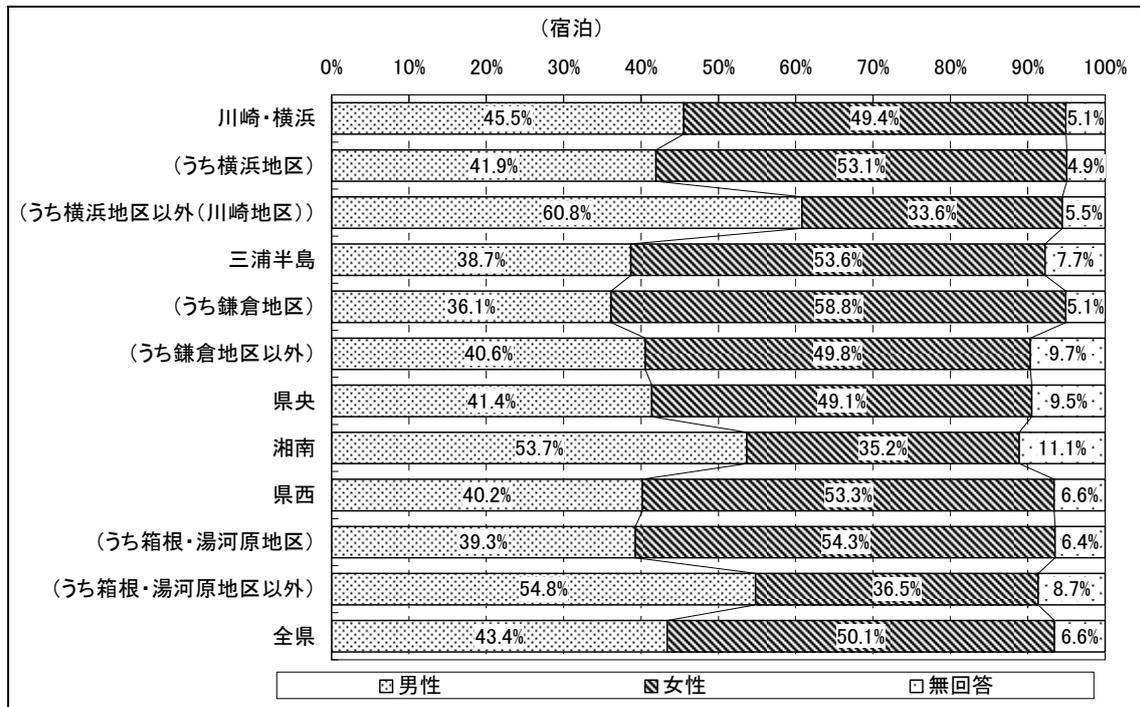
	①ひとり	②夫婦	③子供 連れ家 族	④その 他家族 (両親や 兄弟な)	⑤友人・ 知人	⑥上司・ 同僚	⑦婦人 会など 地域の 団体	⑧学校 の団体	⑨その 他
川崎・横浜	22.1%	25.6%	23.5%	11.4%	13.1%	4.1%	0.3%	0.4%	0.9%
(うち横浜地区)	16.2%	27.6%	26.6%	12.6%	14.1%	3.3%	0.2%	0.3%	0.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.2%	17.1%	9.9%	6.2%	8.8%	7.8%	0.7%	0.7%	0.9%
三浦半島	10.6%	28.3%	26.5%	17.1%	16.9%	2.5%	0.4%	0.1%	2.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	29.6%	16.1%	14.0%	14.0%	2.1%	0.0%	0.3%	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	27.5%	33.9%	19.3%	18.9%	2.8%	0.6%	0.0%	1.3%
県央	10.3%	26.7%	19.8%	16.4%	21.6%	2.6%	1.7%	2.6%	1.7%
湘南	38.4%	15.5%	11.9%	8.4%	10.3%	9.2%	1.9%	1.7%	1.9%
県西	1.3%	36.6%	21.9%	22.2%	18.1%	2.0%	0.8%	0.5%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	37.2%	22.0%	22.4%	17.4%	1.7%	0.5%	0.6%	0.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	26.9%	20.2%	19.2%	28.8%	5.8%	5.8%	0.0%	2.9%
全県	14.7%	28.8%	22.3%	15.7%	15.2%	3.6%	0.6%	0.6%	1.2%

(日帰り)

	①ひとり	②夫婦	③子供 連れ家 族	④その 他家族 (両親や 兄弟な)	⑤友人・ 知人	⑥上司・ 同僚	⑦婦人 会など 地域の 団体	⑧学校 の団体	⑨その 他
川崎・横浜	17.2%	20.2%	21.5%	10.2%	25.7%	0.9%	2.0%	2.2%	0.6%
(うち横浜地区)	17.7%	20.1%	19.8%	8.6%	28.6%	1.0%	2.2%	2.2%	0.7%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	20.4%	25.6%	14.2%	18.4%	0.9%	1.6%	2.2%	0.4%
三浦半島	10.3%	25.7%	19.8%	9.1%	31.9%	1.4%	2.6%	1.0%	0.7%
(うち鎌倉地区)	12.2%	24.8%	12.6%	8.2%	35.2%	1.3%	2.7%	1.1%	0.7%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	28.1%	39.7%	11.7%	22.7%	1.9%	2.2%	0.6%	0.6%
県央	7.7%	28.8%	37.9%	7.9%	12.6%	0.5%	2.0%	1.7%	1.0%
湘南	14.9%	19.3%	28.0%	6.1%	28.4%	1.8%	1.6%	1.0%	2.4%
県西	6.2%	23.9%	27.5%	10.0%	27.3%	2.2%	1.8%	0.9%	1.6%
(うち箱根・湯河原地区)	5.8%	23.7%	22.3%	10.0%	29.7%	2.3%	1.9%	0.6%	1.5%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.1%	24.4%	41.2%	10.1%	21.0%	2.1%	1.3%	1.7%	2.1%
全県	12.2%	23.0%	25.1%	9.0%	26.3%	1.4%	2.1%	1.5%	1.1%

○横浜地区以外（川崎市）では男性、ひとりでの宿泊が多い。また、ビジネス利用の宿泊客も全県と比較すると比率が高くなっている。リピーターとして来訪し連泊するといったケースも多い。

横浜地区以外（川崎市）では男性、ひとりでの宿泊がもっとも多いが、上司・同僚との来訪といったビジネス利用の宿泊客も全県と比較すると比率が高くなっている。



(宿泊)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	22.1%	44.4%	13.4%	10.5%	3.3%	1.3%	0.9%	2.9%	1.2%	100.0%
(うち横浜地区)	16.2%	47.0%	15.0%	11.9%	3.7%	1.2%	0.8%	3.1%	1.0%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.5%	33.2%	6.5%	4.4%	1.6%	1.8%	1.2%	2.1%	1.8%	100.0%
三浦半島	10.6%	44.8%	14.4%	13.0%	5.1%	3.4%	2.6%	5.4%	0.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	56.7%	11.3%	6.6%	1.8%	0.3%	0.3%	1.2%	0.9%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	36.3%	16.5%	17.6%	7.5%	5.6%	4.3%	8.4%	0.6%	100.0%
県央	10.3%	39.7%	15.5%	12.1%	5.2%	2.6%	3.4%	11.2%	0.0%	100.0%
湘南	38.4%	30.6%	9.9%	7.1%	2.5%	2.1%	0.4%	7.5%	1.5%	100.0%
県西	1.3%	49.6%	17.3%	12.0%	6.1%	4.4%	2.0%	5.5%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	50.3%	17.3%	12.0%	6.2%	4.4%	1.9%	5.1%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	37.5%	17.3%	12.5%	5.8%	5.8%	4.8%	12.5%	2.9%	100.0%
全県	14.7%	44.9%	14.6%	11.1%	4.5%	2.7%	1.5%	4.7%	1.3%	100.0%

(日帰り)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	17.2%	43.0%	14.5%	9.4%	4.1%	1.9%	1.5%	6.5%	2.0%	100.0%
(うち横浜地区)	17.7%	45.1%	14.7%	8.7%	3.5%	1.6%	1.2%	5.8%	1.8%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	37.8%	14.0%	11.1%	5.3%	2.7%	2.4%	8.2%	2.7%	100.0%
三浦半島	10.2%	46.8%	15.1%	12.3%	5.4%	2.0%	0.8%	6.3%	1.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	12.1%	52.4%	14.2%	8.9%	2.5%	1.4%	0.7%	6.5%	1.4%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	31.2%	17.4%	21.8%	13.2%	3.8%	1.3%	5.7%	0.6%	100.0%
県央	8.1%	39.6%	19.4%	18.2%	6.4%	2.4%	0.8%	4.4%	0.8%	100.0%
湘南	16.2%	35.7%	16.9%	11.6%	6.8%	2.5%	1.1%	6.6%	2.5%	100.0%
県西	6.4%	43.1%	14.9%	12.7%	7.5%	3.0%	1.3%	7.7%	3.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	6.0%	45.7%	14.1%	12.4%	6.1%	2.7%	0.6%	8.2%	4.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.6%	36.1%	17.2%	13.4%	10.9%	3.8%	2.9%	6.3%	1.7%	100.0%
全県	12.4%	42.4%	15.7%	12.0%	5.7%	2.3%	1.2%	6.4%	2.0%	100.0%

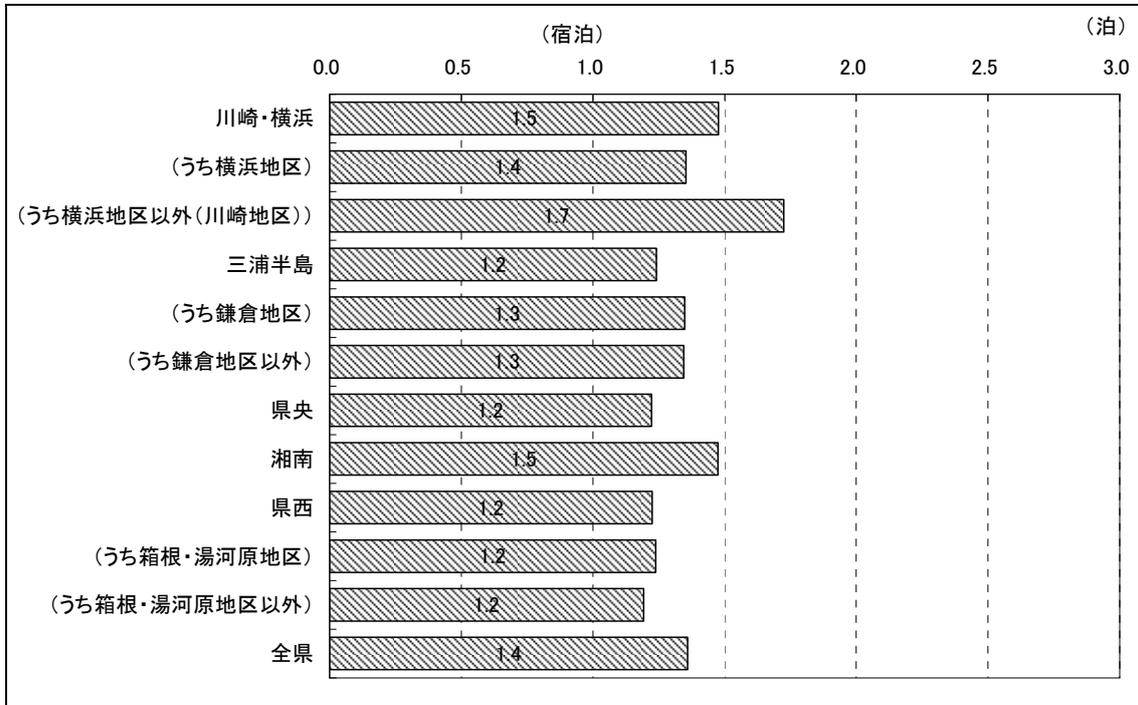
(宿泊)

	①ひとり	②夫婦	③子供 連れ家 族	④その 他家族 (両親や 兄弟な)	⑤友人・ 知人	⑥上司・ 同僚	⑦婦人 会など 地域の 団体	⑧学校 の団体	⑨その 他
川崎・横浜	22.1%	25.6%	23.5%	11.4%	13.1%	4.1%	0.3%	0.4%	0.9%
(うち横浜地区)	16.2%	27.6%	26.6%	12.6%	14.1%	3.3%	0.2%	0.3%	0.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.2%	17.1%	9.9%	6.2%	8.8%	7.8%	0.7%	0.7%	0.9%
三浦半島	10.6%	28.3%	26.5%	17.1%	16.9%	2.5%	0.4%	0.1%	2.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	29.6%	16.1%	14.0%	14.0%	2.1%	0.0%	0.3%	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	27.5%	33.9%	19.3%	18.9%	2.8%	0.6%	0.0%	1.3%
県央	10.3%	26.7%	19.8%	16.4%	21.6%	2.6%	1.7%	2.6%	1.7%
湘南	38.4%	15.5%	11.9%	8.4%	10.3%	9.2%	1.9%	1.7%	1.9%
県西	1.3%	36.6%	21.9%	22.2%	18.1%	2.0%	0.8%	0.5%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	37.2%	22.0%	22.4%	17.4%	1.7%	0.5%	0.6%	0.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	26.9%	20.2%	19.2%	28.8%	5.8%	5.8%	0.0%	2.9%
全県	14.7%	28.8%	22.3%	15.7%	15.2%	3.6%	0.6%	0.6%	1.2%

(日帰り)

	①ひとり	②夫婦	③子供 連れ家 族	④その 他家族 (両親や 兄弟な)	⑤友人・ 知人	⑥上司・ 同僚	⑦婦人 会など 地域の 団体	⑧学校 の団体	⑨その 他
川崎・横浜	17.2%	20.2%	21.5%	10.2%	25.7%	0.9%	2.0%	2.2%	0.6%
(うち横浜地区)	17.7%	20.1%	19.8%	8.6%	28.6%	1.0%	2.2%	2.2%	0.7%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	20.4%	25.6%	14.2%	18.4%	0.9%	1.6%	2.2%	0.4%
三浦半島	10.3%	25.7%	19.8%	9.1%	31.9%	1.4%	2.6%	1.0%	0.7%
(うち鎌倉地区)	12.2%	24.8%	12.6%	8.2%	35.2%	1.3%	2.7%	1.1%	0.7%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	28.1%	39.7%	11.7%	22.7%	1.9%	2.2%	0.6%	0.6%
県央	7.7%	28.8%	37.9%	7.9%	12.6%	0.5%	2.0%	1.7%	1.0%
湘南	14.9%	19.3%	28.0%	6.1%	28.4%	1.8%	1.6%	1.0%	2.4%
県西	6.2%	23.9%	27.5%	10.0%	27.3%	2.2%	1.8%	0.9%	1.6%
(うち箱根・湯河原地区)	5.8%	23.7%	22.3%	10.0%	29.7%	2.3%	1.9%	0.6%	1.5%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.1%	24.4%	41.2%	10.1%	21.0%	2.1%	1.3%	1.7%	2.1%
全県	12.2%	23.0%	25.1%	9.0%	26.3%	1.4%	2.1%	1.5%	1.1%

横浜地区以外（川崎市）では平均宿泊数についても 1.7 泊と全県と比較して多くなっている。また、横浜地区以外では 10 回以上の来訪回数が 57.8%と全県と比較しても大幅に高くなっている。事業者ヒアリングにおいてもビジネス利用の客層がリピーターとして来訪し連泊するといったケースも多いことが指摘されている。



(宿泊)

	初めて	2回目	3～5回	6～9回	10回以上	無回答	合計 (除県内在住)
川崎・横浜	7.9%	8.9%	24.8%	9.8%	45.9%	2.8%	100.0%
(うち横浜地区)	8.5%	10.0%	26.4%	9.7%	43.0%	2.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	5.4%	4.1%	18.2%	10.2%	57.8%	4.3%	100.0%
三浦半島	7.5%	7.3%	25.7%	9.6%	45.5%	4.5%	100.0%
(うち鎌倉地区)	9.0%	10.3%	27.3%	6.8%	43.1%	3.5%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	6.0%	4.4%	24.1%	12.3%	47.8%	5.4%	100.0%
県央	6.3%	6.3%	17.5%	6.3%	55.6%	7.9%	100.0%
湘南	9.5%	5.7%	20.6%	10.4%	47.9%	5.9%	100.0%
県西	6.0%	4.4%	20.1%	10.9%	53.2%	5.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	5.7%	4.4%	20.4%	10.9%	53.4%	5.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	11.5%	4.9%	13.1%	11.5%	49.2%	9.8%	100.0%
全県	7.4%	7.0%	23.1%	10.1%	48.3%	4.1%	100.0%

(日帰り)

	初めて	2回目	3～5回	6～9回	10回以上	無回答	合計
川崎・横浜	9.7%	7.5%	18.3%	9.6%	48.0%	6.9%	100.0%
(うち横浜地区)	10.0%	8.2%	20.3%	9.8%	48.1%	3.6%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.0%	6.0%	13.4%	9.0%	47.8%	14.9%	100.0%
三浦半島	9.5%	12.4%	22.2%	8.1%	43.9%	3.9%	100.0%
(うち鎌倉地区)	10.5%	13.5%	23.8%	7.8%	39.8%	4.6%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.6%	6.0%	13.3%	9.6%	67.5%	0.0%	100.0%
県央	5.5%	2.7%	8.2%	3.4%	67.8%	12.3%	100.0%
湘南	9.8%	7.6%	15.6%	9.8%	43.3%	13.8%	100.0%
県西	9.1%	8.2%	21.0%	6.5%	47.5%	7.8%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	9.4%	7.9%	22.0%	6.6%	45.4%	8.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.3%	9.8%	15.9%	6.1%	57.3%	3.7%	100.0%
全県	9.2%	8.6%	18.9%	8.1%	47.7%	7.4%	100.0%

○発信されている情報が充実しているため、インターネットの利用率が高くなっている。

宿泊客はインターネットの利用率が47.3%と圏域全体と比較して高くなっている。これは他の地域と比較してサイト等も多く、発信されている情報が充実していることが反映していると思われる。家族や友人の勧め（口コミ）が21.7%で続いているが、全県、圏域全体と比較するとやや低い数値である。旅行ガイドブックが18.8%で続くが、全県、圏域全体と比較すると高くなっている。

日帰り客は口コミの比率が21.2%と最も多いが全県、圏域全体と比較すると若干低い数値となっている。インターネットが15.6%で続いている。

(宿泊)

	① 家族や友人の勧め（口コミ）	② 旅行ガイドブック	③ 旅行雑誌	④ 旅行会社パンフレット	⑤ 旅行会社店頭での情報	⑥ テレビ・ラジオ	⑦ インターネット	⑧ 駅や社内のポスター	⑨ 行政の観光キャンペーン等	⑩ タウン誌・フリーペーパー	⑪ その他
川崎・横浜	22.1%	16.3%	8.1%	11.2%	4.5%	1.7%	46.2%	0.7%	2.0%	2.6%	9.5%
（うち横浜地区）	21.7%	18.8%	9.6%	12.5%	4.6%	1.7%	47.3%	0.5%	1.9%	2.6%	8.5%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	23.7%	5.3%	1.4%	5.8%	4.1%	1.4%	41.2%	1.6%	2.1%	2.5%	14.1%
三浦半島	28.7%	16.4%	10.6%	7.0%	3.0%	2.7%	32.0%	2.0%	2.9%	2.1%	18.2%
（うち鎌倉地区）	22.1%	28.1%	13.7%	6.6%	3.9%	2.7%	37.3%	3.6%	1.5%	0.9%	14.6%
（うち鎌倉地区以外）	33.5%	7.9%	8.4%	7.3%	2.4%	2.8%	28.1%	0.9%	3.9%	3.0%	20.8%
県央	27.6%	8.6%	10.3%	1.7%	0.0%	0.9%	37.9%	0.0%	6.9%	4.3%	8.6%
湘南	19.9%	11.3%	3.8%	2.3%	1.0%	2.3%	40.7%	1.0%	2.3%	1.9%	20.3%
県西	23.2%	16.1%	10.0%	15.9%	5.7%	2.2%	36.1%	1.6%	4.0%	2.1%	10.9%
（うち箱根・湯河原地区）	23.1%	16.7%	10.2%	16.8%	6.0%	2.2%	35.1%	1.7%	4.1%	2.2%	10.8%
（うち箱根・湯河原地区以外）	25.0%	4.8%	6.7%	1.0%	0.0%	1.9%	52.9%	1.0%	2.9%	0.0%	12.5%
全県	23.3%	15.6%	8.8%	11.2%	4.3%	2.0%	40.1%	1.2%	2.9%	2.3%	12.2%

(日帰り)

	① 家族や友人の勧め（口コミ）	② 旅行ガイドブック	③ 旅行雑誌	④ 旅行会社パンフレット	⑤ 旅行会社店頭での情報	⑥ テレビ・ラジオ	⑦ インターネット	⑧ 駅や社内のポスター	⑨ 行政の観光キャンペーン等	⑩ タウン誌・フリーペーパー	⑪ その他
川崎・横浜	23.2%	4.9%	2.8%	2.0%	0.4%	4.2%	13.0%	2.2%	1.8%	1.9%	19.7%
（うち横浜地区）	21.2%	6.0%	3.5%	2.2%	0.5%	5.3%	15.6%	2.9%	2.0%	2.2%	16.8%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	28.4%	2.2%	1.1%	1.6%	0.0%	1.3%	6.7%	0.4%	1.1%	1.1%	26.9%
三浦半島	21.0%	14.6%	8.4%	2.3%	0.3%	5.0%	16.3%	1.2%	0.8%	1.0%	17.9%
（うち鎌倉地区）	20.2%	18.6%	10.1%	3.1%	0.3%	3.9%	12.2%	0.5%	0.9%	0.2%	14.9%
（うち鎌倉地区以外）	23.3%	3.5%	3.5%	0.0%	0.0%	8.2%	27.8%	3.2%	0.6%	3.2%	26.2%
県央	24.7%	1.9%	2.0%	1.0%	0.0%	1.2%	15.3%	1.2%	1.5%	1.7%	20.4%
湘南	35.2%	3.9%	1.1%	1.1%	0.6%	2.5%	7.8%	2.5%	1.1%	0.3%	26.5%
県西	22.2%	14.7%	7.1%	2.2%	0.9%	4.0%	17.7%	1.2%	1.6%	0.8%	20.8%
（うち箱根・湯河原地区）	21.3%	17.4%	8.7%	2.3%	1.1%	5.0%	19.4%	1.5%	1.6%	1.0%	17.4%
（うち箱根・湯河原地区以外）	24.4%	7.6%	2.9%	2.1%	0.4%	1.3%	13.4%	0.4%	1.7%	0.4%	29.4%
全県	24.6%	8.4%	4.5%	1.9%	0.4%	3.7%	14.1%	1.7%	1.4%	1.2%	20.6%

○食事や買い物といった来訪目的が実際の消費にも結びついている

消費単価は宿泊客で31,872円、日帰り客で4,939円と全県と比較して高くなっている。特に宿泊客では飲食代や土産品・買い物代、日帰り客では飲食代が高くなっており、食事や買い物といった来訪の目的が実際の消費にも結びついていることが分かる。

(宿泊)項目別 県内分

(円)

	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など						
川崎・横浜	1,870	870	151	11,777	8,721	6,532	1,410	599	31,930
(うち横浜地区)	1,646	887	164	11,291	8,727	7,084	1,473	599	31,872
(うち横浜地区以外(川崎地区))	2,869	796	94	13,944	8,693	4,070	1,127	601	32,192
三浦半島	1,309	898	129	13,896	5,155	4,173	1,554	389	27,503
(うち鎌倉地区)	1,553	355	131	12,581	7,000	4,696	1,575	226	28,117
(うち鎌倉地区以外)	1,126	1,304	127	14,880	3,775	3,782	1,538	512	27,044
県央	1,261	1,429	23	17,859	4,800	1,711	619	200	27,902
湘南	2,490	1,494	78	12,058	7,599	3,659	1,580	781	29,739
県西	1,585	984	551	17,125	4,146	4,317	1,326	338	30,374
(うち箱根・湯河原地区)	1,602	979	571	17,232	4,236	4,444	1,367	330	30,760
(うち箱根・湯河原地区以外)	1,302	1,073	210	15,314	2,631	2,162	627	485	23,804
全県	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489	30,511

(日帰り)項目別 県内分

(円)

	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	合計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など					
川崎・横浜	921	335	30	1,618	1,078	498	35	4,515
(うち横浜地区)	1,028	375	38	1,813	1,078	596	11	4,939
(うち横浜地区以外(川崎地区))	637	229	8	1,100	1,076	236	99	3,385
三浦半島	795	472	93	1,765	1,367	408	7	4,908
(うち鎌倉地区)	862	307	99	1,593	1,289	418	8	4,576
(うち鎌倉地区以外)	611	926	79	2,236	1,583	381	7	5,822
県央	213	561	18	1,080	588	352	20	2,832
湘南	876	482	48	1,093	548	827	42	3,916
県西	1,362	721	114	1,773	1,426	1,137	48	6,579
(うち箱根・湯河原地区)	1,653	854	158	2,029	1,550	1,349	58	7,651
(うち箱根・湯河原地区以外)	628	385	2	1,127	1,115	603	21	3,881
全県	880	482	61	1,539	1,071	620	30	4,682

土産品の内訳としては、横浜地区では繊維製品やその他の工業製品の比率が全県と比較して高くなっており、衣料品や小物、雑貨等を買いた求めるケースが多いことが示唆される。また、横浜地区以外では食料品の比率が最も高くなる。

(土産品の内訳推計・総額ベース)

	農林水産業	食料品	繊維製品	パルプ・紙・木製品	その他の製造工業製品	窯業・土木製品	金属製品	電気機械	合計
川崎・横浜	0.7%	32.1%	43.5%	3.7%	15.2%	2.2%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区)	0.5%	31.0%	45.2%	3.1%	15.7%	1.8%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	39.6%	31.3%	8.5%	11.8%	5.1%	2.2%	0.0%	100.0%
三浦半島	23.8%	41.9%	10.2%	9.1%	10.6%	0.8%	3.6%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.9%	54.6%	11.0%	15.4%	10.4%	1.5%	5.2%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	51.1%	26.1%	9.1%	1.2%	10.8%	0.0%	1.6%	0.0%	100.0%
県央	31.7%	37.5%	7.5%	4.0%	7.1%	12.1%	0.0%	0.0%	100.0%
湘南	6.3%	33.9%	37.0%	4.3%	14.2%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%
県西	9.7%	54.6%	7.1%	9.5%	7.9%	9.4%	1.8%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	8.5%	55.4%	5.6%	10.3%	8.1%	10.1%	2.0%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	24.6%	44.5%	25.6%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全県	8.3%	40.2%	26.4%	6.3%	12.1%	4.3%	2.3%	0.1%	100.0%

(その他関連データ)

○居住地(県内・県外)別 来訪の目的

(宿泊・横浜地区)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	買い物・飲食	31.4%	その他の「見物・鑑賞」	17.4%	行祭事・イベントなどの見物	15.3%	遊園地などのレジャー施設	15.0%	自然・風景鑑賞	10.0%
県内	買い物・飲食	27.2%	その他の「見物・鑑賞」	16.3%	行祭事・イベントなどの見物	14.4%	自然・風景鑑賞	10.9%	遊園地などのレジャー施設	10.9%
総計	買い物・飲食	30.8%	その他の「見物・鑑賞」	17.3%	行祭事・イベントなどの見物	15.2%	遊園地などのレジャー施設	14.5%	自然・風景鑑賞	10.1%

(日帰り・横浜地区)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	自然・風景鑑賞	33.8%	買い物・飲食	26.5%	行祭事・イベントなどの見物	16.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	14.7%	博物館・動植物園などの見物	10.0%
県内	自然・風景鑑賞	40.6%	買い物・飲食	20.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	12.8%	行祭事・イベントなどの見物	10.8%	博物館・動植物園などの見物	8.3%
総計	自然・風景鑑賞	37.7%	買い物・飲食	22.9%	遺跡・文化財などの鑑賞	13.5%	行祭事・イベントなどの見物	12.9%	博物館・動植物園などの見物	8.9%

○居住地(県内・県外)別 消費単価

(宿泊・横浜地区)

(円)

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など					
県外	32,586	1,718	884	170	11,234	8,853	7,538	1,537	651
県内	27,267	1,187	902	126	11,661	7,914	4,155	1,058	262
総計	31,872	1,646	887	164	11,291	8,727	7,084	1,473	599

(日帰り・横浜地区)

(円)

	総額	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など				
県外	7,257	1,822	555	83	2,375	1,894	512	17
県内	3,384	493	255	8	1,433	539	650	6
総計	4,939	1,028	375	38	1,813	1,078	596	11

○居住地(県内・県外)別 来訪の形態

(宿泊・横浜地区)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	74.7%	18.2%	0.9%	1.9%	4.3%	100.0%
県内	82.1%	7.4%	0.0%	2.7%	7.8%	100.0%
総計	75.6%	16.7%	0.8%	2.0%	4.8%	100.0%

(日帰り・横浜地区)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	80.5%	1.1%	3.2%	11.6%	3.6%	100.0%
県内	90.5%	0.1%	0.1%	1.0%	8.2%	100.0%
総計	86.3%	0.5%	1.3%	5.1%	6.7%	100.0%

○居住地（県内・県外）別 立ち寄り地点数

（宿泊・横浜地区）

	平均立ち寄り地点数
県外	3.0
県内	2.3
総計	2.9

（日帰り・横浜地区）

	平均立ち寄り地点数
県外	2.1
県内	1.6
総計	1.8

○居住地（県内・県外）別 満足度

（宿泊・横浜地区）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	46.7%	44.6%	1.7%	0.1%	2.5%	4.4%	100.0%
県内	55.3%	30.0%	1.2%	0.4%	2.3%	10.9%	100.0%
総計	47.8%	42.6%	1.6%	0.2%	2.5%	5.3%	100.0%

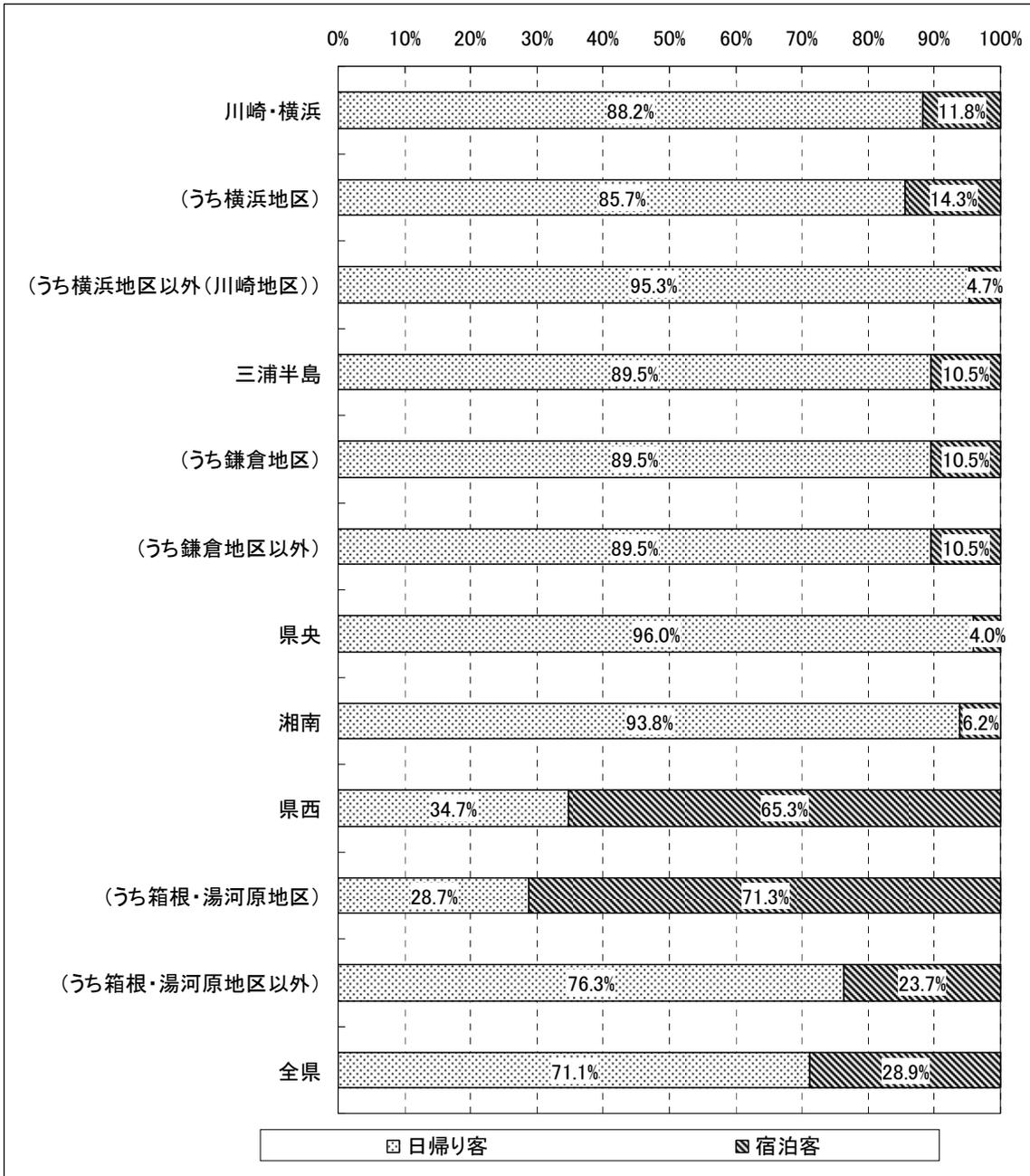
（日帰り・横浜地区）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	55.3%	29.7%	1.8%	0.0%	8.4%	4.8%	100.0%
県内	50.2%	31.2%	0.9%	0.6%	6.8%	10.3%	100.0%
総計	51.6%	30.3%	1.2%	0.4%	7.3%	9.2%	100.0%

2-2-2 三浦半島

○日帰り観光が中心である。中高年、女性に人気の観光エリアである。

日帰り客が観光客全体の89.5%を占める日帰り中心の地域である。



宿泊客は77.4%が県外客であり、うち首都圏からの来訪が46.4%を占める。

日帰り客では55.0%が県内客であり、宿泊客とは逆の傾向を示している。ただし、県外客5割弱のうち首都圏以外の占める比率は全県と比較すると高い水準となっており、日帰り客においても比較的遠方の地域からも集客している様子がうかがえる。

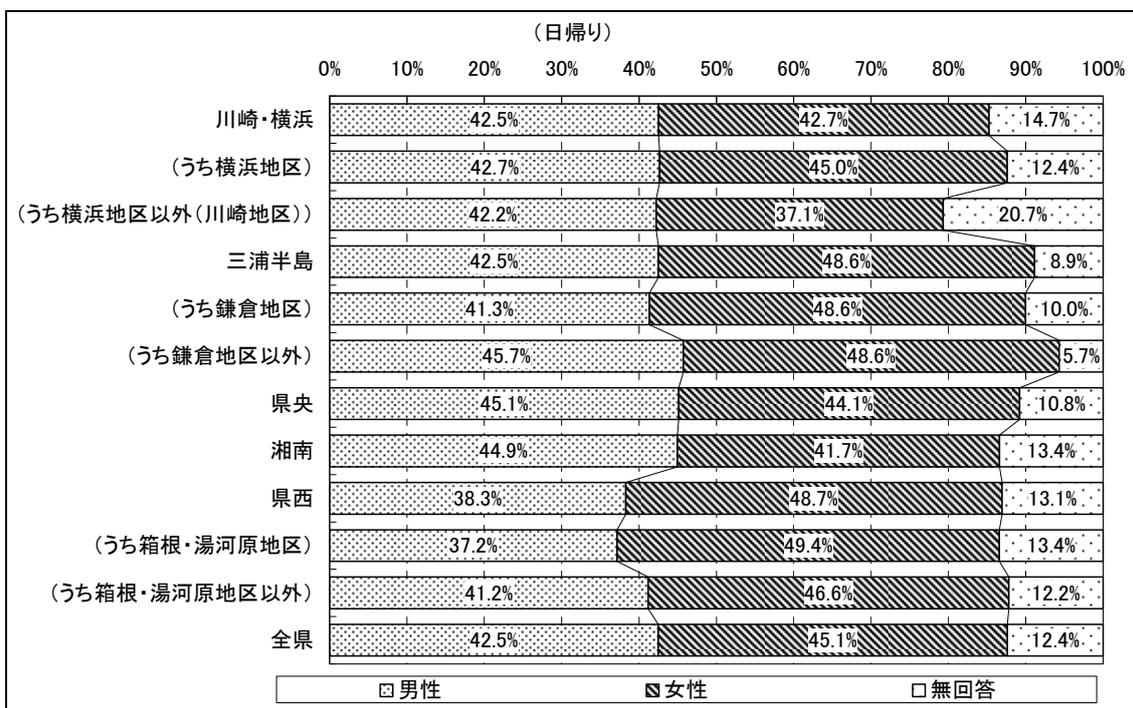
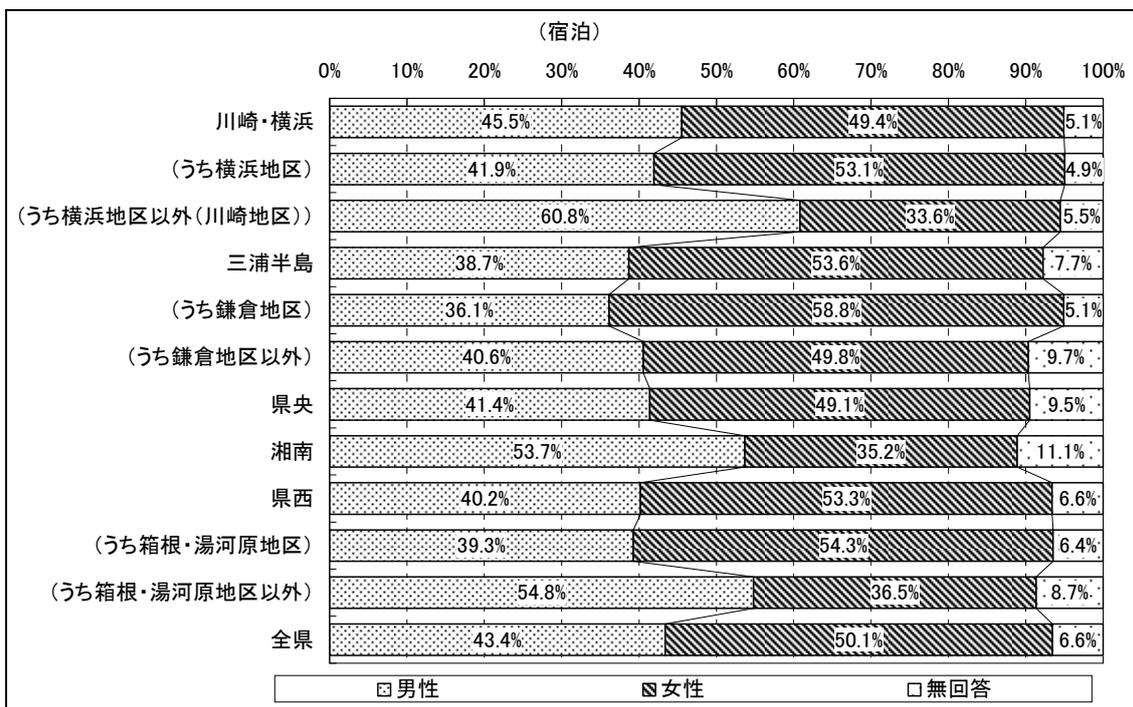
(宿泊)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	12.9%	22.9%	63.9%	0.3%	100.0%
(うち横浜地区)	13.8%	25.1%	61.0%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.2%	13.6%	76.3%	0.9%	100.0%
三浦半島	22.2%	46.4%	31.0%	0.4%	100.0%
(うち鎌倉地区)	6.9%	37.6%	55.2%	0.3%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	33.3%	52.8%	13.5%	0.4%	100.0%
県央	49.1%	37.9%	12.9%	0.0%	100.0%
湘南	11.9%	30.2%	57.2%	0.6%	100.0%
県西	31.3%	52.7%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	30.6%	53.3%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	43.3%	41.3%	14.4%	1.0%	100.0%
全県	21.1%	37.1%	41.4%	0.5%	100.0%

(日帰り)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	59.4%	30.0%	9.1%	1.5%	100.0%
(うち横浜地区)	59.6%	28.6%	10.4%	1.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	59.1%	33.6%	5.8%	1.6%	100.0%
三浦半島	55.0%	33.8%	11.0%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	48.3%	36.6%	14.9%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	73.5%	26.2%	0.3%	0.0%	100.0%
県央	75.8%	22.1%	1.3%	0.8%	100.0%
湘南	74.2%	19.9%	5.4%	0.4%	100.0%
県西	49.5%	34.7%	13.7%	2.2%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	43.1%	38.6%	15.2%	3.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	66.0%	24.4%	9.7%	0.0%	100.0%
全県	60.9%	29.2%	8.8%	1.0%	100.0%

また、宿泊客、日帰り客ともに女性客の比率が全県と比較して高い比率となっている。



宿泊客では60歳以上が26.8%、50代が23.2%と続いており、いずれも全県と比較して比率が高くなっている。

また、日帰り客では60歳以上が22.8%と最も多いが、30代も21.3%とそれに次いで多くなっており、様々な年代が訪れている。

(宿泊)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	1.1%	11.4%	26.1%	25.8%	20.4%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区)	1.2%	11.7%	27.3%	25.3%	19.2%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.9%	10.1%	21.0%	27.9%	25.3%	13.8%	0.9%	100.0%
三浦半島	1.5%	9.9%	15.9%	20.5%	23.2%	26.8%	2.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.8%	17.6%	17.6%	18.5%	25.7%	16.7%	2.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	1.3%	4.3%	14.6%	21.9%	21.5%	34.1%	2.4%	100.0%
県央	0.0%	7.8%	23.3%	19.0%	22.4%	25.9%	1.7%	100.0%
湘南	1.7%	10.1%	20.3%	22.9%	22.2%	20.1%	2.7%	100.0%
県西	1.3%	8.5%	17.5%	15.7%	22.2%	32.2%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.4%	8.4%	17.0%	16.0%	22.2%	32.3%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	9.6%	26.0%	9.6%	22.1%	29.8%	2.9%	100.0%
全県	1.3%	10.0%	21.2%	21.3%	21.6%	22.7%	1.9%	100.0%

(日帰り)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	4.6%	12.3%	20.8%	15.0%	15.9%	23.9%	7.4%	100.0%
(うち横浜地区)	5.8%	14.7%	21.9%	14.8%	15.6%	21.9%	5.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	6.4%	18.0%	15.6%	16.9%	29.1%	12.4%	100.0%
三浦半島	3.3%	16.2%	21.3%	16.0%	16.7%	22.8%	3.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	4.3%	18.0%	17.7%	15.8%	15.8%	24.3%	4.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	0.6%	11.4%	31.2%	16.4%	19.2%	18.6%	2.5%	100.0%
県央	2.2%	13.5%	22.1%	21.2%	18.0%	16.2%	6.9%	100.0%
湘南	3.0%	18.6%	23.9%	14.5%	14.0%	22.2%	3.8%	100.0%
県西	1.1%	14.9%	23.9%	17.5%	16.0%	20.2%	6.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.0%	16.6%	21.8%	18.7%	16.0%	18.9%	6.9%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.3%	10.5%	29.4%	14.3%	16.0%	23.5%	5.0%	100.0%
全県	3.1%	14.8%	22.1%	16.3%	16.1%	21.8%	5.7%	100.0%

○飲食代、土産代の消費単価が高い。

日帰り客では、消費単価が4,908円と全県と比較して高くなっており、内訳で見ると特に飲食代、土産品・買い物代が高くなっている。この地区の来訪の目的を見ると「買い物・食事」が最も比率が高くなっている。また、満足の要因においても「食事」が最も比率が高くなっており、三崎のマグロなどの食の魅力が日帰り観光客の来訪の動機となるとともに、地域での消費や満足度にもつながっていることが分かる。

対して同地区の宿泊客では総消費額は27,503円とやや低めであり、内訳では宿泊代がやや高め、飲食代、土産品・買い物代は低めとなっている。満足の要因としてはやはり食事が最も高くなっていることから、地域の食の魅力は主に宿泊施設で提供され、満足度も高い現状にあることが示唆されるが、それが地域での買い物や食事などの消費に大きく波及していないこともうかがえる。

また、鎌倉地区以外では農林水産業関連の品の比率が最も高くなっている。これは海産物の購入割合が高いことが現れていると考えられる。

(宿泊)項目別 県内分

(円)

	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など						
川崎・横浜	1,870	870	151	11,777	8,721	6,532	1,410	599	31,930
(うち横浜地区)	1,646	887	164	11,291	8,727	7,084	1,473	599	31,872
(うち横浜地区以外(川崎地区))	2,869	796	94	13,944	8,693	4,070	1,127	601	32,192
三浦半島	1,309	898	129	13,896	5,155	4,173	1,554	389	27,503
(うち鎌倉地区)	1,553	355	131	12,581	7,000	4,696	1,575	226	28,117
(うち鎌倉地区以外)	1,126	1,304	127	14,880	3,775	3,782	1,538	512	27,044
県央	1,261	1,429	23	17,859	4,800	1,711	619	200	27,902
湘南	2,490	1,494	78	12,058	7,599	3,659	1,580	781	29,739
県西	1,585	984	551	17,125	4,146	4,317	1,326	338	30,374
(うち箱根・湯河原地区)	1,602	979	571	17,232	4,236	4,444	1,367	330	30,760
(うち箱根・湯河原地区以外)	1,302	1,073	210	15,314	2,631	2,162	627	485	23,804
全県	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489	30,511

(日帰り)項目別 県内分

(円)

	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	合計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など					
川崎・横浜	921	335	30	1,618	1,078	498	35	4,515
(うち横浜地区)	1,028	375	38	1,813	1,078	596	11	4,939
(うち横浜地区以外(川崎地区))	637	229	8	1,100	1,076	236	99	3,385
三浦半島	795	472	93	1,765	1,367	408	7	4,908
(うち鎌倉地区)	862	307	99	1,593	1,289	418	8	4,576
(うち鎌倉地区以外)	611	926	79	2,236	1,583	381	7	5,822
県央	213	561	18	1,080	588	352	20	2,832
湘南	876	482	48	1,093	548	827	42	3,916
県西	1,362	721	114	1,773	1,426	1,137	48	6,579
(うち箱根・湯河原地区)	1,653	854	158	2,029	1,550	1,349	58	7,651
(うち箱根・湯河原地区以外)	628	385	2	1,127	1,115	603	21	3,881
全県	880	482	61	1,539	1,071	620	30	4,682

(土産品の内訳推計・総額ベース)

	農林水産業	食料品	繊維製品	パルプ・紙・木製品	その他の製造工業製品	窯業・土木製品	金属製品	電気機械	合計
川崎・横浜	0.7%	32.1%	43.5%	3.7%	15.2%	2.2%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区)	0.5%	31.0%	45.2%	3.1%	15.7%	1.8%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	39.6%	31.3%	8.5%	11.8%	5.1%	2.2%	0.0%	100.0%
三浦半島	23.8%	41.9%	10.2%	9.1%	10.6%	0.8%	3.6%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.9%	54.6%	11.0%	15.4%	10.4%	1.5%	5.2%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	51.1%	26.1%	9.1%	1.2%	10.8%	0.0%	1.6%	0.0%	100.0%
県央	31.7%	37.5%	7.5%	4.0%	7.1%	12.1%	0.0%	0.0%	100.0%
湘南	6.3%	33.9%	37.0%	4.3%	14.2%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%
県西	9.7%	54.6%	7.1%	9.5%	7.9%	9.4%	1.8%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	8.5%	55.4%	5.6%	10.3%	8.1%	10.1%	2.0%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	24.6%	44.5%	25.6%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全県	8.3%	40.2%	26.4%	6.3%	12.1%	4.3%	2.3%	0.1%	100.0%

(宿泊)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
川崎・横浜	買い物・飲食 27.2%	その他の「見物・鑑賞」 16.5%	行祭事・イベントなどの見物 14.5%	遊園地などのレジャー施設 12.3%	自然・風景鑑賞 8.8%
(うち横浜地区)	買い物・飲食 30.8%	その他の「見物・鑑賞」 17.3%	行祭事・イベントなどの見物 15.2%	遊園地などのレジャー施設 14.5%	自然・風景鑑賞 10.1%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	その他の「見物・鑑賞」 13.4%	買い物・飲食 11.8%	行祭事・イベントなどの見物 11.5%	遺跡・文化財などの鑑賞 5.3%	その他の「体験」 4.6%
三浦半島	温泉浴 27.6%	自然・風景鑑賞 24.5%	遺跡・文化財などの鑑賞 20.0%	買い物・飲食 19.9%	その他の「見物・鑑賞」 8.9%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞 40.9%	自然・風景鑑賞 22.7%	買い物・飲食 21.2%	行祭事・イベントなどの見物 9.9%	その他の「見物・鑑賞」 9.0%
(うち鎌倉地区以外)	温泉浴 45.3%	自然・風景鑑賞 25.8%	買い物・飲食 18.9%	その他の「見物・鑑賞」 8.8%	博物館・動植物園などの見物 8.2%
県央	温泉浴 57.8%	自然・風景鑑賞 16.4%	趣味・研究 9.5%	ハイキング・ピクニック 8.6%	買い物・飲食 6.9%
湘南	遺跡・文化財などの鑑賞 13.0%	行祭事・イベントなどの見物 10.7%	自然・風景鑑賞 9.6%	その他の「見物・鑑賞」 9.6%	買い物・飲食 8.6%
県西	温泉浴 71.4%	自然・風景鑑賞 26.9%	買い物・飲食 14.5%	博物館・動植物園などの見物 11.5%	その他の「見物・鑑賞」 7.8%
(うち箱根・湯河原地区)	温泉浴 73.6%	自然・風景鑑賞 26.8%	買い物・飲食 13.8%	博物館・動植物園などの見物 12.0%	その他の「見物・鑑賞」 8.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	温泉浴 35.6%	自然・風景鑑賞 27.9%	買い物・飲食 26.0%	ドライブ 7.7%	その他の「見物・鑑賞」 4.8%
全県	温泉浴 29.9%	買い物・飲食 19.9%	自然・風景鑑賞 17.3%	その他の「見物・鑑賞」 11.7%	行祭事・イベントなどの見物 9.5%

	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
川崎・横浜	博物館・動植物園などの見物 7.6%	遺跡・文化財などの鑑賞 7.5%	その他の「体験」 3.3%	スポーツ見物 2.7%	その他の「運動」 2.3%
(うち横浜地区)	博物館・動植物園などの見物 8.7%	遺跡・文化財などの鑑賞 8.0%	その他の「体験」 3.0%	スポーツ見物 2.6%	その他の「運動」 2.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	自然・風景鑑賞 3.2%	遊園地などのレジャー施設 3.2%	博物館・動植物園などの見物 2.8%	スポーツ見物 2.8%	趣味・研究 2.5%
三浦半島	行祭事・イベントなどの見物 7.4%	博物館・動植物園などの見物 6.2%	その他の「体験」 5.1%	遊園地などのレジャー施設 4.5%	ハイキング・ピクニック 4.4%
(うち鎌倉地区)	その他の「体験」 5.1%	博物館・動植物園などの見物 3.6%	ハイキング・ピクニック 3.6%	温泉浴 3.0%	その他の「運動」 3.0%
(うち鎌倉地区以外)	遊園地などのレジャー施設 6.9%	ドライブ 5.8%	行祭事・イベントなどの見物 5.6%	その他の「体験」 5.2%	遺跡・文化財などの鑑賞 4.9%
県央	その他の「見物・鑑賞」 5.2%	ドライブ 5.2%	その他の「体験」 3.4%	遺跡・文化財などの鑑賞 2.6%	果物狩り 2.6%
湘南	その他の「体験」 6.1%	その他の「運動」 4.8%	温泉浴 4.4%	博物館・動植物園などの見物 4.0%	趣味・研究 3.1%
県西	ドライブ 7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞 6.3%	行祭事・イベントなどの見物 4.2%	ハイキング・ピクニック 4.2%	趣味・研究 3.7%
(うち箱根・湯河原地区)	ドライブ 7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞 6.5%	行祭事・イベントなどの見物 4.3%	ハイキング・ピクニック 4.1%	趣味・研究 3.7%
(うち箱根・湯河原地区以外)	釣り 4.8%	ハイキング・ピクニック 4.8%	博物館・動植物園などの見物 3.8%	タイピングなどのマリンスポーツ 3.8%	遺跡・文化財などの鑑賞 2.9%
全県	遺跡・文化財などの鑑賞 9.3%	博物館・動植物園などの見物 8.2%	遊園地などのレジャー施設 7.1%	ドライブ 3.9%	その他の「体験」 3.3%

(日帰り)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	自然・風景鑑賞	32.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.5%	買い物・飲食	17.0%	行祭事・イベントなどの見物	9.8%	博物館・動植物園などの見物	7.1%
(うち横浜地区)	自然・風景鑑賞	37.7%	買い物・飲食	22.9%	遺跡・文化財などの鑑賞	13.5%	行祭事・イベントなどの見物	12.9%	博物館・動植物園などの見物	8.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	遺跡・文化財などの鑑賞	27.6%	自然・風景鑑賞	20.0%	趣味・研究	4.4%	ハイキング・ピクニック	4.2%	博物館・動植物園などの見物	2.4%
三浦半島	自然・風景鑑賞	43.0%	遺跡・文化財などの鑑賞	42.9%	買い物・飲食	14.3%	ハイキング・ピクニック	10.2%	行祭事・イベントなどの見物	6.3%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	58.0%	自然・風景鑑賞	46.4%	ハイキング・ピクニック	11.6%	行祭事・イベントなどの見物	7.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.8%
(うち鎌倉地区以外)	買い物・飲食	37.9%	自然・風景鑑賞	33.8%	遊園地などのレジャー施設	21.5%	ドライブ	12.0%	温泉浴	7.3%
県央	自然・風景鑑賞	55.7%	ハイキング・ピクニック	14.6%	遊園地などのレジャー施設	12.5%	行祭事・イベントなどの見物	10.1%	ドライブ	10.1%
湘南	自然・風景鑑賞	40.7%	博物館・動植物園などの見物	16.3%	ハイキング・ピクニック	10.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%	ドライブ	7.2%
県西	自然・風景鑑賞	53.1%	温泉浴	32.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.9%	博物館・動植物園などの見物	9.9%	ドライブ	7.9%
(うち箱根・湯河原地区)	自然・風景鑑賞	55.3%	温泉浴	40.4%	博物館・動植物園などの見物	8.9%	ドライブ	7.8%	買い物・飲食	5.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	遺跡・文化財などの鑑賞	51.3%	自然・風景鑑賞	47.5%	博物館・動植物園などの見物	12.6%	温泉浴	10.9%	ドライブ	8.4%
全県	自然・風景鑑賞	42.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	19.6%	買い物・飲食	11.3%	博物館・動植物園などの見物	7.5%	ハイキング・ピクニック	7.2%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	その他の「見物・鑑賞」	6.5%	遊園地などのレジャー施設	5.2%	ハイキング・ピクニック	3.3%	趣味・研究	2.7%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区)	その他の「見物・鑑賞」	8.5%	遊園地などのレジャー施設	7.3%	ハイキング・ピクニック	2.9%	趣味・研究	2.0%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	行祭事・イベントなどの見物	2.0%	買い物・飲食	2.0%	その他の「運動」	2.0%	その他の「体験」	1.8%	その他の「見物・鑑賞」	1.6%
三浦半島	その他の「見物・鑑賞」	6.2%	遊園地などのレジャー施設	5.9%	ドライブ	5.4%	温泉浴	2.8%	趣味・研究	2.8%
(うち鎌倉地区)	買い物・飲食	5.8%	ドライブ	3.0%	その他の「運動」	2.7%	趣味・研究	2.6%	博物館・動植物園などの見物	1.9%
(うち鎌倉地区以外)	その他の「体験」	6.6%	ハイキング・ピクニック	6.3%	果物狩り	6.0%	博物館・動植物園などの見物	4.4%	その他の「見物・鑑賞」	4.4%
県央	買い物・飲食	5.6%	趣味・研究	3.9%	博物館・動植物園などの見物	3.0%	その他の「見物・鑑賞」	3.0%	温泉浴	2.5%
湘南	登山	6.4%	買い物・飲食	5.6%	スポーツ見物	4.0%	その他の「体験」	3.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	3.5%
県西	買い物・飲食	6.2%	その他の「見物・鑑賞」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.4%	趣味・研究	2.6%	ハイキング・ピクニック	2.2%
(うち箱根・湯河原地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	5.0%	遊園地などのレジャー施設	4.8%	その他の「見物・鑑賞」	4.2%	ハイキング・ピクニック	2.4%	趣味・研究	2.3%
(うち箱根・湯河原地区以外)	その他の「見物・鑑賞」	7.6%	買い物・飲食	7.1%	行祭事・イベントなどの見物	5.9%	その他の「運動」	5.0%	遊園地などのレジャー施設	3.4%
全県	温泉浴	6.8%	行祭事・イベントなどの見物	6.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.0%	遊園地などのレジャー施設	5.8%	ドライブ	5.3%

(その他関連データ)

○居住地(県内・県外)別 来訪の目的

(宿泊・三浦半島)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	遺跡・文化財などの鑑賞	24.6%	自然・風景鑑賞	24.3%	温泉浴	22.1%	買い物・飲食	20.5%	行祭事・イベントなどの見物	8.5%
県内	温泉浴	47.2%	自然・風景鑑賞	24.7%	買い物・飲食	18.0%	その他の「見物・鑑賞」	11.2%	ドライブ	7.9%
総計	温泉浴	27.6%	自然・風景鑑賞	24.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	20.0%	買い物・飲食	19.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.9%

(日帰り・三浦半島)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	遺跡・文化財などの鑑賞	57.1%	自然・風景鑑賞	43.5%	買い物・飲食	12.1%	ハイキング・ピクニック	7.5%	その他の「見物・鑑賞」	7.1%
県内	自然・風景鑑賞	42.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	31.4%	買い物・飲食	16.1%	ハイキング・ピクニック	12.5%	遊園地などのレジャー施設	8.8%
総計	自然・風景鑑賞	43.0%	遺跡・文化財などの鑑賞	42.9%	買い物・飲食	14.3%	ハイキング・ピクニック	10.2%	行祭事・イベントなどの見物	6.3%

○居住地(県内・県外)別 消費単価

(宿泊・三浦半島)

(円)

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など					
県外	28,050	1,432	697	147	14,023	5,412	4,477	1,618	245
県内	25,544	866	1,621	63	13,441	4,235	3,084	1,327	907
総計	27,503	1,309	898	129	13,896	5,155	4,173	1,554	389

(日帰り・三浦半島)

(円)

	総額	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など				
県外	6,013	1,098	504	163	1,970	1,781	489	8
県内	3,988	543	446	35	1,595	1,020	341	7
総計	4,908	795	472	93	1,765	1,367	408	7

○居住地(県内・県外)別 来訪の形態

(宿泊・三浦半島)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	83.6%	8.4%	0.5%	2.4%	5.2%	100.0%
県内	87.1%	3.9%	1.1%	2.2%	5.6%	100.0%
総計	84.3%	7.4%	0.6%	2.4%	5.4%	100.0%

(日帰り・三浦半島)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	88.4%	0.7%	2.1%	7.1%	1.7%	100.0%
県内	96.2%	0.0%	0.3%	1.7%	1.8%	100.0%
総計	92.7%	0.3%	1.1%	4.1%	1.8%	100.0%

○居住地（県内・県外）別 立ち寄り地点数

（宿泊・三浦半島）

	平均立ち寄り地点数
県外	2.9
県内	2.1
総計	2.7

（日帰り・三浦半島）

	平均立ち寄り地点数
県外	2.7
県内	2.1
総計	2.4

○居住地（県内・県外）別 満足度

（宿泊・三浦半島）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	45.4%	41.9%	1.3%	0.6%	3.4%	7.4%	100.0%
県内	52.2%	37.1%	2.8%	0.0%	1.7%	6.2%	100.0%
総計	46.9%	40.7%	1.6%	0.5%	3.0%	7.2%	100.0%

（日帰り・三浦半島）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	49.4%	40.9%	0.4%	0.0%	4.3%	5.0%	100.0%
県内	41.7%	30.3%	1.5%	0.5%	3.0%	23.0%	100.0%
総計	45.1%	35.1%	1.0%	0.3%	3.6%	15.0%	100.0%

【鎌倉地区】

○宿泊客だけでなく、日帰り客においても比較的遠方の地域からも集客している

宿泊客では県外客の比率は圏域全体と比較してさらに高くなり、92.8%が県外客、うち55.2%が首都圏以外の遠方地域からの来訪となっている。このことから鎌倉が歴史ある都市としての観光地が広域的に全国から集客していることが分かる。

一方、鎌倉地区以外では、66.3%の県外客のうち52.8%が首都圏からの来訪となっており、比較的近隣の都県からの来訪が多いことがうかがえる。

日帰り客では特に51.5%が県外客、うち14.9%が首都圏以外の県外客となり、その傾向はさらに強くなる。

鎌倉地区以外では県外客はほぼ首都圏からの来訪客であり、近隣都県からの日帰り観光エリアとしての性格が読み取れる。

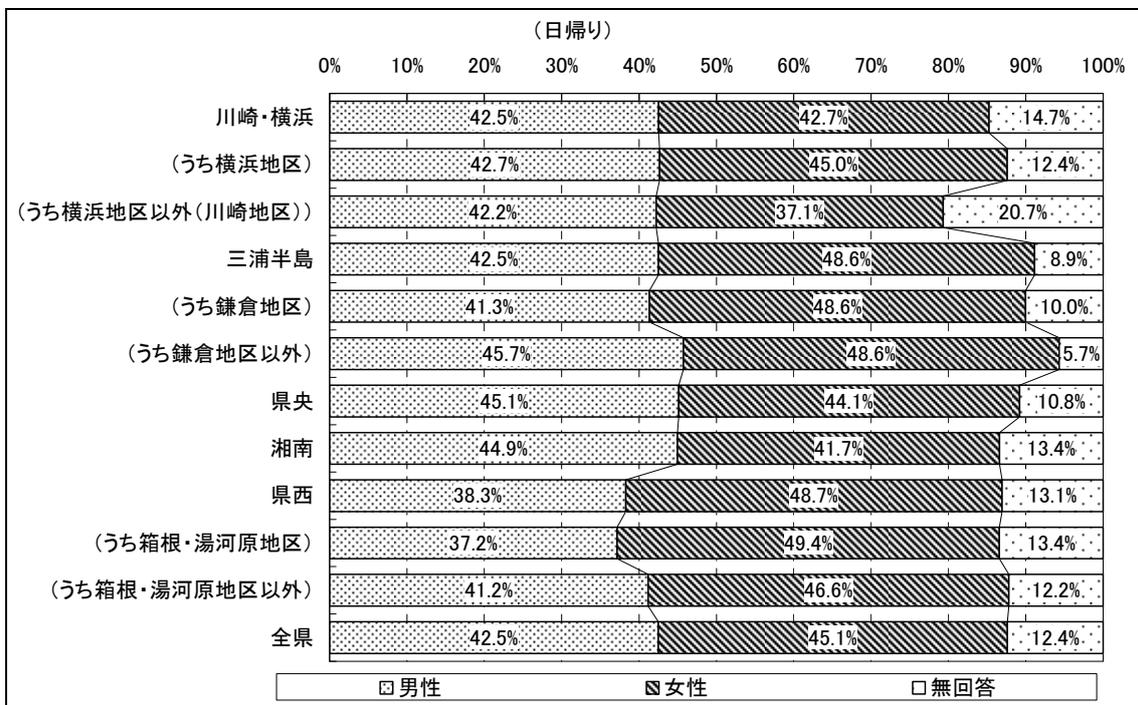
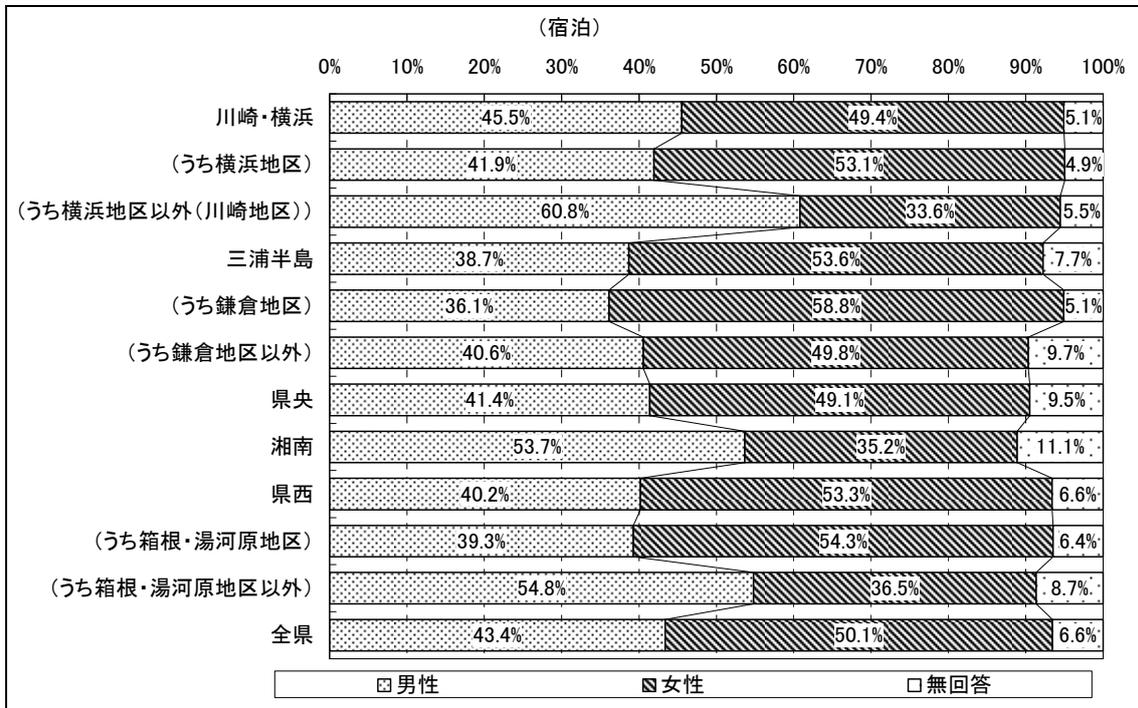
(宿泊)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	12.9%	22.9%	63.9%	0.3%	100.0%
(うち横浜地区)	13.8%	25.1%	61.0%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.2%	13.6%	76.3%	0.9%	100.0%
三浦半島	22.2%	46.4%	31.0%	0.4%	100.0%
(うち鎌倉地区)	6.9%	37.6%	55.2%	0.3%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	33.3%	52.8%	13.5%	0.4%	100.0%
県央	49.1%	37.9%	12.9%	0.0%	100.0%
湘南	11.9%	30.2%	57.2%	0.6%	100.0%
県西	31.3%	52.7%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	30.6%	53.3%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	43.3%	41.3%	14.4%	1.0%	100.0%
全県	21.1%	37.1%	41.4%	0.5%	100.0%

(日帰り)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	59.4%	30.0%	9.1%	1.5%	100.0%
(うち横浜地区)	59.6%	28.6%	10.4%	1.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	59.1%	33.6%	5.8%	1.6%	100.0%
三浦半島	55.0%	33.8%	11.0%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	48.3%	36.6%	14.9%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	73.5%	26.2%	0.3%	0.0%	100.0%
県央	75.8%	22.1%	1.3%	0.8%	100.0%
湘南	74.2%	19.9%	5.4%	0.4%	100.0%
県西	49.5%	34.7%	13.7%	2.2%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	43.1%	38.6%	15.2%	3.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	66.0%	24.4%	9.7%	0.0%	100.0%
全県	60.9%	29.2%	8.8%	1.0%	100.0%

鎌倉地区では宿泊客で 58.8%、日帰り客で 48.6%が女性客であり、女性に人気の観光地であることがうかがえる。



鎌倉地区では2人の比率は宿泊客で56.7%、日帰り客で52.4%と圏域全体と比較して高い数値となっている。

(宿泊)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	22.1%	44.4%	13.4%	10.5%	3.3%	1.3%	0.9%	2.9%	1.2%	100.0%
(うち横浜地区)	16.2%	47.0%	15.0%	11.9%	3.7%	1.2%	0.8%	3.1%	1.0%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.5%	33.2%	6.5%	4.4%	1.6%	1.8%	1.2%	2.1%	1.8%	100.0%
三浦半島	10.6%	44.8%	14.4%	13.0%	5.1%	3.4%	2.6%	5.4%	0.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	56.7%	11.3%	6.6%	1.8%	0.3%	0.3%	1.2%	0.9%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	36.3%	16.5%	17.6%	7.5%	5.6%	4.3%	8.4%	0.6%	100.0%
県央	10.3%	39.7%	15.5%	12.1%	5.2%	2.6%	3.4%	11.2%	0.0%	100.0%
湘南	38.4%	30.6%	9.9%	7.1%	2.5%	2.1%	0.4%	7.5%	1.5%	100.0%
県西	1.3%	49.6%	17.3%	12.0%	6.1%	4.4%	2.0%	5.5%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	50.3%	17.3%	12.0%	6.2%	4.4%	1.9%	5.1%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	37.5%	17.3%	12.5%	5.8%	5.8%	4.8%	12.5%	2.9%	100.0%
全県	14.7%	44.9%	14.6%	11.1%	4.5%	2.7%	1.5%	4.7%	1.3%	100.0%

(日帰り)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	17.2%	43.0%	14.5%	9.4%	4.1%	1.9%	1.5%	6.5%	2.0%	100.0%
(うち横浜地区)	17.7%	45.1%	14.7%	8.7%	3.5%	1.6%	1.2%	5.8%	1.8%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	37.8%	14.0%	11.1%	5.3%	2.7%	2.4%	8.2%	2.7%	100.0%
三浦半島	10.2%	46.8%	15.1%	12.3%	5.4%	2.0%	0.8%	6.3%	1.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	12.1%	52.4%	14.2%	8.9%	2.5%	1.4%	0.7%	6.5%	1.4%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	31.2%	17.4%	21.8%	13.2%	3.8%	1.3%	5.7%	0.6%	100.0%
県央	8.1%	39.6%	19.4%	18.2%	6.4%	2.4%	0.8%	4.4%	0.8%	100.0%
湘南	16.2%	35.7%	16.9%	11.6%	6.8%	2.5%	1.1%	6.6%	2.5%	100.0%
県西	6.4%	43.1%	14.9%	12.7%	7.5%	3.0%	1.3%	7.7%	3.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	6.0%	45.7%	14.1%	12.4%	6.1%	2.7%	0.6%	8.2%	4.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.6%	36.1%	17.2%	13.4%	10.9%	3.8%	2.9%	6.3%	1.7%	100.0%
全県	12.4%	42.4%	15.7%	12.0%	5.7%	2.3%	1.2%	6.4%	2.0%	100.0%

年代を見ると、宿泊客では50代が25.7%、日帰り客では60歳以上が24.3%と最も多くなっている。

(宿泊)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	1.1%	11.4%	26.1%	25.8%	20.4%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区)	1.2%	11.7%	27.3%	25.3%	19.2%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.9%	10.1%	21.0%	27.9%	25.3%	13.8%	0.9%	100.0%
三浦半島	1.5%	9.9%	15.9%	20.5%	23.2%	26.8%	2.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.8%	17.6%	17.6%	18.5%	25.7%	16.7%	2.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	1.3%	4.3%	14.6%	21.9%	21.5%	34.1%	2.4%	100.0%
県央	0.0%	7.8%	23.3%	19.0%	22.4%	25.9%	1.7%	100.0%
湘南	1.7%	10.1%	20.3%	22.9%	22.2%	20.1%	2.7%	100.0%
県西	1.3%	8.5%	17.5%	15.7%	22.2%	32.2%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.4%	8.4%	17.0%	16.0%	22.2%	32.3%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	9.6%	26.0%	9.6%	22.1%	29.8%	2.9%	100.0%
全県	1.3%	10.0%	21.2%	21.3%	21.6%	22.7%	1.9%	100.0%

(日帰り)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	4.6%	12.3%	20.8%	15.0%	15.9%	23.9%	7.4%	100.0%
(うち横浜地区)	5.8%	14.7%	21.9%	14.8%	15.6%	21.9%	5.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	6.4%	18.0%	15.6%	16.9%	29.1%	12.4%	100.0%
三浦半島	3.3%	16.2%	21.3%	16.0%	16.7%	22.8%	3.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	4.3%	18.0%	17.7%	15.8%	15.8%	24.3%	4.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	0.6%	11.4%	31.2%	16.4%	19.2%	18.6%	2.5%	100.0%
県央	2.2%	13.5%	22.1%	21.2%	18.0%	16.2%	6.9%	100.0%
湘南	3.0%	18.6%	23.9%	14.5%	14.0%	22.2%	3.8%	100.0%
県西	1.1%	14.9%	23.9%	17.5%	16.0%	20.2%	6.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.0%	16.6%	21.8%	18.7%	16.0%	18.9%	6.9%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.3%	10.5%	29.4%	14.3%	16.0%	23.5%	5.0%	100.0%
全県	3.1%	14.8%	22.1%	16.3%	16.1%	21.8%	5.7%	100.0%

○交通アクセスの利便性が高いことから鉄道の利用率が高い。

鎌倉地区では鉄道（JR 在来線）の利用率が宿泊客 58.8%、日帰り客 65.7%と高く、自家用車はそれぞれ 17.3%、15.8%と低いことから、JR による交通アクセスの利便性が高いことが分かる。

鎌倉地区以外の三浦半島圏域では、鉄道（その他私鉄）の利用率は宿泊客で 35.0%、日帰り客で 24.6%と全県と比較して高く、また路線バスの利用率も宿泊客で 8.4%、日帰り客で 10.7%と比較的高いものの、最も利用率が高いのは自家用車で宿泊客 53.0%、日帰り客 63.4%となっている。このことから、鉄道やバス路線が運行している観光地以外では自動車での来訪が主であることが読み取れる。これに関して、事業者ヒアリングでは土日は道路が一本道のために渋滞し、観光客からもそれについての意見が多いことが指摘されている。

(宿泊)

	① 航空機	② 新幹線	③ JR 在来線	④ その他私鉄	⑤ 貸切バス・定期観光バス	⑥ 高速バス	⑦ 路線バス	⑧ 自家用車	⑨ タクシー	⑩ レンタカー	⑪ 船舶（フェリー、遊覧船など）	⑫ その他
川崎・横浜	16.5%	29.0%	37.5%	23.8%	1.1%	3.5%	3.4%	24.9%	4.4%	0.9%	1.4%	0.4%
（うち横浜地区）	15.0%	27.3%	36.8%	24.6%	1.3%	3.5%	3.2%	27.8%	4.2%	0.7%	1.7%	0.3%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	22.8%	36.4%	40.3%	20.5%	0.5%	3.5%	4.1%	12.2%	4.8%	1.8%	0.2%	0.9%
三浦半島	5.9%	16.4%	35.6%	30.5%	0.9%	1.6%	7.1%	38.1%	4.4%	1.4%	0.6%	1.2%
（うち鎌倉地区）	10.7%	33.1%	58.8%	24.2%	0.6%	3.0%	5.4%	17.3%	5.7%	0.9%	0.3%	1.2%
（うち鎌倉地区以外）	2.4%	4.3%	18.9%	35.0%	1.1%	0.6%	8.4%	53.0%	3.4%	1.7%	0.9%	1.3%
県央	2.6%	6.0%	14.7%	25.0%	0.9%	0.0%	12.9%	62.1%	4.3%	2.6%	0.0%	2.6%
湘南	10.7%	23.5%	42.6%	23.1%	0.2%	3.4%	5.9%	30.8%	4.8%	2.1%	0.8%	1.0%
県西	1.4%	7.8%	21.2%	33.2%	1.7%	1.7%	8.2%	44.4%	3.8%	1.3%	3.2%	1.3%
（うち箱根・湯河原地区）	1.5%	8.0%	20.3%	34.7%	1.7%	1.8%	8.6%	44.0%	3.7%	1.2%	3.4%	1.1%
（うち箱根・湯河原地区以外）	0.0%	4.8%	35.6%	6.7%	1.9%	0.0%	1.0%	51.0%	4.8%	1.9%	1.0%	3.8%
全県	9.1%	19.2%	31.8%	27.8%	1.2%	2.5%	5.9%	34.6%	4.2%	1.2%	1.8%	0.9%

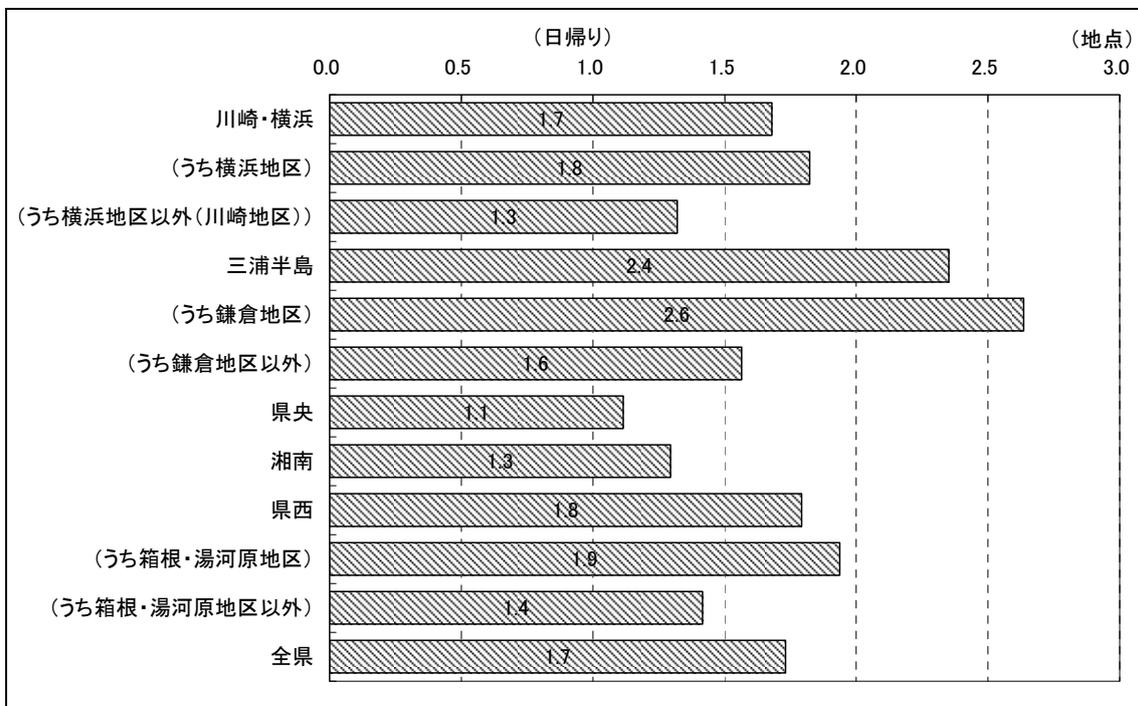
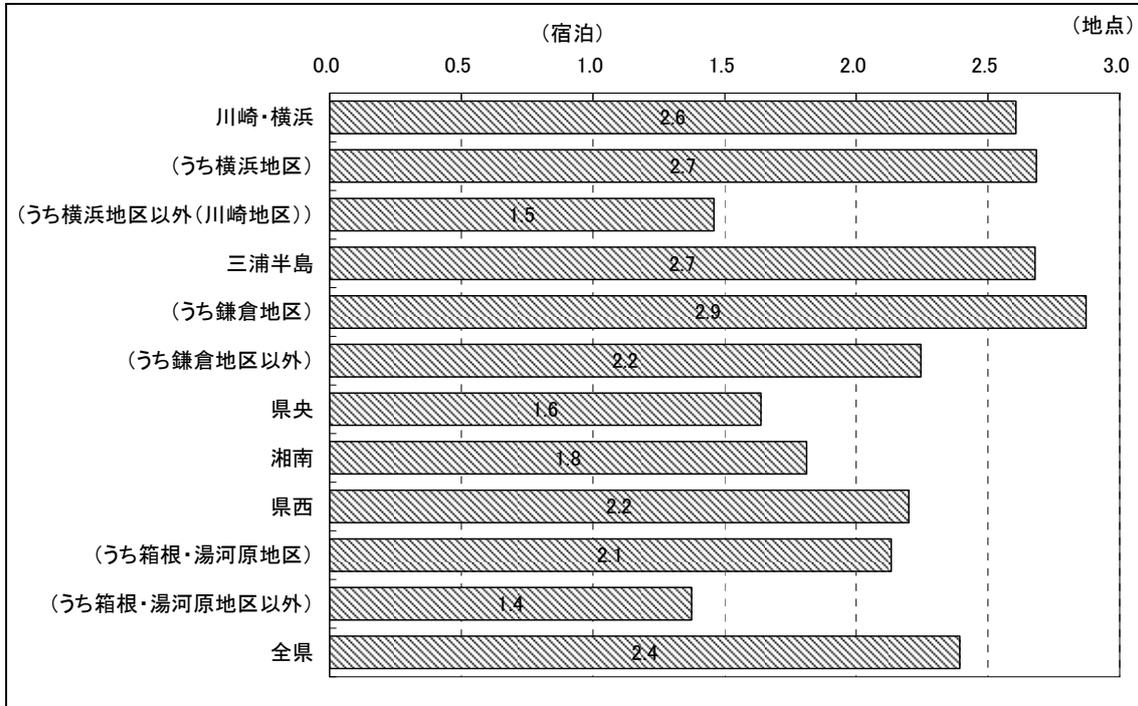
(日帰り)

	① 航空機	② 新幹線	③ JR 在来線	④ その他私鉄	⑤ 貸切バス・定期観光バス	⑥ 高速バス	⑦ 路線バス	⑧ 自家用車	⑨ タクシー	⑩ レンタカー	⑪ 船舶（フェリー、遊覧船など）	⑫ その他
川崎・横浜	0.4%	1.8%	22.0%	29.4%	1.8%	0.1%	7.5%	28.7%	0.8%	0.1%	0.2%	3.3%
（うち横浜地区）	0.4%	2.1%	26.7%	25.5%	1.7%	0.0%	8.9%	25.0%	0.8%	0.1%	0.3%	2.4%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	0.2%	0.9%	10.2%	39.3%	2.0%	0.2%	3.8%	38.0%	0.9%	0.0%	0.0%	5.6%
三浦半島	0.3%	1.0%	49.0%	11.5%	2.0%	0.3%	4.9%	28.5%	0.8%	0.2%	0.3%	2.5%
（うち鎌倉地区）	0.5%	1.4%	65.7%	6.8%	2.1%	0.3%	2.8%	15.8%	0.7%	0.2%	0.2%	2.8%
（うち鎌倉地区以外）	0.0%	0.0%	2.8%	24.6%	1.9%	0.0%	10.7%	63.4%	0.9%	0.0%	0.6%	1.6%
県央	0.0%	0.0%	5.2%	4.2%	0.5%	0.0%	3.4%	63.3%	0.0%	0.2%	0.0%	5.1%
湘南	0.1%	0.5%	7.4%	30.4%	0.5%	0.1%	4.5%	35.9%	0.1%	0.4%	0.0%	4.9%
県西	0.2%	1.4%	13.9%	26.5%	2.5%	0.8%	4.3%	47.7%	0.4%	0.8%	0.1%	0.9%
（うち箱根・湯河原地区）	0.3%	1.3%	7.9%	32.8%	2.9%	1.1%	4.5%	48.5%	0.3%	1.1%	0.2%	0.6%
（うち箱根・湯河原地区以外）	0.0%	1.7%	29.4%	10.1%	1.3%	0.0%	3.8%	45.8%	0.4%	0.0%	0.0%	1.7%
全県	0.3%	1.1%	22.8%	21.8%	1.6%	0.2%	5.4%	37.1%	0.5%	0.3%	0.2%	3.2%

※日帰り客調査の夏季、秋期調査においては交通手段を尋ねる質問を設けなかったため、消費額の回答内容等から類推している。

○地区内の多数の寺社仏閣を鑑賞して回る観光が中心となっている。

平均立ち寄り地点数についてみると、鎌倉地区では宿泊客 2.9 地点、日帰り客で 2.4 地点と全県を上回っている。



また、来訪の目的として、「遺跡・文化財などの鑑賞」が宿泊客で40.9%、日帰り客で58.0%と、ともに最も多くなっていることから、地区内の多数の寺社仏閣を鑑賞して回る観光が中心であることがうかがえる。

(宿泊)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	買い物・飲食	27.2%	その他の「見物・鑑賞」	16.5%	行祭事・イベントなどの見物	14.5%	遊園地などのレジャー施設	12.3%	自然・風景鑑賞	8.8%
（うち横浜地区）	買い物・飲食	30.8%	その他の「見物・鑑賞」	17.3%	行祭事・イベントなどの見物	15.2%	遊園地などのレジャー施設	14.5%	自然・風景鑑賞	10.1%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	その他の「見物・鑑賞」	13.4%	買い物・飲食	11.8%	行祭事・イベントなどの見物	11.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	5.3%	その他の「体験」	4.6%
三浦半島	温泉浴	27.6%	自然・風景鑑賞	24.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	20.0%	買い物・飲食	19.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.9%
（うち鎌倉地区）	遺跡・文化財などの鑑賞	40.9%	自然・風景鑑賞	22.7%	買い物・飲食	21.2%	行祭事・イベントなどの見物	9.9%	その他の「見物・鑑賞」	9.0%
（うち鎌倉地区以外）	温泉浴	45.3%	自然・風景鑑賞	25.8%	買い物・飲食	18.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.8%	博物館・動植物園などの見物	8.2%
県央	温泉浴	57.8%	自然・風景鑑賞	16.4%	趣味・研究	9.5%	ハイキング・ピクニック	8.6%	買い物・飲食	6.9%
湘南	遺跡・文化財などの鑑賞	13.0%	行祭事・イベントなどの見物	10.7%	自然・風景鑑賞	9.6%	その他の「見物・鑑賞」	9.6%	買い物・飲食	8.6%
県西	温泉浴	71.4%	自然・風景鑑賞	26.9%	買い物・飲食	14.5%	博物館・動植物園などの見物	11.5%	その他の「見物・鑑賞」	7.8%
（うち箱根・湯河原地区）	温泉浴	73.6%	自然・風景鑑賞	26.8%	買い物・飲食	13.8%	博物館・動植物園などの見物	12.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%
（うち箱根・湯河原地区以外）	温泉浴	35.6%	自然・風景鑑賞	27.9%	買い物・飲食	26.0%	ドライブ	7.7%	その他の「見物・鑑賞」	4.8%
全県	温泉浴	29.9%	買い物・飲食	19.9%	自然・風景鑑賞	17.3%	その他の「見物・鑑賞」	11.7%	行祭事・イベントなどの見物	9.5%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	博物館・動植物園などの見物	7.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	7.5%	その他の「体験」	3.3%	スポーツ見物	2.7%	その他の「運動」	2.3%
（うち横浜地区）	博物館・動植物園などの見物	8.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	8.0%	その他の「体験」	3.0%	スポーツ見物	2.6%	その他の「運動」	2.3%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	自然・風景鑑賞	3.2%	遊園地などのレジャー施設	3.2%	博物館・動植物園などの見物	2.8%	スポーツ見物	2.8%	趣味・研究	2.5%
三浦半島	行祭事・イベントなどの見物	7.4%	博物館・動植物園などの見物	6.2%	その他の「体験」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.5%	ハイキング・ピクニック	4.4%
（うち鎌倉地区）	その他の「体験」	5.1%	博物館・動植物園などの見物	3.6%	ハイキング・ピクニック	3.6%	温泉浴	3.0%	その他の「運動」	3.0%
（うち鎌倉地区以外）	遊園地などのレジャー施設	6.9%	ドライブ	5.8%	行祭事・イベントなどの見物	5.6%	その他の「体験」	5.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	4.9%
県央	その他の「見物・鑑賞」	5.2%	ドライブ	5.2%	その他の「体験」	3.4%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.6%	果物狩り	2.6%
湘南	その他の「体験」	6.1%	その他の「運動」	4.8%	温泉浴	4.4%	博物館・動植物園などの見物	4.0%	趣味・研究	3.1%
県西	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.3%	行祭事・イベントなどの見物	4.2%	ハイキング・ピクニック	4.2%	趣味・研究	3.7%
（うち箱根・湯河原地区）	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.5%	行祭事・イベントなどの見物	4.3%	ハイキング・ピクニック	4.1%	趣味・研究	3.7%
（うち箱根・湯河原地区以外）	釣り	4.8%	ハイキング・ピクニック	4.8%	博物館・動植物園などの見物	3.8%	タイピングなどのマリンスポーツ	3.8%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.9%
全県	遺跡・文化財などの鑑賞	9.3%	博物館・動植物園などの見物	8.2%	遊園地などのレジャー施設	7.1%	ドライブ	3.9%	その他の「体験」	3.3%

(日帰り)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	自然・風景鑑賞	32.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.5%	買い物・飲食	17.0%	行祭事・イベントなどの見物	9.8%	博物館・動植物園などの見物	7.1%
(うち横浜地区)	自然・風景鑑賞	37.7%	買い物・飲食	22.9%	遺跡・文化財などの鑑賞	13.5%	行祭事・イベントなどの見物	12.9%	博物館・動植物園などの見物	8.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	遺跡・文化財などの鑑賞	27.6%	自然・風景鑑賞	20.0%	趣味・研究	4.4%	ハイキング・ピクニック	4.2%	博物館・動植物園などの見物	2.4%
三浦半島	自然・風景鑑賞	43.0%	遺跡・文化財などの鑑賞	42.9%	買い物・飲食	14.3%	ハイキング・ピクニック	10.2%	行祭事・イベントなどの見物	6.3%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	58.0%	自然・風景鑑賞	46.4%	ハイキング・ピクニック	11.6%	行祭事・イベントなどの見物	7.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.8%
(うち鎌倉地区以外)	買い物・飲食	37.9%	自然・風景鑑賞	33.8%	遊園地などのレジャー施設	21.5%	ドライブ	12.0%	温泉浴	7.3%
県央	自然・風景鑑賞	55.7%	ハイキング・ピクニック	14.6%	遊園地などのレジャー施設	12.5%	行祭事・イベントなどの見物	10.1%	ドライブ	10.1%
湘南	自然・風景鑑賞	40.7%	博物館・動植物園などの見物	16.3%	ハイキング・ピクニック	10.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%	ドライブ	7.2%
県西	自然・風景鑑賞	53.1%	温泉浴	32.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.9%	博物館・動植物園などの見物	9.9%	ドライブ	7.9%
(うち箱根・湯河原地区)	自然・風景鑑賞	55.3%	温泉浴	40.4%	博物館・動植物園などの見物	8.9%	ドライブ	7.8%	買い物・飲食	5.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	遺跡・文化財などの鑑賞	51.3%	自然・風景鑑賞	47.5%	博物館・動植物園などの見物	12.6%	温泉浴	10.9%	ドライブ	8.4%
全県	自然・風景鑑賞	42.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	19.6%	買い物・飲食	11.3%	博物館・動植物園などの見物	7.5%	ハイキング・ピクニック	7.2%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	その他の「見物・鑑賞」	6.5%	遊園地などのレジャー施設	5.2%	ハイキング・ピクニック	3.3%	趣味・研究	2.7%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区)	その他の「見物・鑑賞」	8.5%	遊園地などのレジャー施設	7.3%	ハイキング・ピクニック	2.9%	趣味・研究	2.0%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	行祭事・イベントなどの見物	2.0%	買い物・飲食	2.0%	その他の「運動」	2.0%	その他の「体験」	1.8%	その他の「見物・鑑賞」	1.6%
三浦半島	その他の「見物・鑑賞」	6.2%	遊園地などのレジャー施設	5.9%	ドライブ	5.4%	温泉浴	2.8%	趣味・研究	2.8%
(うち鎌倉地区)	買い物・飲食	5.8%	ドライブ	3.0%	その他の「運動」	2.7%	趣味・研究	2.6%	博物館・動植物園などの見物	1.9%
(うち鎌倉地区以外)	その他の「体験」	6.6%	ハイキング・ピクニック	6.3%	果物狩り	6.0%	博物館・動植物園などの見物	4.4%	その他の「見物・鑑賞」	4.4%
県央	買い物・飲食	5.6%	趣味・研究	3.9%	博物館・動植物園などの見物	3.0%	その他の「見物・鑑賞」	3.0%	温泉浴	2.5%
湘南	登山	6.4%	買い物・飲食	5.6%	スポーツ見物	4.0%	その他の「体験」	3.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	3.5%
県西	買い物・飲食	6.2%	その他の「見物・鑑賞」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.4%	趣味・研究	2.6%	ハイキング・ピクニック	2.2%
(うち箱根・湯河原地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	5.0%	遊園地などのレジャー施設	4.8%	その他の「見物・鑑賞」	4.2%	ハイキング・ピクニック	2.4%	趣味・研究	2.3%
(うち箱根・湯河原地区以外)	その他の「見物・鑑賞」	7.6%	買い物・飲食	7.1%	行祭事・イベントなどの見物	5.9%	その他の「運動」	5.0%	遊園地などのレジャー施設	3.4%
全県	温泉浴	6.8%	行祭事・イベントなどの見物	6.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.0%	遊園地などのレジャー施設	5.8%	ドライブ	5.3%

(宿泊)項目別 県内分

(円)

	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買 い物代	施設入場 料・施設利 用料	その他	計
	電車代・タ クシー・バ ス代	駐車場・ガ ソリン・レン タカー代	周遊券など						
川崎・横浜	1,870	870	151	11,777	8,721	6,532	1,410	599	31,930
(うち横浜地区)	1,646	887	164	11,291	8,727	7,084	1,473	599	31,872
(うち横浜地区以外(川崎地区))	2,869	796	94	13,944	8,693	4,070	1,127	601	32,192
三浦半島	1,309	898	129	13,896	5,155	4,173	1,554	389	27,503
(うち鎌倉地区)	1,553	355	131	12,581	7,000	4,696	1,575	226	28,117
(うち鎌倉地区以外)	1,126	1,304	127	14,880	3,775	3,782	1,538	512	27,044
県央	1,261	1,429	23	17,859	4,800	1,711	619	200	27,902
湘南	2,490	1,494	78	12,058	7,599	3,659	1,580	781	29,739
県西	1,585	984	551	17,125	4,146	4,317	1,326	338	30,374
(うち箱根・湯河原地区)	1,602	979	571	17,232	4,236	4,444	1,367	330	30,760
(うち箱根・湯河原地区以外)	1,302	1,073	210	15,314	2,631	2,162	627	485	23,804
全県	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489	30,511

(日帰り)項目別 県内分

(円)

	交通費			飲食代	土産品・買 い物代	施設入場 料・施設利 用料	その他	合計
	電車代・タ クシー・バ ス代	駐車場・ガ ソリン・レン タカー代	周遊券など					
川崎・横浜	921	335	30	1,618	1,078	498	35	4,515
(うち横浜地区)	1,028	375	38	1,813	1,078	596	11	4,939
(うち横浜地区以外(川崎地区))	637	229	8	1,100	1,076	236	99	3,385
三浦半島	795	472	93	1,765	1,367	408	7	4,908
(うち鎌倉地区)	862	307	99	1,593	1,289	418	8	4,576
(うち鎌倉地区以外)	611	926	79	2,236	1,583	381	7	5,822
県央	213	561	18	1,080	588	352	20	2,832
湘南	876	482	48	1,093	548	827	42	3,916
県西	1,362	721	114	1,773	1,426	1,137	48	6,579
(うち箱根・湯河原地区)	1,653	854	158	2,029	1,550	1,349	58	7,651
(うち箱根・湯河原地区以外)	628	385	2	1,127	1,115	603	21	3,881
全県	880	482	61	1,539	1,071	620	30	4,682

また、土産品の内訳としては、鎌倉地区では食料品の比率がもっとも高く、全県の比率を上回っているほか、パルプ・紙・木製品がそれに次いで比率が高くなっている。これは、各種のお菓子や木製工芸品が購入されていることが反映していると思われる。

(土産品の内訳推計・総額ベース)

	農林水産業	食料品	繊維製品	パルプ・紙・ 木製品	その他の製 造工業製品	窯業・土木 製品	金属製品	電気機械	合計
川崎・横浜	0.7%	32.1%	43.5%	3.7%	15.2%	2.2%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区)	0.5%	31.0%	45.2%	3.1%	15.7%	1.8%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	39.6%	31.3%	8.5%	11.8%	5.1%	2.2%	0.0%	100.0%
三浦半島	23.8%	41.9%	10.2%	9.1%	10.6%	0.8%	3.6%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.9%	54.6%	11.0%	15.4%	10.4%	1.5%	5.2%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	51.1%	26.1%	9.1%	1.2%	10.8%	0.0%	1.6%	0.0%	100.0%
県央	31.7%	37.5%	7.5%	4.0%	7.1%	12.1%	0.0%	0.0%	100.0%
湘南	6.3%	33.9%	37.0%	4.3%	14.2%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%
県西	9.7%	54.6%	7.1%	9.5%	7.9%	9.4%	1.8%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	8.5%	55.4%	5.6%	10.3%	8.1%	10.1%	2.0%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	24.6%	44.5%	25.6%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全県	8.3%	40.2%	26.4%	6.3%	12.1%	4.3%	2.3%	0.1%	100.0%

○既存の媒体に留まらない生きた情報源をもとに来訪している。

宿泊客についてみると、鎌倉地区ではインターネットの利用率が37.3%と最も高くなっている。また鎌倉地区以外では口コミが33.5%と最も高くなっている。旅行ガイドブックの利用率も全県と比較して低くなっていることから、既存の媒体に留まらない生きた情報源をもとに来訪していることがうかがえる。

日帰り客では鎌倉地区では口コミ(20.2%)や旅行ガイドブック(18.6%)、鎌倉地区以外ではインターネット(27.8%)や口コミ(23.3%)を利用しての来訪が多くなっている。

(宿泊)

	① 家族や友人の勧め(口コミ)	② 旅行ガイドブック	③ 旅行雑誌	④ 旅行会社パンフレット	⑤ 旅行会社店頭での情報	⑥ テレビ・ラジオ	⑦ インターネット	⑧ 駅や社内のポスター	⑨ 行政の観光キャンペーン等のパンフレット	⑩ タウン誌・フリーペーパー	⑪ その他
川崎・横浜	22.1%	16.3%	8.1%	11.2%	4.5%	1.7%	46.2%	0.7%	2.0%	2.6%	9.5%
(うち横浜地区)	21.7%	18.8%	9.6%	12.5%	4.6%	1.7%	47.3%	0.5%	1.9%	2.6%	8.5%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	23.7%	5.3%	1.4%	5.8%	4.1%	1.4%	41.2%	1.6%	2.1%	2.5%	14.1%
三浦半島	28.7%	16.4%	10.6%	7.0%	3.0%	2.7%	32.0%	2.0%	2.9%	2.1%	18.2%
(うち鎌倉地区)	22.1%	28.1%	13.7%	6.6%	3.9%	2.7%	37.3%	3.6%	1.5%	0.9%	14.6%
(うち鎌倉地区以外)	33.5%	7.9%	8.4%	7.3%	2.4%	2.8%	28.1%	0.9%	3.9%	3.0%	20.8%
県央	27.6%	8.6%	10.3%	1.7%	0.0%	0.9%	37.9%	0.0%	6.9%	4.3%	8.6%
湘南	19.9%	11.3%	3.8%	2.3%	1.0%	2.3%	40.7%	1.0%	2.3%	1.9%	20.3%
県西	23.2%	16.1%	10.0%	15.9%	5.7%	2.2%	36.1%	1.6%	4.0%	2.1%	10.9%
(うち箱根・湯河原地区)	23.1%	16.7%	10.2%	16.8%	6.0%	2.2%	35.1%	1.7%	4.1%	2.2%	10.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	25.0%	4.8%	6.7%	1.0%	0.0%	1.9%	52.9%	1.0%	2.9%	0.0%	12.5%
全県	23.3%	15.6%	8.8%	11.2%	4.3%	2.0%	40.1%	1.2%	2.9%	2.3%	12.2%

(日帰り)

	① 家族や友人の勧め(口コミ)	② 旅行ガイドブック	③ 旅行雑誌	④ 旅行会社パンフレット	⑤ 旅行会社店頭での情報	⑥ テレビ・ラジオ	⑦ インターネット	⑧ 駅や社内のポスター	⑨ 行政の観光キャンペーン等のパンフレット	⑩ タウン誌・フリーペーパー	⑪ その他
川崎・横浜	23.2%	4.9%	2.8%	2.0%	0.4%	4.2%	13.0%	2.2%	1.8%	1.9%	19.7%
(うち横浜地区)	21.2%	6.0%	3.5%	2.2%	0.5%	5.3%	15.6%	2.9%	2.0%	2.2%	16.8%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	28.4%	2.2%	1.1%	1.6%	0.0%	1.3%	6.7%	0.4%	1.1%	1.1%	26.9%
三浦半島	21.0%	14.6%	8.4%	2.3%	0.3%	5.0%	16.3%	1.2%	0.8%	1.0%	17.9%
(うち鎌倉地区)	20.2%	18.6%	10.1%	3.1%	0.3%	3.9%	12.2%	0.5%	0.9%	0.2%	14.9%
(うち鎌倉地区以外)	23.3%	3.5%	3.5%	0.0%	0.0%	8.2%	27.8%	3.2%	0.6%	3.2%	26.2%
県央	24.7%	1.9%	2.0%	1.0%	0.0%	1.2%	15.3%	1.2%	1.5%	1.7%	20.4%
湘南	35.2%	3.9%	1.1%	1.1%	0.6%	2.5%	7.8%	2.5%	1.1%	0.3%	26.5%
県西	22.2%	14.7%	7.1%	2.2%	0.9%	4.0%	17.7%	1.2%	1.6%	0.8%	20.8%
(うち箱根・湯河原地区)	21.3%	17.4%	8.7%	2.3%	1.1%	5.0%	19.4%	1.5%	1.6%	1.0%	17.4%
(うち箱根・湯河原地区以外)	24.4%	7.6%	2.9%	2.1%	0.4%	1.3%	13.4%	0.4%	1.7%	0.4%	29.4%
全県	24.6%	8.4%	4.5%	1.9%	0.4%	3.7%	14.1%	1.7%	1.4%	1.2%	20.6%

(その他関連データ)

○居住地(県内・県外)別 来訪の目的

(宿泊・鎌倉地区)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	遺跡・文化財などの鑑賞	43.4%	自然・風景鑑賞	23.5%	買い物・飲食	20.9%	行祭事・イベントなどの見物	9.6%	その他の「見物・鑑賞」	9.0%
県内	買い物・飲食	26.1%	自然・風景鑑賞	13.0%	行祭事・イベントなどの見物	13.0%	遺跡・文化財などの鑑賞	8.7%	温泉浴	8.7%
総計	遺跡・文化財などの鑑賞	40.9%	自然・風景鑑賞	22.7%	買い物・飲食	21.2%	行祭事・イベントなどの見物	9.9%	その他の「見物・鑑賞」	9.0%

(日帰り・鎌倉地区)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	遺跡・文化財などの鑑賞	67.7%	自然・風景鑑賞	44.5%	ハイキング・ピクニック	8.4%	その他の「見物・鑑賞」	7.7%	行祭事・イベントなどの見物	7.1%
県内	自然・風景鑑賞	48.1%	遺跡・文化財などの鑑賞	47.6%	ハイキング・ピクニック	15.1%	行祭事・イベントなどの見物	8.0%	その他の「見物・鑑賞」	5.9%
総計	遺跡・文化財などの鑑賞	58.0%	自然・風景鑑賞	46.4%	ハイキング・ピクニック	11.6%	行祭事・イベントなどの見物	7.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.8%

○居住地(県内・県外)別 消費単価

(宿泊・鎌倉地区)

(円)

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など					
県外	28,493	1,572	358	134	12,765	7,025	4,877	1,546	215
県内	23,160	1,292	318	93	10,147	6,674	2,309	1,964	364
総計	28,117	1,553	355	131	12,581	7,000	4,696	1,575	226

(日帰り・鎌倉地区)

(円)

	総額	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など				
県外	5,875	1,194	394	167	1,857	1,755	499	9
県内	3,148	499	211	23	1,306	772	330	6
総計	4,576	862	307	99	1,593	1,289	418	8

○居住地(県内・県外)別 来訪の形態

(宿泊・鎌倉地区)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	81.4%	11.9%	0.3%	2.3%	4.2%	100.0%
県内	87.0%	4.3%	0.0%	0.0%	8.7%	100.0%
総計	81.5%	11.3%	0.3%	2.1%	4.8%	100.0%

(日帰り・鎌倉地区)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	88.3%	0.9%	2.4%	6.9%	1.5%	100.0%
県内	96.5%	0.0%	0.2%	1.2%	2.1%	100.0%
総計	92.3%	0.5%	1.4%	4.1%	1.8%	100.0%

○居住地（県内・県外）別 立ち寄り地点数

（宿泊・鎌倉地区）

	平均立ち寄り地点数
県外	3.4
県内	2.8
総計	3.3

（日帰り・鎌倉地区）

	平均立ち寄り地点数
県外	2.9
県内	2.4
総計	2.6

○居住地（県内・県外）別 満足度

（宿泊・鎌倉地区）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	44.7%	41.5%	1.0%	0.3%	5.5%	7.1%	100.0%
県内	56.5%	26.1%	4.3%	0.0%	8.7%	4.3%	100.0%
総計	45.4%	40.3%	1.2%	0.3%	5.7%	7.2%	100.0%

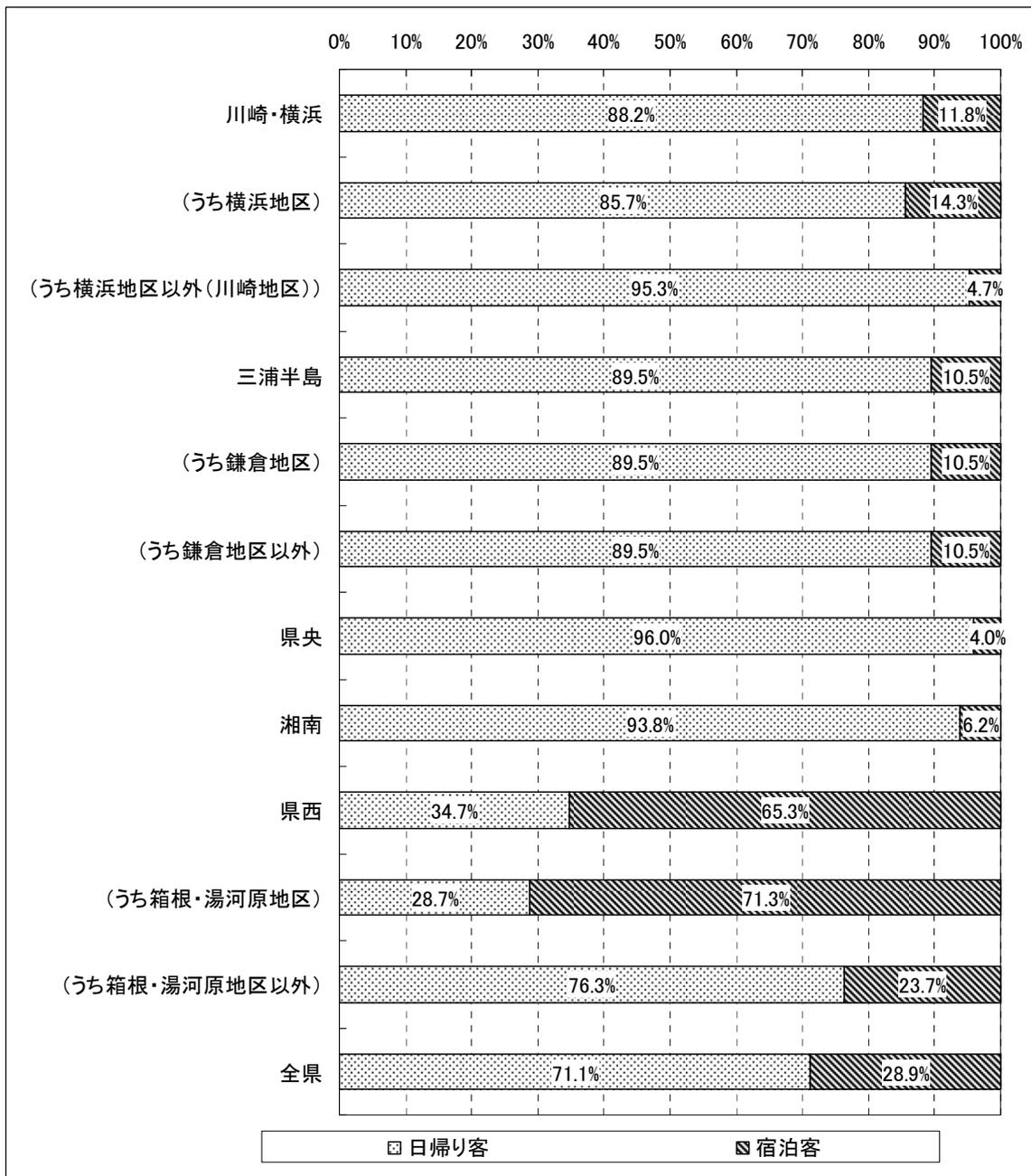
（日帰り・鎌倉地区）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	50.2%	40.3%	0.2%	0.0%	4.0%	5.3%	100.0%
県内	44.8%	28.1%	0.9%	0.5%	1.7%	24.1%	100.0%
総計	47.5%	34.4%	0.6%	0.2%	2.8%	14.5%	100.0%

2-2-3 県央

○日帰り観光がほとんどであり、子ども連れの比較的若い世代の家族がマイカーで日帰り観光に何度も訪れている。

日帰り客が96.0%を占める。日帰り客の居住地は県内客が75.8%、県外客も首都圏が22.1%、県内含めた首都圏からの来訪で97.9%となり、首都圏からの日帰り観光が中心の地域である。



(宿泊)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	12.9%	22.9%	63.9%	0.3%	100.0%
(うち横浜地区)	13.8%	25.1%	61.0%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.2%	13.6%	76.3%	0.9%	100.0%
三浦半島	22.2%	46.4%	31.0%	0.4%	100.0%
(うち鎌倉地区)	6.9%	37.6%	55.2%	0.3%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	33.3%	52.8%	13.5%	0.4%	100.0%
県央	49.1%	37.9%	12.9%	0.0%	100.0%
湘南	11.9%	30.2%	57.2%	0.6%	100.0%
県西	31.3%	52.7%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	30.6%	53.3%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	43.3%	41.3%	14.4%	1.0%	100.0%
全県	21.1%	37.1%	41.4%	0.5%	100.0%

(日帰り)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	59.4%	30.0%	9.1%	1.5%	100.0%
(うち横浜地区)	59.6%	28.6%	10.4%	1.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	59.1%	33.6%	5.8%	1.6%	100.0%
三浦半島	55.0%	33.8%	11.0%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	48.3%	36.6%	14.9%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	73.5%	26.2%	0.3%	0.0%	100.0%
県央	75.8%	22.1%	1.3%	0.8%	100.0%
湘南	74.2%	19.9%	5.4%	0.4%	100.0%
県西	49.5%	34.7%	13.7%	2.2%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	43.1%	38.6%	15.2%	3.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	66.0%	24.4%	9.7%	0.0%	100.0%
全県	60.9%	29.2%	8.8%	1.0%	100.0%

年代としては、宿泊客では 30 代以上をの年代が幅広く来訪している。また、日帰り客ではやはり幅広い年代が来訪しているが、60 歳代以上の比率は 16.2%と全県と比較して低い数値となっている。

(宿泊)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	1.1%	11.4%	26.1%	25.8%	20.4%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区)	1.2%	11.7%	27.3%	25.3%	19.2%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.9%	10.1%	21.0%	27.9%	25.3%	13.8%	0.9%	100.0%
三浦半島	1.5%	9.9%	15.9%	20.5%	23.2%	26.8%	2.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.8%	17.6%	17.6%	18.5%	25.7%	16.7%	2.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	1.3%	4.3%	14.6%	21.9%	21.5%	34.1%	2.4%	100.0%
県央	0.0%	7.8%	23.3%	19.0%	22.4%	25.9%	1.7%	100.0%
湘南	1.7%	10.1%	20.3%	22.9%	22.2%	20.1%	2.7%	100.0%
県西	1.3%	8.5%	17.5%	15.7%	22.2%	32.2%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.4%	8.4%	17.0%	16.0%	22.2%	32.3%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	9.6%	26.0%	9.6%	22.1%	29.8%	2.9%	100.0%
全県	1.3%	10.0%	21.2%	21.3%	21.6%	22.7%	1.9%	100.0%

(日帰り)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	4.6%	12.3%	20.8%	15.0%	15.9%	23.9%	7.4%	100.0%
(うち横浜地区)	5.8%	14.7%	21.9%	14.8%	15.6%	21.9%	5.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	6.4%	18.0%	15.6%	16.9%	29.1%	12.4%	100.0%
三浦半島	3.3%	16.2%	21.3%	16.0%	16.7%	22.8%	3.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	4.3%	18.0%	17.7%	15.8%	15.8%	24.3%	4.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	0.6%	11.4%	31.2%	16.4%	19.2%	18.6%	2.5%	100.0%
県央	2.2%	13.5%	22.1%	21.2%	18.0%	16.2%	6.9%	100.0%
湘南	3.0%	18.6%	23.9%	14.5%	14.0%	22.2%	3.8%	100.0%
県西	1.1%	14.9%	23.9%	17.5%	16.0%	20.2%	6.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.0%	16.6%	21.8%	18.7%	16.0%	18.9%	6.9%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.3%	10.5%	29.4%	14.3%	16.0%	23.5%	5.0%	100.0%
全県	3.1%	14.8%	22.1%	16.3%	16.1%	21.8%	5.7%	100.0%

同行者としては、宿泊客では夫婦が26.7%と最も多く、友人・知人が21.6%、子ども連れ家族が19.8%と続いている。日帰り客では、子ども連れ家族が37.9%と最も多く、夫婦が28.8%と続いている。

(宿泊)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族 (両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	22.1%	25.6%	23.5%	11.4%	13.1%	4.1%	0.3%	0.4%	0.9%
(うち横浜地区)	16.2%	27.6%	26.6%	12.6%	14.1%	3.3%	0.2%	0.3%	0.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.2%	17.1%	9.9%	6.2%	8.8%	7.8%	0.7%	0.7%	0.9%
三浦半島	10.6%	28.3%	26.5%	17.1%	16.9%	2.5%	0.4%	0.1%	2.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	29.6%	16.1%	14.0%	14.0%	2.1%	0.0%	0.3%	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	27.5%	33.9%	19.3%	18.9%	2.8%	0.6%	0.0%	1.3%
県央	10.3%	26.7%	19.8%	16.4%	21.6%	2.6%	1.7%	2.6%	1.7%
湘南	38.4%	15.5%	11.9%	8.4%	10.3%	9.2%	1.9%	1.7%	1.9%
県西	1.3%	36.6%	21.9%	22.2%	18.1%	2.0%	0.8%	0.5%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	37.2%	22.0%	22.4%	17.4%	1.7%	0.5%	0.6%	0.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	26.9%	20.2%	19.2%	28.8%	5.8%	5.8%	0.0%	2.9%
全県	14.7%	28.8%	22.3%	15.7%	15.2%	3.6%	0.6%	0.6%	1.2%

(日帰り)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族 (両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	17.2%	20.2%	21.5%	10.2%	25.7%	0.9%	2.0%	2.2%	0.6%
(うち横浜地区)	17.7%	20.1%	19.8%	8.6%	28.6%	1.0%	2.2%	2.2%	0.7%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	20.4%	25.6%	14.2%	18.4%	0.9%	1.6%	2.2%	0.4%
三浦半島	10.3%	25.7%	19.8%	9.1%	31.9%	1.4%	2.6%	1.0%	0.7%
(うち鎌倉地区)	12.2%	24.8%	12.6%	8.2%	35.2%	1.3%	2.7%	1.1%	0.7%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	28.1%	39.7%	11.7%	22.7%	1.9%	2.2%	0.6%	0.6%
県央	7.7%	28.8%	37.9%	7.9%	12.6%	0.5%	2.0%	1.7%	1.0%
湘南	14.9%	19.3%	28.0%	6.1%	28.4%	1.8%	1.6%	1.0%	2.4%
県西	6.2%	23.9%	27.5%	10.0%	27.3%	2.2%	1.8%	0.9%	1.6%
(うち箱根・湯河原地区)	5.8%	23.7%	22.3%	10.0%	29.7%	2.3%	1.9%	0.6%	1.5%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.1%	24.4%	41.2%	10.1%	21.0%	2.1%	1.3%	1.7%	2.1%
全県	12.2%	23.0%	25.1%	9.0%	26.3%	1.4%	2.1%	1.5%	1.1%

また、来訪の目的としては宿泊客では「温泉浴」が 57.8%と最も多く、「自然・風景鑑賞」「趣味・研究」が続いている。日帰り客では「自然・風景鑑賞」が 55.7%でもっとも多く、「ハイキング・ピクニック」「遊園地などのレジャー施設」が続いている。

(宿泊)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	買い物・飲食	27.2%	その他の「見物・鑑賞」	16.5%	行祭事・イベントなどの見物	14.5%	遊園地などのレジャー施設	12.3%	自然・風景鑑賞	8.8%
(うち横浜地区)	買い物・飲食	30.8%	その他の「見物・鑑賞」	17.3%	行祭事・イベントなどの見物	15.2%	遊園地などのレジャー施設	14.5%	自然・風景鑑賞	10.1%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	その他の「見物・鑑賞」	13.4%	買い物・飲食	11.8%	行祭事・イベントなどの見物	11.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	5.3%	その他の「体験」	4.6%
三浦半島	温泉浴	27.6%	自然・風景鑑賞	24.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	20.0%	買い物・飲食	19.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.9%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	40.9%	自然・風景鑑賞	22.7%	買い物・飲食	21.2%	行祭事・イベントなどの見物	9.9%	その他の「見物・鑑賞」	9.0%
(うち鎌倉地区以外)	温泉浴	45.3%	自然・風景鑑賞	25.8%	買い物・飲食	18.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.8%	博物館・動植物園などの見物	8.2%
県央	温泉浴	57.8%	自然・風景鑑賞	16.4%	趣味・研究	9.5%	ハイキング・ピクニック	8.6%	買い物・飲食	6.9%
湘南	遺跡・文化財などの鑑賞	13.0%	行祭事・イベントなどの見物	10.7%	自然・風景鑑賞	9.6%	その他の「見物・鑑賞」	9.6%	買い物・飲食	8.6%
県西	温泉浴	71.4%	自然・風景鑑賞	26.9%	買い物・飲食	14.5%	博物館・動植物園などの見物	11.5%	その他の「見物・鑑賞」	7.8%
(うち箱根・湯河原地区)	温泉浴	73.6%	自然・風景鑑賞	26.8%	買い物・飲食	13.8%	博物館・動植物園などの見物	12.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	温泉浴	35.6%	自然・風景鑑賞	27.9%	買い物・飲食	26.0%	ドライブ	7.7%	その他の「見物・鑑賞」	4.8%
全県	温泉浴	29.9%	買い物・飲食	19.9%	自然・風景鑑賞	17.3%	その他の「見物・鑑賞」	11.7%	行祭事・イベントなどの見物	9.5%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	博物館・動植物園などの見物	7.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	7.5%	その他の「体験」	3.3%	スポーツ見物	2.7%	その他の「運動」	2.3%
(うち横浜地区)	博物館・動植物園などの見物	8.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	8.0%	その他の「体験」	3.0%	スポーツ見物	2.6%	その他の「運動」	2.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	自然・風景鑑賞	3.2%	遊園地などのレジャー施設	3.2%	博物館・動植物園などの見物	2.8%	スポーツ見物	2.8%	趣味・研究	2.5%
三浦半島	行祭事・イベントなどの見物	7.4%	博物館・動植物園などの見物	6.2%	その他の「体験」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.5%	ハイキング・ピクニック	4.4%
(うち鎌倉地区)	その他の「体験」	5.1%	博物館・動植物園などの見物	3.6%	ハイキング・ピクニック	3.6%	温泉浴	3.0%	その他の「運動」	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	遊園地などのレジャー施設	6.9%	ドライブ	5.8%	行祭事・イベントなどの見物	5.6%	その他の「体験」	5.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	4.9%
県央	その他の「見物・鑑賞」	5.2%	ドライブ	5.2%	その他の「体験」	3.4%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.6%	果物狩り	2.6%
湘南	その他の「体験」	6.1%	その他の「運動」	4.8%	温泉浴	4.4%	博物館・動植物園などの見物	4.0%	趣味・研究	3.1%
県西	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.3%	行祭事・イベントなどの見物	4.2%	ハイキング・ピクニック	4.2%	趣味・研究	3.7%
(うち箱根・湯河原地区)	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.5%	行祭事・イベントなどの見物	4.3%	ハイキング・ピクニック	4.1%	趣味・研究	3.7%
(うち箱根・湯河原地区以外)	釣り	4.8%	ハイキング・ピクニック	4.8%	博物館・動植物園などの見物	3.8%	ダイビングなどのマリンスポーツ	3.8%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.9%
全県	遺跡・文化財などの鑑賞	9.3%	博物館・動植物園などの見物	8.2%	遊園地などのレジャー施設	7.1%	ドライブ	3.9%	その他の「体験」	3.3%

(日帰り)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	自然・風景鑑賞	32.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.5%	買い物・飲食	17.0%	行祭事・イベントなどの見物	9.8%	博物館・動植物園などの見物	7.1%
(うち横浜地区)	自然・風景鑑賞	37.7%	買い物・飲食	22.9%	遺跡・文化財などの鑑賞	13.5%	行祭事・イベントなどの見物	12.9%	博物館・動植物園などの見物	8.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	遺跡・文化財などの鑑賞	27.6%	自然・風景鑑賞	20.0%	趣味・研究	4.4%	ハイキング・ピクニック	4.2%	博物館・動植物園などの見物	2.4%
三浦半島	自然・風景鑑賞	43.0%	遺跡・文化財などの鑑賞	42.9%	買い物・飲食	14.3%	ハイキング・ピクニック	10.2%	行祭事・イベントなどの見物	6.3%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	58.0%	自然・風景鑑賞	46.4%	ハイキング・ピクニック	11.6%	行祭事・イベントなどの見物	7.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.8%
(うち鎌倉地区以外)	買い物・飲食	37.9%	自然・風景鑑賞	33.8%	遊園地などのレジャー施設	21.5%	ドライブ	12.0%	温泉浴	7.3%
県央	自然・風景鑑賞	55.7%	ハイキング・ピクニック	14.6%	遊園地などのレジャー施設	12.5%	行祭事・イベントなどの見物	10.1%	ドライブ	10.1%
湘南	自然・風景鑑賞	40.7%	博物館・動植物園などの見物	16.3%	ハイキング・ピクニック	10.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%	ドライブ	7.2%
県西	自然・風景鑑賞	53.1%	温泉浴	32.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.9%	博物館・動植物園などの見物	9.9%	ドライブ	7.9%
(うち箱根・湯河原地区)	自然・風景鑑賞	55.3%	温泉浴	40.4%	博物館・動植物園などの見物	8.9%	ドライブ	7.8%	買い物・飲食	5.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	遺跡・文化財などの鑑賞	51.3%	自然・風景鑑賞	47.5%	博物館・動植物園などの見物	12.6%	温泉浴	10.9%	ドライブ	8.4%
全县	自然・風景鑑賞	42.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	19.6%	買い物・飲食	11.3%	博物館・動植物園などの見物	7.5%	ハイキング・ピクニック	7.2%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	その他の「見物・鑑賞」	6.5%	遊園地などのレジャー施設	5.2%	ハイキング・ピクニック	3.3%	趣味・研究	2.7%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区)	その他の「見物・鑑賞」	8.5%	遊園地などのレジャー施設	7.3%	ハイキング・ピクニック	2.9%	趣味・研究	2.0%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	行祭事・イベントなどの見物	2.0%	買い物・飲食	2.0%	その他の「運動」	2.0%	その他の「体験」	1.8%	その他の「見物・鑑賞」	1.6%
三浦半島	その他の「見物・鑑賞」	6.2%	遊園地などのレジャー施設	5.9%	ドライブ	5.4%	温泉浴	2.8%	趣味・研究	2.8%
(うち鎌倉地区)	買い物・飲食	5.8%	ドライブ	3.0%	その他の「運動」	2.7%	趣味・研究	2.6%	博物館・動植物園などの見物	1.9%
(うち鎌倉地区以外)	その他の「体験」	6.6%	ハイキング・ピクニック	6.3%	果物狩り	6.0%	博物館・動植物園などの見物	4.4%	その他の「見物・鑑賞」	4.4%
県央	買い物・飲食	5.6%	趣味・研究	3.9%	博物館・動植物園などの見物	3.0%	その他の「見物・鑑賞」	3.0%	温泉浴	2.5%
湘南	登山	6.4%	買い物・飲食	5.6%	スポーツ見物	4.0%	その他の「体験」	3.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	3.5%
県西	買い物・飲食	6.2%	その他の「見物・鑑賞」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.4%	趣味・研究	2.6%	ハイキング・ピクニック	2.2%
(うち箱根・湯河原地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	5.0%	遊園地などのレジャー施設	4.8%	その他の「見物・鑑賞」	4.2%	ハイキング・ピクニック	2.4%	趣味・研究	2.3%
(うち箱根・湯河原地区以外)	その他の「見物・鑑賞」	7.6%	買い物・飲食	7.1%	行祭事・イベントなどの見物	5.9%	その他の「運動」	5.0%	遊園地などのレジャー施設	3.4%
全县	温泉浴	6.8%	行祭事・イベントなどの見物	6.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.0%	遊園地などのレジャー施設	5.8%	ドライブ	5.3%

また、交通手段としては自家用車が宿泊客で62.1%、日帰り客で63.3%と他の圏域と比較して高い数値となっている。

以上のことから、子ども連れの比較的若い世代の家族がマイカーで訪れる、という地域としての特徴が浮かび上がってくる。

(宿泊)

	① 航空機	② 新幹線	③ JR 在来線	④ その他 私鉄	⑤ 貸切・定期 観光バス	⑥ 高速バス	⑦ 路線バス	⑧ 自家用車	⑨ タクシー	⑩ レンタカー	⑪ 船舶(フェ リー、遊覧船 など)	⑫ その他
川崎・横浜	16.5%	29.0%	37.5%	23.8%	1.1%	3.5%	3.4%	24.9%	4.4%	0.9%	1.4%	0.4%
(うち横浜地区)	15.0%	27.3%	36.8%	24.6%	1.3%	3.5%	3.2%	27.8%	4.2%	0.7%	1.7%	0.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	22.8%	36.4%	40.3%	20.5%	0.5%	3.5%	4.1%	12.2%	4.8%	1.8%	0.2%	0.9%
三浦半島	5.9%	16.4%	35.6%	30.5%	0.9%	1.6%	7.1%	38.1%	4.4%	1.4%	0.6%	1.2%
(うち鎌倉地区)	10.7%	33.1%	58.8%	24.2%	0.6%	3.0%	5.4%	17.3%	5.7%	0.9%	0.3%	1.2%
(うち鎌倉地区以外)	2.4%	4.3%	18.9%	35.0%	1.1%	0.6%	8.4%	53.0%	3.4%	1.7%	0.9%	1.3%
県央	2.6%	6.0%	14.7%	25.0%	0.9%	0.0%	12.9%	62.1%	4.3%	2.6%	0.0%	2.6%
湘南	10.7%	23.5%	42.6%	23.1%	0.2%	3.4%	5.9%	30.8%	4.8%	2.1%	0.8%	1.0%
県西	1.4%	7.8%	21.2%	33.2%	1.7%	1.7%	8.2%	44.4%	3.8%	1.3%	3.2%	1.3%
(うち箱根・湯河原地区)	1.5%	8.0%	20.3%	34.7%	1.7%	1.8%	8.6%	44.0%	3.7%	1.2%	3.4%	1.1%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	4.8%	35.6%	6.7%	1.9%	0.0%	1.0%	51.0%	4.8%	1.9%	1.0%	3.8%
全県	9.1%	19.2%	31.8%	27.8%	1.2%	2.5%	5.9%	34.6%	4.2%	1.2%	1.8%	0.9%

(日帰り)

	① 航空機	② 新幹線	③ JR 在来線	④ その他 私鉄	⑤ 貸切・定期 観光バス	⑥ 高速バス	⑦ 路線バス	⑧ 自家用車	⑨ タクシー	⑩ レンタカー	⑪ 船舶(フェ リー、遊覧船 など)	⑫ その他
川崎・横浜	0.4%	1.8%	22.0%	29.4%	1.8%	0.1%	7.5%	28.7%	0.8%	0.1%	0.2%	3.3%
(うち横浜地区)	0.4%	2.1%	26.7%	25.5%	1.7%	0.0%	8.9%	25.0%	0.8%	0.1%	0.3%	2.4%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.2%	0.9%	10.2%	39.3%	2.0%	0.2%	3.8%	38.0%	0.9%	0.0%	0.0%	5.6%
三浦半島	0.3%	1.0%	49.0%	11.5%	2.0%	0.3%	4.9%	28.5%	0.8%	0.2%	0.3%	2.5%
(うち鎌倉地区)	0.5%	1.4%	65.7%	6.8%	2.1%	0.3%	2.8%	15.8%	0.7%	0.2%	0.2%	2.8%
(うち鎌倉地区以外)	0.0%	0.0%	2.8%	24.6%	1.9%	0.0%	10.7%	63.4%	0.9%	0.0%	0.6%	1.6%
県央	0.0%	0.0%	5.2%	4.2%	0.5%	0.0%	3.4%	63.3%	0.0%	0.2%	0.0%	5.1%
湘南	0.1%	0.5%	7.4%	30.4%	0.5%	0.1%	4.5%	35.9%	0.1%	0.4%	0.0%	4.9%
県西	0.2%	1.4%	13.9%	26.5%	2.5%	0.8%	4.3%	47.7%	0.4%	0.8%	0.1%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	0.3%	1.3%	7.9%	32.8%	2.9%	1.1%	4.5%	48.5%	0.3%	1.1%	0.2%	0.6%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	1.7%	29.4%	10.1%	1.3%	0.0%	3.8%	45.8%	0.4%	0.0%	0.0%	1.7%
全県	0.3%	1.1%	22.8%	21.8%	1.6%	0.2%	5.4%	37.1%	0.5%	0.3%	0.2%	3.2%

※日帰り客調査の夏季、秋期調査においては交通手段を尋ねる質問を設けなかったため、消費額の回答内容等から類推している。

10 回以上来訪しているという比率が宿泊客で 55.6%、日帰り客で 67.8%と最も多く、なおかつ全県と比較しても高い比率となっている。日帰り観光で何度も訪れている客層が中心であることが示唆される。

(宿泊)

	初めて	2回目	3～5回	6～9回	10回以上	無回答	合計 (除県内在住)
川崎・横浜	7.9%	8.9%	24.8%	9.8%	45.9%	2.8%	100.0%
(うち横浜地区)	8.5%	10.0%	26.4%	9.7%	43.0%	2.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	5.4%	4.1%	18.2%	10.2%	57.8%	4.3%	100.0%
三浦半島	7.5%	7.3%	25.7%	9.6%	45.5%	4.5%	100.0%
(うち鎌倉地区)	9.0%	10.3%	27.3%	6.8%	43.1%	3.5%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	6.0%	4.4%	24.1%	12.3%	47.8%	5.4%	100.0%
県央	6.3%	6.3%	17.5%	6.3%	55.6%	7.9%	100.0%
湘南	9.5%	5.7%	20.6%	10.4%	47.9%	5.9%	100.0%
県西	6.0%	4.4%	20.1%	10.9%	53.2%	5.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	5.7%	4.4%	20.4%	10.9%	53.4%	5.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	11.5%	4.9%	13.1%	11.5%	49.2%	9.8%	100.0%
全県	7.4%	7.0%	23.1%	10.1%	48.3%	4.1%	100.0%

(日帰り)

	初めて	2回目	3～5回	6～9回	10回以上	無回答	合計
川崎・横浜	9.7%	7.5%	18.3%	9.6%	48.0%	6.9%	100.0%
(うち横浜地区)	10.0%	8.2%	20.3%	9.8%	48.1%	3.6%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.0%	6.0%	13.4%	9.0%	47.8%	14.9%	100.0%
三浦半島	9.5%	12.4%	22.2%	8.1%	43.9%	3.9%	100.0%
(うち鎌倉地区)	10.5%	13.5%	23.8%	7.8%	39.8%	4.6%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.6%	6.0%	13.3%	9.6%	67.5%	0.0%	100.0%
県央	5.5%	2.7%	8.2%	3.4%	67.8%	12.3%	100.0%
湘南	9.8%	7.6%	15.6%	9.8%	43.3%	13.8%	100.0%
県西	9.1%	8.2%	21.0%	6.5%	47.5%	7.8%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	9.4%	7.9%	22.0%	6.6%	45.4%	8.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.3%	9.8%	15.9%	6.1%	57.3%	3.7%	100.0%
全県	9.2%	8.6%	18.9%	8.1%	47.7%	7.4%	100.0%

○満足度はおしなべて高いが、大いに満足したという割合は若干低い

満足したと回答した割合（大いに満足、どちらかといえば満足の割合の合計）は宿泊客で90.5%、日帰り客で57.2%と全県と比較して高い。ただし、日帰り客については、大いに満足したという割合は43.9%と全県と比較すると若干低くなっている。

(宿泊)

	①大いに満足	②どちらかといえば満足	③どちらかといえば不満	④大いに不満	⑤何とも言えない	無回答	合計
川崎・横浜	44.1%	43.7%	1.8%	0.2%	4.4%	5.8%	100.0%
(うち横浜地区)	47.8%	42.6%	1.6%	0.2%	2.5%	5.3%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	27.9%	48.6%	2.5%	0.5%	12.7%	7.8%	100.0%
三浦半島	46.9%	40.7%	1.6%	0.5%	3.0%	7.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	45.4%	40.3%	1.2%	0.3%	5.7%	7.2%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	48.1%	41.0%	1.9%	0.6%	1.1%	7.3%	100.0%
県央	45.7%	44.8%	2.6%	0.0%	2.6%	4.3%	100.0%
湘南	27.7%	49.9%	1.5%	0.2%	9.6%	11.1%	100.0%
県西	48.1%	43.2%	1.4%	0.5%	1.0%	5.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	48.2%	43.3%	1.3%	0.6%	0.9%	5.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	47.1%	42.3%	2.9%	0.0%	2.9%	4.8%	100.0%
全県	44.4%	43.7%	1.6%	0.4%	3.5%	6.4%	100.0%

(日帰り)

	①大いに満足	②どちらかといえば満足	③どちらかといえば不満	④大いに不満	⑤何とも言えない	無回答	合計
川崎・横浜	51.6%	30.3%	1.3%	0.3%	6.5%	10.0%	100.0%
(うち横浜地区)	51.6%	30.3%	1.2%	0.4%	7.3%	9.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	51.8%	30.2%	1.6%	0.2%	4.2%	12.0%	100.0%
三浦半島	45.1%	35.1%	1.0%	0.3%	3.6%	15.0%	100.0%
(うち鎌倉地区)	47.5%	34.4%	0.6%	0.2%	2.8%	14.5%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	38.5%	36.9%	2.2%	0.3%	5.7%	16.4%	100.0%
県央	43.9%	43.3%	3.2%	0.7%	7.2%	1.7%	100.0%
湘南	40.8%	34.8%	2.7%	0.1%	4.2%	17.4%	100.0%
県西	46.1%	35.9%	2.1%	0.5%	4.8%	10.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	50.9%	32.0%	2.1%	0.2%	5.5%	9.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	33.6%	46.2%	2.1%	1.3%	2.9%	13.9%	100.0%
全県	46.5%	34.6%	1.8%	0.3%	5.2%	11.5%	100.0%

○マイカーでの来訪が中心であることや、また特徴的な土産物などが少ないことなどから、消費単価は全県と比較しても低い水準にある。

消費単価は宿泊客で 27,902 円、日帰り客で 2,832 円と全県と比較しても低い水準にある。特に交通費（電車代、バス代、タクシー代）や飲食代、土産品・買い物代といった項目の単価が低いが、これはマイカーでの来訪が中心であることや、弁当を持参するケースが多いこと、また特徴的な土産物などが少ないことが要因として考えられる。

なお、宿泊客の消費単価では、飲食代が全県と比較して低く、なおかつ宿泊代が高くなっている。これは、この圏域では旅館など 1泊2食の料金体系での宿泊施設が多く、その場合宿泊代に食事代が含まれることが要因である。

(宿泊)項目別 県内分

(円)

	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など						
川崎・横浜	1,870	870	151	11,777	8,721	6,532	1,410	599	31,930
(うち横浜地区)	1,646	887	164	11,291	8,727	7,084	1,473	599	31,872
(うち横浜地区以外(川崎地区))	2,869	796	94	13,944	8,693	4,070	1,127	601	32,192
三浦半島	1,309	898	129	13,896	5,155	4,173	1,554	389	27,503
(うち鎌倉地区)	1,553	355	131	12,581	7,000	4,696	1,575	226	28,117
(うち鎌倉地区以外)	1,126	1,304	127	14,880	3,775	3,782	1,538	512	27,044
県央	1,261	1,429	23	17,859	4,800	1,711	619	200	27,902
湘南	2,490	1,494	78	12,058	7,599	3,659	1,580	781	29,739
県西	1,585	984	551	17,125	4,146	4,317	1,326	338	30,374
(うち箱根・湯河原地区)	1,602	979	571	17,232	4,236	4,444	1,367	330	30,760
(うち箱根・湯河原地区以外)	1,302	1,073	210	15,314	2,631	2,162	627	485	23,804
全県	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489	30,511

(日帰り)項目別 県内分

(円)

	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	合計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など					
川崎・横浜	921	335	30	1,618	1,078	498	35	4,515
(うち横浜地区)	1,028	375	38	1,813	1,078	596	11	4,939
(うち横浜地区以外(川崎地区))	637	229	8	1,100	1,076	236	99	3,385
三浦半島	795	472	93	1,765	1,367	408	7	4,908
(うち鎌倉地区)	862	307	99	1,593	1,289	418	8	4,576
(うち鎌倉地区以外)	611	926	79	2,236	1,583	381	7	5,822
県央	213	561	18	1,080	588	352	20	2,832
湘南	876	482	48	1,093	548	827	42	3,916
県西	1,362	721	114	1,773	1,426	1,137	48	6,579
(うち箱根・湯河原地区)	1,653	854	158	2,029	1,550	1,349	58	7,651
(うち箱根・湯河原地区以外)	628	385	2	1,127	1,115	603	21	3,881
全県	880	482	61	1,539	1,071	620	30	4,682

土産品の内訳としては食料品の比率が最も高いが、農心水産業の関連の品の比率がそれに次いで高く、なおかつ全県を上回っている。これは地域で販売されている野菜の購入が寄与している。

(土産品の内訳推計・総額ベース)

	農林水産業	食料品	繊維製品	パルプ・紙・木製品	その他の製造工業製品	窯業・土石製品	金属製品	電気機械	合計
川崎・横浜	0.7%	32.1%	43.5%	3.7%	15.2%	2.2%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区)	0.5%	31.0%	45.2%	3.1%	15.7%	1.8%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	39.6%	31.3%	8.5%	11.8%	5.1%	2.2%	0.0%	100.0%
三浦半島	23.8%	41.9%	10.2%	9.1%	10.6%	0.8%	3.6%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.9%	54.6%	11.0%	15.4%	10.4%	1.5%	5.2%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	51.1%	26.1%	9.1%	1.2%	10.8%	0.0%	1.6%	0.0%	100.0%
県央	31.7%	37.5%	7.5%	4.0%	7.1%	12.1%	0.0%	0.0%	100.0%
湘南	6.3%	33.9%	37.0%	4.3%	14.2%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%
県西	9.7%	54.6%	7.1%	9.5%	7.9%	9.4%	1.8%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	8.5%	55.4%	5.6%	10.3%	8.1%	10.1%	2.0%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	24.6%	44.5%	25.6%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全県	8.3%	40.2%	26.4%	6.3%	12.1%	4.3%	2.3%	0.1%	100.0%

(その他関連データ)

○居住地(県内・県外)別 来訪の目的

(宿泊・県央)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	温泉浴	57.6%	自然・風景鑑賞	23.7%	買い物・飲食	10.2%	ハイキング・ピクニック	8.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.8%
県内	温泉浴	57.9%	趣味・研究	12.3%	自然・風景鑑賞	8.8%	ハイキング・ピクニック	8.8%	その他の「体験」	5.3%
総計	温泉浴	57.8%	自然・風景鑑賞	16.4%	趣味・研究	9.5%	ハイキング・ピクニック	8.6%	買い物・飲食	6.9%

(日帰り・県央)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	自然・風景鑑賞	47.5%	遊園地などのレジャー施設	16.5%	行祭事・イベントなどの見物	12.9%	ドライブ	9.4%	ハイキング・ピクニック	7.9%
県内	自然・風景鑑賞	58.7%	ハイキング・ピクニック	16.9%	遊園地などのレジャー施設	11.3%	ドライブ	10.4%	行祭事・イベントなどの見物	9.3%
総計	自然・風景鑑賞	55.7%	ハイキング・ピクニック	14.6%	遊園地などのレジャー施設	12.5%	行祭事・イベントなどの見物	10.1%	ドライブ	10.1%

○居住地(県内・県外)別 消費単価

(宿泊・県央)

(円)

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など					
県外	30,368	1,658	1,190	28	19,742	4,714	2,105	618	313
県内	25,173	823	1,693	17	15,775	4,895	1,275	621	74
総計	27,902	1,261	1,429	23	17,859	4,800	1,711	619	200

(日帰り・県央)

(円)

	総額	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など				
県外	3,292	273	644	15	1,228	622	465	45
県内	2,697	196	538	19	1,037	575	319	13
総計	2,832	213	561	18	1,080	588	352	20

○居住地(県内・県外)別 来訪の形態

(宿泊・県央)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	88.1%	1.7%	0.0%	5.1%	5.1%	100.0%
県内	93.0%	0.0%	0.0%	3.5%	3.5%	100.0%
総計	90.5%	0.9%	0.0%	4.3%	4.3%	100.0%

(日帰り・県央)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	92.1%	0.0%	1.4%	2.2%	4.3%	100.0%
県内	92.0%	0.0%	0.4%	2.2%	5.3%	100.0%
総計	91.9%	0.0%	0.7%	2.2%	5.2%	100.0%

○居住地（県内・県外）別 立ち寄り地点数

（宿泊・県央）

	平均立ち寄り地点数
県外	1.7
県内	1.5
総計	1.6

（日帰り・県央）

	平均立ち寄り地点数
県外	1.2
県内	1.1
総計	1.1

○居住地（県内・県外）別 満足度

（宿泊・県央）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	55.9%	35.6%	5.1%	0.0%	1.7%	1.7%	100.0%
県内	35.1%	54.4%	0.0%	0.0%	3.5%	7.0%	100.0%
総計	45.7%	44.8%	2.6%	0.0%	2.6%	4.3%	100.0%

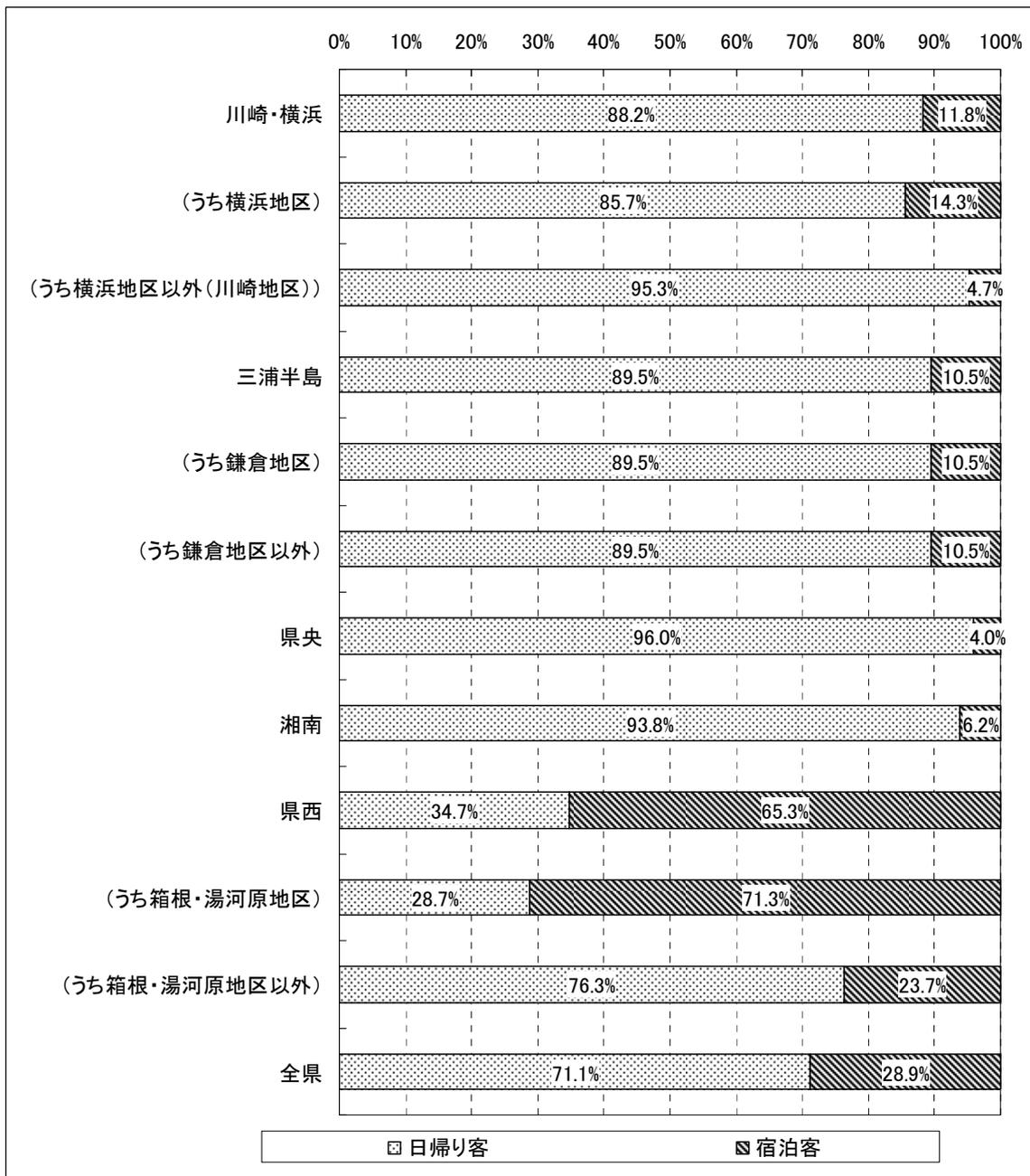
（日帰り・県央）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	40.3%	40.3%	4.3%	2.2%	12.2%	0.7%	100.0%
県内	45.3%	44.2%	2.9%	0.2%	5.8%	1.6%	100.0%
総計	43.9%	43.3%	3.2%	0.7%	7.2%	1.7%	100.0%

2-2-4 湘南

○日帰り観光が中心であり、友人又は家族連れを中心として、豊かな自然や特定の観光施設を鑑賞、見物に訪れている。

日帰り客が 93.8%を占める。日帰り客の居住地は県内客が 74.2%、県外客も首都圏が 19.9%と県内含めた近隣都県からの来訪で 94.1%を占め、県央圏域に次いで日帰り観光が中心の地域である。



(宿泊)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	12.9%	22.9%	63.9%	0.3%	100.0%
(うち横浜地区)	13.8%	25.1%	61.0%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.2%	13.6%	76.3%	0.9%	100.0%
三浦半島	22.2%	46.4%	31.0%	0.4%	100.0%
(うち鎌倉地区)	6.9%	37.6%	55.2%	0.3%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	33.3%	52.8%	13.5%	0.4%	100.0%
県央	49.1%	37.9%	12.9%	0.0%	100.0%
湘南	11.9%	30.2%	57.2%	0.6%	100.0%
県西	31.3%	52.7%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	30.6%	53.3%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	43.3%	41.3%	14.4%	1.0%	100.0%
全県	21.1%	37.1%	41.4%	0.5%	100.0%

(日帰り)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	59.4%	30.0%	9.1%	1.5%	100.0%
(うち横浜地区)	59.6%	28.6%	10.4%	1.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	59.1%	33.6%	5.8%	1.6%	100.0%
三浦半島	55.0%	33.8%	11.0%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	48.3%	36.6%	14.9%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	73.5%	26.2%	0.3%	0.0%	100.0%
県央	75.8%	22.1%	1.3%	0.8%	100.0%
湘南	74.2%	19.9%	5.4%	0.4%	100.0%
県西	49.5%	34.7%	13.7%	2.2%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	43.1%	38.6%	15.2%	3.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	66.0%	24.4%	9.7%	0.0%	100.0%
全県	60.9%	29.2%	8.8%	1.0%	100.0%

同行者としては宿泊客ではひとりが38.4%ともっとも多いが、これは一定のビジネス利用があることに起因している。また日帰り客では、友人・知人が28.4%と最も比率が高く、子ども連れ家族が28.0%でほぼ同水準となっている。

(宿泊)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族(両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	22.1%	25.6%	23.5%	11.4%	13.1%	4.1%	0.3%	0.4%	0.9%
(うち横浜地区)	16.2%	27.6%	26.6%	12.6%	14.1%	3.3%	0.2%	0.3%	0.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.2%	17.1%	9.9%	6.2%	8.8%	7.8%	0.7%	0.7%	0.9%
三浦半島	10.6%	28.3%	26.5%	17.1%	16.9%	2.5%	0.4%	0.1%	2.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	29.6%	16.1%	14.0%	14.0%	2.1%	0.0%	0.3%	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	27.5%	33.9%	19.3%	18.9%	2.8%	0.6%	0.0%	1.3%
県央	10.3%	26.7%	19.8%	16.4%	21.6%	2.6%	1.7%	2.6%	1.7%
湘南	38.4%	15.5%	11.9%	8.4%	10.3%	9.2%	1.9%	1.7%	1.9%
県西	1.3%	36.6%	21.9%	22.2%	18.1%	2.0%	0.8%	0.5%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	37.2%	22.0%	22.4%	17.4%	1.7%	0.5%	0.6%	0.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	26.9%	20.2%	19.2%	28.8%	5.8%	5.8%	0.0%	2.9%
全県	14.7%	28.8%	22.3%	15.7%	15.2%	3.6%	0.6%	0.6%	1.2%

(日帰り)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族(両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	17.2%	20.2%	21.5%	10.2%	25.7%	0.9%	2.0%	2.2%	0.6%
(うち横浜地区)	17.7%	20.1%	19.8%	8.6%	28.6%	1.0%	2.2%	2.2%	0.7%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	20.4%	25.6%	14.2%	18.4%	0.9%	1.6%	2.2%	0.4%
三浦半島	10.3%	25.7%	19.8%	9.1%	31.9%	1.4%	2.6%	1.0%	0.7%
(うち鎌倉地区)	12.2%	24.8%	12.6%	8.2%	35.2%	1.3%	2.7%	1.1%	0.7%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	28.1%	39.7%	11.7%	22.7%	1.9%	2.2%	0.6%	0.6%
県央	7.7%	28.8%	37.9%	7.9%	12.6%	0.5%	2.0%	1.7%	1.0%
湘南	14.9%	19.3%	28.0%	6.1%	28.4%	1.8%	1.6%	1.0%	2.4%
県西	6.2%	23.9%	27.5%	10.0%	27.3%	2.2%	1.8%	0.9%	1.6%
(うち箱根・湯河原地区)	5.8%	23.7%	22.3%	10.0%	29.7%	2.3%	1.9%	0.6%	1.5%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.1%	24.4%	41.2%	10.1%	21.0%	2.1%	1.3%	1.7%	2.1%
全県	12.2%	23.0%	25.1%	9.0%	26.3%	1.4%	2.1%	1.5%	1.1%

来訪の目的としては宿泊客では「遺跡・文化財などの鑑賞」が13.0%で最も多く、「行祭事・イベントなどの見物」が10.7%で続いている。また日帰り客では「自然・風景鑑賞」が40.7%が最も多く、「博物館・動植物園などの見物」16.3%で続いている。

友人又は家族連れで豊かな自然や特定の観光施設を鑑賞、見物に訪れる地域、という地域像が浮かび上がってくる。

(宿泊)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	買い物・飲食	27.2%	その他の「見物・鑑賞」	16.5%	行祭事・イベントなどの見物	14.5%	遊園地などのレジャー施設	12.3%	自然・風景鑑賞	8.8%
（うち横浜地区）	買い物・飲食	30.8%	その他の「見物・鑑賞」	17.3%	行祭事・イベントなどの見物	15.2%	遊園地などのレジャー施設	14.5%	自然・風景鑑賞	10.1%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	その他の「見物・鑑賞」	13.4%	買い物・飲食	11.8%	行祭事・イベントなどの見物	11.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	5.3%	その他の「体験」	4.6%
三浦半島	温泉浴	27.6%	自然・風景鑑賞	24.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	20.0%	買い物・飲食	19.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.9%
（うち鎌倉地区）	遺跡・文化財などの鑑賞	40.9%	自然・風景鑑賞	22.7%	買い物・飲食	21.2%	行祭事・イベントなどの見物	9.9%	その他の「見物・鑑賞」	9.0%
（うち鎌倉地区以外）	温泉浴	45.3%	自然・風景鑑賞	25.8%	買い物・飲食	18.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.8%	博物館・動植物園などの見物	8.2%
県央	温泉浴	57.8%	自然・風景鑑賞	16.4%	趣味・研究	9.5%	ハイキング・ピクニック	8.6%	買い物・飲食	6.9%
湘南	遺跡・文化財などの鑑賞	13.0%	行祭事・イベントなどの見物	10.7%	自然・風景鑑賞	9.6%	その他の「見物・鑑賞」	9.6%	買い物・飲食	8.6%
県西	温泉浴	71.4%	自然・風景鑑賞	26.9%	買い物・飲食	14.5%	博物館・動植物園などの見物	11.5%	その他の「見物・鑑賞」	7.8%
（うち箱根・湯河原地区）	温泉浴	73.6%	自然・風景鑑賞	26.8%	買い物・飲食	13.8%	博物館・動植物園などの見物	12.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%
（うち箱根・湯河原地区以外）	温泉浴	35.6%	自然・風景鑑賞	27.9%	買い物・飲食	26.0%	ドライブ	7.7%	その他の「見物・鑑賞」	4.8%
全県	温泉浴	29.9%	買い物・飲食	19.9%	自然・風景鑑賞	17.3%	その他の「見物・鑑賞」	11.7%	行祭事・イベントなどの見物	9.5%

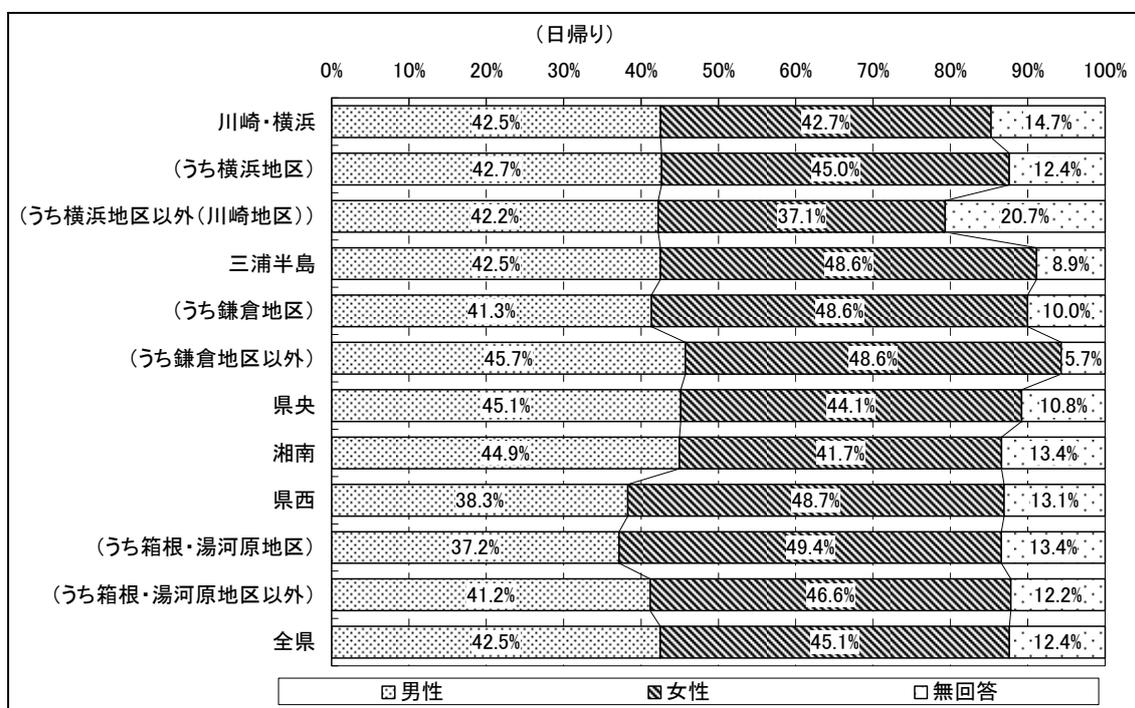
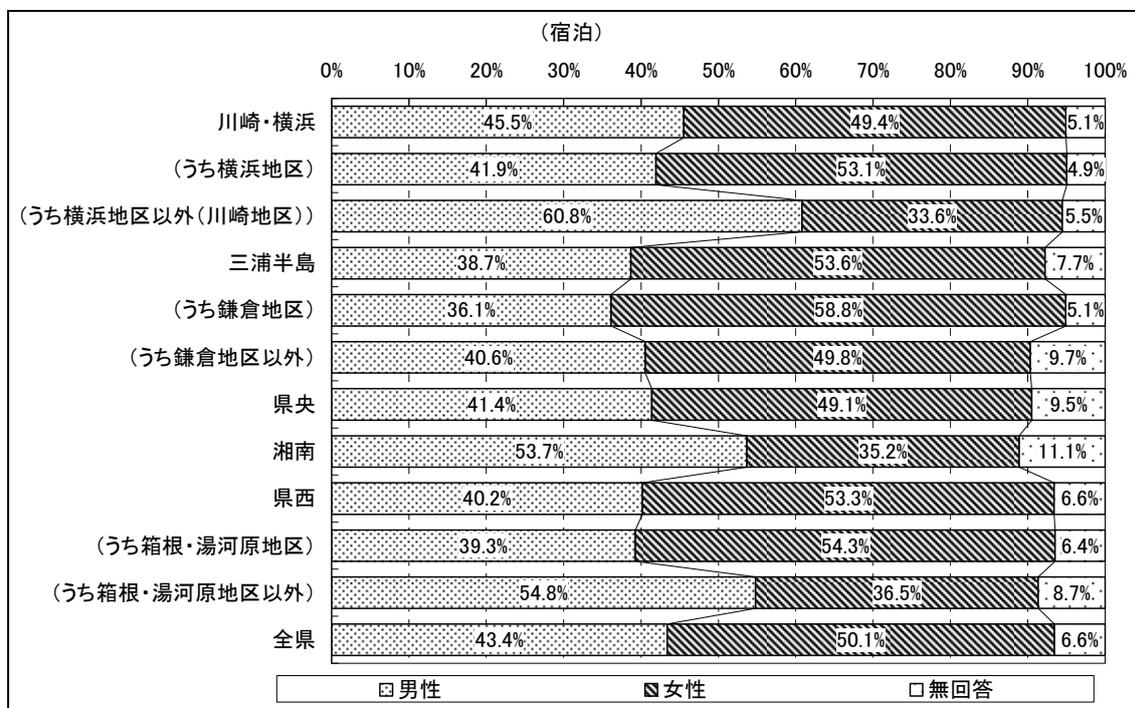
	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	博物館・動植物園などの見物	7.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	7.5%	その他の「体験」	3.3%	スポーツ見物	2.7%	その他の「運動」	2.3%
（うち横浜地区）	博物館・動植物園などの見物	8.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	8.0%	その他の「体験」	3.0%	スポーツ見物	2.6%	その他の「運動」	2.3%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	自然・風景鑑賞	3.2%	遊園地などのレジャー施設	3.2%	博物館・動植物園などの見物	2.8%	スポーツ見物	2.8%	趣味・研究	2.5%
三浦半島	行祭事・イベントなどの見物	7.4%	博物館・動植物園などの見物	6.2%	その他の「体験」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.5%	ハイキング・ピクニック	4.4%
（うち鎌倉地区）	その他の「体験」	5.1%	博物館・動植物園などの見物	3.6%	ハイキング・ピクニック	3.6%	温泉浴	3.0%	その他の「運動」	3.0%
（うち鎌倉地区以外）	遊園地などのレジャー施設	6.9%	ドライブ	5.8%	行祭事・イベントなどの見物	5.6%	その他の「体験」	5.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	4.9%
県央	その他の「見物・鑑賞」	5.2%	ドライブ	5.2%	その他の「体験」	3.4%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.6%	果物狩り	2.6%
湘南	その他の「体験」	6.1%	その他の「運動」	4.8%	温泉浴	4.4%	博物館・動植物園などの見物	4.0%	趣味・研究	3.1%
県西	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.3%	行祭事・イベントなどの見物	4.2%	ハイキング・ピクニック	4.2%	趣味・研究	3.7%
（うち箱根・湯河原地区）	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.5%	行祭事・イベントなどの見物	4.3%	ハイキング・ピクニック	4.1%	趣味・研究	3.7%
（うち箱根・湯河原地区以外）	釣り	4.8%	ハイキング・ピクニック	4.8%	博物館・動植物園などの見物	3.8%	タイピングなどのマリンスポーツ	3.8%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.9%
全県	遺跡・文化財などの鑑賞	9.3%	博物館・動植物園などの見物	8.2%	遊園地などのレジャー施設	7.1%	ドライブ	3.9%	その他の「体験」	3.3%

(日帰り)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	自然・風景鑑賞	32.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.5%	買い物・飲食	17.0%	行祭事・イベントなどの見物	9.8%	博物館・動植物園などの見物	7.1%
(うち横浜地区)	自然・風景鑑賞	37.7%	買い物・飲食	22.9%	遺跡・文化財などの鑑賞	13.5%	行祭事・イベントなどの見物	12.9%	博物館・動植物園などの見物	8.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	遺跡・文化財などの鑑賞	27.6%	自然・風景鑑賞	20.0%	趣味・研究	4.4%	ハイキング・ピクニック	4.2%	博物館・動植物園などの見物	2.4%
三浦半島	自然・風景鑑賞	43.0%	遺跡・文化財などの鑑賞	42.9%	買い物・飲食	14.3%	ハイキング・ピクニック	10.2%	行祭事・イベントなどの見物	6.3%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	58.0%	自然・風景鑑賞	46.4%	ハイキング・ピクニック	11.6%	行祭事・イベントなどの見物	7.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.8%
(うち鎌倉地区以外)	買い物・飲食	37.9%	自然・風景鑑賞	33.8%	遊園地などのレジャー施設	21.5%	ドライブ	12.0%	温泉浴	7.3%
県央	自然・風景鑑賞	55.7%	ハイキング・ピクニック	14.6%	遊園地などのレジャー施設	12.5%	行祭事・イベントなどの見物	10.1%	ドライブ	10.1%
湘南	自然・風景鑑賞	40.7%	博物館・動植物園などの見物	16.3%	ハイキング・ピクニック	10.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%	ドライブ	7.2%
県西	自然・風景鑑賞	53.1%	温泉浴	32.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.9%	博物館・動植物園などの見物	9.9%	ドライブ	7.9%
(うち箱根・湯河原地区)	自然・風景鑑賞	55.3%	温泉浴	40.4%	博物館・動植物園などの見物	8.9%	ドライブ	7.8%	買い物・飲食	5.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	遺跡・文化財などの鑑賞	51.3%	自然・風景鑑賞	47.5%	博物館・動植物園などの見物	12.6%	温泉浴	10.9%	ドライブ	8.4%
全県	自然・風景鑑賞	42.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	19.6%	買い物・飲食	11.3%	博物館・動植物園などの見物	7.5%	ハイキング・ピクニック	7.2%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	その他の「見物・鑑賞」	6.5%	遊園地などのレジャー施設	5.2%	ハイキング・ピクニック	3.3%	趣味・研究	2.7%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区)	その他の「見物・鑑賞」	8.5%	遊園地などのレジャー施設	7.3%	ハイキング・ピクニック	2.9%	趣味・研究	2.0%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	行祭事・イベントなどの見物	2.0%	買い物・飲食	2.0%	その他の「運動」	2.0%	その他の「体験」	1.8%	その他の「見物・鑑賞」	1.6%
三浦半島	その他の「見物・鑑賞」	6.2%	遊園地などのレジャー施設	5.9%	ドライブ	5.4%	温泉浴	2.8%	趣味・研究	2.8%
(うち鎌倉地区)	買い物・飲食	5.8%	ドライブ	3.0%	その他の「運動」	2.7%	趣味・研究	2.6%	博物館・動植物園などの見物	1.9%
(うち鎌倉地区以外)	その他の「体験」	6.6%	ハイキング・ピクニック	6.3%	果物狩り	6.0%	博物館・動植物園などの見物	4.4%	その他の「見物・鑑賞」	4.4%
県央	買い物・飲食	5.6%	趣味・研究	3.9%	博物館・動植物園などの見物	3.0%	その他の「見物・鑑賞」	3.0%	温泉浴	2.5%
湘南	登山	6.4%	買い物・飲食	5.6%	スポーツ見物	4.0%	その他の「体験」	3.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	3.5%
県西	買い物・飲食	6.2%	その他の「見物・鑑賞」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.4%	趣味・研究	2.6%	ハイキング・ピクニック	2.2%
(うち箱根・湯河原地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	5.0%	遊園地などのレジャー施設	4.8%	その他の「見物・鑑賞」	4.2%	ハイキング・ピクニック	2.4%	趣味・研究	2.3%
(うち箱根・湯河原地区以外)	その他の「見物・鑑賞」	7.6%	買い物・飲食	7.1%	行祭事・イベントなどの見物	5.9%	その他の「運動」	5.0%	遊園地などのレジャー施設	3.4%
全県	温泉浴	6.8%	行祭事・イベントなどの見物	6.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.0%	遊園地などのレジャー施設	5.8%	ドライブ	5.3%

なお、宿泊客、日帰り客ともに男性の比率が女性を上回っており、とくに宿泊客の男性比率は全県と比較して高くなっているが、これは前述のようにビジネス利用のサンプルが多く含まれている事による。



○特定の観光地では鉄道による来訪も一定の比率であるものの、それ以外の観光地では自動車による来訪が中心。

交通手段としては宿泊客ではJR在来線が42.6%でもっとも多く、自家用車が30.8%で続いている。一方、日帰り客では自家用車が35.9%でもっとも多く、その他私鉄が30.4%で続いている。以上のことから、江の島などの観光地では鉄道による来訪も一定の比率であるものの、それ以外の観光地では自動車による来訪も中心となっていると想定される。

(宿泊)

	①航空機	②新幹線	③JR在来線	④その他私鉄	⑤貸切バス・定期観光バス	⑥高速バス	⑦路線バス	⑧自家用車	⑨タクシー	⑩レンタカー	⑪船舶(フェリー、遊覧船など)	⑫その他
川崎・横浜	16.5%	29.0%	37.5%	23.8%	1.1%	3.5%	3.4%	24.9%	4.4%	0.9%	1.4%	0.4%
(うち横浜地区)	15.0%	27.3%	36.8%	24.6%	1.3%	3.5%	3.2%	27.8%	4.2%	0.7%	1.7%	0.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	22.8%	36.4%	40.3%	20.5%	0.5%	3.5%	4.1%	12.2%	4.8%	1.8%	0.2%	0.9%
三浦半島	5.9%	16.4%	35.6%	30.5%	0.9%	1.6%	7.1%	38.1%	4.4%	1.4%	0.6%	1.2%
(うち鎌倉地区)	10.7%	33.1%	58.8%	24.2%	0.6%	3.0%	5.4%	17.3%	5.7%	0.9%	0.3%	1.2%
(うち鎌倉地区以外)	2.4%	4.3%	18.9%	35.0%	1.1%	0.6%	8.4%	53.0%	3.4%	1.7%	0.9%	1.3%
県央	2.6%	6.0%	14.7%	25.0%	0.9%	0.0%	12.9%	62.1%	4.3%	2.6%	0.0%	2.6%
湘南	10.7%	23.5%	42.6%	23.1%	0.2%	3.4%	5.9%	30.8%	4.8%	2.1%	0.8%	1.0%
県西	1.4%	7.8%	21.2%	33.2%	1.7%	1.7%	8.2%	44.4%	3.8%	1.3%	3.2%	1.3%
(うち箱根・湯河原地区)	1.5%	8.0%	20.3%	34.7%	1.7%	1.8%	8.6%	44.0%	3.7%	1.2%	3.4%	1.1%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	4.8%	35.6%	6.7%	1.9%	0.0%	1.0%	51.0%	4.8%	1.9%	1.0%	3.8%
全県	9.1%	19.2%	31.8%	27.8%	1.2%	2.5%	5.9%	34.6%	4.2%	1.2%	1.8%	0.9%

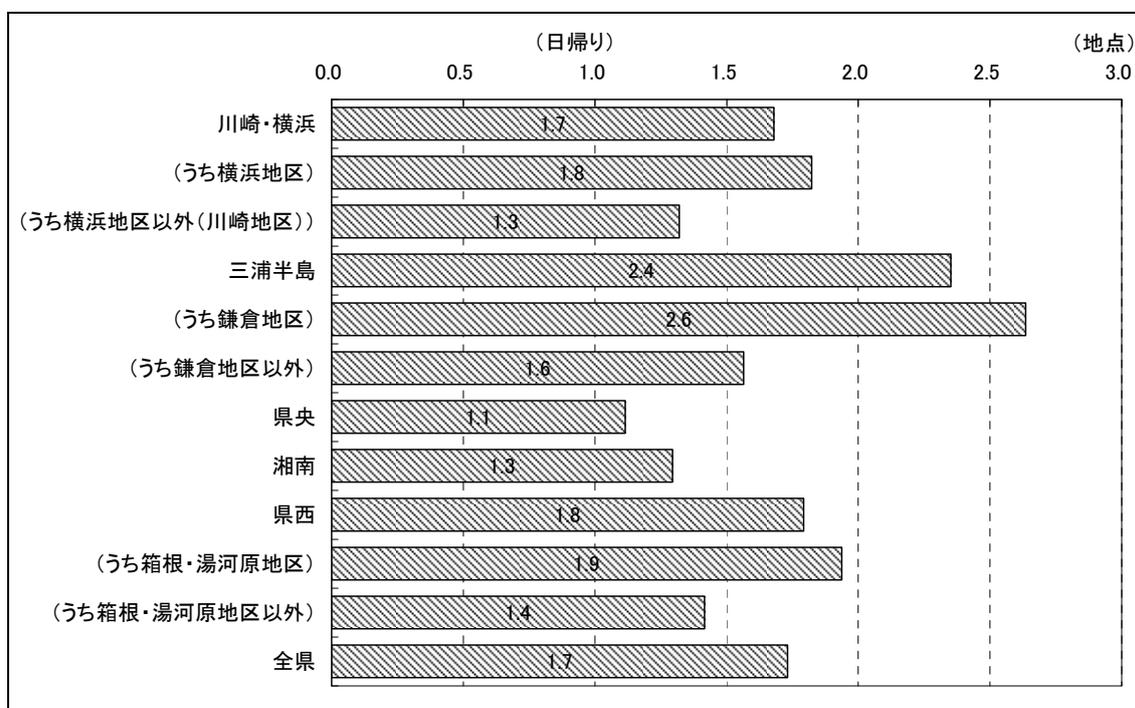
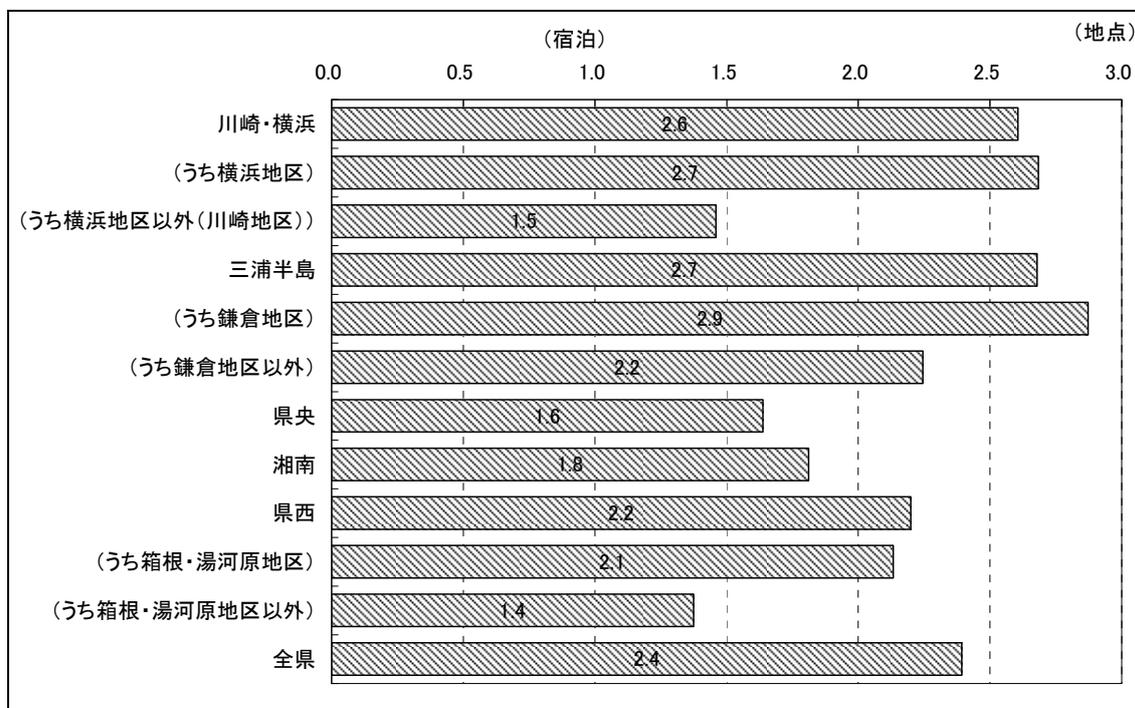
(日帰り)

	①航空機	②新幹線	③JR在来線	④その他私鉄	⑤貸切バス・定期観光バス	⑥高速バス	⑦路線バス	⑧自家用車	⑨タクシー	⑩レンタカー	⑪船舶(フェリー、遊覧船など)	⑫その他
川崎・横浜	0.4%	1.8%	22.0%	29.4%	1.8%	0.1%	7.5%	28.7%	0.8%	0.1%	0.2%	3.3%
(うち横浜地区)	0.4%	2.1%	26.7%	25.5%	1.7%	0.0%	8.9%	25.0%	0.8%	0.1%	0.3%	2.4%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.2%	0.9%	10.2%	39.3%	2.0%	0.2%	3.8%	38.0%	0.9%	0.0%	0.0%	5.6%
三浦半島	0.3%	1.0%	49.0%	11.5%	2.0%	0.3%	4.9%	28.5%	0.8%	0.2%	0.3%	2.5%
(うち鎌倉地区)	0.5%	1.4%	65.7%	6.8%	2.1%	0.3%	2.8%	15.8%	0.7%	0.2%	0.2%	2.8%
(うち鎌倉地区以外)	0.0%	0.0%	2.8%	24.6%	1.9%	0.0%	10.7%	63.4%	0.9%	0.0%	0.6%	1.6%
県央	0.0%	0.0%	5.2%	4.2%	0.5%	0.0%	3.4%	63.3%	0.0%	0.2%	0.0%	5.1%
湘南	0.1%	0.5%	7.4%	30.4%	0.5%	0.1%	4.5%	35.9%	0.1%	0.4%	0.0%	4.9%
県西	0.2%	1.4%	13.9%	26.5%	2.5%	0.8%	4.3%	47.7%	0.4%	0.8%	0.1%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	0.3%	1.3%	7.9%	32.8%	2.9%	1.1%	4.5%	48.5%	0.3%	1.1%	0.2%	0.6%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	1.7%	29.4%	10.1%	1.3%	0.0%	3.8%	45.8%	0.4%	0.0%	0.0%	1.7%
全県	0.3%	1.1%	22.8%	21.8%	1.6%	0.2%	5.4%	37.1%	0.5%	0.3%	0.2%	3.2%

※日帰り客調査の夏季、秋期調査においては交通手段を尋ねる質問を設けなかったため、消費額の回答内容等から類推している。

○そこだけを目的として来訪し、滞在して帰って行くという目的性の高い特定の観光地や観光施設が多い。

平均立ち寄り地点数は宿泊客で 1.8 地点、日帰り客で 1.3 地点と、全県と比較すると少ない。県央地域と同様に、目的性の高い観光地や観光施設が多い地域と言える。



○提供価格に見合ったサービスや設備水準の提供といった面で課題も見られる。

全県と比較して満足したと回答した割合（大いに満足、どちらかといえば満足の割合の合計）は若干低い。ただし、これは季節性の強い観光地（海水浴場など）を有する地域に特有の傾向とも言える。

（宿泊）

	①大いに満足	②どちらかといえば満足	③どちらかといえば不満	④大いに不満	⑤何とも言えない	無回答	合計
川崎・横浜	44.1%	43.7%	1.8%	0.2%	4.4%	5.8%	100.0%
（うち横浜地区）	47.8%	42.6%	1.6%	0.2%	2.5%	5.3%	100.0%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	27.9%	48.6%	2.5%	0.5%	12.7%	7.8%	100.0%
三浦半島	46.9%	40.7%	1.6%	0.5%	3.0%	7.2%	100.0%
（うち鎌倉地区）	45.4%	40.3%	1.2%	0.3%	5.7%	7.2%	100.0%
（うち鎌倉地区以外）	48.1%	41.0%	1.9%	0.6%	1.1%	7.3%	100.0%
県央	45.7%	44.8%	2.6%	0.0%	2.6%	4.3%	100.0%
湘南	27.7%	49.9%	1.5%	0.2%	9.6%	11.1%	100.0%
県西	48.1%	43.2%	1.4%	0.5%	1.0%	5.6%	100.0%
（うち箱根・湯河原地区）	48.2%	43.3%	1.3%	0.6%	0.9%	5.7%	100.0%
（うち箱根・湯河原地区以外）	47.1%	42.3%	2.9%	0.0%	2.9%	4.8%	100.0%
全県	44.4%	43.7%	1.6%	0.4%	3.5%	6.4%	100.0%

（日帰り）

	①大いに満足	②どちらかといえば満足	③どちらかといえば不満	④大いに不満	⑤何とも言えない	無回答	合計
川崎・横浜	51.6%	30.3%	1.3%	0.3%	6.5%	10.0%	100.0%
（うち横浜地区）	51.6%	30.3%	1.2%	0.4%	7.3%	9.2%	100.0%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	51.8%	30.2%	1.6%	0.2%	4.2%	12.0%	100.0%
三浦半島	45.1%	35.1%	1.0%	0.3%	3.6%	15.0%	100.0%
（うち鎌倉地区）	47.5%	34.4%	0.6%	0.2%	2.8%	14.5%	100.0%
（うち鎌倉地区以外）	38.5%	36.9%	2.2%	0.3%	5.7%	16.4%	100.0%
県央	43.9%	43.3%	3.2%	0.7%	7.2%	1.7%	100.0%
湘南	40.8%	34.8%	2.7%	0.1%	4.2%	17.4%	100.0%
県西	46.1%	35.9%	2.1%	0.5%	4.8%	10.6%	100.0%
（うち箱根・湯河原地区）	50.9%	32.0%	2.1%	0.2%	5.5%	9.4%	100.0%
（うち箱根・湯河原地区以外）	33.6%	46.2%	2.1%	1.3%	2.9%	13.9%	100.0%
全県	46.5%	34.6%	1.8%	0.3%	5.2%	11.5%	100.0%

○特徴的な食事や土産物などが少なく、消費単価は全県と比較しても低い水準にある。

消費単価は宿泊客で 29,739 円、日帰り客で 3,916 円と全県と比較して低い水準にある。特に飲食代や土産品・買い物代の単価が若干低いが、これは特徴的な食事や土産物などが少ないことが要因として考えられる。これに関して、事業者ヒアリングでも商品（メニュー）の幅が狭いことや、オリジナリティが不足しているといった意見が聞かれている。

土産品の内訳としては、繊維製品の比率が最も高く、食料品がそれに続いている。

(宿泊)項目別 県内分

	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など						
川崎・横浜	1,870	870	151	11,777	8,721	6,532	1,410	599	31,930
（うち横浜地区）	1,646	887	164	11,291	8,727	7,084	1,473	599	31,872
（うち横浜地区以外（川崎地区））	2,869	796	94	13,944	8,693	4,070	1,127	601	32,192
三浦半島	1,309	898	129	13,896	5,155	4,173	1,554	389	27,503
（うち鎌倉地区）	1,553	355	131	12,581	7,000	4,696	1,575	226	28,117
（うち鎌倉地区以外）	1,126	1,304	127	14,880	3,775	3,782	1,538	512	27,044
県央	1,261	1,429	23	17,859	4,800	1,711	619	200	27,902
湘南	2,490	1,494	78	12,058	7,599	3,659	1,580	781	29,739
県西	1,585	984	551	17,125	4,146	4,317	1,326	338	30,374
（うち箱根・湯河原地区）	1,602	979	571	17,232	4,236	4,444	1,367	330	30,760
（うち箱根・湯河原地区以外）	1,302	1,073	210	15,314	2,631	2,162	627	485	23,804
全県	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489	30,511

(日帰り)項目別 県内分

	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	合計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など					
川崎・横浜	921	335	30	1,618	1,078	498	35	4,515
（うち横浜地区）	1,028	375	38	1,813	1,078	596	11	4,939
（うち横浜地区以外（川崎地区））	637	229	8	1,100	1,076	236	99	3,385
三浦半島	795	472	93	1,765	1,367	408	7	4,908
（うち鎌倉地区）	862	307	99	1,593	1,289	418	8	4,576
（うち鎌倉地区以外）	611	926	79	2,236	1,583	381	7	5,822
県央	213	561	18	1,080	588	352	20	2,832
湘南	876	482	48	1,093	548	827	42	3,916
県西	1,362	721	114	1,773	1,426	1,137	48	6,579
（うち箱根・湯河原地区）	1,653	854	158	2,029	1,550	1,349	58	7,651
（うち箱根・湯河原地区以外）	628	385	2	1,127	1,115	603	21	3,881
全県	880	482	61	1,539	1,071	620	30	4,682

(土産品の内訳推計・総額ベース)

	農林水産業	食料品	繊維製品	パルプ・紙・木製品	その他の製造工業製品	窯業・土木製品	金属製品	電気機械	合計
川崎・横浜	0.7%	32.1%	43.5%	3.7%	15.2%	2.2%	2.5%	0.2%	100.0%
（うち横浜地区）	0.5%	31.0%	45.2%	3.1%	15.7%	1.8%	2.5%	0.2%	100.0%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	1.6%	39.6%	31.3%	8.5%	11.8%	5.1%	2.2%	0.0%	100.0%
三浦半島	23.8%	41.9%	10.2%	9.1%	10.6%	0.8%	3.6%	0.0%	100.0%
（うち鎌倉地区）	1.9%	54.6%	11.0%	15.4%	10.4%	1.5%	5.2%	0.0%	100.0%
（うち鎌倉地区以外）	51.1%	26.1%	9.1%	1.2%	10.8%	0.0%	1.6%	0.0%	100.0%
県央	31.7%	37.5%	7.5%	4.0%	7.1%	12.1%	0.0%	0.0%	100.0%
湘南	6.3%	33.9%	37.0%	4.3%	14.2%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%
県西	9.7%	54.6%	7.1%	9.5%	7.9%	9.4%	1.8%	0.0%	100.0%
（うち箱根・湯河原地区）	8.5%	55.4%	5.6%	10.3%	8.1%	10.1%	2.0%	0.0%	100.0%
（うち箱根・湯河原地区以外）	24.6%	44.5%	25.6%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全県	8.3%	40.2%	26.4%	6.3%	12.1%	4.3%	2.3%	0.1%	100.0%

(その他関連データ)

○居住地(県内・県外)別 来訪の目的

(宿泊・湘南)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	遺跡・文化財などの鑑賞	13.9%	行祭事・イベントなどの見物	10.5%	その他の「見物・鑑賞」	9.6%	自然・風景鑑賞	9.3%	買い物・飲食	8.1%
県内	自然・風景鑑賞	12.3%	行祭事・イベントなどの見物	12.3%	温泉浴	12.3%	買い物・飲食	12.3%	その他の「見物・鑑賞」	10.5%
総計	遺跡・文化財などの鑑賞	13.0%	行祭事・イベントなどの見物	10.7%	自然・風景鑑賞	9.6%	その他の「見物・鑑賞」	9.6%	買い物・飲食	8.6%

(日帰り・湘南)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	自然・風景鑑賞	40.8%	博物館・動植物園などの見物	20.4%	買い物・飲食	9.5%	その他の「見物・鑑賞」	9.0%	ドライブ	9.0%
県内	自然・風景鑑賞	40.6%	博物館・動植物園などの見物	15.0%	ハイキング・ピクニック	10.9%	その他の「見物・鑑賞」	7.7%	登山	6.6%
総計	自然・風景鑑賞	40.7%	博物館・動植物園などの見物	16.3%	ハイキング・ピクニック	10.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%	ドライブ	7.2%

○居住地(県内・県外)別 消費単価

(宿泊・湘南)

(円)

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など					
県外	29,537	2,559	1,531	85	11,896	7,410	3,874	1,409	770
県内	31,349	1,940	1,198	20	13,342	9,092	1,954	2,937	867
総計	29,739	2,490	1,494	78	12,058	7,599	3,659	1,580	781

(日帰り・湘南)

(円)

	総額	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など				
県外	5,783	1,556	633	117	1,352	964	1,098	63
県内	3,275	640	431	23	1,006	404	736	35
総計	3,916	876	482	48	1,093	548	827	42

○居住地(県内・県外)別 来訪の形態

(宿泊・湘南)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	78.7%	1.9%	0.2%	5.5%	13.6%	100.0%
県内	78.9%	1.8%	0.0%	5.3%	14.0%	100.0%
総計	78.4%	1.9%	0.2%	5.5%	14.0%	100.0%

(日帰り・湘南)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	80.1%	1.0%	1.0%	7.5%	10.4%	100.0%
県内	90.5%	0.2%	0.0%	2.6%	6.8%	100.0%
総計	87.5%	0.4%	0.3%	3.9%	8.0%	100.0%

○居住地（県内・県外）別 立ち寄り地点数

（宿泊・湘南）

	平均立ち寄り地点数
県外	1.8
県内	1.6
総計	1.8

（日帰り・湘南）

	平均立ち寄り地点数
県外	1.5
県内	1.2
総計	1.3

○居住地（県内・県外）別 満足度

（宿泊・湘南）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	26.1%	51.9%	1.0%	0.2%	10.0%	10.8%	100.0%
県内	40.4%	36.8%	5.3%	0.0%	7.0%	10.5%	100.0%
総計	27.7%	49.9%	1.5%	0.2%	9.6%	11.1%	100.0%

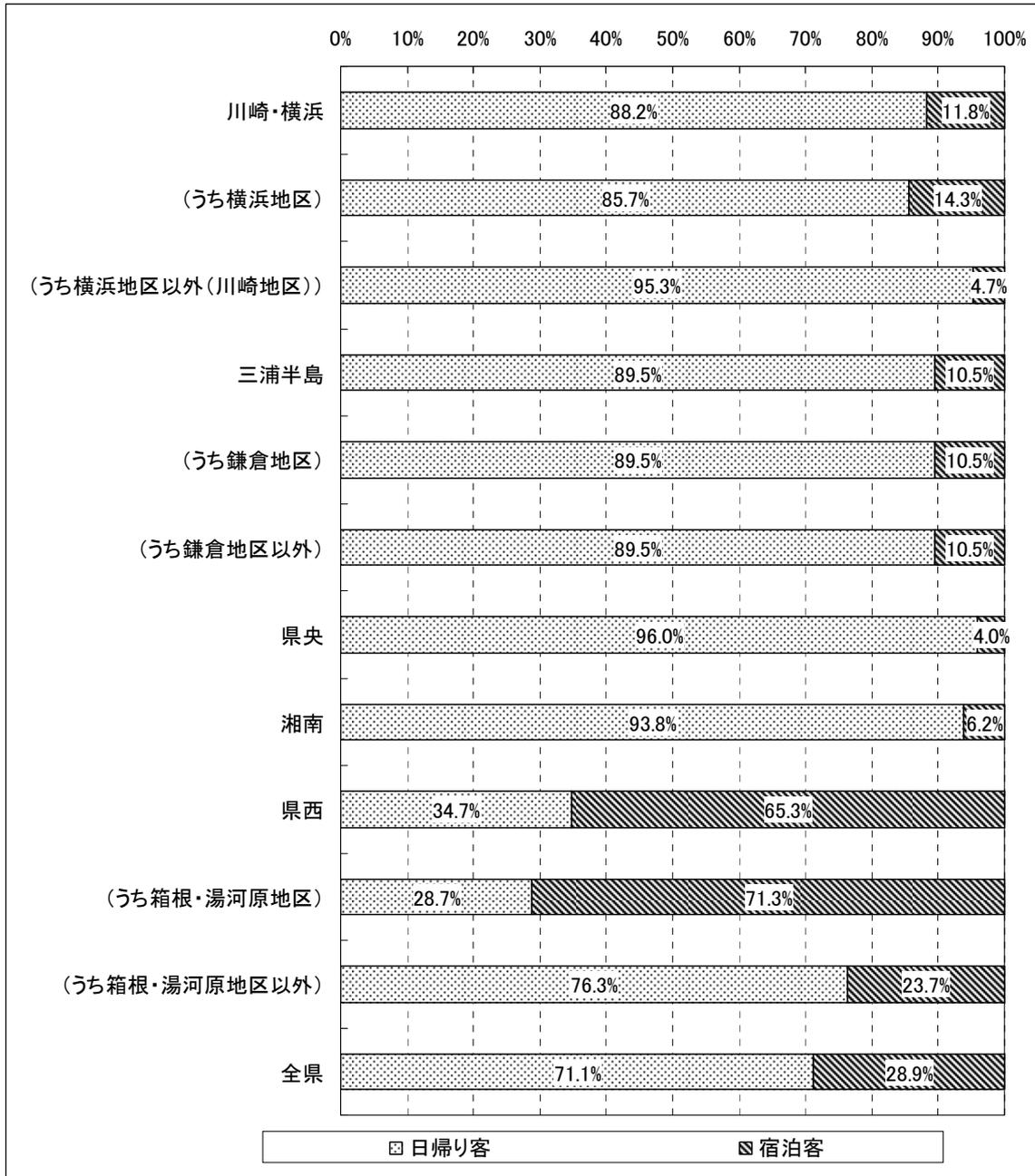
（日帰り・湘南）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	40.3%	36.8%	3.5%	0.0%	7.5%	11.9%	100.0%
県内	41.0%	34.4%	2.4%	0.2%	3.1%	19.0%	100.0%
総計	40.8%	34.8%	2.7%	0.1%	4.2%	17.4%	100.0%

2-2-5 県西

○宿泊観光が中心であり、首都圏からの目的地として幅広い年代の客層が来訪している。

県西圏域全体では日帰り客 34.7%、宿泊客 65.3%となっている。



県西圏域全体では宿泊客で 68.0%が県外客、うち首都圏からの来訪が 52.7%と全体の半数以上を占めている。また日帰り客では 49.5%が県内客であり、県外客 48.4%のうち首都圏からの来訪は 34.7%となることから、県内を含めた首都圏からの来訪は 84.2%となる。以上より近隣県からの観光目的地として集客している様子がうかがえる。

(宿泊)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	12.9%	22.9%	63.9%	0.3%	100.0%
(うち横浜地区)	13.8%	25.1%	61.0%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.2%	13.6%	76.3%	0.9%	100.0%
三浦半島	22.2%	46.4%	31.0%	0.4%	100.0%
(うち鎌倉地区)	6.9%	37.6%	55.2%	0.3%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	33.3%	52.8%	13.5%	0.4%	100.0%
県央	49.1%	37.9%	12.9%	0.0%	100.0%
湘南	11.9%	30.2%	57.2%	0.6%	100.0%
県西	31.3%	52.7%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	30.6%	53.3%	15.3%	0.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	43.3%	41.3%	14.4%	1.0%	100.0%
全県	21.1%	37.1%	41.4%	0.5%	100.0%

(日帰り)

	県内	県外(首都圏)	県外(首都圏以外)	無回答	合計
川崎・横浜	59.4%	30.0%	9.1%	1.5%	100.0%
(うち横浜地区)	59.6%	28.6%	10.4%	1.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	59.1%	33.6%	5.8%	1.6%	100.0%
三浦半島	55.0%	33.8%	11.0%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	48.3%	36.6%	14.9%	0.2%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	73.5%	26.2%	0.3%	0.0%	100.0%
県央	75.8%	22.1%	1.3%	0.8%	100.0%
湘南	74.2%	19.9%	5.4%	0.4%	100.0%
県西	49.5%	34.7%	13.7%	2.2%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	43.1%	38.6%	15.2%	3.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	66.0%	24.4%	9.7%	0.0%	100.0%
全県	60.9%	29.2%	8.8%	1.0%	100.0%

県西圏域全体では宿泊客、日帰り客ともに2人づれが最も比率が高く、それぞれ49.6%、43.1%となっている。

(宿泊)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	22.1%	44.4%	13.4%	10.5%	3.3%	1.3%	0.9%	2.9%	1.2%	100.0%
(うち横浜地区)	16.2%	47.0%	15.0%	11.9%	3.7%	1.2%	0.8%	3.1%	1.0%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.5%	33.2%	6.5%	4.4%	1.6%	1.8%	1.2%	2.1%	1.8%	100.0%
三浦半島	10.6%	44.8%	14.4%	13.0%	5.1%	3.4%	2.6%	5.4%	0.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	56.7%	11.3%	6.6%	1.8%	0.3%	0.3%	1.2%	0.9%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	36.3%	16.5%	17.6%	7.5%	5.6%	4.3%	8.4%	0.6%	100.0%
県央	10.3%	39.7%	15.5%	12.1%	5.2%	2.6%	3.4%	11.2%	0.0%	100.0%
湘南	38.4%	30.6%	9.9%	7.1%	2.5%	2.1%	0.4%	7.5%	1.5%	100.0%
県西	1.3%	49.6%	17.3%	12.0%	6.1%	4.4%	2.0%	5.5%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	50.3%	17.3%	12.0%	6.2%	4.4%	1.9%	5.1%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	37.5%	17.3%	12.5%	5.8%	5.8%	4.8%	12.5%	2.9%	100.0%
全県	14.7%	44.9%	14.6%	11.1%	4.5%	2.7%	1.5%	4.7%	1.3%	100.0%

(日帰り)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	17.2%	43.0%	14.5%	9.4%	4.1%	1.9%	1.5%	6.5%	2.0%	100.0%
(うち横浜地区)	17.7%	45.1%	14.7%	8.7%	3.5%	1.6%	1.2%	5.8%	1.8%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	37.8%	14.0%	11.1%	5.3%	2.7%	2.4%	8.2%	2.7%	100.0%
三浦半島	10.2%	46.8%	15.1%	12.3%	5.4%	2.0%	0.8%	6.3%	1.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	12.1%	52.4%	14.2%	8.9%	2.5%	1.4%	0.7%	6.5%	1.4%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	31.2%	17.4%	21.8%	13.2%	3.8%	1.3%	5.7%	0.6%	100.0%
県央	8.1%	39.6%	19.4%	18.2%	6.4%	2.4%	0.8%	4.4%	0.8%	100.0%
湘南	16.2%	35.7%	16.9%	11.6%	6.8%	2.5%	1.1%	6.6%	2.5%	100.0%
県西	6.4%	43.1%	14.9%	12.7%	7.5%	3.0%	1.3%	7.7%	3.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	6.0%	45.7%	14.1%	12.4%	6.1%	2.7%	0.6%	8.2%	4.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.6%	36.1%	17.2%	13.4%	10.9%	3.8%	2.9%	6.3%	1.7%	100.0%
全県	12.4%	42.4%	15.7%	12.0%	5.7%	2.3%	1.2%	6.4%	2.0%	100.0%

○宿泊客では箱根という温泉地そのものが来訪目的になっている。
 ○日帰り客では多様な観光施設が充実している地域としてそれらの観光資源も来訪の主要な目的となっている。

来訪の目的として、宿泊客では温泉浴が71.4%で最も高くなっており、箱根という温泉地そのものが来訪目的になっている。一方、日帰り客では自然・風景鑑賞が53.1%で最も高く、次いで温泉浴が32.2%と続いている。また、博物館・動植物園などの見物も宿泊客、日帰り客ともに上位にあり、多様な観光施設が充実している地域として、それらの観光資源も来訪の主要な目的となっている事が分かる。

(宿泊)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	買い物・飲食	27.2%	その他の「見物・鑑賞」	16.5%	行祭事・イベントなどの見物	14.5%	遊園地などのレジャー施設	12.3%	自然・風景鑑賞	8.8%
(うち横浜地区)	買い物・飲食	30.8%	その他の「見物・鑑賞」	17.3%	行祭事・イベントなどの見物	15.2%	遊園地などのレジャー施設	14.5%	自然・風景鑑賞	10.1%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	その他の「見物・鑑賞」	13.4%	買い物・飲食	11.8%	行祭事・イベントなどの見物	11.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	5.3%	その他の「体験」	4.6%
三浦半島	温泉浴	27.6%	自然・風景鑑賞	24.5%	遺跡・文化財などの鑑賞	20.0%	買い物・飲食	19.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.9%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	40.9%	自然・風景鑑賞	22.7%	買い物・飲食	21.2%	行祭事・イベントなどの見物	9.9%	その他の「見物・鑑賞」	9.0%
(うち鎌倉地区以外)	温泉浴	45.3%	自然・風景鑑賞	25.8%	買い物・飲食	18.9%	その他の「見物・鑑賞」	8.8%	博物館・動植物園などの見物	8.2%
県央	温泉浴	57.8%	自然・風景鑑賞	16.4%	趣味・研究	9.5%	ハイキング・ピクニック	8.6%	買い物・飲食	6.9%
湘南	遺跡・文化財などの鑑賞	13.0%	行祭事・イベントなどの見物	10.7%	自然・風景鑑賞	9.6%	その他の「見物・鑑賞」	9.6%	買い物・飲食	8.6%
県西	温泉浴	71.4%	自然・風景鑑賞	26.9%	買い物・飲食	14.5%	博物館・動植物園などの見物	11.5%	その他の「見物・鑑賞」	7.8%
(うち箱根・湯河原地区)	温泉浴	73.6%	自然・風景鑑賞	26.8%	買い物・飲食	13.8%	博物館・動植物園などの見物	12.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	温泉浴	35.6%	自然・風景鑑賞	27.9%	買い物・飲食	26.0%	ドライブ	7.7%	その他の「見物・鑑賞」	4.8%
全県	温泉浴	29.9%	買い物・飲食	19.9%	自然・風景鑑賞	17.3%	その他の「見物・鑑賞」	11.7%	行祭事・イベントなどの見物	9.5%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	博物館・動植物園などの見物	7.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	7.5%	その他の「体験」	3.3%	スポーツ見物	2.7%	その他の「運動」	2.3%
(うち横浜地区)	博物館・動植物園などの見物	8.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	8.0%	その他の「体験」	3.0%	スポーツ見物	2.6%	その他の「運動」	2.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	自然・風景鑑賞	3.2%	遊園地などのレジャー施設	3.2%	博物館・動植物園などの見物	2.8%	スポーツ見物	2.8%	趣味・研究	2.5%
三浦半島	行祭事・イベントなどの見物	7.4%	博物館・動植物園などの見物	6.2%	その他の「体験」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.5%	ハイキング・ピクニック	4.4%
(うち鎌倉地区)	その他の「体験」	5.1%	博物館・動植物園などの見物	3.6%	ハイキング・ピクニック	3.6%	温泉浴	3.0%	その他の「運動」	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	遊園地などのレジャー施設	6.9%	ドライブ	5.8%	行祭事・イベントなどの見物	5.6%	その他の「体験」	5.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	4.9%
県央	その他の「見物・鑑賞」	5.2%	ドライブ	5.2%	その他の「体験」	3.4%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.6%	果物狩り	2.6%
湘南	その他の「体験」	6.1%	その他の「運動」	4.8%	温泉浴	4.4%	博物館・動植物園などの見物	4.0%	趣味・研究	3.1%
県西	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.3%	行祭事・イベントなどの見物	4.2%	ハイキング・ピクニック	4.2%	趣味・研究	3.7%
(うち箱根・湯河原地区)	ドライブ	7.3%	遺跡・文化財などの鑑賞	6.5%	行祭事・イベントなどの見物	4.3%	ハイキング・ピクニック	4.1%	趣味・研究	3.7%
(うち箱根・湯河原地区以外)	釣り	4.8%	ハイキング・ピクニック	4.8%	博物館・動植物園などの見物	3.8%	タイピングなどのマリンスポーツ	3.8%	遺跡・文化財などの鑑賞	2.9%
全県	遺跡・文化財などの鑑賞	9.3%	博物館・動植物園などの見物	8.2%	遊園地などのレジャー施設	7.1%	ドライブ	3.9%	その他の「体験」	3.3%

(日帰り)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
川崎・横浜	自然・風景鑑賞	32.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.5%	買い物・飲食	17.0%	行祭事・イベントなどの見物	9.8%	博物館・動植物園などの見物	7.1%
(うち横浜地区)	自然・風景鑑賞	37.7%	買い物・飲食	22.9%	遺跡・文化財などの鑑賞	13.5%	行祭事・イベントなどの見物	12.9%	博物館・動植物園などの見物	8.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	遺跡・文化財などの鑑賞	27.6%	自然・風景鑑賞	20.0%	趣味・研究	4.4%	ハイキング・ピクニック	4.2%	博物館・動植物園などの見物	2.4%
三浦半島	自然・風景鑑賞	43.0%	遺跡・文化財などの鑑賞	42.9%	買い物・飲食	14.3%	ハイキング・ピクニック	10.2%	行祭事・イベントなどの見物	6.3%
(うち鎌倉地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	58.0%	自然・風景鑑賞	46.4%	ハイキング・ピクニック	11.6%	行祭事・イベントなどの見物	7.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.8%
(うち鎌倉地区以外)	買い物・飲食	37.9%	自然・風景鑑賞	33.8%	遊園地などのレジャー施設	21.5%	ドライブ	12.0%	温泉浴	7.3%
県央	自然・風景鑑賞	55.7%	ハイキング・ピクニック	14.6%	遊園地などのレジャー施設	12.5%	行祭事・イベントなどの見物	10.1%	ドライブ	10.1%
湘南	自然・風景鑑賞	40.7%	博物館・動植物園などの見物	16.3%	ハイキング・ピクニック	10.0%	その他の「見物・鑑賞」	8.0%	ドライブ	7.2%
県西	自然・風景鑑賞	53.1%	温泉浴	32.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.9%	博物館・動植物園などの見物	9.9%	ドライブ	7.9%
(うち箱根・湯河原地区)	自然・風景鑑賞	55.3%	温泉浴	40.4%	博物館・動植物園などの見物	8.9%	ドライブ	7.8%	買い物・飲食	5.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	遺跡・文化財などの鑑賞	51.3%	自然・風景鑑賞	47.5%	博物館・動植物園などの見物	12.6%	温泉浴	10.9%	ドライブ	8.4%
全県	自然・風景鑑賞	42.6%	遺跡・文化財などの鑑賞	19.6%	買い物・飲食	11.3%	博物館・動植物園などの見物	7.5%	ハイキング・ピクニック	7.2%

	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
川崎・横浜	その他の「見物・鑑賞」	6.5%	遊園地などのレジャー施設	5.2%	ハイキング・ピクニック	3.3%	趣味・研究	2.7%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区)	その他の「見物・鑑賞」	8.5%	遊園地などのレジャー施設	7.3%	ハイキング・ピクニック	2.9%	趣味・研究	2.0%	その他の「運動」	2.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	行祭事・イベントなどの見物	2.0%	買い物・飲食	2.0%	その他の「運動」	2.0%	その他の「体験」	1.8%	その他の「見物・鑑賞」	1.6%
三浦半島	その他の「見物・鑑賞」	6.2%	遊園地などのレジャー施設	5.9%	ドライブ	5.4%	温泉浴	2.8%	趣味・研究	2.8%
(うち鎌倉地区)	買い物・飲食	5.8%	ドライブ	3.0%	その他の「運動」	2.7%	趣味・研究	2.6%	博物館・動植物園などの見物	1.9%
(うち鎌倉地区以外)	その他の「体験」	6.6%	ハイキング・ピクニック	6.3%	果物狩り	6.0%	博物館・動植物園などの見物	4.4%	その他の「見物・鑑賞」	4.4%
県央	買い物・飲食	5.6%	趣味・研究	3.9%	博物館・動植物園などの見物	3.0%	その他の「見物・鑑賞」	3.0%	温泉浴	2.5%
湘南	登山	6.4%	買い物・飲食	5.6%	スポーツ見物	4.0%	その他の「体験」	3.7%	遺跡・文化財などの鑑賞	3.5%
県西	買い物・飲食	6.2%	その他の「見物・鑑賞」	5.1%	遊園地などのレジャー施設	4.4%	趣味・研究	2.6%	ハイキング・ピクニック	2.2%
(うち箱根・湯河原地区)	遺跡・文化財などの鑑賞	5.0%	遊園地などのレジャー施設	4.8%	その他の「見物・鑑賞」	4.2%	ハイキング・ピクニック	2.4%	趣味・研究	2.3%
(うち箱根・湯河原地区以外)	その他の「見物・鑑賞」	7.6%	買い物・飲食	7.1%	行祭事・イベントなどの見物	5.9%	その他の「運動」	5.0%	遊園地などのレジャー施設	3.4%
全県	温泉浴	6.8%	行祭事・イベントなどの見物	6.5%	その他の「見物・鑑賞」	6.0%	遊園地などのレジャー施設	5.8%	ドライブ	5.3%

(その他関連データ)

○居住地(県内・県外)別 来訪の目的

(宿泊・県西)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	温泉浴	71.3%	自然・風景鑑賞	26.8%	買い物・飲食	14.3%	博物館・動植物園などの見物	12.3%	その他の「見物・鑑賞」	8.3%
県内	温泉浴	72.0%	自然・風景鑑賞	27.3%	買い物・飲食	15.0%	博物館・動植物園などの見物	9.8%	ドライブ	9.1%
総計	温泉浴	71.4%	自然・風景鑑賞	26.9%	買い物・飲食	14.5%	博物館・動植物園などの見物	11.5%	その他の「見物・鑑賞」	7.8%

(日帰り・県西)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
県外	自然・風景鑑賞	56.3%	温泉浴	39.4%	遺跡・文化財などの鑑賞	15.7%	博物館・動植物園などの見物	10.1%	買い物・飲食	6.8%
県内	自然・風景鑑賞	51.4%	温泉浴	25.9%	遺跡・文化財などの鑑賞	20.8%	ドライブ	10.6%	博物館・動植物園などの見物	10.1%
総計	自然・風景鑑賞	53.1%	温泉浴	32.2%	遺跡・文化財などの鑑賞	17.9%	博物館・動植物園などの見物	9.9%	ドライブ	7.9%

○居住地(県内・県外)別 消費単価

(宿泊・県西)

(円)

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など					
県外	30,609	1,724	851	656	16,846	4,211	4,611	1,389	321
県内	29,920	1,287	1,271	325	17,763	4,015	3,689	1,194	376
総計	30,374	1,585	984	551	17,125	4,146	4,317	1,326	338

(日帰り・県西)

(円)

	総額	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など				
県外	7,844	1,886	749	159	2,018	1,769	1,196	67
県内	5,372	882	675	72	1,551	1,118	1,044	30
総計	6,579	1,362	721	114	1,773	1,426	1,137	48

○居住地(県内・県外)別 来訪の形態

(宿泊・県西)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	77.0%	15.3%	0.8%	2.2%	4.7%	100.0%
県内	86.7%	6.5%	0.0%	1.6%	5.2%	100.0%
総計	79.9%	12.5%	0.5%	2.0%	5.1%	100.0%

(日帰り・県西)

	個人旅行	パッケージ旅行(フリープラン)	パッケージ旅行(観光ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	82.1%	3.1%	4.6%	7.2%	2.9%	100.0%
県内	95.8%	0.2%	0.0%	1.4%	2.6%	100.0%
総計	87.4%	1.9%	2.2%	4.2%	4.3%	100.0%

○居住地（県内・県外）別 立ち寄り地点数

（宿泊・県西）

	平均立ち寄り地点数
県外	2.3
県内	1.9
総計	2.2

（日帰り・県西）

	平均立ち寄り地点数
県外	2.0
県内	1.6
総計	1.8

○居住地（県内・県外）別 満足度

（宿泊・県西）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	47.8%	44.1%	1.3%	0.4%	1.0%	5.4%	100.0%
県内	49.1%	41.4%	1.7%	0.9%	1.2%	5.6%	100.0%
総計	48.1%	43.2%	1.4%	0.5%	1.0%	5.6%	100.0%

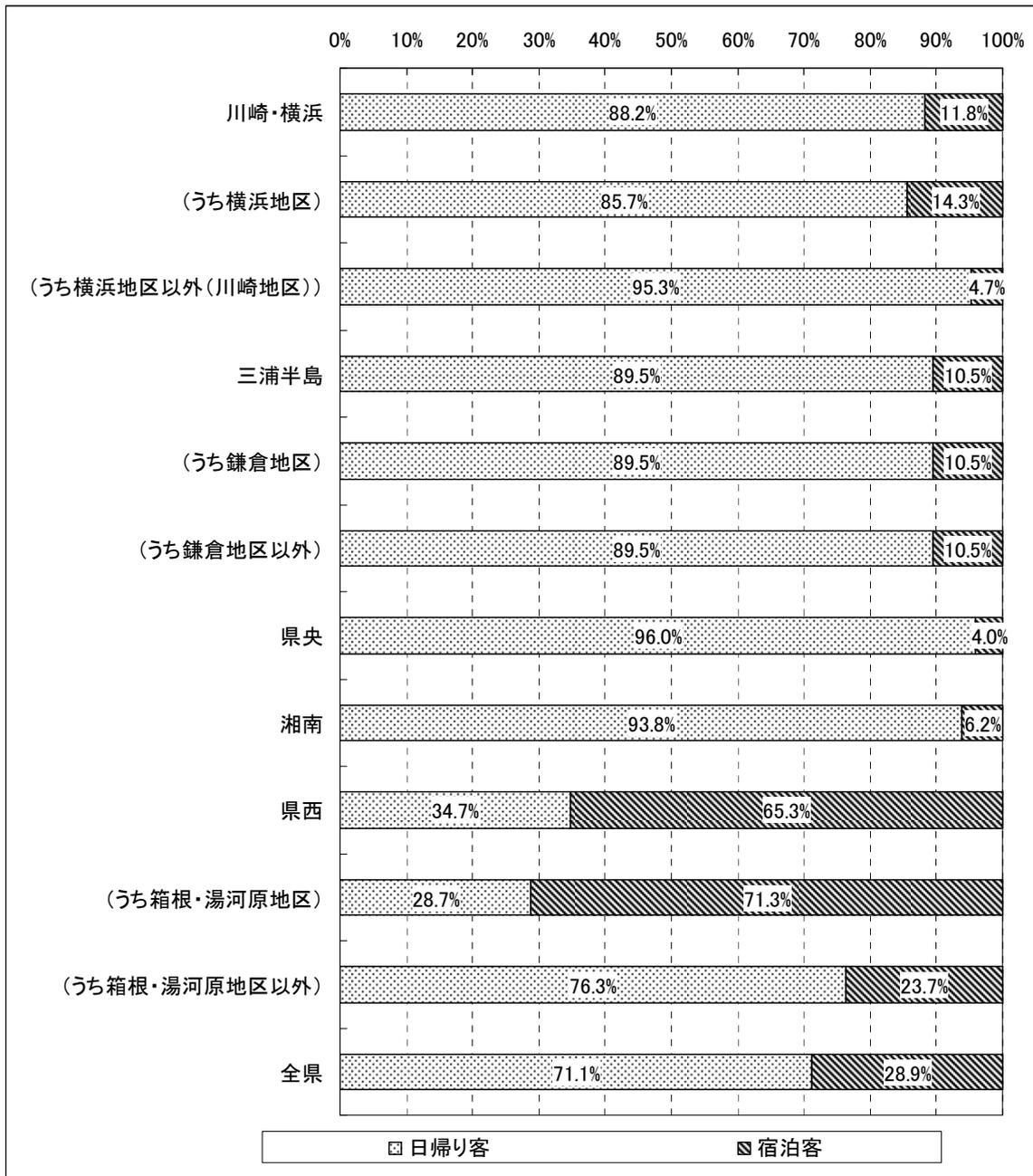
（日帰り・県西）

	大いに満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	大いに不満	何とも言えない	無回答	総計
県外	49.3%	34.5%	1.9%	0.7%	5.6%	8.0%	100.0%
県内	44.1%	38.7%	2.4%	0.2%	4.2%	10.4%	100.0%
総計	46.1%	35.9%	2.1%	0.5%	4.8%	10.6%	100.0%

【箱根・湯河原地区】

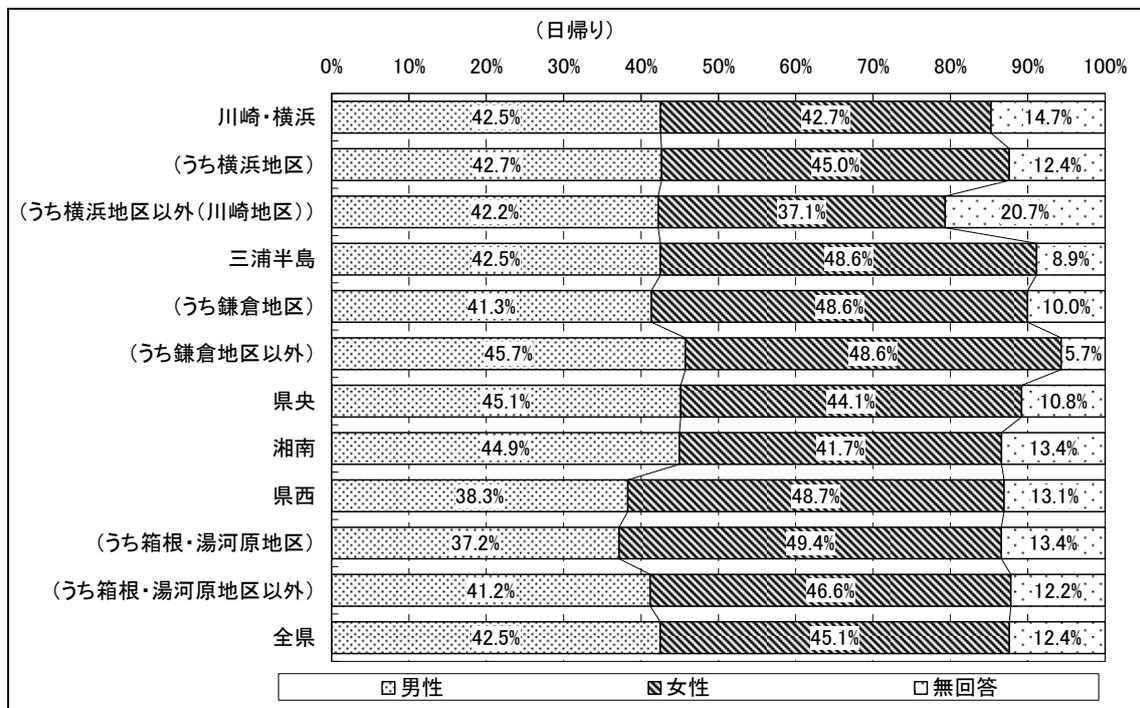
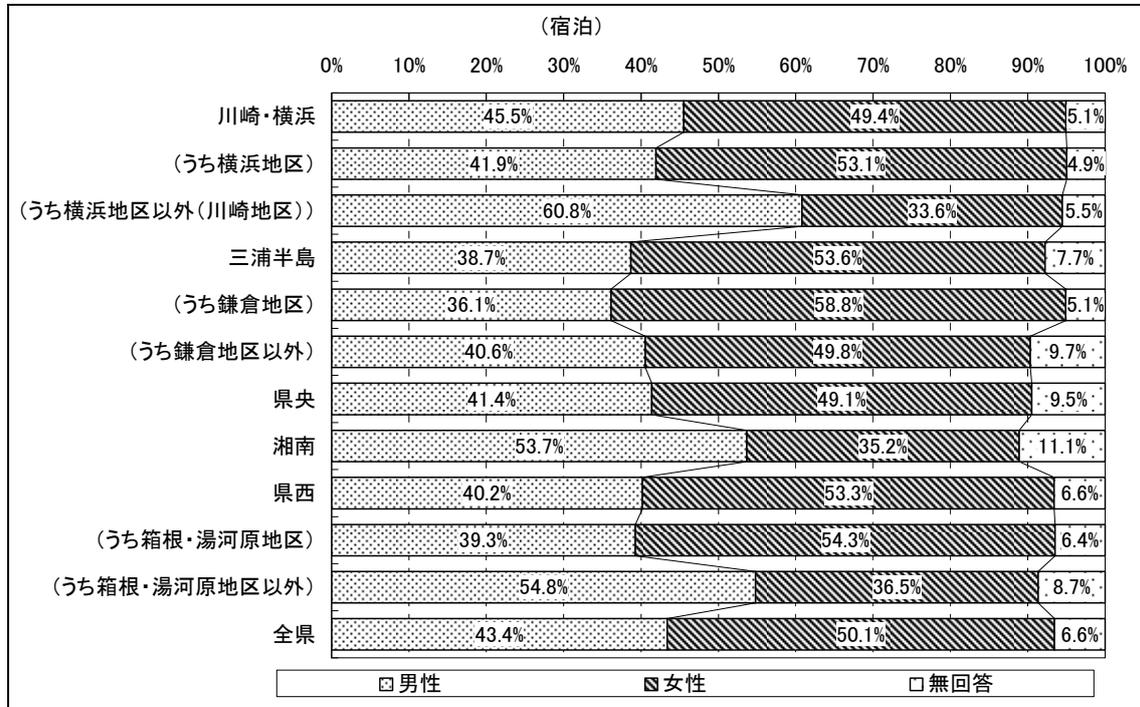
○箱根・湯河原地区では宿泊観光が中心であり、女性客に人気の観光エリアである。リピーターも多い。

箱根・湯河原地区では日帰り客 28.7%、宿泊客 71.3%と宿泊客の方が比率が高く宿泊観光地としての性格を持っている。箱根・湯河原地区以外では日帰り客 76.3%、宿泊客 23.7%と対照的に日帰り観光中心の地区となっている。



宿泊客では箱根・湯河原地区では女性客が 54.3%と比率が高く、箱根・湯河原地区以外では男性客が 54.8%と逆の傾向を示している。

日帰り客では箱根・湯河原地区、それ以外の地区ともに女性客の方が比率が高い。女性客に人気の観光地であると言える。



宿泊客では箱根・湯河原地区、それ以外の地区ともに 60 歳以上の比率が最も高いが、箱根・湯河原地区以外では 30 代の比率も高い。日帰り客では箱根・湯河原地区、それ以外の地区ともに 30 代と比較的若い客層が最も多いが、幅広い年代の客層が来訪している。

(宿泊)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	1.1%	11.4%	26.1%	25.8%	20.4%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区)	1.2%	11.7%	27.3%	25.3%	19.2%	14.2%	1.1%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.9%	10.1%	21.0%	27.9%	25.3%	13.8%	0.9%	100.0%
三浦半島	1.5%	9.9%	15.9%	20.5%	23.2%	26.8%	2.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.8%	17.6%	17.6%	18.5%	25.7%	16.7%	2.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	1.3%	4.3%	14.6%	21.9%	21.5%	34.1%	2.4%	100.0%
県央	0.0%	7.8%	23.3%	19.0%	22.4%	25.9%	1.7%	100.0%
湘南	1.7%	10.1%	20.3%	22.9%	22.2%	20.1%	2.7%	100.0%
県西	1.3%	8.5%	17.5%	15.7%	22.2%	32.2%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.4%	8.4%	17.0%	16.0%	22.2%	32.3%	2.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	9.6%	26.0%	9.6%	22.1%	29.8%	2.9%	100.0%
全県	1.3%	10.0%	21.2%	21.3%	21.6%	22.7%	1.9%	100.0%

(日帰り)

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	合計
川崎・横浜	4.6%	12.3%	20.8%	15.0%	15.9%	23.9%	7.4%	100.0%
(うち横浜地区)	5.8%	14.7%	21.9%	14.8%	15.6%	21.9%	5.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	6.4%	18.0%	15.6%	16.9%	29.1%	12.4%	100.0%
三浦半島	3.3%	16.2%	21.3%	16.0%	16.7%	22.8%	3.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	4.3%	18.0%	17.7%	15.8%	15.8%	24.3%	4.1%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	0.6%	11.4%	31.2%	16.4%	19.2%	18.6%	2.5%	100.0%
県央	2.2%	13.5%	22.1%	21.2%	18.0%	16.2%	6.9%	100.0%
湘南	3.0%	18.6%	23.9%	14.5%	14.0%	22.2%	3.8%	100.0%
県西	1.1%	14.9%	23.9%	17.5%	16.0%	20.2%	6.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.0%	16.6%	21.8%	18.7%	16.0%	18.9%	6.9%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.3%	10.5%	29.4%	14.3%	16.0%	23.5%	5.0%	100.0%
全県	3.1%	14.8%	22.1%	16.3%	16.1%	21.8%	5.7%	100.0%

箱根・湯河原地区では宿泊客、日帰り客ともに10回以上来訪しているリピーターが最も多く、特に箱根・湯河原地区では、全県と比較しても高い比率となっている。

(宿泊)

	初めて	2回目	3～5回	6～9回	10回以上	無回答	合計 (除県内在住)
川崎・横浜	7.9%	8.9%	24.8%	9.8%	45.9%	2.8%	100.0%
(うち横浜地区)	8.5%	10.0%	26.4%	9.7%	43.0%	2.4%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	5.4%	4.1%	18.2%	10.2%	57.8%	4.3%	100.0%
三浦半島	7.5%	7.3%	25.7%	9.6%	45.5%	4.5%	100.0%
(うち鎌倉地区)	9.0%	10.3%	27.3%	6.8%	43.1%	3.5%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	6.0%	4.4%	24.1%	12.3%	47.8%	5.4%	100.0%
県央	6.3%	6.3%	17.5%	6.3%	55.6%	7.9%	100.0%
湘南	9.5%	5.7%	20.6%	10.4%	47.9%	5.9%	100.0%
県西	6.0%	4.4%	20.1%	10.9%	53.2%	5.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	5.7%	4.4%	20.4%	10.9%	53.4%	5.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	11.5%	4.9%	13.1%	11.5%	49.2%	9.8%	100.0%
全県	7.4%	7.0%	23.1%	10.1%	48.3%	4.1%	100.0%

(日帰り)

	初めて	2回目	3～5回	6～9回	10回以上	無回答	合計
川崎・横浜	9.7%	7.5%	18.3%	9.6%	48.0%	6.9%	100.0%
(うち横浜地区)	10.0%	8.2%	20.3%	9.8%	48.1%	3.6%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	9.0%	6.0%	13.4%	9.0%	47.8%	14.9%	100.0%
三浦半島	9.5%	12.4%	22.2%	8.1%	43.9%	3.9%	100.0%
(うち鎌倉地区)	10.5%	13.5%	23.8%	7.8%	39.8%	4.6%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.6%	6.0%	13.3%	9.6%	67.5%	0.0%	100.0%
県央	5.5%	2.7%	8.2%	3.4%	67.8%	12.3%	100.0%
湘南	9.8%	7.6%	15.6%	9.8%	43.3%	13.8%	100.0%
県西	9.1%	8.2%	21.0%	6.5%	47.5%	7.8%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	9.4%	7.9%	22.0%	6.6%	45.4%	8.7%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.3%	9.8%	15.9%	6.1%	57.3%	3.7%	100.0%
全県	9.2%	8.6%	18.9%	8.1%	47.7%	7.4%	100.0%

○箱根・湯河原地区では、夫婦でゆっくり温泉を楽しみに来訪する地区という特徴が見られる。

○箱根・湯河原地区以外では、団体宿泊旅行の目的地としての需要もある。

箱根・湯河原地区の宿泊客では夫婦が 37.2%で最も比率が高く、その他家族（両親や兄弟など）が 22.4%、子ども連れ家族が 22.0%で続いている。また、日帰り客では友人・知人が 29.7%と最も多く、夫婦が 23.7%、子ども連れ家族が 22.3%で続いている。

夫婦や家族、友人とゆっくり温泉を楽しみに来訪する地区という特徴がうかがえる。

(宿泊)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族 (両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	22.1%	25.6%	23.5%	11.4%	13.1%	4.1%	0.3%	0.4%	0.9%
(うち横浜地区)	16.2%	27.6%	26.6%	12.6%	14.1%	3.3%	0.2%	0.3%	0.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.2%	17.1%	9.9%	6.2%	8.8%	7.8%	0.7%	0.7%	0.9%
三浦半島	10.6%	28.3%	26.5%	17.1%	16.9%	2.5%	0.4%	0.1%	2.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	29.6%	16.1%	14.0%	14.0%	2.1%	0.0%	0.3%	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	27.5%	33.9%	19.3%	18.9%	2.8%	0.6%	0.0%	1.3%
県央	10.3%	26.7%	19.8%	16.4%	21.6%	2.6%	1.7%	2.6%	1.7%
湘南	38.4%	15.5%	11.9%	8.4%	10.3%	9.2%	1.9%	1.7%	1.9%
県西	1.3%	36.6%	21.9%	22.2%	18.1%	2.0%	0.8%	0.5%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	37.2%	22.0%	22.4%	17.4%	1.7%	0.5%	0.6%	0.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	26.9%	20.2%	19.2%	28.8%	5.8%	5.8%	0.0%	2.9%
全県	14.7%	28.8%	22.3%	15.7%	15.2%	3.6%	0.6%	0.6%	1.2%

(日帰り)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族 (両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	17.2%	20.2%	21.5%	10.2%	25.7%	0.9%	2.0%	2.2%	0.6%
(うち横浜地区)	17.7%	20.1%	19.8%	8.6%	28.6%	1.0%	2.2%	2.2%	0.7%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	20.4%	25.6%	14.2%	18.4%	0.9%	1.6%	2.2%	0.4%
三浦半島	10.3%	25.7%	19.8%	9.1%	31.9%	1.4%	2.6%	1.0%	0.7%
(うち鎌倉地区)	12.2%	24.8%	12.6%	8.2%	35.2%	1.3%	2.7%	1.1%	0.7%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	28.1%	39.7%	11.7%	22.7%	1.9%	2.2%	0.6%	0.6%
県央	7.7%	28.8%	37.9%	7.9%	12.6%	0.5%	2.0%	1.7%	1.0%
湘南	14.9%	19.3%	28.0%	6.1%	28.4%	1.8%	1.6%	1.0%	2.4%
県西	6.2%	23.9%	27.5%	10.0%	27.3%	2.2%	1.8%	0.9%	1.6%
(うち箱根・湯河原地区)	5.8%	23.7%	22.3%	10.0%	29.7%	2.3%	1.9%	0.6%	1.5%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.1%	24.4%	41.2%	10.1%	21.0%	2.1%	1.3%	1.7%	2.1%
全県	12.2%	23.0%	25.1%	9.0%	26.3%	1.4%	2.1%	1.5%	1.1%

また、来訪の形態としては個人旅行が宿泊客で 79.3%、日帰り客で 86.6%と最も比率が高いが、パッケージ旅行（フリープラン型と観光ツアー付きの合計）も宿泊客で 13.8%、日帰り客で 5.2%と全県と比較すると高くなっており、旅行会社を通じての手配の比率も高い。

(宿泊)

	個人旅行	フリープラン型のパッケージ旅行	観光ツアー付きのパッケージ旅行	団体旅行(地域や職場、学校など)	無回答	合計
川崎・横浜	76.9%	14.8%	0.7%	1.9%	5.7%	100.0%
(うち横浜地区)	75.6%	16.7%	0.8%	2.0%	4.8%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	82.5%	6.7%	0.2%	1.4%	9.2%	100.0%
三浦半島	84.3%	7.4%	0.6%	2.4%	5.4%	100.0%
(うち鎌倉地区)	81.5%	11.3%	0.3%	2.1%	4.8%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	86.3%	4.5%	0.9%	2.6%	5.8%	100.0%
県央	90.5%	0.9%	0.0%	4.3%	4.3%	100.0%
湘南	78.4%	1.9%	0.2%	5.5%	14.0%	100.0%
県西	79.9%	12.5%	0.5%	2.0%	5.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	79.3%	13.2%	0.6%	1.9%	5.1%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	90.4%	1.0%	0.0%	3.8%	4.8%	100.0%
全県	79.4%	11.6%	0.6%	2.3%	6.1%	100.0%

(日帰り)

	個人旅行	フリープラン型のパッケージ旅行	観光ツアー付きのパッケージ旅行	団体旅行(地域や職場、学校など)	無回答	合計
川崎・横浜	84.9%	0.4%	1.1%	4.9%	8.5%	100.0%
(うち横浜地区)	86.3%	0.5%	1.3%	5.1%	6.7%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	81.6%	0.2%	0.7%	4.4%	13.1%	100.0%
三浦半島	92.7%	0.3%	1.1%	4.1%	1.8%	100.0%
(うち鎌倉地区)	92.3%	0.5%	1.4%	4.1%	1.8%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	94.0%	0.0%	0.3%	4.1%	1.6%	100.0%
県央	91.9%	0.0%	0.7%	2.2%	5.2%	100.0%
湘南	87.5%	0.4%	0.3%	3.9%	8.0%	100.0%
県西	87.4%	1.9%	2.2%	4.2%	4.3%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	86.6%	2.6%	2.6%	4.4%	3.9%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	89.5%	0.0%	1.3%	3.8%	5.5%	100.0%
全県	88.4%	0.6%	1.1%	4.1%	5.7%	100.0%

また、それに対応して、宿泊客では、事前の情報源としてインターネットが 35.1%、次いで家族や友人の勧め（口コミ）が 23.1%と続くが、旅行会社パンフレットが 16.8%がそれに次いで多くなっている。

日帰り客では家族や友人の勧め（口コミ）が 21.3%で最も多く、インターネットが 19.4%でそれに続いている。

（宿泊）

	① 家族や友人の勧め（口コミ）	② 旅行ガイドブック	③ 旅行雑誌	④ 旅行会社パンフレット	⑤ 旅行会社店頭での情報	⑥ テレビ・ラジオ	⑦ インターネット	⑧ 駅や社内のポスター	⑨ 行政の観光キャンペーン等のパンフレット	⑩ タウン誌・フリーペーパー	⑪ その他
川崎・横浜	22.1%	16.3%	8.1%	11.2%	4.5%	1.7%	46.2%	0.7%	2.0%	2.6%	9.5%
（うち横浜地区）	21.7%	18.8%	9.6%	12.5%	4.6%	1.7%	47.3%	0.5%	1.9%	2.6%	8.5%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	23.7%	5.3%	1.4%	5.8%	4.1%	1.4%	41.2%	1.6%	2.1%	2.5%	14.1%
三浦半島	28.7%	16.4%	10.6%	7.0%	3.0%	2.7%	32.0%	2.0%	2.9%	2.1%	18.2%
（うち鎌倉地区）	22.1%	28.1%	13.7%	6.6%	3.9%	2.7%	37.3%	3.6%	1.5%	0.9%	14.6%
（うち鎌倉地区以外）	33.5%	7.9%	8.4%	7.3%	2.4%	2.8%	28.1%	0.9%	3.9%	3.0%	20.8%
県央	27.6%	8.6%	10.3%	1.7%	0.0%	0.9%	37.9%	0.0%	6.9%	4.3%	8.6%
湘南	19.9%	11.3%	3.8%	2.3%	1.0%	2.3%	40.7%	1.0%	2.3%	1.9%	20.3%
県西	23.2%	16.1%	10.0%	15.9%	5.7%	2.2%	36.1%	1.6%	4.0%	2.1%	10.9%
（うち箱根・湯河原地区）	23.1%	16.7%	10.2%	16.8%	6.0%	2.2%	35.1%	1.7%	4.1%	2.2%	10.8%
（うち箱根・湯河原地区以外）	25.0%	4.8%	6.7%	1.0%	0.0%	1.9%	52.9%	1.0%	2.9%	0.0%	12.5%
全県	23.3%	15.6%	8.8%	11.2%	4.3%	2.0%	40.1%	1.2%	2.9%	2.3%	12.2%

（日帰り）

	① 家族や友人の勧め（口コミ）	② 旅行ガイドブック	③ 旅行雑誌	④ 旅行会社パンフレット	⑤ 旅行会社店頭での情報	⑥ テレビ・ラジオ	⑦ インターネット	⑧ 駅や社内のポスター	⑨ 行政の観光キャンペーン等のパンフレット	⑩ タウン誌・フリーペーパー	⑪ その他
川崎・横浜	23.2%	4.9%	2.8%	2.0%	0.4%	4.2%	13.0%	2.2%	1.8%	1.9%	19.7%
（うち横浜地区）	21.2%	6.0%	3.5%	2.2%	0.5%	5.3%	15.6%	2.9%	2.0%	2.2%	16.8%
（うち横浜地区以外（川崎地区））	28.4%	2.2%	1.1%	1.6%	0.0%	1.3%	6.7%	0.4%	1.1%	1.1%	26.9%
三浦半島	21.0%	14.6%	8.4%	2.3%	0.3%	5.0%	16.3%	1.2%	0.8%	1.0%	17.9%
（うち鎌倉地区）	20.2%	18.6%	10.1%	3.1%	0.3%	3.9%	12.2%	0.5%	0.9%	0.2%	14.9%
（うち鎌倉地区以外）	23.3%	3.5%	3.5%	0.0%	0.0%	8.2%	27.8%	3.2%	0.6%	3.2%	26.2%
県央	24.7%	1.9%	2.0%	1.0%	0.0%	1.2%	15.3%	1.2%	1.5%	1.7%	20.4%
湘南	35.2%	3.9%	1.1%	1.1%	0.6%	2.5%	7.8%	2.5%	1.1%	0.3%	26.5%
県西	22.2%	14.7%	7.1%	2.2%	0.9%	4.0%	17.7%	1.2%	1.6%	0.8%	20.8%
（うち箱根・湯河原地区）	21.3%	17.4%	8.7%	2.3%	1.1%	5.0%	19.4%	1.5%	1.6%	1.0%	17.4%
（うち箱根・湯河原地区以外）	24.4%	7.6%	2.9%	2.1%	0.4%	1.3%	13.4%	0.4%	1.7%	0.4%	29.4%
全県	24.6%	8.4%	4.5%	1.9%	0.4%	3.7%	14.1%	1.7%	1.4%	1.2%	20.6%

同行人数を見ると、宿泊客では2人づれが50.3%、日帰り客では45.7%と最も多くなっている。

(宿泊)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	22.1%	44.4%	13.4%	10.5%	3.3%	1.3%	0.9%	2.9%	1.2%	100.0%
(うち横浜地区)	16.2%	47.0%	15.0%	11.9%	3.7%	1.2%	0.8%	3.1%	1.0%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.5%	33.2%	6.5%	4.4%	1.6%	1.8%	1.2%	2.1%	1.8%	100.0%
三浦半島	10.6%	44.8%	14.4%	13.0%	5.1%	3.4%	2.6%	5.4%	0.7%	100.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	56.7%	11.3%	6.6%	1.8%	0.3%	0.3%	1.2%	0.9%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	36.3%	16.5%	17.6%	7.5%	5.6%	4.3%	8.4%	0.6%	100.0%
県央	10.3%	39.7%	15.5%	12.1%	5.2%	2.6%	3.4%	11.2%	0.0%	100.0%
湘南	38.4%	30.6%	9.9%	7.1%	2.5%	2.1%	0.4%	7.5%	1.5%	100.0%
県西	1.3%	49.6%	17.3%	12.0%	6.1%	4.4%	2.0%	5.5%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	50.3%	17.3%	12.0%	6.2%	4.4%	1.9%	5.1%	1.6%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	37.5%	17.3%	12.5%	5.8%	5.8%	4.8%	12.5%	2.9%	100.0%
全県	14.7%	44.9%	14.6%	11.1%	4.5%	2.7%	1.5%	4.7%	1.3%	100.0%

(日帰り)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答	合計
川崎・横浜	17.2%	43.0%	14.5%	9.4%	4.1%	1.9%	1.5%	6.5%	2.0%	100.0%
(うち横浜地区)	17.7%	45.1%	14.7%	8.7%	3.5%	1.6%	1.2%	5.8%	1.8%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	37.8%	14.0%	11.1%	5.3%	2.7%	2.4%	8.2%	2.7%	100.0%
三浦半島	10.2%	46.8%	15.1%	12.3%	5.4%	2.0%	0.8%	6.3%	1.2%	100.0%
(うち鎌倉地区)	12.1%	52.4%	14.2%	8.9%	2.5%	1.4%	0.7%	6.5%	1.4%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	31.2%	17.4%	21.8%	13.2%	3.8%	1.3%	5.7%	0.6%	100.0%
県央	8.1%	39.6%	19.4%	18.2%	6.4%	2.4%	0.8%	4.4%	0.8%	100.0%
湘南	16.2%	35.7%	16.9%	11.6%	6.8%	2.5%	1.1%	6.6%	2.5%	100.0%
県西	6.4%	43.1%	14.9%	12.7%	7.5%	3.0%	1.3%	7.7%	3.4%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	6.0%	45.7%	14.1%	12.4%	6.1%	2.7%	0.6%	8.2%	4.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.6%	36.1%	17.2%	13.4%	10.9%	3.8%	2.9%	6.3%	1.7%	100.0%
全県	12.4%	42.4%	15.7%	12.0%	5.7%	2.3%	1.2%	6.4%	2.0%	100.0%

同行者を見ると、宿泊客では夫婦が37.2%で最も多く、その他家族（両親や兄弟など）が22.4%、子ども連れ家族が22.0%で続いている。また日帰り客では、友人・知人が29.7%で最も多く、夫婦が23.7%、子ども連れ家族が22.3%で続いている。

(宿泊)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族 (両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	22.1%	25.6%	23.5%	11.4%	13.1%	4.1%	0.3%	0.4%	0.9%
(うち横浜地区)	16.2%	27.6%	26.6%	12.6%	14.1%	3.3%	0.2%	0.3%	0.9%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	47.2%	17.1%	9.9%	6.2%	8.8%	7.8%	0.7%	0.7%	0.9%
三浦半島	10.6%	28.3%	26.5%	17.1%	16.9%	2.5%	0.4%	0.1%	2.0%
(うち鎌倉地区)	20.9%	29.6%	16.1%	14.0%	14.0%	2.1%	0.0%	0.3%	3.0%
(うち鎌倉地区以外)	3.2%	27.5%	33.9%	19.3%	18.9%	2.8%	0.6%	0.0%	1.3%
県央	10.3%	26.7%	19.8%	16.4%	21.6%	2.6%	1.7%	2.6%	1.7%
湘南	38.4%	15.5%	11.9%	8.4%	10.3%	9.2%	1.9%	1.7%	1.9%
県西	1.3%	36.6%	21.9%	22.2%	18.1%	2.0%	0.8%	0.5%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	1.3%	37.2%	22.0%	22.4%	17.4%	1.7%	0.5%	0.6%	0.8%
(うち箱根・湯河原地区以外)	1.0%	26.9%	20.2%	19.2%	28.8%	5.8%	5.8%	0.0%	2.9%
全県	14.7%	28.8%	22.3%	15.7%	15.2%	3.6%	0.6%	0.6%	1.2%

(日帰り)

	①ひとり	②夫婦	③子供連れ家族	④その他家族 (両親や兄弟な)	⑤友人・知人	⑥上司・同僚	⑦婦人会など地域の団体	⑧学校の団体	⑨その他
川崎・横浜	17.2%	20.2%	21.5%	10.2%	25.7%	0.9%	2.0%	2.2%	0.6%
(うち横浜地区)	17.7%	20.1%	19.8%	8.6%	28.6%	1.0%	2.2%	2.2%	0.7%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	15.8%	20.4%	25.6%	14.2%	18.4%	0.9%	1.6%	2.2%	0.4%
三浦半島	10.3%	25.7%	19.8%	9.1%	31.9%	1.4%	2.6%	1.0%	0.7%
(うち鎌倉地区)	12.2%	24.8%	12.6%	8.2%	35.2%	1.3%	2.7%	1.1%	0.7%
(うち鎌倉地区以外)	5.0%	28.1%	39.7%	11.7%	22.7%	1.9%	2.2%	0.6%	0.6%
県央	7.7%	28.8%	37.9%	7.9%	12.6%	0.5%	2.0%	1.7%	1.0%
湘南	14.9%	19.3%	28.0%	6.1%	28.4%	1.8%	1.6%	1.0%	2.4%
県西	6.2%	23.9%	27.5%	10.0%	27.3%	2.2%	1.8%	0.9%	1.6%
(うち箱根・湯河原地区)	5.8%	23.7%	22.3%	10.0%	29.7%	2.3%	1.9%	0.6%	1.5%
(うち箱根・湯河原地区以外)	7.1%	24.4%	41.2%	10.1%	21.0%	2.1%	1.3%	1.7%	2.1%
全県	12.2%	23.0%	25.1%	9.0%	26.3%	1.4%	2.1%	1.5%	1.1%

○自家用車の利用率が最も高いが、鉄道の利用もそれに次ぐ利用率となっている。

交通手段を見ると、自家用車が宿泊客では44.0%、日帰り客では48.5%といずれも最も多くなっているが、その他私鉄は宿泊客で34.7%、日帰り客で32.8%と自家用車に次ぐ利用率となっている。

(宿泊)

	①航空機	②新幹線	③JR在来線	④その他私鉄	⑤貸切バス 観光バス 定期	⑥高速バス	⑦路線バス	⑧自家用車	⑨タクシー	⑩レンタカー	⑪船舶(フェリー、遊覧船など)	⑫その他
川崎・横浜	16.5%	29.0%	37.5%	23.8%	1.1%	3.5%	3.4%	24.9%	4.4%	0.9%	1.4%	0.4%
(うち横浜地区)	15.0%	27.3%	36.8%	24.6%	1.3%	3.5%	3.2%	27.8%	4.2%	0.7%	1.7%	0.3%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	22.8%	36.4%	40.3%	20.5%	0.5%	3.5%	4.1%	12.2%	4.8%	1.8%	0.2%	0.9%
三浦半島	5.9%	16.4%	35.6%	30.5%	0.9%	1.6%	7.1%	38.1%	4.4%	1.4%	0.6%	1.2%
(うち鎌倉地区)	10.7%	33.1%	58.8%	24.2%	0.6%	3.0%	5.4%	17.3%	5.7%	0.9%	0.3%	1.2%
(うち鎌倉地区以外)	2.4%	4.3%	18.9%	35.0%	1.1%	0.6%	8.4%	53.0%	3.4%	1.7%	0.9%	1.3%
県央	2.6%	6.0%	14.7%	25.0%	0.9%	0.0%	12.9%	62.1%	4.3%	2.6%	0.0%	2.6%
湘南	10.7%	23.5%	42.6%	23.1%	0.2%	3.4%	5.9%	30.8%	4.8%	2.1%	0.8%	1.0%
県西	1.4%	7.8%	21.2%	33.2%	1.7%	1.7%	8.2%	44.4%	3.8%	1.3%	3.2%	1.3%
(うち箱根・湯河原地区)	1.5%	8.0%	20.3%	34.7%	1.7%	1.8%	8.6%	44.0%	3.7%	1.2%	3.4%	1.1%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	4.8%	35.6%	6.7%	1.9%	0.0%	1.0%	51.0%	4.8%	1.9%	1.0%	3.8%
全県	9.1%	19.2%	31.8%	27.8%	1.2%	2.5%	5.9%	34.6%	4.2%	1.2%	1.8%	0.9%

(日帰り)

	①航空機	②新幹線	③JR在来線	④その他私鉄	⑤貸切バス 観光バス 定期	⑥高速バス	⑦路線バス	⑧自家用車	⑨タクシー	⑩レンタカー	⑪船舶(フェリー、遊覧船など)	⑫その他
川崎・横浜	0.4%	1.8%	22.0%	29.4%	1.8%	0.1%	7.5%	28.7%	0.8%	0.1%	0.2%	3.3%
(うち横浜地区)	0.4%	2.1%	26.7%	25.5%	1.7%	0.0%	8.9%	25.0%	0.8%	0.1%	0.3%	2.4%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	0.2%	0.9%	10.2%	39.3%	2.0%	0.2%	3.8%	38.0%	0.9%	0.0%	0.0%	5.6%
三浦半島	0.3%	1.0%	49.0%	11.5%	2.0%	0.3%	4.9%	28.5%	0.8%	0.2%	0.3%	2.5%
(うち鎌倉地区)	0.5%	1.4%	65.7%	6.8%	2.1%	0.3%	2.8%	15.8%	0.7%	0.2%	0.2%	2.8%
(うち鎌倉地区以外)	0.0%	0.0%	2.8%	24.6%	1.9%	0.0%	10.7%	63.4%	0.9%	0.0%	0.6%	1.6%
県央	0.0%	0.0%	5.2%	4.2%	0.5%	0.0%	3.4%	63.3%	0.0%	0.2%	0.0%	5.1%
湘南	0.1%	0.5%	7.4%	30.4%	0.5%	0.1%	4.5%	35.9%	0.1%	0.4%	0.0%	4.9%
県西	0.2%	1.4%	13.9%	26.5%	2.5%	0.8%	4.3%	47.7%	0.4%	0.8%	0.1%	0.9%
(うち箱根・湯河原地区)	0.3%	1.3%	7.9%	32.8%	2.9%	1.1%	4.5%	48.5%	0.3%	1.1%	0.2%	0.6%
(うち箱根・湯河原地区以外)	0.0%	1.7%	29.4%	10.1%	1.3%	0.0%	3.8%	45.8%	0.4%	0.0%	0.0%	1.7%
全県	0.3%	1.1%	22.8%	21.8%	1.6%	0.2%	5.4%	37.1%	0.5%	0.3%	0.2%	3.2%

※日帰り客調査の夏季、秋期調査においては交通手段を尋ねる質問を設けなかったため、消費額の回答内容等から類推している。

○多様な観光施設が充実している地域としてそれらの施設に対する入場料の支払い等が多いことから、日帰り客の消費単価は高い。

宿泊客の消費単価では、飲食代が全県と比較して低く、なおかつ宿泊代が高くなっている。これは、この圏域では旅館など1泊2食の料金体系での宿泊施設が多く、その場合宿泊代に食事代が含まれることが要因である。

また、日帰り客の消費単価は全県と比較して高い。項目別では交通費（電車代、タクシー、バス代）が高くなっているほか、施設入場料・施設利用料が高くなっている。多様な観光施設が充実している地域としてそれらの施設に対する入場料の支払い等が多いことが要因と思われる。

(宿泊)項目別 県内分

(円)

	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など						
川崎・横浜	1,870	870	151	11,777	8,721	6,532	1,410	599	31,930
(うち横浜地区)	1,646	887	164	11,291	8,727	7,084	1,473	599	31,872
(うち横浜地区以外(川崎地区))	2,869	796	94	13,944	8,693	4,070	1,127	601	32,192
三浦半島	1,309	898	129	13,896	5,155	4,173	1,554	389	27,503
(うち鎌倉地区)	1,553	355	131	12,581	7,000	4,696	1,575	226	28,117
(うち鎌倉地区以外)	1,126	1,304	127	14,880	3,775	3,782	1,538	512	27,044
県央	1,261	1,429	23	17,859	4,800	1,711	619	200	27,902
湘南	2,490	1,494	78	12,058	7,599	3,659	1,580	781	29,739
県西	1,585	984	551	17,125	4,146	4,317	1,326	338	30,374
(うち箱根・湯河原地区)	1,602	979	571	17,232	4,236	4,444	1,367	330	30,760
(うち箱根・湯河原地区以外)	1,302	1,073	210	15,314	2,631	2,162	627	485	23,804
全県	1,732	973	271	13,993	6,522	5,128	1,401	489	30,511

(日帰り)項目別 県内分

(円)

	交通費			飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他	合計
	電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタカー代	周遊券など					
川崎・横浜	921	335	30	1,618	1,078	498	35	4,515
(うち横浜地区)	1,028	375	38	1,813	1,078	596	11	4,939
(うち横浜地区以外(川崎地区))	637	229	8	1,100	1,076	236	99	3,385
三浦半島	795	472	93	1,765	1,367	408	7	4,908
(うち鎌倉地区)	862	307	99	1,593	1,289	418	8	4,576
(うち鎌倉地区以外)	611	926	79	2,236	1,583	381	7	5,822
県央	213	561	18	1,080	588	352	20	2,832
湘南	876	482	48	1,093	548	827	42	3,916
県西	1,362	721	114	1,773	1,426	1,137	48	6,579
(うち箱根・湯河原地区)	1,653	854	158	2,029	1,550	1,349	58	7,651
(うち箱根・湯河原地区以外)	628	385	2	1,127	1,115	603	21	3,881
全県	880	482	61	1,539	1,071	620	30	4,682

土産品の内訳としては、箱根・湯河原地区では食料品が最も高くなっており、全県の比率を上回っている。また、パルプ・紙・木製品の比率も全県と比較すると高くなっており、各種のお菓子や木製工芸品が購入されていることが想定される。

箱根・湯河原地区以外では食料品の比率が最も高くなっているほか、農林水産品の比率が高くなっており、干物などを購入するケースが多いと想定される。

(土産品の内訳推計・総額ベース)

	農林水産業	食料品	繊維製品	パルプ・紙・木製品	その他の製造工業製品	窯業・土木製品	金属製品	電気機械	合計
川崎・横浜	0.7%	32.1%	43.5%	3.7%	15.2%	2.2%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区)	0.5%	31.0%	45.2%	3.1%	15.7%	1.8%	2.5%	0.2%	100.0%
(うち横浜地区以外(川崎地区))	1.6%	39.6%	31.3%	8.5%	11.8%	5.1%	2.2%	0.0%	100.0%
三浦半島	23.8%	41.9%	10.2%	9.1%	10.6%	0.8%	3.6%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区)	1.9%	54.6%	11.0%	15.4%	10.4%	1.5%	5.2%	0.0%	100.0%
(うち鎌倉地区以外)	51.1%	26.1%	9.1%	1.2%	10.8%	0.0%	1.6%	0.0%	100.0%
県央	31.7%	37.5%	7.5%	4.0%	7.1%	12.1%	0.0%	0.0%	100.0%
湘南	6.3%	33.9%	37.0%	4.3%	14.2%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%
県西	9.7%	54.6%	7.1%	9.5%	7.9%	9.4%	1.8%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区)	8.5%	55.4%	5.6%	10.3%	8.1%	10.1%	2.0%	0.0%	100.0%
(うち箱根・湯河原地区以外)	24.6%	44.5%	25.6%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全県	8.3%	40.2%	26.4%	6.3%	12.1%	4.3%	2.3%	0.1%	100.0%

(その他関連データ)

○居住地(県内・県外)別 来訪の目的

(宿泊・箱根・湯河原地区)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県外	温泉浴 73.4%	自然・風景鑑賞 26.7%	買い物・飲食 14.0%	博物館・動植物園などの見物 12.9%	その他の「見物・鑑賞」 8.5%
県内	温泉浴 74.4%	自然・風景鑑賞 27.1%	買い物・飲食 13.5%	博物館・動植物園などの見物 10.1%	ドライブ 9.1%
総計	温泉浴 73.6%	自然・風景鑑賞 26.8%	買い物・飲食 13.8%	博物館・動植物園などの見物 12.0%	その他の「見物・鑑賞」 8.0%

(日帰り・箱根・湯河原地区)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県外	自然・風景鑑賞 56.8%	温泉浴 42.9%	博物館・動植物園などの見物 9.0%	遺跡・文化財などの鑑賞 6.6%	買い物・飲食 5.7%
県内	自然・風景鑑賞 55.8%	温泉浴 39.0%	ドライブ 11.2%	博物館・動植物園などの見物 9.4%	遊園地などのレジャー施設 6.4%
総計	自然・風景鑑賞 55.3%	温泉浴 40.4%	博物館・動植物園などの見物 8.9%	ドライブ 7.8%	買い物・飲食 5.8%

○居住地(県内・県外)別 消費単価

(宿泊・箱根・湯河原地区)

(円)

	総額	交通費			宿泊代	飲食代	土産品・買い物代	施設入場料・施設利用料	その他
		電車代・タクシー・バス代	駐車場・ガソリン・レンタ	周遊券など					
県外	30,976	1,733	841	671	16,978	4,281	4,723	1,427	324
県内	30,337	1,312	1,288	349	17,837	4,142	3,828	1,238	343
総計	30,760	1,602	979	571	17,232	4,236	4,444	1,367	330

(日帰り・箱根・湯河原地区)

(円)

	総額	交通費			飲食代	土産品・ 買い物代	施設入場 料・施設 利用料	その他
		電車代・ タクシー・ バス代	駐車場・ ガソリン・ レンタ	周遊券な ど				
県外	8,542	2,169	764	200	2,157	1,916	1,258	79
県内	6,662	1,086	944	113	1,918	1,147	1,419	36
総計	7,651	1,653	854	158	2,029	1,550	1,349	58

○居住地(県内・県外)別 来訪の形態

(宿泊・箱根・湯河原地区)

	個人旅行	パッケージ 旅行(フリー プラン)	パッケージ 旅行(観光 ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	76.4%	16.0%	0.8%	2.2%	4.6%	100.0%
県内	86.3%	7.0%	0.0%	1.1%	5.5%	100.0%
総計	79.3%	13.2%	0.6%	1.9%	5.1%	100.0%

(日帰り・箱根・湯河原地区)

	個人旅行	パッケージ 旅行(フリー プラン)	パッケージ 旅行(観光 ツアー付)	団体旅行	無回答	総計
県外	81.7%	3.9%	4.8%	6.9%	2.7%	100.0%
県内	97.8%	0.4%	0.0%	1.5%	0.4%	100.0%
総計	86.6%	2.6%	2.6%	4.4%	3.9%	100.0%

○居住地(県内・県外)別 立ち寄り地点数

(宿泊・箱根・湯河原地区) (日帰り・箱根・湯河原地区)

	平均立ち寄 り地点数		平均立ち寄 り地点数
県外	2.3	県外	2.1
県内	2.0	県内	1.8
総計	2.2	総計	1.9

○居住地(県内・県外)別 満足度

(宿泊・箱根・湯河原地区)

	大いに満足	どちらか と言え ば満足	どちらか と言え ば不満	大いに不 満	何とも 言え ない	無回答	総計
県外	48.1%	44.1%	1.1%	0.4%	0.8%	5.5%	100.0%
県内	48.8%	41.6%	1.9%	0.9%	1.1%	5.7%	100.0%
総計	48.2%	43.3%	1.3%	0.6%	0.9%	5.7%	100.0%

(日帰り・箱根・湯河原地区)

	大いに満足	どちらか と言え ば満足	どちらか と言え ば不満	大いに不 満	何とも 言え ない	無回答	総計
県外	49.2%	33.6%	2.1%	0.3%	6.0%	8.7%	100.0%
県内	55.1%	31.8%	2.2%	0.0%	5.2%	5.6%	100.0%
総計	50.9%	32.0%	2.1%	0.2%	5.5%	9.4%	100.0%

第3章 県内観光産業の現況

3-1 全県の特徴

神奈川県内の全事業所数（「公務」を除く）に占める観光関連業種の事業所の比率は26.1%となる。（平成18年度「事業所・企業統計調査」より。以下同様）

内訳としては、「飲食業」が13.8%で最も比率が高く、「小売業」が10.7%と続いている。

○比較的高い年代の働き手が中心の事業者は約半数を占めている。

従業員の平均年齢が「20歳代」「30歳代」と回答した、比較的若い世代の働き手が中心の事業者は全体の20.0%となっている。また、「40歳代」と回答した、働き盛りの従業員が中心の事業者は20.9%である。「50歳代」「60歳以上」と回答した比較的高い年代の働き手が中心の事業者は49.3%と約半数を占めている。

業種別に見ると、「飲食業」、「観光施設業」といった業種では「20歳代」「30歳代」の比率が合計でそれぞれ24.3%と全業種と比較して高くなっている。

また、「小売業」では「60歳以上」の比率が29.4%と全業種と比較して高くなっている。

「宿泊業」では「20歳代」「30歳代」の比率が14.0%と全業種と比較して低く、「40歳代」の比率は24.7%と高くなっている。

また、一般事業者についてみると、「40歳代」の比率が最も高くなっている。

（全県）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答	合計
小売業	7.5%	12.8%	20.3%	22.5%	29.4%	7.5%	100.0%
飲食業	9.1%	15.2%	20.3%	28.5%	19.5%	7.5%	100.0%
宿泊業	0.8%	13.2%	24.7%	30.9%	19.3%	11.1%	100.0%
交通運輸業	0.6%	11.5%	13.4%	30.6%	29.3%	14.6%	100.0%
旅行業	3.3%	37.7%	26.2%	8.2%	13.1%	11.5%	100.0%
観光施設業	2.7%	21.6%	21.6%	27.0%	16.2%	10.8%	100.0%
その他	5.4%	11.8%	24.7%	29.0%	18.3%	10.8%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	10.0%	50.0%	100.0%
観光関連事業者 計	5.4%	14.6%	20.9%	26.6%	22.8%	9.8%	100.0%
一般事業者	2.2%	16.6%	29.9%	23.3%	18.3%	9.6%	100.0%

○「交通運輸業」で原材料費の域内調達率が高い。

経費の域内調達率（県内自給率）は、原材料費75.9%、営業経費86.5%、人件費96.4%となっている。

業種別に見ると、原材料費については「交通運輸業」で93.6%と全業種と比較して高くなっている。対して、「旅行業」「小売業」、「観光施設業」といった業種でそれぞれ41.2%、62.7%、69.8%と低くなっている。

営業経費については、「旅行業」「観光施設業」でそれぞれ74.0%、78.3%と若干全業種よりも低くなっているが、それ以外での業種では概ね80~90%台の域内調達率となっている。

人件費については、どの業種も80%台後半~90%の域内調達（雇用）率となっている。

原材料費の支払先(業種別・観光関連事業者) (%)

	神奈川県内	神奈川県外	計
小売業	62.7	37.3	100.0
飲食業	83.8	16.2	100.0
宿泊業	83.3	16.7	100.0
交通運輸業	93.6	6.4	100.0
旅行業	41.2	58.8	100.0
観光施設業	69.8	30.2	100.0
その他	67.3	32.7	100.0
無回答	70.0	30.0	100.0
観光関連事業者 計	75.9	24.1	100.0
一般事業者	85.5	14.5	100.0

○人材確保、商品開発、販路開拓が重要な経営課題となっている。

もっとも多いのが「人材」であり 40.3%が課題として挙げている。次いで「販路開拓」(27.9%)、「技術・商品開発」(26.2%)と続く。

業種別に見ると、どの業種でも概ね同様の項目が上位に挙げられているが、旅行業では、「販路開拓」(52.5%)がもっとも比率が高くなっていることが特徴である。

また、一般事業者では、「人材」を経営課題として挙げる割合が 41.4%と最も高くなっている。

(全県)

	1.技術・商品開発	2.法律、税務、労務、情報化	3.人材	(3のうち①従業員、後継者確保)	(3のうち②技術、知識向上)	4.立地	5.資金調達	(5のうち①運転資金)	(5のうち②設備資金)	6.販路開拓	7.同業種、異業種交流	母数
小売業	28.6%	4.4%	36.7%	21.1%	8.1%	14.2%	14.7%	9.2%	3.1%	32.8%	8.1%	100.0%
飲食業	29.9%	6.4%	39.7%	26.1%	6.7%	17.6%	18.9%	10.4%	6.1%	25.1%	7.5%	100.0%
宿泊業	25.1%	9.1%	47.3%	28.8%	11.5%	7.8%	25.1%	5.8%	14.4%	28.0%	4.1%	100.0%
交通運輸業	16.6%	10.8%	41.4%	28.7%	8.9%	8.9%	15.9%	8.3%	5.7%	22.9%	11.5%	100.0%
旅行業	29.5%	4.9%	44.3%	16.4%	24.6%	13.1%	18.0%	16.4%	0.0%	52.5%	8.2%	100.0%
観光施設業	27.0%	10.8%	32.4%	21.6%	5.4%	13.5%	29.7%	16.2%	13.5%	29.7%	18.9%	100.0%
その他	19.4%	4.3%	36.6%	19.4%	8.6%	5.4%	9.7%	3.2%	6.5%	15.1%	4.3%	100.0%
無回答	20.0%	0.0%	40.0%	30.0%	0.0%	0.0%	40.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	100.0%
観光関連事業者 計	26.2%	6.7%	40.3%	24.6%	9.1%	12.6%	18.3%	8.9%	6.7%	27.9%	7.6%	100.0%
一般事業者	23.6%	12.7%	41.4%	22.1%	12.7%	10.5%	17.9%	12.7%	3.3%	30.6%	11.0%	100.0%

3-2 地域ごとの特性

3-2-1 川崎・横浜

全県の観光関連業の事業所数の 51.7% を占める。

また、県内の宿泊施設の総客室数に占める圏域内の客室数の比率は 38.6% となっている。
(平成 18 年度末時点。神奈川県調べ。以下同様)

○比較的若い世代の働き手を中心の事業者が多い。横浜地区ではさらにその傾向が強くなっている。

「20 歳代」「30 歳代」の合計比率は 24.4% と全県と比較して高くなっている。また逆に「50 歳代」「60 歳以上」の比率は 46.0% と全県と比較して低くなっていることから、比較的若い世代の働き手が多いことがうかがえる。

横浜地区についてみると、「20 歳代」「30 歳代」の合計比率は 25.1% と全県、川崎・横浜圏域と比較して高くなっており、さらに若い世代の働き手が多くなっている。

(川崎・横浜)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答	合計
小売業	12.4%	14.6%	22.5%	18.0%	25.8%	6.7%	100.0%
飲食業	9.2%	23.0%	20.7%	23.0%	20.7%	3.4%	100.0%
宿泊業	0.0%	18.4%	31.6%	23.7%	26.3%	0.0%	100.0%
交通運輸業	0.0%	5.7%	8.6%	25.7%	41.4%	18.6%	100.0%
旅行業	0.0%	37.1%	25.7%	8.6%	11.4%	17.1%	100.0%
観光施設業	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	100.0%
その他	8.6%	17.1%	22.9%	22.9%	20.0%	8.6%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
観光関連事業者 計	6.4%	18.0%	20.5%	20.5%	25.5%	9.1%	100.0%
一般事業者	2.3%	19.7%	31.3%	20.2%	16.7%	9.8%	100.0%

○「飲食業」「宿泊業」「交通運輸業」で原材料費の域内調達率が高い。

経費の域内調達率(圏域内自給率)は、原材料費 66.3%、営業経費 84.0%、人件費 88.7% となっている。これに圏域以外の神奈川県内からの調達率を加えると、域内調達率は原材料費 72.2%、営業経費 87.7%、人件費 95.8% となり、全県とほぼ同水準となる。

業種別に見ると、原材料費では、「小売業」、「旅行業」がそれぞれ 44.7%、37.0% の域内調達率と低くなっている。圏域以外の神奈川県内を加えた神奈川県内分でもそれぞれ 51.9%、41.6% となり、「小売業」で 48.1%、「旅行業」で 58.4% が県外へ漏出している事になる。

営業経費では、いずれの業種でも概ね 70% 台後半～90% 台の数値となっている。

人件費では、「旅行業」で圏域内調達(雇用)率が 62.6% とやや低いですが、神奈川県内では 89.7% となっている。それ以外の業種は概ね圏域内分で 80% 台後半～90% 台、神奈川県内では 90% 台となっている。

①川崎・横浜 原材料費 (%)

	神奈川県内			神奈川県外	計
	神奈川県内	地域圏内	その他神奈川県内		
小売業	51.9	44.7	7.2	48.1	100.0
飲食業	86.2	78.5	7.7	13.8	100.0
宿泊業	81.5	76.4	5.1	18.5	100.0
交通運輸業	97.9	96.6	1.3	2.1	100.0
旅行業	41.6	37.0	4.6	58.4	100.0
観光施設業	77.5	77.5	0.0	22.5	100.0
その他	75.5	71.7	3.8	24.5	100.0
無回答	-	-	-	-	-
観光関連事業者 計	72.2	66.3	5.8	27.8	100.0
一般事業者	79.2	63.6	15.6	20.8	100.0

○人材確保、商品開発、販路開拓が重要な経営課題となっている。

圏域全体では「人材」(35.7%)、「販路開拓」(28.3%)、「技術・商品開発」(24.4%)と、全県とほぼ同様の傾向を示している。

業種別に見ると、「交通運輸業」、「観光施設業」では「資金調達」がそれぞれ 17.1%、33.3%でもっとも高くなっている。また、「旅行業」では「販路開拓」(57.1%)でもっとも高くなっている。

横浜地区でも概ね圏域全体と同様の傾向となっている。特に、横浜地区の「観光施設業」の事業者(大規模)からはヒアリングにおいて、施設の老朽化への対応や、新しい魅力を持った施設開発の必要性についての意見が挙げられている。

(川崎・横浜)

	1.技術・商品開発	2.法律、税務、労務、情報化	3.人材	(3のうち)		4.立地	5.資金調達	(5のうち)		6.販路開拓	7.同業種、異業種交流	母数
				①従業員、後継者確保	②技術、知識向上			①運転資金	②設備資金			
小売業	30.3%	6.7%	38.2%	20.2%	5.6%	14.6%	7.9%	5.6%	1.1%	29.2%	5.6%	100.0%
飲食業	33.3%	9.2%	37.9%	18.4%	6.9%	20.7%	11.5%	5.7%	3.4%	29.9%	9.2%	100.0%
宿泊業	23.7%	10.5%	52.6%	26.3%	21.1%	18.4%	15.8%	5.3%	7.9%	21.1%	7.9%	100.0%
交通運輸業	7.1%	12.9%	15.7%	10.0%	2.9%	8.6%	17.1%	5.7%	8.6%	20.0%	12.9%	100.0%
旅行業	22.9%	2.9%	48.6%	20.0%	22.9%	11.4%	22.9%	20.0%	0.0%	57.1%	5.7%	100.0%
観光施設業	50.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	100.0%
その他	20.0%	2.9%	34.3%	11.4%	14.3%	8.6%	11.4%	5.7%	5.7%	20.0%	2.9%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
観光関連事業者 計	24.4%	8.3%	35.7%	17.7%	9.4%	14.1%	13.6%	7.2%	4.2%	28.3%	8.0%	100.0%
一般事業者	27.5%	12.9%	45.5%	23.2%	15.7%	9.6%	16.7%	12.1%	3.5%	29.5%	9.8%	100.0%

3-2-2 三浦半島

全県の観光関連業の事業所数の10.8%を占める。

県内の宿泊施設の総客室数に占める圏域内の客室数の比率は9.5%となっている。

○鎌倉地区は比較的若い世代の働き手が中心の事業者が多い。

「20歳代」「30歳代」の合計比率は20.8%と全県と同水準であるが、「50歳代」「60歳以上」の比率は合計で53.0%と全県と比較して高くなっている。

鎌倉地区についてみると、「50歳代」「60歳以上」の比率は51.9%と三浦半島圏域と同水準であるが、「20歳代」「30歳代」の合計比率は24.0%と高くなっており、圏域の中でも若い世代の働き手が多い地区であることがうかがえる。

(三浦半島)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答	合計
小売業	5.4%	11.8%	17.2%	25.8%	33.3%	6.5%	100.0%
飲食業	13.5%	15.6%	13.5%	31.3%	20.8%	5.2%	100.0%
宿泊業	0.0%	10.3%	31.0%	31.0%	20.7%	6.9%	100.0%
交通運輸業	0.0%	22.6%	12.9%	19.4%	22.6%	22.6%	100.0%
旅行業	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
観光施設業	0.0%	11.1%	22.2%	44.4%	0.0%	22.2%	100.0%
その他	0.0%	7.1%	21.4%	35.7%	14.3%	21.4%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
観光関連事業者 計	6.5%	14.3%	17.2%	28.3%	24.7%	9.0%	100.0%
一般事業者	2.3%	12.9%	27.0%	25.8%	21.1%	10.9%	100.0%

○「宿泊業」「飲食業」で原材料費の域内調達率が高い。

経費の域内調達率(圏域内自給率)は、原材料費49.9%、営業経費68.0%、人件費81.6%と若干低い。これに圏域以外の神奈川県内からの調達率を加えると、域内調達率は原材料費75.7%、営業経費87.2%、人件費97.5%と全県と同水準になる。

業種別に見ると、原材料費では、「小売業」、「旅行業」がそれぞれ28.3%、2.5%の域内調達率と低くなっている。圏域以外の神奈川県内を加えた神奈川県内分ではそれぞれ58.6%、77.5%となり、特に「小売業」では41.4%が県外へ漏出している事になる。

営業経費では、圏域内の調達率が60%台の業種が多く、低い水準となっているが、神奈川県内からの調達率では「観光施設業」については県内分が67.2%に留まる他は、概ね80~90%台の水準となる。

②三浦半島 原材料費 (%)

	原材料費			神奈川県外	計
	神奈川県内	地域圏内	その他神奈川県内		
小売業	58.6	28.3	30.3	41.4	100.0
飲食業	81.9	56.6	25.3	18.1	100.0
宿泊業	94.4	79.0	15.4	5.6	100.0
交通運輸業	88.8	56.6	32.1	11.2	100.0
旅行業	77.5	2.5	75.0	22.5	100.0
観光施設業	63.8	53.8	10.0	36.3	100.0
その他	68.4	59.4	9.0	31.6	100.0
無回答	-	-	-	-	
観光関連事業者 計	75.7	49.9	25.8	24.3	100.0
一般事業者	79.5	47.5	32.0	20.5	100.0

○人材確保、商品開発、販路開拓が重要な経営課題となっている。

圏域全体では「人材」(39.4%)、「技術・商品開発」(29.7%)、「販路開拓」(23.7%)、といった項目が課題の上位に位置している。

業種別に見ると、概ね各業種とも「人材」が上位に挙げられているが、「観光施設業」では「資金調達」(55.6%)がもっとも比率が高くなっていることが特徴である。

鎌倉地区についてみると、「人材」(37.7%)、「技術・商品開発」(34.4%)、「販路開拓」「資金調達」(23.4%)と商品開発を経営課題ととらえる傾向が強くなっている。

(三浦半島)

	1.技術・商品開発	2.法律、税務、労務、情報化	3.人材	(3のうち)		4.立地	5.資金調達	(5のうち)		6.販路開拓	7.同業種、異業種交流	母数
				①従業員、後継者確保)	②技術、知識向上)			①運転資金)	②設備資金)			
小売業	32.3%	3.2%	36.6%	18.3%	10.8%	12.9%	21.5%	14.0%	3.2%	28.0%	8.6%	100.0%
飲食業	33.3%	5.2%	35.4%	21.9%	8.3%	17.7%	18.8%	10.4%	7.3%	24.0%	5.2%	100.0%
宿泊業	20.7%	0.0%	41.4%	31.0%	0.0%	0.0%	31.0%	10.3%	13.8%	17.2%	0.0%	100.0%
交通運輸業	32.3%	0.0%	61.3%	54.8%	6.5%	9.7%	16.1%	9.7%	6.5%	19.4%	9.7%	100.0%
旅行業	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
観光施設業	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%	11.1%	55.6%	44.4%	22.2%	22.2%	11.1%	100.0%
その他	14.3%	0.0%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
観光関連事業者 計	29.7%	3.6%	39.4%	25.1%	8.2%	11.8%	21.9%	12.2%	7.2%	23.7%	6.1%	100.0%
一般事業者	20.7%	15.2%	42.6%	26.6%	9.4%	13.7%	18.0%	12.9%	2.7%	28.5%	10.5%	100.0%

3-2-3 県央

全県の観光関連業種の事業所数の16.0%を占める。全県と比較すると「飲食業」の比率が若干高くなっている。

県内の宿泊施設の総客室数に占める圏域内の客室数の比率は11.8%となっている。

○比較的高い年齢の働き手が中心の事業者が多い。

「20歳代」「30歳代」の合計比率は15.0%と全県と比較して低く、「40歳代」の比率は24.5%と全県と比較して高い。「50歳代」「60歳以上」の比率は合計で51.0%となり、全県と比較してやや高くなっている。

(県央)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答	合計
小売業	4.0%	8.0%	20.0%	24.0%	40.0%	4.0%	100.0%
飲食業	18.9%	2.7%	29.7%	29.7%	5.4%	13.5%	100.0%
宿泊業	0.0%	18.8%	25.0%	31.3%	9.4%	15.6%	100.0%
交通運輸業	0.0%	0.0%	15.4%	50.0%	30.8%	3.8%	100.0%
旅行業	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
観光施設業	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	42.9%	14.3%	100.0%
その他	15.4%	15.4%	23.1%	23.1%	23.1%	0.0%	100.0%
無回答	-	-	-	-	-	-	-
観光関連事業者 計	7.5%	8.2%	24.5%	31.3%	19.7%	8.8%	100.0%
一般事業者	0.7%	19.1%	34.2%	25.0%	12.5%	8.6%	100.0%

○「飲食業」「交通運輸業」で原材料費の域内調達率が高い。

経費の域内調達率(圏域内自給率)は、原材料費57.5%、営業経費69.2%、人件費82.4%と若干低い。これに圏域以外の神奈川県内からの調達率を加えると、域内調達率は原材料費76.8%、営業経費86.0%、人件費94.5%となり、全県と同水準になる。

業種別に見ると、原材料費では、「交通運輸業」、「観光施設業」がそれぞれ73.1%、68.0%となっている他はやや低い水準にある。圏域以外の神奈川県内を加えた神奈川県内分では概ね70~80%台となる。

営業経費では、「旅行業」で圏域内分45.8%、県内分50.8%と低い水準となっている。

人件費では、「旅行業」で圏域内分58.7%とやや低いが、県内分では100%となっている。(サンプル数の少なさについては考慮する必要がある)

	原材料費			神奈川県外	計
	神奈川県内	地域圏内	その他神奈川県内		
小売業	79.7	55.9	23.7	20.3	100.0
飲食業	82.4	56.4	26.0	17.6	100.0
宿泊業	76.1	56.6	19.5	23.9	100.0
交通運輸業	90.6	73.1	17.6	9.4	100.0
旅行業	26.0	20.0	6.0	74.0	100.0
観光施設業	70.0	68.0	2.0	30.0	100.0
その他	48.3	44.2	4.2	51.7	100.0
無回答	-	-	-	-	-
観光関連事業者 計	76.8	57.5	19.4	23.2	100.0
一般事業者	100.0	72.2	27.8	0.0	100.0

○後継者などの人材確保の問題が重要な経営課題となっている。

圏域全体では「人材」(44.9%)、「販路開拓」(22.4%)、「資金調達」(19.7%)の順となっており、特に人材については全県を上回る比率となっている。内容としては、「従業員、後継者確保」が27.2%と全県と比較して高くなっており、前述の平均年齢が比較的高いことから後継者などの人材確保の問題が重要な経営課題でとなっていることがうかがえる。

業種別に見ると、概ねどの業種でも「人材」の順位が高いが、特に「飲食業」では51.4%が課題として挙げている。またその内容として「従業員、後継者確保」が32.4%と圏域内の全業種と比較しても高い比率にある。これに関して、県央圏域の「飲食業」の事業者(小規模)からはヒアリングにおいても、かつてのように各店舗で料理人を雇う余力がなく、経営者自らが調理に当たっているため地域のイベントなどに協力したくてもできないといった意見が聞かれている。

(県央)

	1.技術・商品開発	2.法律、税務、労務、情報化	3.人材	(3のうち①従業員、後継者確保)	(3のうち②技術、知識向上)	4.立地	5.資金調達	(5のうち①運転資金)	(5のうち②設備資金)	6.販路開拓	7.同業種、異業種交流	母数
小売業	16.0%	8.0%	44.0%	28.0%	12.0%	16.0%	24.0%	12.0%	8.0%	12.0%	8.0%	100.0%
飲食業	13.5%	8.1%	51.4%	32.4%	10.8%	16.2%	13.5%	10.8%	2.7%	27.0%	5.4%	100.0%
宿泊業	25.0%	3.1%	43.8%	21.9%	15.6%	0.0%	34.4%	3.1%	25.0%	15.6%	0.0%	100.0%
交通運輸業	15.4%	19.2%	42.3%	26.9%	11.5%	15.4%	15.4%	7.7%	3.8%	23.1%	11.5%	100.0%
旅行業	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	57.1%	0.0%	100.0%
観光施設業	28.6%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	42.9%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	100.0%
その他	23.1%	15.4%	53.8%	38.5%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	23.1%	7.7%	100.0%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
観光関連事業者 計	19.0%	9.5%	44.9%	27.2%	12.2%	12.9%	19.7%	7.5%	9.5%	22.4%	6.8%	100.0%
一般事業者	20.4%	14.5%	38.8%	18.4%	11.2%	14.5%	14.5%	11.2%	1.3%	33.6%	12.5%	100.0%

3-2-4 湘南

全県の観光関連業の事業所数の14.6%を占める。

また、県内の宿泊施設の総客室数に占める圏域内の客室数の比率は9.5%となっている。

○比較的若い年齢の働き手を中心の事業者が多い。

「20歳代」「30歳代」の合計比率は23.8%と全県と比較して高い。逆に「50歳代」「60歳以上」の比率は合計で44.4%と全県と比較して低いことから、若い世代の働き手が多い地域であることがうかがえる。

ただし、ヒアリングでは、一部の地区や観光地から、経営者の高齢化が課題として挙げられている事にも留意する必要がある。

(湘南)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答	合計
小売業	8.0%	17.3%	20.0%	25.3%	22.7%	6.7%	100.0%
飲食業	4.3%	15.9%	24.6%	36.2%	10.1%	8.7%	100.0%
宿泊業	0.0%	20.0%	15.0%	25.0%	17.5%	22.5%	100.0%
交通運輸業	0.0%	27.3%	27.3%	27.3%	9.1%	9.1%	100.0%
旅行業	0.0%	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	100.0%
観光施設業	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	0.0%	20.0%	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
観光関連事業者 計	4.0%	19.7%	22.0%	28.3%	16.1%	9.9%	100.0%
一般事業者	5.5%	20.6%	30.4%	20.2%	15.0%	8.3%	100.0%

○「宿泊業」「交通運輸業」で原材料費の域内調達率が高い。

経費の域内調達率(圏域内自給率)は、原材料費58.9%、営業経費74.6%、人件費91.8%となっている。これに圏域以外の神奈川県内からの調達率を加えると、域内調達率は原材料費77.2%、営業経費87.4%、人件費98.0%となり、全県と同水準もしくは上回る水準となる。

業種別に見ると、原材料費では、「旅行業」、「小売業」がそれぞれ21.7%、46.1%となっている。これらについて圏域以外の神奈川県内を加えた神奈川県内分では「小売業」は68.0%、「旅行業」では30.0%にとどまる。これに関して、湘南圏域の「小売業(土産販売店)」の事業者(小規模)からはヒアリングにおいて、商品の品揃えのために、地域外からも購入しているといった意見が聞かれている。

営業経費では、「旅行業」が圏域内48.9%、神奈川県内65.6%とやや低い水準にある。また、「宿泊業」については、圏域内で60.1%と低い、神奈川県内では79.3%となる。

④湘南 原材料費 (%)

	原材料費			神奈川県外	計
	神奈川県内	地域圏内	その他神奈川県内		
小売業	68.0	46.1	21.9	32.0	100.0
飲食業	83.8	71.2	12.6	16.2	100.0
宿泊業	87.5	64.9	22.6	12.5	100.0
交通運輸業	98.3	61.7	36.7	1.7	100.0
旅行業	30.0	21.7	8.3	70.0	100.0
観光施設業	-	-	-	-	
その他	72.0	66.7	5.3	28.0	100.0
無回答	90.0	80.0	10.0	10.0	100.0
観光関連事業者 計	77.2	58.9	18.4	22.8	100.0
一般事業者	100.0	74.6	25.4	0.0	100.0

○人材確保、商品開発、販路開拓が重要な経営課題となっている。

- ・圏域全体では「人材」(43.9%)、「販路開拓」(32.3%)、「技術・商品開発」(26.9%)と、全県と同様の順位となっているが、比率は全県と比較するとそれぞれ高くなっている。
- ・業種別に見ると、「小売業」、「旅行業」で「販路開拓」がそれぞれ 45.3%、50.0%と最も高くなっている。また、「観光施設業」では「資金調達」が 40.0%で「人材」と同率で経営課題として挙げられている。

(湘南)

	1.技術・商品開発	2.法律、税務、労務、情報化	3.人材	(3のうち	(3のうち	4.立地	5.資金調達	(5のうち	(5のうち	6.販路開拓	7.同業種、異業種交流	母数
				①従業員、後継者確保)	②技術、知識向上)			①運転資金)	②設備資金)			
小売業	29.3%	4.0%	34.7%	22.7%	6.7%	17.3%	13.3%	6.7%	4.0%	45.3%	9.3%	100.0%
飲食業	31.9%	5.8%	42.0%	30.4%	5.8%	17.4%	23.2%	11.6%	7.2%	20.3%	5.8%	100.0%
宿泊業	20.0%	5.0%	55.0%	37.5%	5.0%	10.0%	25.0%	5.0%	12.5%	32.5%	5.0%	100.0%
交通運輸業	9.1%	9.1%	81.8%	72.7%	0.0%	0.0%	18.2%	18.2%	0.0%	36.4%	0.0%	100.0%
旅行業	40.0%	0.0%	20.0%	10.0%	10.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	50.0%	20.0%	100.0%
観光施設業	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
その他	10.0%	0.0%	60.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
観光関連事業者 計	26.9%	4.9%	43.9%	30.0%	5.8%	15.2%	19.3%	9.0%	6.7%	32.3%	7.6%	100.0%
一般事業者	24.1%	13.0%	39.5%	19.8%	11.9%	8.7%	23.3%	14.6%	5.5%	27.3%	11.1%	100.0%

3-2-5 県西

全県の観光関連業の事業所数の 6.9%を占める。全県と比較すると「宿泊業」の比率が高く、県内でも主要な宿泊地となっている。また、観光施設業（博物館、美術館など）の比率も全県と比較すると高くなっている。

県内の宿泊施設の総客室数に占める圏域内の客室数の比率は 30.6%となっており川崎・横浜圏域に次いで大きな比率を占めている。

○比較的高い年齢の働き手が中心の事業者が多い。箱根・湯河原地区はさらにその傾向が強くなっている。

「20歳代」「30歳代」の合計比率は 13.8%と全県と比較して低い。逆に「50歳代」「60歳以上」の比率は合計で 52.5%と全県と比較して若干高くなっていることから、比較的高年齢化が進んでいる地域であることがうかがえる。

箱根・湯河原地区についてみると、「20歳代」「30歳代」の合計比率は 12.0%と県西圏域と比較してさらに低くなっている。

(県西)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答	合計
小売業	5.1%	9.0%	21.8%	20.5%	32.1%	11.5%	100.0%
飲食業	3.5%	11.6%	19.8%	24.4%	30.2%	10.5%	100.0%
宿泊業	1.9%	7.7%	24.0%	35.6%	20.2%	10.6%	100.0%
交通運輸業	5.3%	21.1%	21.1%	42.1%	5.3%	5.3%	100.0%
旅行業	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
観光施設業	0.0%	30.0%	30.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
その他	0.0%	0.0%	28.6%	38.1%	14.3%	19.0%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	100.0%
観光関連事業者 計	3.4%	10.4%	22.1%	28.5%	23.9%	11.7%	100.0%
一般事業者	0.5%	12.3%	28.3%	26.4%	22.7%	9.9%	100.0%

○「飲食業」「宿泊業」「交通運輸業」で原材料費の域内調達率が高い。

経費の域内調達率(圏域内自給率)は、原材料費 69.4%、営業経費 77.7%、人件費 91.5%となっている。これに圏域以外の神奈川県内からの調達率を加えると、域内調達率は原材料費 78.4%、営業経費 84.0%、人件費 95.9%となり、全県と同水準となる。

業種別に見ると、原材料費では、「小売業」、「観光施設業」がそれぞれ 51.9%、56.3%となっている。これらについて圏域以外の神奈川県内を加えた神奈川県内分では「小売業」は 68.5%、「観光施設業」については 75.0%とやや低い水準にとどまる。

これに関して、県西圏域(箱根・湯河原地区)の「小売業(土産販売業)」の事業者(中規模)からはヒアリングにおいて、隣接する静岡県との関係性を指摘する意見が聞かれている。

営業経費では、「観光施設業」で圏域内 44.7%と低い水準だが、神奈川県内では 74.0%となっている。

人件費では、「旅行業」が圏域内 58.3%と低い水準だが、神奈川県内では 100.0%となっている。

⑤県西 原材料費 (%)

	原材料費			神奈川県外	計
	神奈川県内	地域圏内	その他神奈川県内		
小売業	68.5	51.9	16.6	31.5	100.0
飲食業	83.9	78.5	5.4	16.1	100.0
宿泊業	80.9	75.1	5.8	19.1	100.0
交通運輸業	94.9	75.8	19.1	5.1	100.0
旅行業	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0
観光施設業	75.0	56.3	18.7	25.0	100.0
その他	63.8	61.3	2.5	36.3	100.0
無回答	60.0	60.0	0.0	40.0	100.0
観光関連事業者 計	78.4	69.4	9.0	21.6	100.0
一般事業者	79.7	58.5	21.2	20.3	100.0

○人材確保、商品開発、販路開拓が重要な経営課題となっている。

圏域全体では「人材」(41.4%)、「販路開拓」(30.7%)、「技術・商品開発」(27.9%)と、全県と同様の順位となっているが、比率は全県と比較するとそれぞれ高くなっている。

また、箱根・湯河原地区においても「人材」(42.4%)、「販路開拓」(30.8%)、「技術・商品開発」(28.0%)と、同様の順位となっているが、比率はさらに高くなっている。

業種別に見ると、「小売業」、「観光施設業」といった業種で「販路開拓」の比率がそれぞれ37.2%、50.0%と最も高くなっており、箱根・湯河原地区においても同様の傾向を示している。

(県西)

	1.技術・商品開発	2.法律、税務、労務、情報化	3.人材	(3のうち)		4.立地	5.資金調達	(5のうち)		6.販路開拓	7.同業種、異業種交流	母数
				①従業員、後継者確保	②技術、知識向上			①運転資金	②設備資金			
小売業	25.6%	2.6%	34.6%	21.8%	7.7%	11.5%	12.8%	9.0%	2.6%	37.2%	9.0%	100.0%
飲食業	27.9%	4.7%	39.5%	32.6%	3.5%	15.1%	25.6%	14.0%	8.1%	24.4%	10.5%	100.0%
宿泊業	28.8%	14.4%	45.2%	27.9%	12.5%	7.7%	24.0%	5.8%	14.4%	35.6%	4.8%	100.0%
交通運輸業	31.6%	10.5%	78.9%	31.6%	36.8%	5.3%	10.5%	10.5%	0.0%	31.6%	15.8%	100.0%
旅行業	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	100.0%
観光施設業	20.0%	0.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	50.0%	20.0%	100.0%
その他	23.8%	4.8%	28.6%	19.0%	4.8%	0.0%	9.5%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	100.0%
無回答	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
観光関連事業者 計	27.9%	7.7%	41.4%	26.7%	10.1%	9.5%	19.3%	8.6%	8.0%	30.7%	8.9%	100.0%
一般事業者	22.4%	9.9%	38.7%	21.1%	13.1%	8.8%	17.1%	12.5%	2.7%	34.1%	12.0%	100.0%

第4章 観光消費額の推計

4-1 推計の考え方

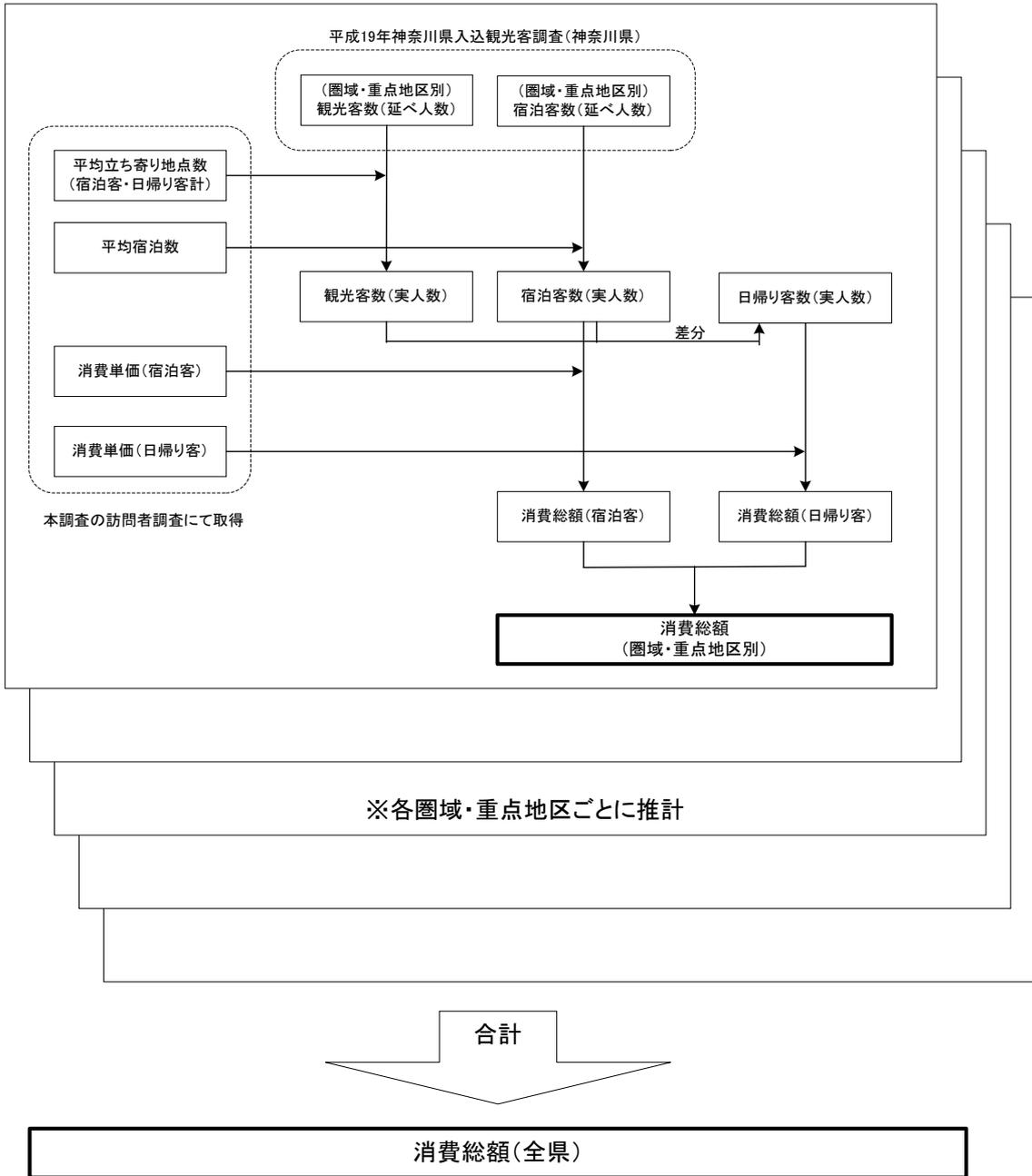
観光消費額の推計は以下の方法によった。

まず、神奈川県より「入込観光客調査」として公表されている延べ人数としての「観光客数（宿泊、日帰り客計）」および「宿泊客数」を、訪問者調査で把握した各圏域、重点地区ごとの「平均立ち寄り地点数（宿泊、日帰り客計）」および「平均泊数」で除することにより、実人数としての「観光客数（宿泊、日帰り客計）」および「宿泊客数」を推計した。さらにそれらの差分をとり、実人数としての「日帰り客数」とした。

次に、上記の実人数としての「宿泊客数」および「日帰り客数」に、訪問者調査で把握された「消費単価（宿泊客、日帰り客）」を乗じることにより、各圏域、重点地区における観光による消費総額を推計した。

全県の観光消費総額については、推計された各圏域、重点地区の観光消費総額を足しあわせることにより算出した。

観光消費総額の推計フロー



4-2 実人数の推計

4-2-1 延観光客数の整理

「神奈川県入込観光客調査報告書」によれば、平成 19 年の延べ観光客数は 1 億 6,999 万人、うち、延べ宿泊客数が 1,361 万人、延べ日帰り客数が 1 億 5,638 万人となっている。

(人)

	延観光客数				
	冬	春	夏	秋	計
川崎・横浜	16,309,906	14,171,039	12,896,214	11,062,170	54,439,329
横浜地区	6,743,739	12,754,775	11,501,456	10,071,618	41,071,588
横浜地区以外(川崎地区)	9,566,167	1,416,264	1,394,758	990,552	13,367,741
三浦半島	9,224,851	9,046,641	9,043,349	6,086,668	33,401,509
鎌倉地区	6,830,529	4,871,929	3,585,060	3,398,080	18,685,598
鎌倉地区以外	2,394,322	4,174,712	5,458,289	2,688,588	14,715,911
県央	2,398,967	5,267,780	5,884,668	3,789,042	17,340,457
湘南	4,967,566	5,462,422	14,057,567	4,478,637	28,966,192
県西	8,416,453	8,862,515	9,737,031	8,830,166	35,846,165
箱根・湯河原地区	5,661,323	5,964,935	7,096,726	6,798,513	25,521,497
箱根・湯河原地区以外	2,755,130	2,897,580	2,640,305	2,031,653	10,324,668
全県	41,317,743	42,810,397	51,618,829	34,246,683	169,993,652

(人)

	延宿泊客数				
	冬	春	夏	秋	計
川崎・横浜	1,129,457	1,167,016	1,278,645	1,110,672	4,685,790
横浜地区	1,129,457	1,167,016	1,278,645	1,110,672	4,685,790
横浜地区以外(川崎地区)	0	0	0	0	0
三浦半島	289,318	295,370	430,028	312,396	1,327,112
鎌倉地区	69,665	76,395	83,307	75,177	304,544
鎌倉地区以外	219,653	218,975	346,721	237,219	1,022,568
県央	191,512	231,590	337,421	231,534	992,057
湘南	143,239	157,012	202,849	150,387	653,487
県西	1,401,712	1,387,172	1,666,548	1,502,564	5,957,996
箱根・湯河原地区	1,304,276	1,271,532	1,485,661	1,390,546	5,452,015
箱根・湯河原地区以外	97,436	115,640	180,887	112,018	505,981
全県	3,155,238	3,238,160	3,915,491	3,307,553	13,616,442

(人)

	延日帰り数				
	冬	春	夏	秋	計
川崎・横浜	15,180,449	13,004,023	11,617,569	9,951,498	49,753,539
横浜地区	5,614,282	11,587,759	10,222,811	8,960,946	36,385,798
横浜地区以外(川崎地区)	9,566,167	1,416,264	1,394,758	990,552	13,367,741
三浦半島	8,935,533	8,751,271	8,613,321	5,774,272	32,074,397
鎌倉地区	6,760,864	4,795,534	3,501,753	3,322,903	18,381,054
鎌倉地区以外	2,174,669	3,955,737	5,111,568	2,451,369	13,693,343
県央	2,207,455	5,036,190	5,547,247	3,557,508	16,348,400
湘南	4,824,327	5,305,410	13,854,718	4,328,250	28,312,705
県西	7,014,741	7,475,343	8,070,483	7,327,602	29,888,169
箱根・湯河原地区	4,357,047	4,693,403	5,611,065	5,407,967	20,069,482
箱根・湯河原地区以外	2,657,694	2,781,940	2,459,418	1,919,635	9,818,687
全県	38,162,505	39,572,237	47,703,338	30,939,130	156,377,210

※「川崎・横浜地域圏 横浜地区以外」の宿泊客数は人数未公表のため 0 人となっている。

4-2-2 パラメーターの整理

訪問者調査で得られた宿泊客、日帰り客をあわせた平均立ち寄り地点数、および宿泊客の平均宿泊数は以下の通りである。

平均立ち寄り地点数(宿泊・日帰り)

(地点)

	冬	春	夏	秋	年
川崎・横浜圏域 横浜地区	2.4	2.6	2.5	2.6	2.5
川崎・横浜圏域 横浜地区以外(川崎地区)	1.3	1.5	1.3	1.5	1.4
三浦半島圏域 鎌倉地区	2.6	3.2	2.8	3.2	2.9
三浦半島圏域 鎌倉地区以外	2.0	2.1	1.8	2.1	2.0
県央圏域	1.2	1.3	1.1	1.3	1.2
湘南圏域	1.2	1.5	1.7	1.5	1.5
県西圏域 箱根・湯河原地区	2.0	2.3	2.1	2.3	2.2
県西圏域 箱根・湯河原地区以外	1.4	1.8	1.4	1.8	1.6

※春は秋の数値で設定している。

平均泊数

(泊)

	冬	春	夏	秋	年
川崎・横浜圏域 横浜地区	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4
川崎・横浜圏域 横浜地区以外(川崎地区)	1.9	1.5	1.9	1.5	-
三浦半島圏域 鎌倉地区	1.3	1.4	1.3	1.4	1.4
三浦半島圏域 鎌倉地区以外	1.2	1.5	1.4	1.5	1.4
県央圏域	1.2	1.4	1.5	1.4	1.4
湘南圏域	1.5	1.7	1.5	1.7	1.6
県西圏域 箱根・湯河原地区	1.2	1.2	1.3	1.2	1.2
県西圏域 箱根・湯河原地区以外	1.0	1.0	1.4	1.0	1.1

※春は秋の数値で設定している。

4-2-3 実人数の推計

上記の各指標より観光客（宿泊客、日帰り客）の実人数は9,174万人、うち宿泊客数は1,088万人、日帰り客数は8,086万人と推計された。

(人)

	実観光客数				
	冬	春	夏	秋	計
川崎・横浜	9,940,386	5,914,616	5,678,265	4,583,974	26,117,241
横浜地区	2,853,685	4,956,832	4,633,680	3,914,089	16,358,286
横浜地区以外(川崎地区)	7,086,701	957,784	1,044,585	669,885	9,758,955
三浦半島	3,844,234	3,574,653	4,246,411	2,384,593	14,049,891
鎌倉地区	2,617,992	1,542,227	1,282,978	1,075,675	6,518,873
鎌倉地区以外	1,226,242	2,032,426	2,963,433	1,308,918	7,531,018
県央	2,083,848	3,961,964	5,362,091	2,849,787	14,257,690
湘南	4,137,819	3,586,271	8,296,863	2,940,382	18,961,335
県西	4,787,681	4,228,030	5,245,451	4,096,240	18,357,402
箱根・湯河原地区	2,777,181	2,580,387	3,414,025	2,940,986	11,712,579
箱根・湯河原地区以外	2,010,500	1,647,644	1,831,425	1,155,254	6,644,823
全県	24,793,968	21,265,534	28,829,082	16,854,975	91,743,559

(人)

	実宿泊客数				
	冬	春	夏	秋	計
川崎・横浜	1,127,082	915,439	1,000,071	856,255	3,898,846
横浜地区	830,568	856,041	959,894	814,711	3,461,215
横浜地区以外(川崎地区)	296,515	59,397	40,176	41,543	437,632
三浦半島	234,800	203,846	316,238	215,516	970,399
鎌倉地区	53,975	53,532	62,584	52,679	222,770
鎌倉地区以外	180,825	150,313	253,654	162,837	747,629
県央	156,692	169,372	226,887	169,331	722,281
湘南	97,147	93,090	132,170	89,162	411,570
県西	1,152,980	1,161,466	1,307,252	1,255,733	4,877,431
箱根・湯河原地区	1,055,544	1,045,826	1,175,254	1,143,715	4,420,339
箱根・湯河原地区以外	97,436	115,640	131,999	112,018	457,093
全県	2,768,701	2,543,213	2,982,617	2,585,996	10,880,527

(人)

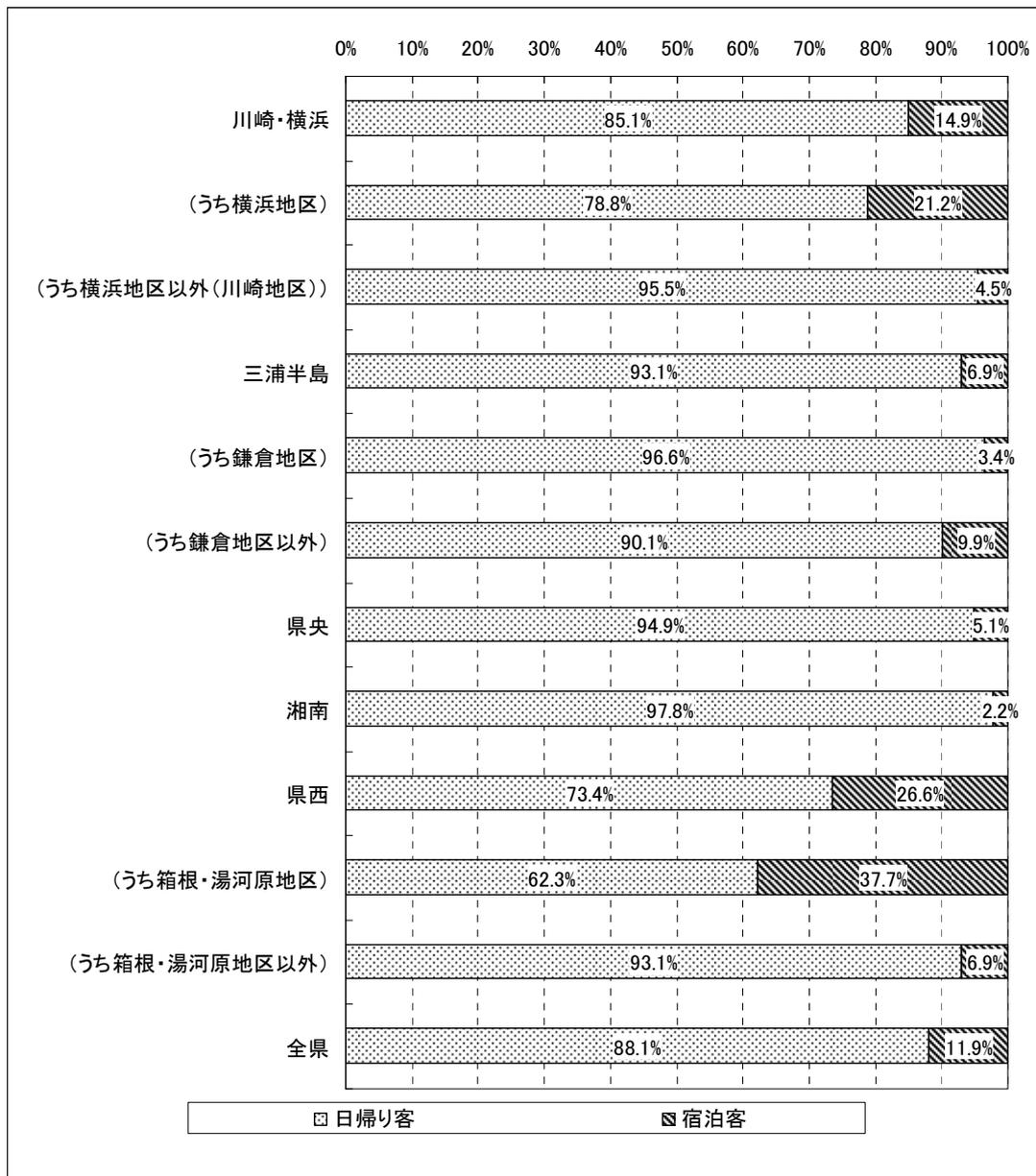
	実日帰り客数				
	冬	春	夏	秋	計
川崎・横浜	8,813,304	4,999,177	4,678,194	3,727,720	22,218,394
横浜地区	2,023,117	4,100,791	3,673,786	3,099,377	12,897,071
横浜地区以外(川崎地区)	6,790,186	898,386	1,004,408	628,342	9,321,323
三浦半島	3,609,434	3,370,807	3,930,174	2,169,077	13,079,492
鎌倉地区	2,564,018	1,488,695	1,220,394	1,022,996	6,296,103
鎌倉地区以外	1,045,416	1,882,112	2,709,779	1,146,081	6,783,389
県央	1,927,157	3,792,592	5,135,205	2,680,456	13,535,410
湘南	4,040,671	3,493,181	8,164,693	2,851,220	18,549,765
県西	3,634,701	3,066,564	3,938,199	2,840,507	13,479,971
箱根・湯河原地区	1,721,637	1,534,560	2,238,772	1,797,272	7,292,241
箱根・湯河原地区以外	1,913,064	1,532,004	1,699,427	1,043,236	6,187,730
全県	22,025,267	18,722,321	25,846,465	14,268,979	80,863,032

※「川崎・横浜地域圏 横浜地区以外」については、各季節ごとの実観光客数を本調査で得られた日帰り・宿泊比率で按分して算出している。

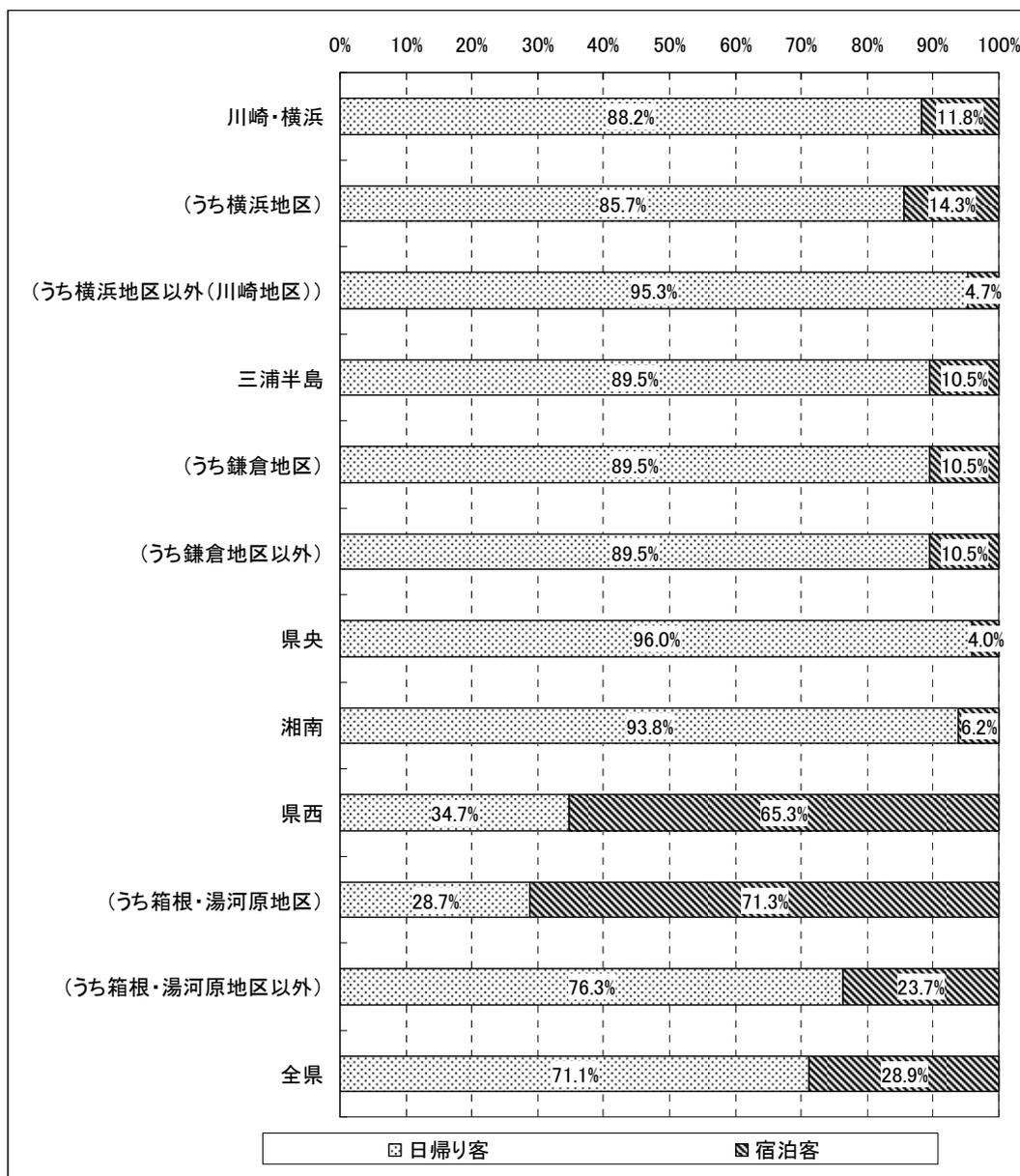
これによれば日帰り・宿泊客比率は約 88 : 12 となり、本調査の訪問者調査（日帰り客調査）で得られた日帰り・宿泊客比率（約 71 : 29）とは乖離が生じるが、これは「神奈川県入込観光客調査報告書」における延観光客数には、初詣、海水浴、花火大会など日帰り客が中心となる行事やイベントの入り込み客数が含まれていることが要因と想定される。

また、箱根・湯河原地区については、訪問者調査の結果と推計された実人数の結果とでは、日帰り・宿泊比率が逆転している。これは箱根町の観光客数が自動車の通過交通量から算出されていることによって実勢との間に乖離が生じていることが影響していると思われる。

（推計された実人数による日帰り・宿泊比率）



(訪問者調査における日帰り・宿泊比率)



4-3 観光消費総額の推計

前項で推計した観光客（宿泊、日帰り）の実人数に訪問者調査で取得した各地域ごとの宿泊客、日帰り客それぞれの消費単価を乗じて算出した観光消費の総額は日帰り客 3,595 億円、宿泊客 2,922 億円、合計 6,517 億円と推計された。

なお、春の消費単価については秋季調査の数値で設定した。

日帰り客の消費総額

(千円)

	交通費	宿泊費	飲食費	土産品購入	現地ツアー、 入場料など	総額
川崎・横浜	27,766,085	0	47,138,532	31,595,390	14,401,071	120,901,078
横浜地区	20,277,979	0	37,193,933	23,186,549	11,819,685	92,478,146
横浜地区以外(川崎地区)	7,488,106	0	9,944,599	8,408,841	2,581,386	28,422,932
三浦半島	15,254,261	0	24,182,546	19,087,894	4,989,467	63,514,168
鎌倉地区	5,974,264	0	9,186,300	7,993,133	2,282,672	25,436,370
鎌倉地区以外	9,279,996	0	14,996,245	11,094,761	2,706,795	38,077,798
県央	8,667,493	0	14,025,975	8,264,558	3,833,952	34,791,978
湘南	26,230,626	0	19,401,811	10,111,850	15,786,968	71,531,255
県西	18,917,161	0	20,144,712	17,046,193	12,658,920	68,766,986
箱根・湯河原地区	14,983,034	0	14,440,771	11,289,125	9,911,933	50,624,862
箱根・湯河原地区以外	3,934,127	0	5,703,941	5,757,068	2,746,987	18,142,124
全県	96,835,626	0	124,893,576	86,105,885	51,670,378	359,505,466

宿泊客の消費総額

(千円)

	交通費	宿泊費	飲食費	土産品購入	現地ツアー、 入場料など	総額
川崎・横浜	8,857,252	41,739,859	31,348,038	24,458,355	7,148,241	113,551,744
横浜地区	7,613,799	36,227,683	27,941,341	22,878,644	6,533,164	101,194,629
横浜地区以外(川崎地区)	1,243,453	5,512,177	3,406,696	1,579,711	615,077	12,357,115
三浦半島	1,735,312	12,609,411	3,723,980	3,359,271	1,000,657	22,428,631
鎌倉地区	359,523	2,474,614	1,331,395	977,719	191,724	5,334,976
鎌倉地区以外	1,375,789	10,134,796	2,392,585	2,381,552	808,933	17,093,655
県央	1,738,396	10,949,989	2,981,442	1,003,473	331,587	17,004,887
湘南	933,803	3,902,423	2,512,419	1,142,285	568,426	9,059,356
県西	11,947,645	74,710,047	17,189,416	19,456,058	6,860,663	130,163,829
箱根・湯河原地区	11,125,871	69,774,559	16,287,376	18,773,790	6,641,170	122,602,766
箱根・湯河原地区以外	821,774	4,935,488	902,040	682,268	219,494	7,561,063
全県	25,212,408	143,911,729	57,755,294	49,419,443	15,909,574	292,208,447

観光消費の総額

(千円)

	交通費	宿泊費	飲食費	土産品購入	現地ツアー、 入場料など	総額
川崎・横浜	36,623,337	41,739,859	78,486,569	56,053,745	21,549,311	234,452,822
横浜地区	27,891,778	36,227,683	65,135,274	46,065,193	18,352,849	193,672,776
横浜地区以外(川崎地区)	8,731,560	5,512,177	13,351,295	9,988,552	3,196,463	40,780,047
三浦半島	16,989,573	12,609,411	27,906,526	22,447,166	5,990,124	85,942,798
鎌倉地区	6,333,788	2,474,614	10,517,695	8,970,853	2,474,396	30,771,346
鎌倉地区以外	10,655,785	10,134,796	17,388,830	13,476,313	3,515,728	55,171,453
県央	10,405,890	10,949,989	17,007,417	9,268,031	4,165,539	51,796,865
湘南	27,164,429	3,902,423	21,914,230	11,254,135	16,355,395	80,590,612
県西	30,864,806	74,710,047	37,334,128	36,502,251	19,519,584	198,930,816
箱根・湯河原地区	26,108,904	69,774,559	30,728,147	30,062,915	16,553,103	173,227,628
箱根・湯河原地区以外	4,755,901	4,935,488	6,605,981	6,439,336	2,966,481	25,703,187
全県	122,048,034	143,911,729	182,648,870	135,525,328	67,579,952	651,713,913

第5章 経済波及効果の推計

5-1 推計の考え方

本章では、神奈川県を訪れた訪問者の消費額がどのような形で地域内経済を循環し、観光産業だけでなく他産業に対してもどの程度の波及効果をもたらしているかについて、金額等による数量的な把握を行う。

訪問者が地域内で購入する商品には通常、原材料費（原価）、人件費、営業販売費などのコストがかかり、購入額から全てのコストを差し引いた金額が利益として残される。これらは直接効果と呼ばれ、主に観光産業にその恩恵が及ぶと考えられる。しかしながら効果はこれだけではなく、例えば商品の原材料はその商品を生産する産業（製造業など）から購入するため、間接的には観光の影響が観光産業以外の産業にも効果（1次効果）を及ぼすこととなる。

また、人件費は従業員の所得となり、そこから別の消費行為が発生し、その消費額は消費先の企業・組織の原材料費や人件費等に充当される（2次効果）。これを繰り返していけば、観光による波及効果はほぼ全産業に渡ることとなる。これら全てが「波及効果」と捉えられる。

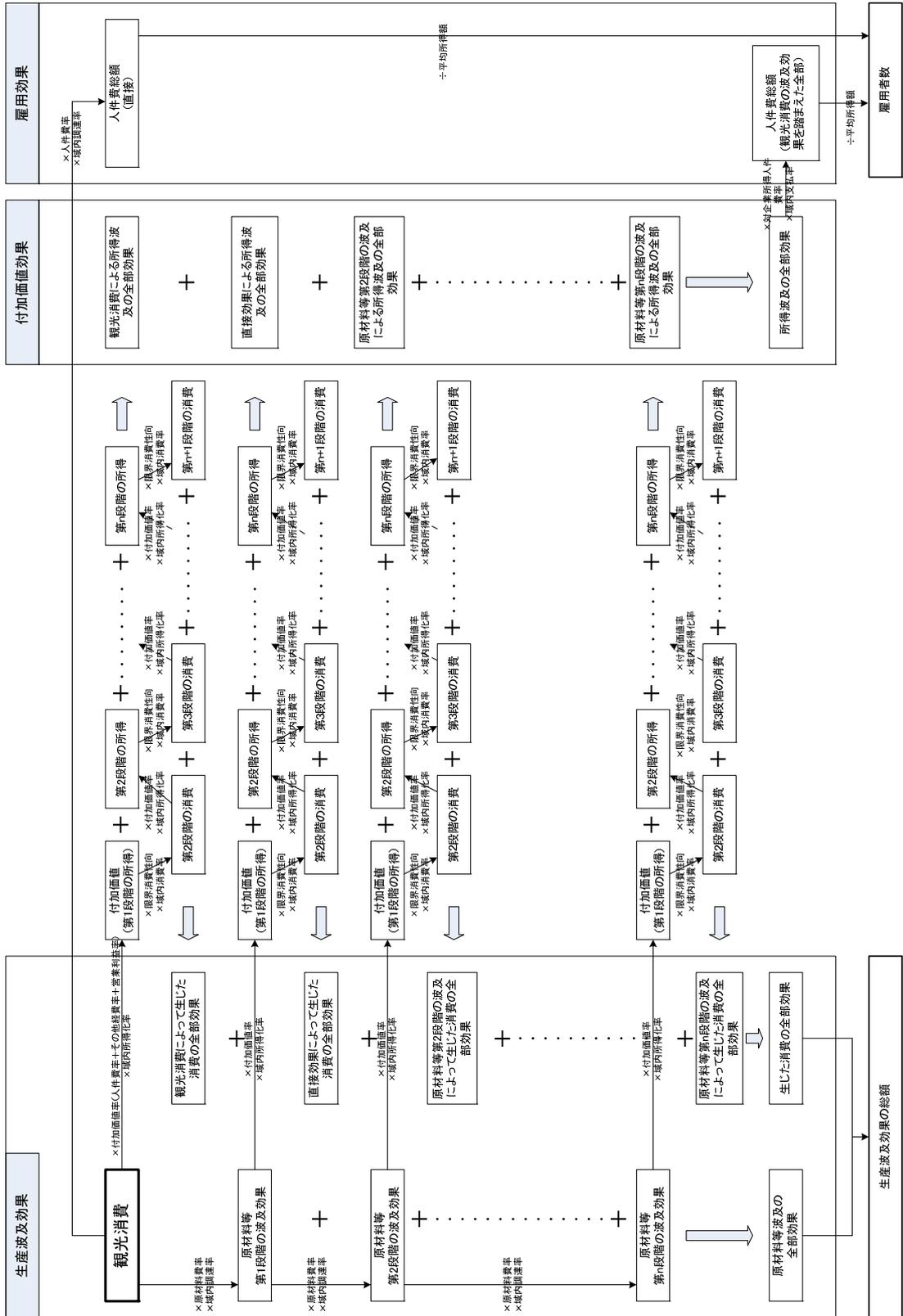
その際、その商品が地域内で生産されるものであれば原材料費は地域内に全て還元されるが、地域外で生産される場合、地域に残るのは取扱手数料程度にとどまり、地域内への還元度合いは低くなる。この考え方は従業員に対しても該当し、地域外居住者が地域内で従事する場合、給与や地方税などはあまり地域に還元されないため、効果は小さくなる。

このように、波及効果は地域内の物資や給与等の生産・流通状況に応じて大きく異なる。

地域圏レベルでの波及効果の推計は「観光消費が地域経済に及ぼす影響の推計手法に関する検討調査報告書」（国土交通省総合政策局観光部）に示された推計手法「乗数理論」に基づいて行った。

また、全県レベルでの波及効果の推計は上記の乗数理論と併せて、県レベルで一般的に用いられる産業連関表を用いた産業連関分析の両方の方式で推計を行い、結果を比較した。

乗数理論による経済波及効果推計のイメージ



5-2 推計に用いる各種指標の設定

5-2-1 乗数理論

ここでは、経済効果の推計に必要な指標について、取得（算出）方法を示す。

①項目別（飲食費、宿泊費、交通費、買物代、その他）の総消費額

・訪問者アンケートより取得。

②項目別（同上）の収支構造（売上原価率、営業経費率、人件費率、その他率、営業利益率）

・事業者アンケート調査より取得。

③項目別（同上）の域内調達率（売上原価、営業経費、人件費）

・事業者アンケート調査より取得。

④項目別（同上）の本社比率

・平成 18 年度事業者・企業統計調査より全県および人口 30 万人以上の都市（横浜市、横須賀市、川崎市、藤沢市、相模原市）の本社、支社別従業者数を取得。それ以外の市町村については全県から前記の 5 市を差し引いた数値で設定。

⑤限界消費性向

・平成 19 年家計調査年報（家計収支編）の「総世帯のうち勤労者世帯」の実収入に対する消費支出の比率より 0.6 を取得。

⑥域内消費率

・金額ベースで域内消費率を算出した資料が存在しないため、仮想的な域内消費率として各圏域、重点地区で一律の数値を設定した。
・「神奈川県消費行動調査報告書」（平成 13 年、(財) 神奈川中小企業センター）より、商品別の県外滞留率（人数ベース）の平均値 73.3 を取得。

⑦平均給与額（給与地域補正值）

・平成 18 年度民間給与実態統計調査（国税庁）の全国平均給与額（4,349 千円）に対し、給与地域補正值（2009 年度個人所得指標（(株) JPS）より、全国平均を 100 とした場合の所得水準を市町村人口により加重平均した値）を掛け合わせて算出。

5-2-2 産業連関分析

産業連関表は神奈川県作成の H15 年度延長表（32 部門表）をもとに、交通およびサービスの観光消費に関わる分野について 103 部門表の産業分類を用い、41 部門からなる分析用産業連関表を作成した。

経済波及効果分析に用いる推計モデルは、以下の通りである。

①直接効果

$$(I - \hat{M}) F$$

I：単位行列

M：移輸入係数行列（41 行 41 列の対角行列）（運輸機関および個人サービスの部門を 0 と置いている）

F：最終需要（ここでは、産業別の観光対応売上高が 41 行 1 列に並ぶ）

直接効果は、観光産業への売上高が、他産業への投入構造を通じて県内産業に波及する前の段階の効果を指し、ほぼ旅行消費額に対応する概念であるが、観光消費額のうち県内で生産されていない商品（土産品の一部やガソリン等）については、効果が県外・海外へ漏出することとなるため、当該産業の移輸入性向（＝移輸入額／県内需要合計）分を観光消費額から除く必要がある。ただし、運輸機関や娯楽サービス、飲食店、旅館・その他の宿泊所、その他対個人サービス等の部門については、100%県内自給として取り扱う。

②生産波及効果 ケース 1 [直接効果+1 次効果（原材料波及効果）]

$$[I - (I - \hat{M}) A]^{-1} (I - \hat{M}) F$$

I：単位行列

A：投入係数表（41 行 41 列）

M：移輸入係数行列（41 行 41 列の対角行列）（A にかかる M では運輸機関や個人サービスを 0 と置かず、最終需要 F にかかる M では 0 と置いている）

F：最終需要（ここでは、産業別の観光対応売上高が 41 行 1 列に並ぶ）

これは、我が国で一般的に用いられる競争輸入型の生産波及モデルに依っている。

③生産波及効果 ケース 2 [直接効果+1次効果+2次効果（家計迂回効果）]

観光消費による観光関連部門の売上の増加は、他産業への中間投入という形で生産波及効果を生む一方で、当該産業での雇用者所得となって、そこから一定の額が消費等へ迂回し、波及効果を生むことになる。

$$\begin{pmatrix} I-(I-\hat{M}) & A & -(I-\hat{M}) & C \\ -V & & I & \end{pmatrix}^{-1} (I-\hat{M}) \begin{pmatrix} F \\ 0 \end{pmatrix}$$

V：雇用者所得／国内生産額（1行41列）

C：家計消費の消費性向を連関表最終消費額の業種別構成比で配分した行列（41行1列）。消費性向には、前項で取得した数値0.6を用いた。

M：移輸入係数行列（41行41列の対角行列）（A及びCにかかるMでは運輸機関や個人サービスを0と置かず、最終需要FにかかるMでは0と置いている）

④付加価値効果

産業連関表における各産業の県内生産額は、中間投入（内生部門計）と付加価値（粗付加価値部門計）とから成る。後者から、家計外消費支出を除いたものが、県民経済計算における県内総生産に相当する数字である。

付加価値効果（除家計外消費支出）の推計は、①②③の3つの生産波及効果（直接効果、ケース1、ケース2）ごとに付加価値比率を乗じて行う。

付加価値比率＝（粗付加価値部門計－家計外消費額）／県内生産額

付加価値効果＝生産波及効果×付加価値比率

⑤雇用効果

雇用効果は、推計に使用した神奈川県の前平成15年産業連関表延長表に雇用表が附帯されていないため、平成12年度産業連関表に附帯されている雇用表を、41部門に組み替えた上で推計する。また、ここでの雇用者数は、雇用表の「従業者総数」に対応し、個人業主や家族従業者、有給役員や臨時・日雇いを含んだ総数である。

雇用効果の推計は、①②③の3つの生産波及効果（直接効果、除迂回効果、含迂回効果）に雇用係数を乗じて行う。

雇用係数＝雇用者数／県内生産額

雇用効果＝生産波及効果×雇用係数

⑥税収効果

税収効果に関しては、国及び地方における①間接税、②個人分直接税、③法人分直接税の別に、課税標準に連動する指標としてそれぞれ産業連関表における①県内総生産、②雇用者所得、③営業余剰との比を仮の実効税率として推計する。

ただし、産業連関表の数値が2003年の数値であり、直近の実態との間に乖離が生じる

可能性があることから、2006年度の税収（市町村税については見込額）を用いて、分母となる産業連関表県内総生産、雇用者所得、営業余剰については、「県民経済計算」における名目県内総生産の2006年と2003年の比を乗じた2006年度値を試算し、2006年度実効税率を計算する。

<間接税>

間接税の推計では、その税収が県内総生産に比例するものと仮定し、間接税の実効税率を下式のように推計する。

$$(\text{実効税率}) = (\text{06年度間接税収入}) / (\text{06年度県内総生産総額})$$

上式で推計した実効税率に、本調査で推計した旅行・観光産業の付加価値効果の額を乗じること、間接税による税収効果を得る。

<個人分直接税>

個人分直接税の推計では、その税収が雇用者所得に比例するものと仮定し、個人分直接税の実効税率を下式のように推計する。

$$(\text{実効税率}) = (\text{06年度個人分直接税収入}) / (\text{06年度雇用者所得総額})$$

上式で推計した実効税率に、本調査で推計した旅行・観光産業の雇用者所得効果（生産波及効果に雇用者所得比率を乗じて計算）の額を乗じること、個人分直接税による税収効果を得る。

<法人分直接税>

法人分直接税の推計では、その税収が営業余剰に比例するものと仮定し、法人分直接税の実効税率を下式のように推計する。

$$(\text{実効税率}) = (\text{06年度法人分直接税収入}) / (\text{06年度営業余剰総額})$$

上式で推計した実効税率に、本調査で推計した旅行・観光産業の営業余剰効果（生産波及効果に営業余剰比率を乗じて計算）の額を乗じること、法人分直接税による税収効果を得る。

本推計における各種課税項目の区分方法

課税対象		国税	都道府県税	市町村税
直接税	個人	所得税 相続税 地価税※1	道府県民税(個人) 道府県民税(利子割)※1 事業税(個人) 自動車税※1 狩猟税 自動車取得税※1	市町村民税(個人) 固定資産税※1 軽自動車税※1 特別土地保有税※1 法定外普通税※1 都市計画税※1
	法人	法人税 地価税※1	道府県民税(法人) 道府県民税(利子割)※1 事業税(法人) 自動車税※1 鉱区税 固定資産税(特例分) 法定外普通税 自動車取得税※1 臨時特例企業税	市町村民税(法人) 固定資産税※1 軽自動車税※1 特別土地保有税※1 法定外普通税※1 事業所税 都市計画税※1 法定外目的税※2
間接税		消費税 酒税 たばこ税 たばこ特別税(特) 揮発油税 地方道路税(特) その他	地方消費税 不動産取得税 道府県たばこ税 ゴルフ場利用税 軽油引取税	市町村たばこ税 入湯税 法定外目的税※2

注) ※の付いている課税項目は課税対象者の特定ができないため、以下の通り配分している。

※1 「直接税(個人)」と「直接税(法人)」に半額ずつ均等配分

※2 「直接税(法人)」と「間接税」に半額ずつ均等配分

神奈川県における税収額 (調定額)

(百万円)

	国税	道府県税	市町村税	合計
直接税(個人)	1,316,183	361,392	993,543	2,671,118
直接税(法人)	522,462	463,074	550,494	1,536,030
間接税	1,515,367	269,954	55,445	1,840,766
合計	3,354,012	1,094,420	1,599,482	6,047,914

資料：国税庁統計年報書 平成18年度版(国税庁)

県財政のあらまし2007Ⅱ(神奈川県)

平成18年度 市町村普通会計決算(見込)及び公営企業決算(見込)の概要(神奈川県)

⑦観光消費総額の部門への振り分け

項目	部門への振り分け
飲食費	飲食店 100%
宿泊費	旅館・その他の他宿泊所 100%
電車代・タクシー代・バス代 ※訪問者調査の交通機関利用人数比率で配分。	鉄道輸送 88.0% 道路輸送 12.0%
駐車場・ガソリン・レンタカー代	運輸付帯サービス 100%
周遊券など	鉄道輸送 100%
土産品購入費 ※訪問者調査の土産物についての自由回答より内容を区分し、購入者単価と購入者数を推計し算出。	農林水産業 8.3% 食料品 40.2% 繊維製品 26.4% パルプ・紙・木製品 6.3% その他の製造工業製品 12.1% 窯業・土木製品 4.3% 金属製品 2.3% 電気機械 0.1%
施設入場料・施設利用料	娯楽サービス 100%
その他	その他の対個人サービス 100%

なお、観光客が購入する土産品等の商品価格は出荷時の価格に商業マージンや国内貨物運賃が加算された購入者価格となる。しかし、産業連関表による分析を行う上では、購入者価格ベースの売上高表示を生産者価格ベースへと置き換えることが望ましい。

神奈川県産業連関表には、「商業マージン表」「国内貨物運賃表」が附帯していないことから、日本の「2000年産業連関表」（総務省）の附帯表で代用し、購入者価格を生産者価格に変換した上で推計を行った。

5-3 推計結果

5-3-1 直接効果・生産波及効果・付加価値効果

各手法による推計結果を以下に示す。

全県では、観光消費額 6,517 億円が生み出す生産波及効果（総合効果）は乗数理論では 1 兆 3,463 億円（観光消費額含む）、産業連関分析では 8,615 億円と推計された。

観光消費の生産波及効果は、産業連関表における平成 15 年の県内生産額 58 兆 1,620 億円に対して 1.5～2.3%を占める。

また、観光消費による付加価値効果は乗数理論では 5,415 億円、産業連関分析では 4,810 億円と推計された。これは県民経済計算における平成 18 年度の県内総生産（名目）31 兆 7,752 億円の 1.5～1.7%に相当する。

対象範囲	観光消費総額	生産波及効果 (百万円)				付加価値効果 (百万円)		
		直接効果	全部効果 (観光消費総額・直接効果+1次効果+2次効果)			全部効果		
			乗数	県内生産額 に占める割合	県内総生産 (名目)に占 める割合			
全県	神奈川県(乗数理論)	651,714	-	1,346,288	2.07	2.3%	541,503	1.7%
	神奈川県(産業連関分析)	651,714	561,820	861,456	1.53	1.5%	481,030	1.5%
圏域	川崎・横浜地域	234,453	-	448,692	1.91	0.8%	158,255	0.5%
	三浦半島地域	85,943	-	137,994	1.61	0.2%	45,417	0.1%
	県央地域	51,797	-	90,592	1.75	0.2%	30,987	0.1%
	湘南地域	80,591	-	145,548	1.81	0.3%	53,854	0.2%
	県西地域	198,931	-	365,194	1.84	0.6%	128,577	0.4%

※1次効果＝原材料波及効果

※2次効果＝所得波及効果(家計迂回効果)

※乗数理論では産業連関分析における直接効果に相当する指標を算出していない。

5-3-2 雇用効果

全県では、観光消費 6,517 億円のうち直接効果による雇用者数は 6 万 8 千人（1.9%）と推計された。また、観光消費額による波及効果を踏まえた雇用者数は、乗数理論では 5 万 4 千人（1.5%）、産業連関分析では 8 万 7 千人（2.4%）と推計された。（かっこ内は県民経済計算における平成 18 年度の就業者数 365 万人に対する比率）

なお、乗数理論による圏域ごと、重点地区ごとの雇用効果については誤差が大きいため、全県のみを推計としている。

対象範囲	雇用効果 (人)				
	直接効果	県内就業者 数に占める 割合	全部効果	県内就業者 数に占める 割合	
全県	神奈川県(乗数理論)	-	-	53,747	1.5%
	神奈川県(産業連関分析)	68,013	1.9%	87,322	2.4%

5-3-3 税収効果

観光消費額によって生じる税収効果は、産業連関分析の結果から、国税と地方税を合わせて全県で918.9億円と試算された。これは、平成18年度の税収総額6兆479億円の1.5%を占める。その内訳は、直接効果で564.5億円、原材料波及効果で197.0億円、家計迂回効果で157.4億円となっている。

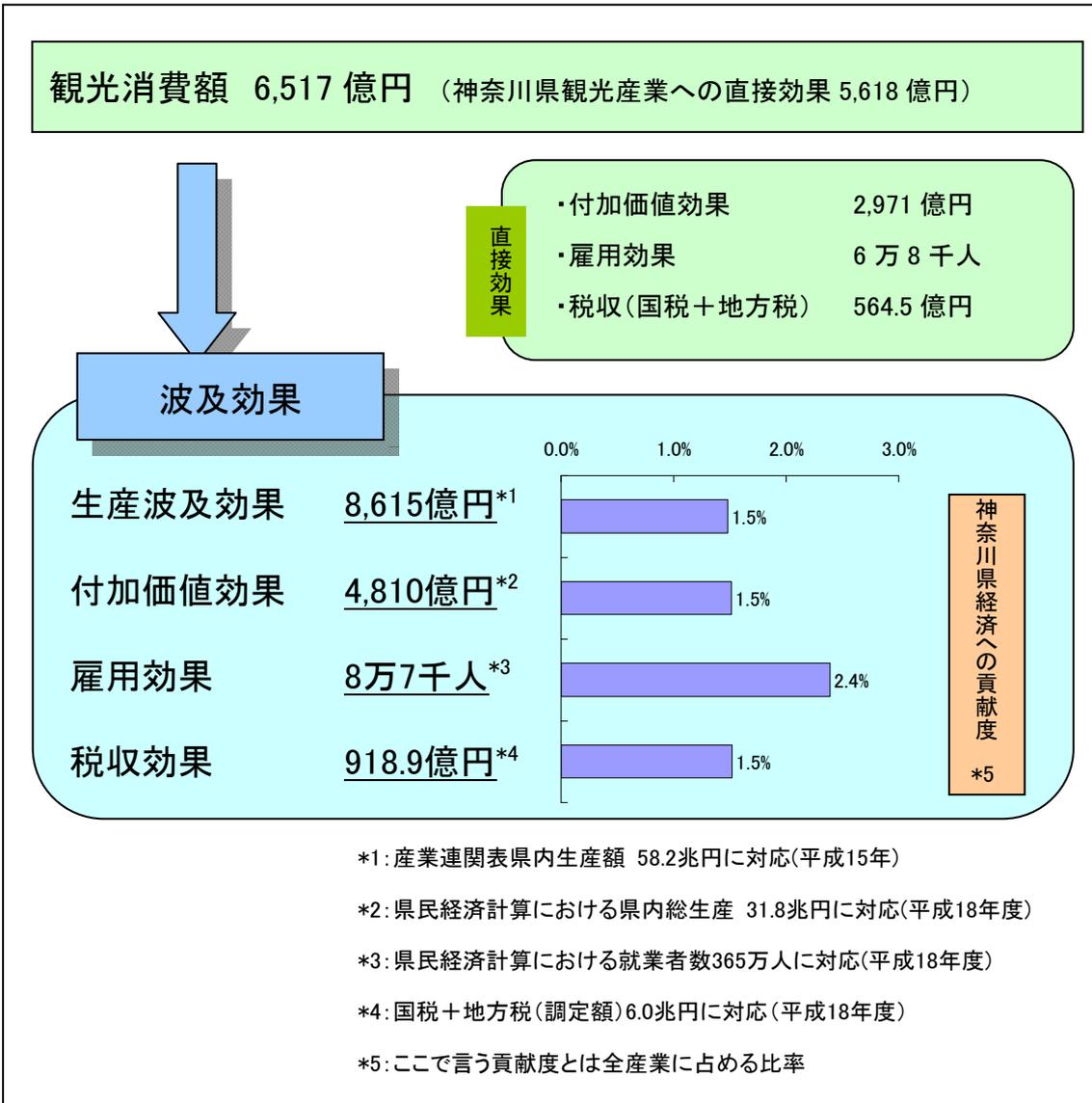
課税方式別の内訳は、間接税が282.0億円、直接税が637.0億円となっている。

(百万円)

	平成18年度 税収額	課税標準※		実効税率	税収効果					
					直接効果	波及効果 (直接+1次効果)	波及効果 (直接+1次+2次 効果)	国税	県税	市町村税
直接税(個人)	2,671,118	雇用者所得	15,920,442	16.8%	28,171	36,341	41,401	22,960	7,492	10,949
直接税(法人)	1,536,030	営業余剰	6,812,118	22.5%	10,861	16,454	22,295	12,364	4,034	5,896
間接税	1,840,766	県内総生産	31,402,585	5.9%	17,418	23,356	28,197	15,637	5,103	7,457
合計	6,047,914			—	56,450	76,152	91,892	50,961	16,629	24,303
(平成18年度税収に占める比率)					0.9%	1.3%	1.5%	0.8%	0.3%	0.4%

※産業連関表における該当項目の金額に県内総生産の06/03年度の伸び率を乗じて算出

観光消費の神奈川県経済への貢献度（産業連関分析の結果をもとに作成）

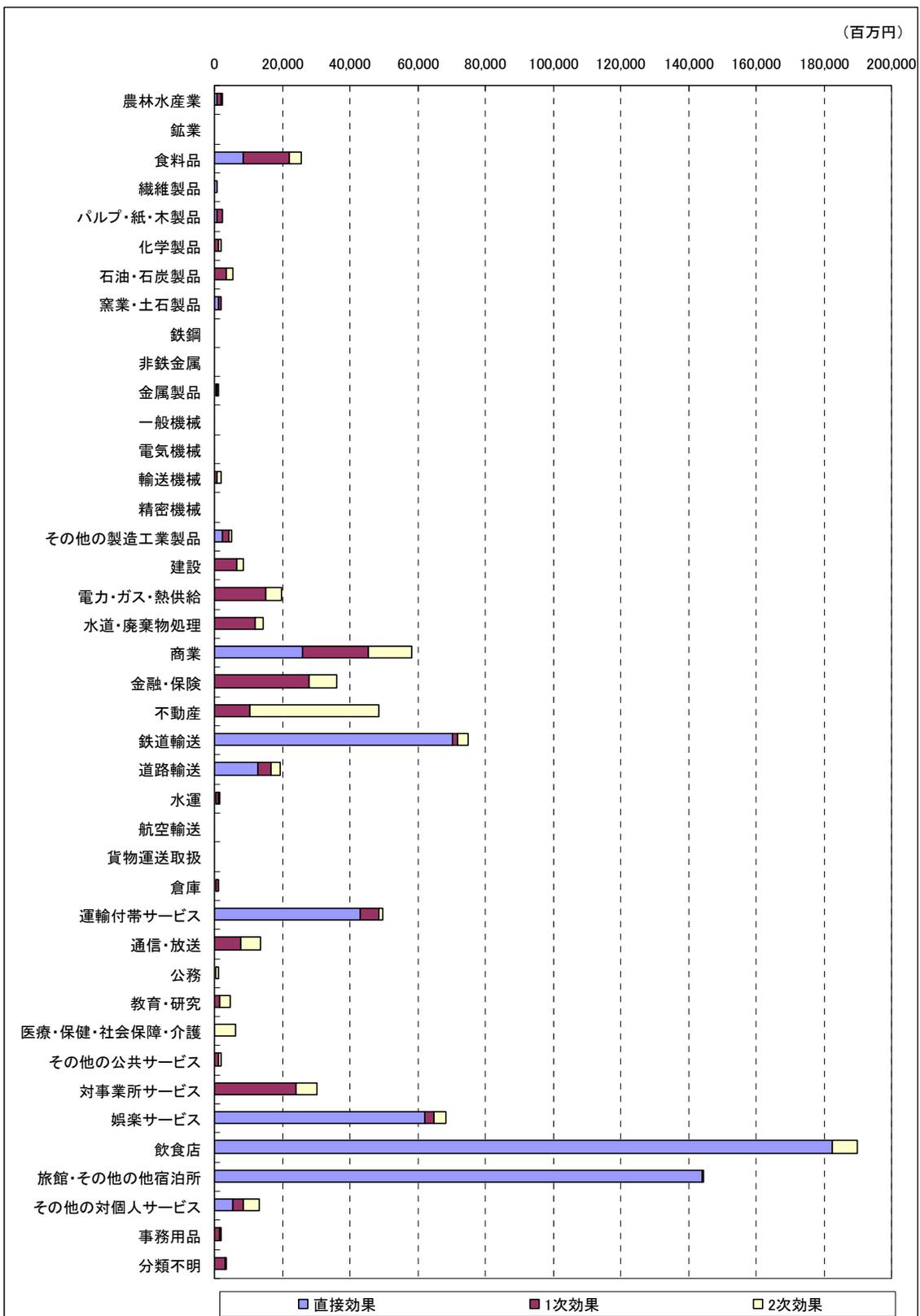


産業連関分析における業種ごとの生産波及効果は以下の通りである。

直接効果がおよぶ運輸、サービス、飲食店、宿泊業といった業種のほか、各業種に効果が波及している様子がわかる。

(百万円)

	最終需要 (生産者価格)				生産波及効果
		直接効果	1次効果	2次効果	
農林水産業	7,902	688	1,310	247	2,245
鉱業	0	0	17	7	24
食料品	34,267	8,353	13,777	3,661	25,791
繊維製品	17,045	626	96	78	800
パルプ・紙・木製品	6,218	915	1,405	187	2,507
化学製品	0	0	1,059	1,063	2,122
石油・石炭製品	0	0	3,515	1,913	5,428
窯業・土石製品	4,286	1,180	580	112	1,871
鉄鋼	0	0	372	74	446
非鉄金属	0	0	45	15	59
金属製品	2,507	458	428	100	986
一般機械	0	0	81	24	106
電気機械	104	13	116	440	569
輸送機械	0	0	931	1,009	1,939
精密機械	0	0	0	0	0
その他の製造工業製品	12,029	2,232	1,986	824	5,042
建設	0	0	6,449	2,063	8,513
電力・ガス・熱供給	0	0	15,081	4,621	19,703
水道・廃棄物処理	0	0	12,118	2,069	14,187
商業	46,202	26,203	19,123	13,121	58,446
金融・保険	0	0	28,121	7,808	35,928
不動産	0	0	10,394	38,133	48,527
鉄道輸送	70,245	70,245	1,430	3,247	74,922
道路輸送	12,807	12,807	3,986	2,530	19,323
水運	199	199	921	257	1,376
航空輸送	34	34	7	9	50
貨物運送取扱	142	142	191	52	385
倉庫	405	405	671	175	1,251
運輸付帯サービス	43,181	43,181	5,358	1,269	49,808
通信・放送	0	0	7,749	5,812	13,561
公務	0	0	531	446	977
教育・研究	0	0	1,575	3,128	4,703
医療・保健・社会保障・介護	0	0	21	6,362	6,383
その他の公共サービス	0	0	1,077	910	1,987
対事業所サービス	0	0	23,939	6,232	30,171
娯楽サービス	61,992	61,992	2,816	3,530	68,338
飲食店	182,649	182,649	0	7,159	189,808
旅館・その他の他宿泊所	143,912	143,912	0	401	144,313
その他の対個人サービス	5,587	5,587	2,996	4,696	13,280
事務用品	0	0	1,680	260	1,941
分類不明	0	0	3,131	510	3,642
合計	651,714	561,820	175,083	124,553	861,456



5-4 要素変化による経済波及効果への影響

観光消費による経済波及効果は、非常に簡単なモデル式で示せば、以下のように観光客の人数、単価、そして域内調達率の3つで決定される。

$$\text{波及効果} = \text{人数} \times \text{単価} \times \text{域内調達率}$$

さらに、人数および単価は観光客に関する指標、域内調達率は地域の産業構造に関する指標であることを考えれば、

$$\text{波及効果} = (\text{人数} \times \text{単価}) \times \text{域内調達率}$$

となる。

すなわち、波及効果は、人数×単価、つまり「消費総額」と「域内調達率」の2つの組み合わせによって決定されることになる。

ここでは、本調査で得られた消費総額、域内調達率、および生産波及効果の総額を基本ケースとして、

- ①各業種（項目）において、消費総額が10%増加した場合
- ②各業種（項目）において、域内調達率が10%上昇した場合

のそれぞれについて乗数理論による生産波及効果の増加分を比較し、入り込み客の増加や消費単価の向上による消費総額の増大、域内調達率の向上といった各種取り組みの効果がより高い業種を検討する。

5-4-1 全県

- 「飲食業」「宿泊業」における消費総額増大が経済波及効果に与える影響が強い。
- 「小売業」における域内調達率向上が経済波及効果に与える影響が強い。

各業種の消費総額が10%増加した場合(全県)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	651,714	694,574	1,346,288	-
飲食業(飲食費)	669,979	716,150	1,386,128	2.96%
宿泊業(宿泊費)	666,105	709,714	1,375,819	2.19%
交通・運輸業(交通費)	663,919	706,290	1,370,209	1.78%
小売業(土産品購入)	665,266	709,326	1,374,592	2.10%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	658,472	700,850	1,359,322	0.97%

各業種の域内調達率が10%上昇した場合(全県)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	651,714	694,574	1,346,288	-
飲食業(飲食費)	651,714	708,187	1,359,901	1.01%
宿泊業(宿泊費)	651,714	700,911	1,352,625	0.47%
交通・運輸業(交通費)	651,714	697,408	1,349,122	0.21%
小売業(土産品購入)	651,714	710,502	1,362,216	1.18%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	651,714	697,690	1,349,404	0.23%

5-4-2 地域別

(1) 川崎・横浜

○「飲食業」「小売業」における消費総額増大が経済波及効果に与える影響が強い。
 ○「小売業」における域内調達率向上が経済波及効果に与える影響が強い。

各業種の消費総額が10%増加した場合(川崎・横浜) (百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	234,453	214,239	448,692	-
飲食業(飲食費)	242,301	222,325	464,627	3.55%
宿泊業(宿泊費)	238,627	217,922	456,549	1.75%
交通・運輸業(交通費)	238,115	217,497	455,612	1.54%
小売業(土産品購入)	240,058	218,587	458,645	2.22%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	236,608	216,287	452,894	0.94%

各業種の域内調達率が10%上昇した場合(川崎・横浜) (百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	234,453	214,239	448,692	-
飲食業(飲食費)	234,453	219,480	453,932	1.17%
宿泊業(宿泊費)	234,453	215,149	449,602	0.20%
交通・運輸業(交通費)	234,453	214,649	449,102	0.09%
小売業(土産品購入)	234,453	220,760	455,213	1.45%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	234,453	214,544	448,997	0.07%

(横浜地区)

各業種の消費総額が10%増加した場合(横浜地区) (百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	193,673	166,586	360,259	-
飲食業(飲食費)	200,186	173,082	373,268	3.61%
宿泊業(宿泊費)	197,296	169,354	366,649	1.77%
交通・運輸業(交通費)	196,462	168,950	365,412	1.43%
小売業(土産品購入)	198,279	170,043	368,323	2.24%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	195,508	168,159	363,667	0.95%

各業種の域内調達率が10%上昇した場合(横浜地区) (百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	193,673	166,586	360,259	-
飲食業(飲食費)	193,673	170,798	364,471	1.17%
宿泊業(宿泊費)	193,673	167,284	360,957	0.19%
交通・運輸業(交通費)	193,673	167,075	360,748	0.14%
小売業(土産品購入)	193,673	171,776	365,448	1.44%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	193,673	166,923	360,596	0.09%

(2) 三浦半島

○「飲食業」「小売業」における消費総額増大、域内調達率の向上が、ともに経済波及効果に与える影響が強い。

各業種の消費総額が10%増加した場合(三浦半島)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	85,943	52,051	137,994	-
飲食業(飲食費)	88,733	53,988	142,722	3.43%
宿泊業(宿泊費)	87,204	52,989	140,193	1.59%
交通・運輸業(交通費)	87,642	52,991	140,633	1.91%
小売業(土産品購入)	88,188	53,103	141,291	2.39%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	86,542	52,389	138,930	0.68%

各業種の域内調達率が10%上昇した場合(三浦半島)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	85,943	52,051	137,994	-
飲食業(飲食費)	85,943	53,595	139,537	1.12%
宿泊業(宿泊費)	85,943	52,581	138,524	0.38%
交通・運輸業(交通費)	85,943	52,489	138,431	0.32%
小売業(土産品購入)	85,943	53,835	139,778	1.29%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	85,943	52,249	138,192	0.14%

(鎌倉地区)

各業種の消費総額が10%増加した場合(鎌倉地区)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	30,771	11,554	42,326	-
飲食業(飲食費)	31,823	12,092	43,915	3.75%
宿泊業(宿泊費)	31,019	11,683	42,701	0.89%
交通・運輸業(交通費)	31,405	11,648	43,053	1.72%
小売業(土産品購入)	31,668	11,841	43,510	2.80%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	31,019	11,663	42,682	0.84%

各業種の域内調達率が10%上昇した場合(鎌倉地区)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	30,771	11,554	42,326	-
飲食業(飲食費)	30,771	12,058	42,830	1.19%
宿泊業(宿泊費)	30,771	11,661	42,432	0.25%
交通・運輸業(交通費)	30,771	11,647	42,419	0.22%
小売業(土産品購入)	30,771	12,181	42,953	1.48%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	30,771	11,626	42,397	0.17%

(3) 県央

- 「飲食業」「宿泊業」における消費総額増大が経済波及効果に与える影響が強い。
- 「小売業」における域内調達率向上が経済波及効果に与える影響が強い。

各業種の消費総額が10%増加した場合(県央)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	51,797	38,795	90,592	-
飲食業(飲食費)	53,498	40,069	93,567	3.28%
宿泊業(宿泊費)	52,892	39,572	92,463	2.07%
交通・運輸業(交通費)	52,837	39,519	92,357	1.95%
小売業(土産品購入)	52,724	39,625	92,349	1.94%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	52,213	39,069	91,282	0.76%

各業種の域内調達率が10%上昇した場合(県央)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	51,797	38,795	90,592	-
飲食業(飲食費)	51,797	39,864	91,661	1.18%
宿泊業(宿泊費)	51,797	39,134	90,931	0.37%
交通・運輸業(交通費)	51,797	39,268	91,065	0.52%
小売業(土産品購入)	51,797	39,894	91,691	1.21%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	51,797	38,915	90,712	0.13%

(4) 湘南

- 「交通・運輸業」「飲食業」における消費総額（利用）増大が経済波及効果に与える影響が強い。
- 「飲食業」における域内調達率向上が経済波及効果に与える影響が強い。

各業種の消費総額が10%増加した場合（湘南）

（百万円）

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	80,591	64,958	145,548	-
飲食業（飲食費）	82,782	67,005	149,787	2.91%
宿泊業（宿泊費）	80,981	65,260	146,241	0.48%
交通・運輸業（交通費）	83,307	66,816	150,123	3.14%
小売業（土産品購入）	81,716	65,841	147,557	1.38%
観光施設業（現地ツアー、入場料など）	82,226	66,361	148,588	2.09%

各業種の域内調達率が10%上昇した場合（湘南）

（百万円）

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	80,591	64,958	145,548	-
飲食業（飲食費）	80,591	66,497	147,088	1.06%
宿泊業（宿泊費）	80,591	65,114	145,705	0.11%
交通・運輸業（交通費）	80,591	65,380	145,970	0.29%
小売業（土産品購入）	80,591	66,068	146,658	0.76%
観光施設業（現地ツアー、入場料など）	80,591	64,958	145,548	0.00%

(5) 県西

- 「宿泊業」における消費総額増大が経済波及効果に与える影響が強い。
 ○「小売業」における域内調達率向上が経済波及効果に与える影響が強い。

各業種の消費総額が10%増加した場合(県西)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	198,931	164,463	363,394	-
飲食業(飲食費)	202,664	168,036	370,700	2.01%
宿泊業(宿泊費)	206,402	170,800	377,202	3.80%
交通・運輸業(交通費)	202,017	166,409	368,426	1.38%
小売業(土産品購入)	202,581	167,564	370,145	1.86%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	200,883	165,954	366,836	0.95%

各業種の域内調達率が10%上昇した場合(県西)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	198,931	164,463	363,394	-
飲食業(飲食費)	198,931	166,881	365,811	0.67%
宿泊業(宿泊費)	198,931	167,721	366,651	0.90%
交通・運輸業(交通費)	198,931	165,033	363,964	0.16%
小売業(土産品購入)	198,931	168,142	367,073	1.01%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	198,931	166,263	365,194	0.50%

(箱根・湯河原地区)

各業種の消費総額が10%増加した場合(箱根・湯河原地区)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	173,228	75,783	249,011	-
飲食業(飲食費)	176,300	77,580	253,880	1.96%
宿泊業(宿泊費)	180,205	79,402	259,607	4.26%
交通・運輸業(交通費)	175,839	76,738	252,577	1.43%
小売業(土産品購入)	176,234	76,494	252,728	1.49%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	174,883	76,279	251,162	0.86%

各業種の域内調達率が10%上昇した場合(箱根・湯河原地区)

(百万円)

	消費総額	生産波及効果 総額	消費額+生産波 及効果総額	基本ケースに 対する増加率
基本ケース	173,228	75,783	249,011	-
飲食業(飲食費)	173,228	77,327	250,554	0.62%
宿泊業(宿泊費)	173,228	78,328	251,555	1.02%
交通・運輸業(交通費)	173,228	76,050	249,277	0.11%
小売業(土産品購入)	173,228	78,331	251,559	1.02%
観光施設業(現地ツアー、入場料など)	173,228	77,014	250,242	0.49%

第6章 施策展開の方向性検討

6-1 全県

(1) 神奈川県を訪れる観光客の動向と特性

神奈川県には、温泉や自然景観に恵まれた県西部、開国以来の歴史や先端的な都市機能に恵まれた横浜、海産物や農産物など一次産業資源に恵まれた三浦半島、武家の古都の魅力を伝える鎌倉など、多種多様な観光資源に恵まれている。総じて、こうした神奈川の観光資源の多様性が観光客の特性にも影響する結果となった。

神奈川県を訪れる観光客は、年代は幅広く、訪問目的も、「温泉浴」「買い物・飲食」「自然・風景」「遺跡・文化財」など多様だが、立ち寄り地点数は少ない。神奈川の観光資源の多様性が旅行者の様々なニーズを受けとめている反面、旅行者の目的性が強く、回遊性を下げる一因になっている。

神奈川県を訪れる旅行者は、個人旅行による日帰り観光が主体であり、県内や首都圏各地から、宿泊では「東海」「近畿」など全国各地から、インターネットや口コミ情報などの活きた情報源をもとに来訪している。

来訪の形態は、宿泊では「夫婦」、日帰りでは「友人・知人」「子供連れ家族」などの少人数グループが多く、比較的整備された交通インフラを背景に、「鉄道」「自動車」による来訪が中心となっている。

訪問者の満足度、再訪率も極めて高く、来訪回数が増えるほど、満足度も高まるなどの結果となった。満足した内容では、「食べ物」「景観」「接客・応対」「交通の便」の割合が高く、神奈川の立地条件の優位性のほか、観光資源や受け入れ体制が一定の水準にあることが推測される結果である。

今回の結果からイメージされるのは、比較的旅慣れた、成熟した訪問者、旅行者の姿であり、夫婦にとっては、ゆっくりくつろげる宿泊の目的地、また、友人や家族にとっては気軽に訪れる日帰りの目的地といった観光地の姿である。

(2) 神奈川県の観光産業の特性

「飲食」「宿泊」「交通・運輸」「小売」「観光施設」のいわゆる観光関連業種に該当する事業者数は、事業所統計上は、全事業所（「公務」を除く）の26.1%を占めるが、今回の事業者調査の結果からは、観光関連事業者（1,336社）の旅行・観光客に関する売上比率は、平均で32.8%にとどまるなど、事業活動の実態においては、観光と業績の関連が深い事業者は少ないというのが実態である。

一方で、今回調査で把握した旅行者の消費額をベースにした産業連関分析からは、「農林水産業」「食料品」「エネルギー関連」「廃棄物」「金融・保険」「建設」「不動産」「医療・福祉」「教育」「対事業所サービス」など様々な分野に生産波及効果が及んでおり、観光の裾野の広さが確認されたところである。

また、アンケート及びヒアリングを通じて把握された観光関連事業者の現状は、総じて、比較的、高い年代の働き手が多く、「人材確保」「商品開発」「販路開拓」が経営課題となっている。また、経費の内訳毎の域内調達（県内自給率）では、人件費（96.4%）と比べて、原材料費（75.9%）の調達率が低い現状である。

今後の事業展開の考え方としては、現下の厳しい経済環境のなかで、観光客数の減少や消費単価の低迷に苦慮しつつも、観光客や旅行者のニーズの変化に対応して、商品・サービスの魅力アップとサービス水準の向上により、新規顧客とリピーターの確保に絶えず努力しようと努力している姿が把握できる。

以下、ヒアリング結果を中心に今回の調査で把握できた観光産業の実態を、主な業種別にとりまとめる。

○宿泊業

- ・働き手は、40～50歳台とする事業所の割合が多く、また、「人材確保」「資金調達（特に設備）」が経営課題とする割合が高い。
- ・集客は、旅行業者への依存傾向はまだ残るものの、インターネットを通じた直販の比率は着実に高まっており、それによって客層も多様化してきている。
- ・歴史がある事業者では、施設の維持やニーズの変化に対応した施設の改修などが課題となり、それに伴う資金（設備）需要が高くなっている。
- ・新しい顧客獲得とリピーターの確保のために、新しい商品開発と販売促進は共通の課題となっている。

○観光施設業

- ・20～40歳台の比較的若い世代が働き手の中心であり、「商品・技術開発」、そのための「同業種・異業種交流」「資金（設備・運転）」などが主な経営課題である。
- ・観光客のニーズの変化への対応やリピーターの確保の必要から、新しい商品やサービスの開発が共通する課題である。それに必要な、他業種等との連携や施設・設備の改修などが課題となっており、必然的に資金需要も高くなっている。
- ・また、現場レベルでの人材確保と能力及びホスピタリティの向上も課題である。
- ・行政の施策と連動して販売促進を図っていく姿勢が伺える。

○小売業（土産物販売業など）

- ・働き手が60歳台とする事業者の割合が高く、原材料費の域内調達率は低い。「技術・商品開発」「販路開拓」が主な経営課題である。
- ・絶えず消費者を惹きつけるオリジナリティあふれる商品開発や品揃えの充実、リピーターの増加のためのホスピタリティの向上が課題となっている。ニーズの変化に対応し、体験型施設への移行を模索する事業者もある。
- ・高齢化による地域活動への参加の困難さを指摘する事業者もある。

○飲食業

- ・働き手が「20歳代」を中心とするところと「50歳台」とするところの割合が相対的に高く、主な経営課題は「商品・技術開発」「人材確保」である。
- ・地域の素材の活用（地産地消）による付加価値の高い新たな商品開発が概ね共通する課題となっている。
- ・立地環境に応じて、IT技術の活用による顧客開拓などに取り組む動きがある。

○旅行業

- ・働き手の中心は30～40歳台とする事業者多く、「商品・技術開発」「人材」「販路開拓」が主要な経営課題である。
- ・原材料の地域内調達が低く（41.2%）、いわゆる発地型の事業モデルが依然として主流となっている。
- ・旅行者ニーズの変化に対応して、新しい商品開発と販路の開拓、それを担う人材のスキルの向上が大きな課題となっている。販路開拓に関しては、主要な観光地についてセミナー（説明会）を開催するなどの取り組みも見られる。

○交通運輸業

- ・働き手が50～60歳代とする事業者が多く、「人材の確保」「同業種・異業種交流」などが主な経営課題である。
- ・駅などの交通結節点や案内サイン、環境デザインなど利便性の向上に利する施設整備に重点的に投資する取り組みも見られる。また、地域のリーディング企業として行政や他の民間事業者と連携して観光振興に取り組む動きも把握されている。

(3) 経済波及効果の分析（総括）

今回の調査で把握された神奈川県を訪れた観光客の消費額は、宿泊で30,511円、日帰りでは4,682円である。調査の手法が異なることから単純な比較は難しいが、他地域の類似の調査と比べて若干低い感がある。今回の調査で、日帰り観光客の消費単価は来訪回数が多いほど低くなる傾向があり、日帰りのリピーター客の割合が高いことが消費額が低位に止まっている一因とも考えられる。

また、今回算出した観光消費がもたらす経済波及効果（産業連関分析）の県経済への貢献度と国の公開資料をもとに比較すると以下ようになる。

		神奈川県		国	
		金額	県経済への貢献度	金額	国経済への貢献度
観光消費額		6,517億円	—	23.5兆円	—
波及効果	生産波及効果	8,615億円	1.5%	52.9兆円	5.6%
	付加価値効果	4,810億円	1.5%	28.3兆円	6.9%
	雇用効果	8万7千人	2.4%	442万人	5.6%
	税収効果	918.9億円	1.5%	5.0兆円	5.6%

資料) 旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究Ⅶ（2007年3月 国土交通省）

これによれば、全国と比べて観光の本県経済への貢献度が小さいことが確認できる。神奈川県においては、その全体の経済規模のなかで、観光産業はいまだ大きなウェイトを占めるに至っていないが、反面、神奈川県は観光資源のポテンシャルを踏まえれば、この貢

献度を高めていける余地が大きいと考えられる。

人口減少社会が目前に迫り、経済活動の縮小が懸念されるなかで、人の交流を通じて地域に経済効果をもたらす観光への期待は大きく、神奈川県はそのポテンシャルを活かし、戦略的に観光振興を推進していくことで、観光を次代の県経済を牽引する主要産業の一つとして、位置づけを高めることが可能と考える。

(4) 観光振興における課題と施策の方向性

①観光プロモーションにおける戦略性の強化

観光振興において、市場に対して直接誘客を図る観光プロモーションは重要である。特に今後は、テーマに応じて年代層、性別、エリアなど市場ターゲットを絞ったプロモーション活動が望まれる。

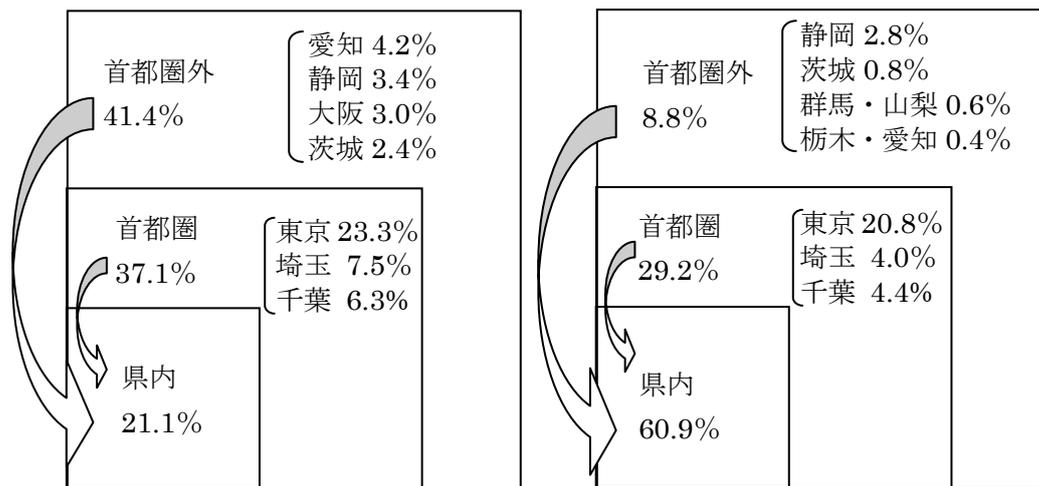
今回の調査結果を踏まえ、観光による経済波及効果を高めるためには、宿泊客を伸ばし、関連消費を拡大していくことが有効であり、誘致圏域をしっかりと意識しながら、戦略的に取り組んでいくべきである。

また、今回の調査で、旅行者の形態が個人旅行で少人数のグループが主流になってきていることが明確になったことから、インターネットによる情報発信を軸に、ガイドブックや冊子を活用したキャンペーン活動など、旅行者個人をターゲットにしたアプローチの強化が必要である。

さらに、宿泊、日帰りともにリピーターが多い実態が把握されたが、リピーターを確実に囲い込む受け入れ体制の強化とともに、最初の訪問をいかに誘導するかという視点からのプロモーション政策が必要である。

神奈川を訪れる旅行者の居住地(宿泊)

神奈川を訪れる旅行者の居住地(日帰)



②観光客の満足度を高める受け入れ体制づくり

神奈川を訪れる観光客は、10回以上来訪しているリピーターの比率が高く、かつ満足度も高いという結果が得られており、お客様として高い忠誠度を示す「ロイヤルカスタマー（優良顧客）」としての客層が多いと考えられるが、これらの客層を如何に引き付け続け、かつ、より高い満足を提供できるかが重要となる。

訪問者の情報源として、インターネットとともに、口コミが高い割合を示している。一般的に、口コミでは不満足などのネガティブ情報の伝達速度が速く、影響の範囲も大きくなる。つまり、少しのマイナス要因が大きなブレーキになる可能性がある。

そのため、旅行者の満足度やその内容、不満足の場合の要因などを常に把握し、改善につなげるためにも継続的な調査が望まれるところである。

また、旅行者の満足の要因として、「食事」「景観」「接客・応対」「交通の便」があげられている。観光の魅力と切り離せない景観の維持や、旅行者の利便性に直結する「交通インフラ」などについては、関係セクションとの連携により、継続的に取り組む必要がある。

「接客・応対」などの接遇を中心としたホスピタリティの向上については、観光事業者だけでなく、住民も含めた地域全体としての取り組みへと拡大していくことが望まれる。

さらに、個人旅行が今後ますます増加していくことが考えられることから、外国人を含めた旅行者が安心して一人歩きできるような観光案内標識や観光案内所の一層の充実、観光ボランティアの育成等も欠かせない取り組みである。

③地域の特色を活かした観光魅力の創出

日帰り客、宿泊客ともに、現在は首都圏からの来訪が中心となっているが、今後は全国からの目的地となりうるような観光地としてプレゼンスの向上が必要であると思われる。検討会議における委員の意見でも、神奈川県に対する認識として地方都市では「東京」という一大目的地に付随する地域という認識が強い、という指摘もあった。

東京に近接することによる利便性による相乗効果を得ながら、独自の特徴を活かした魅力創出と情報発信を行うなど、差別化を図っていくことが必要となる。

そのためには、神奈川県は地域によって、観光資源の特性がさまざまであることから、その特性を活かしたオリジナリティあふれる観光地づくりを進めることが先ず必要だと考えられる。

旅行者の施行は多様化、個別化しており、従来の有名観光地を巡る観光から、自身の関心があるテーマでの体験学習や、地域の人々との交流などを求めるようになっており、

横浜・鎌倉・箱根といった有名観光地以外でも、こうしたニーズを取り込むことは十分に可能である。そのためには、地域の資源を見直し、磨きあげ、旅行者の関心に併せた受入プログラムづくりなど、知恵と工夫を凝らしていくことが必要である。

また、こうした県内各地の観光魅力づくりと併せて、地域毎の多様な観光魅力を神奈川県全体としてどのようなイメージとして打ち出していくのか、県としての観光魅力のブランド化をどう進めていくのかも課題であると考えられる。

④観光による経済波及効果を高める取り組み

(消費単価を上げる取り組み)

神奈川県は、異なる特性を持つ観光地を多数有しており、多様な目的で幅広い世代が幾度となく個人旅行で来訪していることが調査結果から把握できる。日帰り客の比率も高く、近隣都県からの来訪がほとんどであることから、気軽に行ってみようと思える目的地となっているとも言える。

ただし、日帰り客では来訪回数が増えると単価が下がる傾向にあり、気軽に日帰りで何度も訪れることができることが、逆に観光消費を低い水準にとどめていることも想定される。逆に、宿泊観光客は、来訪回数が増える毎に消費単価はあがる傾向があることから、今後は宿泊客の増加を中心に、消費をいかに向上させるかが課題の一つとなると思われる。

その観点から、今回の調査結果の分析から、飲食業や小売業などでの消費総額の向上が経済波及効果増大に大きく寄与することが把握できていることから、独自の魅力と付加価値の高い食事メニューの開発や土産品としての名産品などを発掘・開発し、来訪客に訴求していくことが必要となろう。

また、地域内調達率を高めることも、経済効果を高めるポイントであり、宿泊施設や観光施設に対する地産地消の促進は、観光の魅力アップの観点からも有効であり、継続的な働きかけが望まれるところである。

(県内の周遊と滞在を促す仕組みづくり)

観光客の県内での立ち寄り地点数はやや低い数値となっている。これは多様な観光地を多数有するがゆえに来訪の目的性が高い（周遊性が低い）ことが影響していると考えられる。

また地域内では立ち寄り流動が見られるものの、地域をまたいで周遊するといった割合は少なく、ここからも周遊性の低さが指摘できる。

回遊性を高めることは、必然的に滞在時間の増に結びつき、その延長として宿泊客の増加に繋がることを期待できる。

そうした観点から、国が進めている観光圏形成に向けた各種施策とも連携しながら、回遊性を高め、滞在と宿泊を伸ばす取り組みを進めるべきである。

具体的には、県内に数多く存在する自然や歴史的な資源などを使った体験型プログラム開発や、交通事業者や宿泊事業者との連携による複数の観光地を繋ぎ、回遊を促進する観光商品の開発など、地域の豊富な資源の存在を裏付けとして、あらゆる観点からアプローチしていくべきである。

6-2 地域別

6-2-1 川崎・横浜

(1) 川崎・横浜圏域を訪れる観光客の動向と特性

川崎・横浜圏域は、全国的な知名度と商業施設の集積を有する横浜エリアを有するため、幅広い年代の客層が買い物や飲食を主な目的として、夫婦やカップル、友人同士などといった少人数及び個人で来訪するエリアとなっており、それらの来訪者の行動が実際の消費にも直接結びついていることが特徴である。

また、鉄道やバスなどの2次交通が発達し利便性が高いことから、公共交通手段の利用率が高く、立ち寄り地点数も全県と比較すると多くなっている。ただ、圏域内の、特に横浜市内での立ち寄り率は高いものの、その一方で、他の圏域外の観光地への立ち寄り率は低いという傾向も見られ、圏域内で訪問目的・行動が完結している状況にある。

一方で、三浦半島、湘南など他のエリアへの来訪者は川崎・横浜への立ち寄る割合が高い傾向も把握できる。

圏域に関わる発信情報の量は他の地域と比べると格段に充実しており、特に情報入手手段としてのインターネットの利用率が高い。また、個人旅行が主流ではあるが、横浜は全国的な知名度を有する観光地であることから、旅行業者によるツアーの割合も全県と比較すると多い傾向にある。

横浜、川崎には、ビジネス機能も集約され、業務中心地としての性格も持ち合わせていることから、出張や研修などビジネス目的の来訪も多い傾向がある。

(2) 川崎・横浜圏域の観光産業の特性

県内の観光関連業種の事業所の51.7%と半数以上を占めるが、事業者調査の結果からは、旅行・観光客に関する売上比率は、平均で22.5%にとどまっており、観光と業績の関連が深い事業者は全県と比較してさらに少ないことが示唆される。

また、アンケート及びヒアリングを通じて把握された観光関連事業者の現状としては、比較的若い年代の働き手を中心とする事業者が多く、「人材確保」「商品開発」「販路開拓」が経営課題となっている。

今後の事業展開としては、近年の市場（客層）の変化や経済環境の動向に強く影響を受けながらも、新たな商品開発や適切な設備投資、経営基盤の強化などに取り組もうとする意向も把握できる。

○宿泊業

- ・働き手の中心が40歳代となっている事業者が多く、半数以上が「人材」が主な経営課題であるとしている。
- ・経営はネット販売の台頭やそれに伴う客層の変化など、市場の変化の影響を受けているが、その変化を見極めながら対応していく柔軟な動きが見られる。
- ・また、企業立地が多く一定のビジネス需要があるため、特に経済環境の動向に強く影響を受けやすい傾向にある。

○観光施設業

- ・働き手の中心は 30 歳代となっている事業者が多く、「技術・商品開発」が主な経営課題となっている。
- ・適切に設備投資や更新に取り組みながら、社会環境の変化に耐えうるだけの経営基盤を確立しようとする意向が見られる。

○小売業（土産物販売業など）

- ・働き手の中心は 60 歳代となっている事業者が多く、「人材（特に従業員・後継者確保）」が主な経営課題となっている。
- ・新たな魅力を持った独自の商品開発への取り組みを指向する動きも見られる。

○飲食業

- ・働き手の中心は 30～50 歳代となっている事業者が多く、「人材」が主な経営課題となっている。
- ・企業立地が多く一定のビジネス需要があるため、特に経済環境の動向に強く影響を受けやすい傾向にあるが、適切に設備更新を行うことによって柔軟に対応していこうとする動きが見られる。

○旅行業

- ・働き手の中心は 30 歳代となっている事業者が多く、「販路開拓」「人材」が主な経営課題となっている。

○交通運輸業

- ・働き手の中心は 50～60 歳代となっている事業者が多く、「販路開拓」「資金調達」が主な経営課題となっている。

(3) 経済波及効果の分析（総括）

圏域内分の観光消費は 2,345 億円と推計され、県内の観光消費総額の 36.0%と大きなシェアを占めている。

また、圏域内分の観光消費による生産波及効果は 4,487 億円（観光消費額含む）、乗数は 1.91 と算出され、全県と同程度の水準を示している。

経済波及効果増大のためには、「飲食業」「小売業」における消費総額増大、または「小売業」における域内調達率向上の効果が大きい。

(4) 観光振興における課題と施策の方向性

①多様な観光資源を活かした独自の魅力づくりと積極的なアピール

横浜は、買い物や食事といったニーズに対応する都市機能や、開港の舞台となった歴史ある街として、多くの歴史的な観光資源があり、川崎においては都市機能の充実に加え、音楽や映像をテーマとしたまちづくりも進められている。また、両都市に共通の資源として、全国有数の産業集積を誇る京浜臨海部が存在する。

首都圏各地と競合が進む都市機能の魅力に加え、京浜臨海部の産業観光、開港に関わる

歴史的資源、音楽、映像に関わる資源を活用したテーマ型観光の促進など、この地域ならではの独自性を積極的に打ち出していくことで、さらに幅広い客層の集客を図ることが可能になると思われる。

②周辺観光地とのネットワークの促進

公共交通手段の利用率が高く、地域内の回遊性は高いが、他の地域への立ち寄り率は低いという傾向が見られ、地域内で行動が完結している傾向がある。一方で、他のエリアへの来訪者は、横浜に立ち寄る割合は比較的高い傾向がある。

他のエリアとの回遊性を高め、当該エリアへの来訪との好循環を形成することが望まれる。当該エリアの多彩な資源を活かしたテーマ設定、例えば、(川崎宿→開港都市横浜→鎌倉→小田原 「神奈川古(いにしえ)紀行」)などの提案を通じて、周辺地域との周遊性を高める方策が期待される。

③発信情報のさらなる充実

発信されている地域の情報量は、他の地域と比べると充実しており、個人旅行者を主なターゲットとしたインターネットによる情報発信は特に有効と考えられる。既存の媒体(例：横浜観光コンベンションビューローのポータルサイト、県観光協会の「観光かながわNOW」)を軸に、情報発信の充実を図っていくことが必要である。

④アフターコンベンションのさらなる充実

一般的にビジネス目的の訪問者は消費単価も高く、また宿泊数も多くなる傾向にあるといわれており、地域に対する経済波及効果も大きくなる。このエリアはビジネス目的の来訪の割合が比較的高い地域であり、こうしたビジネス目的の客層をさらにひきつけ、観光関連消費を促していくことが有効と考えられる。食事や土産物としての名産品の魅力向上に加え、将来的にはカジノ施設の設置による夜のエンターテインメントの提供なども、消費を拡大し、来訪者の満足度の向上とリピーターの増大に繋がると期待される。

また、コンベンションと観光の魅力は密接な関係にあることから、他のエリアの観光地との連携も含め、アフターコンベンションの魅力向上を図ることが、コンベンション誘致においても有効であり、そうした好循環の形成を図る必要がある。

なお、ビジネス目的で滞在する場合には一人での来訪の比率が高くなることから、土地勘のない出張先等で「お一人様」でも利用できる食事やエンターテインメントの場に関する情報を提供するといった方策も必要になると思われる。

⑤海外からの観光客誘致の促進

羽田空港の再拡張・国際化を踏まえ、隣接する横浜・川崎エリアとしては、就航範囲となる東アジアを中心とした海外からの観光客誘致に積極的に取り組む必要がある。

京浜臨海部の産業集積を活用した産業観光とともに、港湾とウォーターフロントに展開する都市景観などを活用したクルーズ、川崎大師や生田緑地、三溪園などに点在する歴史・文化資源など、外国人観光客に訴求する資源の磨き上げと情報発信の強化を図るとともに、観光ボランティアの育成と活用、観光案内の充実、地域全体のホスピタリティの向上など

に取り組むことが必要である。

また、このエリアは比較的、首都圏外からの来訪が中心のエリアであり、海外だけでなく、国内の各地からの誘客促進を図るためには、周遊範囲を考慮し、三浦半島や湘南といった周辺地域との連携を図っていく必要があると考えられる。

6-2-2 三浦半島

(1) 三浦半島圏域を訪れる観光客の動向と特性

三浦半島圏域には武家の古都鎌倉があり、多くの寺社仏閣が密集し、その参道にはみやげ物店、飲食店が軒を連ねる。複数の社寺を周遊する観光の形態が主となっており、特に女性客の比率が高く、日帰り客では比較的若い年代の来訪も多い。

鎌倉地区では比較的若い年代層の女性の友人・知人、鎌倉地区以外は、比較的若い年代層の子供連れ家族、夫婦が、主な来訪者のイメージである。

半島の付け根にあたる鎌倉、逗子、横須賀東部などは、公共交通機関の便が良い地域もあるが、それ以外の地域には、自動車での来訪が中心となっている。そのため、週末には、観光目的の自動車で道路が渋滞を起こす地域もあり、周辺住民の生活に支障を来している例も見られる。

立ち寄り状況としては、鎌倉への訪問者は併せて江の島に立ち寄る比率が高くなっており、鎌倉を訪れる観光客にとって両地域は、一連の観光地として認識されている。

また、鎌倉と鎌倉地区以外との立ち寄り率は高くなく、鎌倉地区以外を訪れた観光客は横浜地区に立ち寄る率の方が高い。半島の中に、多くの観光資源がある割には立ち寄り地点数は必ずしも多くなく（鎌倉地区以外）、回遊性の向上も課題である。

発信される地域情報の量は、他地域と比較すると充実しており、特にインターネットの利用率が高く、情報発信手段としては有効に機能している。

鎌倉以外の三浦半島圏域では、マグロなどの海産物をはじめとする各種の食の魅力が日帰り観光客の来訪の動機となるとともに、地域での実際の消費や満足度の向上にもつながっている。宿泊客に対しては、地域の食の魅力は主に宿泊施設で提供され、日帰り客においては飲食施設にて提供され、満足度も高い現状にあることがうかがえるが、それが地域での買い物や食事などの消費に大きく波及していないことも示唆されている。

(2) 三浦半島圏域の観光産業の特性

県内観光関連業種のうち三浦半島圏域内の事業所が占める割合は10.8%であり、シェアとしては低い。また、事業者調査の結果から、旅行・観光客に関する売上比率は、平均で27.5%にとどまっており、観光と業績の関連が深い事業者は全県と比較してさらに少ないことが示唆される。

また、アンケート及びヒアリングを通じて把握した観光関連事業者の現状は、総じて高い年代の働き手を中心の事業者が多く、「人材確保」「商品開発」「販路開拓」が経営課題となっている。

今後の事業展開としては、利用者数の減少や消費単価の低迷などの影響を受けながらも、新たな魅力の発信や高付加価値路線への転換に取り組もうとする意向も見られる。

○宿泊業

- ・働き手の中心が40～50歳代となっている事業者が多く、「人材（特に従業員、後継者確保）」「資金調達（特に設備資金）」が主な経営課題となっている。
- ・上記の「資金調達」については、ヒアリングからも、施設や設備が老朽化し適切な設備更新とそのため資金調達が重要な経営課題となっている傾向が把握されている。

- ・そのなかで、低価格競争に乗じることなく、付加価値の向上を指向する動きも見られている。

○観光施設業

- ・働き手の中心が 50 歳代となっている事業者が多く、「資金調達（特に運転資金）」が主な経営課題となっている。
- ・利用者数の減少や消費単価の低迷に影響を受けているが、新たな魅力を積極的に打ち出すことにより事業展開を図ろうとする動きが見られる。

○小売業（土産物販売業など）

- ・働き手の中心が 60 歳代となっている事業者が多く、「人材（特に従業員、後継者確保）」「技術・商品開発」が主な経営課題となっている
- ・上記の内、「人材」の問題については、経営者が高齢化していることがネックとなって、新たな事業展開を図ることが難しいといった認識を持つ事業者も見られる。

○飲食業

- ・働き手の中心が 50 歳代となっている事業者が多く、「人材（特に従業員、後継者確保）」「技術・商品開発」が主な経営課題となっている
- ・消費単価の低迷の影響を受けているが、高付加価値路線へと転換を図る事によって事業展開を図ろうとする意向も見られる。

○旅行業

- ・働き手の中心が 60 歳代となっている事業者が多く、「人材」が主な経営課題となっている

○交通運輸業

- ・働き手の中心は 30～60 才代まで幅広いが、「人材（特に従業員、後継者確保）」が主な経営課題となっている

(3) 経済波及効果の分析（総括）

圏域内分の観光消費は 859 億円と推計され、これは県内の観光消費総額の 13.2% を占める。また、圏域内分の観光消費による生産波及効果は 1,380 億円（観光消費額含む）、乗数は 1.61 と算出され、他の圏域と比較して若干低い数値となっている。

経済波及効果増大のためには、「飲食業」「小売業」における消費総額増大、域内調達率向上がカギとなる。

(4) 観光振興における課題と施策の方向性

① 主なターゲットを対象とした企画、イベントなどの創出

鎌倉地区においては、寺社仏閣、女性に人気の観光地という地域イメージに加えて、食事や買い物など女性のニーズに合致するような新たな魅力を組み合わせた企画やイベント

を創出し、新たな顧客とリピーター惹きつけていくことも必要である。

また、日帰り客では比較的若い年代の来訪も多くなっており、特に鎌倉地区以外では、子供連れ家族、夫婦の割合が高いことから、現在の地域の特性である優れた自然景観、歴史ある落ち着いたたたずまいに加えて、農業や漁業などとも連携して各種の体験プログラムなどを創出することにより、よりアクティブに楽しめる地域としてのイメージを作り上げていくことも必要となる。

②交通の利便性向上

週末には観光目的の自動車で渋滞を起こす地域もあることから、周辺住民の生活に支障を来している例も見られる。今後は鉄道とバスの乗り継ぎの利便性を向上させるなどにより公共交通の利用を促進するとともに、地域の特性を活かし、海上交通の活用や、自転車の利用など、二次交通手段の多様化の研究も望まれるところである。

③観光地間での連携と滞在、回遊性の向上

鎌倉地区と江ノ島との立ち寄り率は高く、例えば現在発行されている両地域をつなぐフリーパスの内容をより充実させたり、観光施設や飲食店などでお互いの地域の観光情報を共有するなどにより、より積極的に両地域の連携を促進することも重要である。

また、三浦半島地域全体をとらえると、回遊性の向上が課題と考えられる。現状でも様々な試みがなされているが、沿岸の観光地を繋ぐ付加価値の高い街道のイメージの打ち出しや、宿泊、交通、観光などの事業者間での連携プランの一層の充実などが期待される。

さらに、この地域は体験型の自然資源が豊富であることから、地域の宿泊施設との連携により、宿泊・体験型プログラムの開発を促進し、教育旅行や子供連れ家族のニーズを捉えることも可能であり、旅行需要の平準化（平日対策）にも有効と考える。

④発信情報のさらなる充実

発信されている地域の情報の量は他の地域と比べると充実しており、鎌倉地区以外の日帰り観光客では特にインターネットの利用率が高く情報発信手段として非常に有効に機能していることから、既存の媒体（例：鎌倉観光協会のポータルサイト）とも連携を図りながら、情報をさらに充実させていくことが重要である。

⑤地域を挙げた食の魅力のアピール

鎌倉地区以外の三浦半島圏域では、マグロなどの海産物をはじめとする各種の食の魅力が日帰り観光客の来訪の動機となるとともに、地域での実際の消費や満足度の向上にもつながっている。

対して宿泊客においては、地域の食の魅力は主に宿泊施設で提供され、満足度も高い現状にあることが示唆されるが、それが地域での買い物や食事などの消費に大きく波及していないことも示唆されている。

この地域の来訪の目的であり、満足度に直結する地域の資源を活用した「食」を主要な観光資源の一つと捉え、地域を挙げた新たな食の魅力の創出と発信が重要になる。

⑥地域内、県内からの調達促進

小売業では域内調達率が低く、4割程度の調達が県外へ漏出している結果となっている。小売業や飲食業における域内調達率の向上は経済波及効果の増大へも寄与することから、例えば飲食店と農家のマッチングなど、生産者と飲食、小売、交通、宿泊、観光施設などの事業者間の連携の場づくりなどを通じて、域内、県内調達率の向上を図るなどの方策が想定される。

6-2-3 県央

(1) 県央圏域を訪れる観光客の動向と特性

県内を中心とする首都圏から、子ども連れの比較的若い世代の家族、あるいは夫婦がマイカーで日帰り観光に訪れている地域である。来訪回数も多く、気軽にレクリエーションのために来訪するといった性格が強い。また、単一の施設や観光地のみを目的として来訪し、そこだけに滞在して帰って行くという観光のスタイルが中心であることや、上記のように地域内での回遊性が低く、また特徴的な土産物などが少ないことなどから、消費単価は全県と比較しても低い水準にある。

(2) 県央圏域の観光産業の特性

県内の観光関連業種の事業所の 16.0%を占めるが、事業者調査の結果からは、旅行・観光客に関する売上比率は、平均で 19.8%と全圏域の中で最も低く、観光と業績の関連が深い事業者は少ないことが示唆される。

また、アンケート及びヒアリングを通じて把握された観光関連事業者の現状は、比較的高い年代の働き手を中心の事業者が多く、「人材確保」「販路開拓」が経営課題となっている。

今後の事業展開としては、立地や天候などを要因とする客数の減少傾向に対して、地域で取り組むイベントの充実などにより対応していこうとする動きも見られる。

○宿泊業

- ・働き手の中心が 50 歳代となっている事業者が多く、「人材」「資金調達（特に設備資金）」が主な経営課題となっている
- ・上記の「資金調達」については、ヒアリングからも施設の老朽化に伴う設備更新と維持という面で課題意識を有する事業者も見られている。

○観光施設業

- ・働き手の中心が 60 歳代となっている事業者が多く、「立地」が主な経営課題となっている。
- ・景気や経済環境などの社会動向よりも、立地や天候などの要因によって集客が影響を受けるとする傾向も把握されている。

○小売業（土産物販売業など）

- ・働き手の中心が 60 歳代となっている事業者が多く、「人材」が主な経営課題となっている。
- ・客数の減少傾向に対して地域としてイベントを充実させるなどにより対応していこうとする動きも見られる。

○飲食業

- ・働き手の中心が 40～50 歳代となっている事業者が多く、「人材（特に従業員、後継者確保）」が主な経営課題となっている。

- ・客数の減少傾向に対して地域としてイベントを充実させるなどにより対応していこうとする動きも見られる。

○旅行業

- ・働き手の中心が 40 歳代となっている事業者が多く、「販路開拓」が主な経営課題となっている。

○交通運輸業

- ・働き手の中心が 50 歳代となっている事業者が多く、「人材」が主な経営課題となっている。

(3) 経済波及効果の分析（総括）

圏域内分の観光消費は 518 億円と推計され、これは県内の観光消費総額の 7.9%を占める。また、圏域内分の観光消費による生産波及効果は 906 億円（観光消費額含む）、乗数は 1.75 と算出された。

経済波及効果増大のためには、「飲食業」「宿泊業」における消費総額増大、または「小売業」における域内調達率向上の効果が大きい。

(4) 観光振興における課題と施策の方向性

①観光地間のネットワーク化による回遊性の向上

調査結果から、県央地域は目的性が高く、回遊性が低いとの傾向が把握されたが、これは滞在時間を短くし、消費が伸びない一因となる可能性がある。

観光地、観光施設間で連携を図り、一つの施設を訪れた来訪者に「あそこも立ち寄ってみよう」と思わせるような情報提供方策が必要となる。具体的には、集客力のある宮ヶ瀬湖を核とした周辺の観光スポットのネットワーク化や交通事業者との連携による周遊コースの開発、テーマ性、ストーリー性を持たせた情報発信、さらには横浜、湘南といった周辺の圏域との連携も視野に、周遊プログラムの開発などを進めていくことが考えられる。

②観光消費を促す仕組み

県央地域の土産物の内訳を分析すると、農林水産物の割合が高く、地域の豊かな自然が育んだ産品が都心部のニーズを捉えているものと考えられる。

観光消費を高めるには、温泉を含めた地域の豊かな自然を活用した体験・交流・学習型のプログラム開発とともに、それ自体訪問目的となり得るような、農林水産物を活用した付加価値の高い食事メニューや特産品の新たな開発とブランド化を一層進めることが期待される。

③リピーターを引きつけ続ける魅力の創出と発信

自然景観やハイキング、レジャー施設などを目的地に、10回以上来訪しているリピーターの日帰り観光客の割合が高い傾向があり、満足度、不満足度の要因も「景観」「施設の魅力」「アトラクションの魅力」に関連している。

リピーターを惹きつけ続けるには、景観の維持保全とともに、施設や設備を適切に更新していく必要がある。また、中心となる若い子ども連れの世代をターゲットとした体験プログラムの開発や、各種企画やイベントなどの定期的な打ち出し、さらに、地域の魅力を伝えるガイドを充実させ、来訪者の満足度を向上させる取組みも必要になる。

④豊かな自然資源を有する観光地としてのイメージ発信

豊かな自然、首都圏からの好アクセス性などを考えると、‘都市部の生活や産業を支える水源地’、‘都心に近い里山’といった都市部の自然志向に訴求する観光地のイメージづくりが想定される。こうした特性を活かしたフィルムコミッションの展開など、戦略性をもって受け入れ体制を整え、効果的に情報発信を行うことで、首都圏各地からのさらなるニーズを捉えることが期待される。

⑤多様な地域特性を活かした観光まちづくりの促進

厚木のシロコロホルモン、小原宿の活性化プロジェクトなど、地域独自の資源を活用した地域活性化の取り組みの萌芽がみられる。地域資源の棚卸しと再評価、資源の磨き上げとそれを活用した活性化への機運の醸成、推進体制整備など、観光交流の視点からまちづくりを考え、地域が一体となって取り組む「観光まちづくり」を促し、小さくとも個性的な観光地づくりが進展することが期待される。

6-2-4 湘南

(1) 湘南圏域を訪れる観光客の動向と特性

友人同士又は子供連れ家族連れを中心として、豊かな自然や特定の観光施設を鑑賞、見物に訪れる地域である。満足度を高める要素としても「景観」「施設自体の魅力」が挙げられている。また、比較的ビジネス客が多いのも特徴である。

鉄道による来訪の割合が高いが、特定の観光地では自動車による来訪が中心となっており、週末には観光目的の自動車で道路が渋滞を起し、周辺住民の生活に支障を来している例も見られる。

海水浴や登山など季節性の強い観光地を有しており、他の圏域と比較して観光客の季節変動が大きくなっている。

また、単一の施設や観光地のみを目的として来訪し、そこだけに滞在して帰って行くという観光のスタイルが中心であることや、特徴的な食事や土産物などが少ないことなどから、消費単価は全県と比較しても低い水準にある。

江の島への来訪者が鎌倉に立ち寄る率は、その逆の場合よりも低くなっている。

(2) 湘南圏域の観光産業の特性

県内の観光関連業種の事業所の14.6%を占め、事業者調査の結果からは、旅行・観光客に関する売上比率は、平均で28.8%と全県と比較すると低いものの、他の圏域と比較するとやや高くなっている。

また、アンケート及びヒアリングを通じて把握された観光関連事業者の現状は、総じて、比較的若い働き手が多く、「人材確保」「商品開発」「販路開拓」が経営課題となっている。

今後の事業展開としては、研究教育機関や地域の行政などと連携して新たな事業展開を図ろうとする意向も把握されている。

○宿泊業

- ・働き手の中心が50歳代となっている事業者が多く、「人材（特に従業員、後継者確保）」「販路開拓」が主な経営課題となっている。
- ・インバウンド客の動向に大きな影響を受けるとする事業者も見られる。

○観光施設業

- ・働き手の中心が30～50歳代となっている事業者が多く、「技術・商品開発」「人材」「資金調達」が主な経営課題となっている。
- ・研究教育機関や地域の行政などと連携して新たな事業展開を図る動きも見られる。

○小売業（土産物販売業など）

- ・働き手の中心が50歳代となっている事業者が多く、「販路開拓」「人材」「技術・商品開発」が主な経営課題となっている。
- ・ヒアリングでは、上記の「技術・商品開発」に関連して、特徴ある商品の不足と新たな開発の必要性が指摘されている。

○飲食業

- ・働き手の中心が 50 歳代となっている事業者が多く、「人材（特に従業員、後継者確保）」「技術・商品開発」が主な経営課題となっている。
- ・ヒアリングでは、上記の「技術・商品開発」に関連して、特徴ある商品の不足と新たな開発の必要性が指摘されている。

○旅行業

- ・働き手の中心が 30 歳代となっている事業者が多く、「販路開拓」が主な経営課題となっている。

○交通運輸業

- ・働き手の中心が 40～50 歳代となっている事業者が多く、「人材（特に従業員、後継者確保）」が主な経営課題となっている。

(3) 経済波及効果の分析（総括）

圏域内分の観光消費は 806 億円と推計され、これは県内の観光消費総額の 12.3%を占める。また、圏域内分の観光消費による生産波及効果は 1,455 億円（観光消費額含む）、乗数は 1.81 と算出された。

経済波及効果増大のためには、「交通・運輸業」「飲食業」における消費総額（利用）増大、または「飲食業」における域内調達率向上の効果が大きい。

(4) 観光振興における課題と施策の方向性

①公共交通の活用促進と交通インフラの充実

一部の観光地では週末には観光目的の自動車で道路が渋滞を起し、周辺住民の生活に支障を来している例も見られることから、公共交通への利用のシフトを促す仕組みが望まれるところである。

また、回遊性を更に高めるためにも、中長期的な視点から、公共交通の乗り継ぎの利便性の向上や、観光振興に資する道路整備など、交通インフラの充実が必要である。

②季節変動の平準化

海水浴や登山など季節性の強い観光地を有しており、他の圏域と比較して観光客の季節変動が大きくなっていることから、平成 22 年にオープンする「花と緑のふれあいセンター」を核に湘南の花をテーマとした周遊プログラム、秦野などで取り組まれている農業体験など、季節に応じた観光の促進や、海や山の自然、邸園などの歴史・文化資源を活用した体験・交流・学習型の観光プログラムの促進など、通年型の観光資源開発により、観光需要の平準化を図ることも必要となる。

③観光消費を促すしくみづくり

湘南地域の観光消費が比較的低い原因は、日帰り客の多さに加え、必ず買いたくなる、食べたくなる魅力ある土産物や食事メニューが少ないことが一因である。地域ならではの

資源を使った、ストーリー性のある、オンリーワンの魅力にあふれた名産品やメニュー開発に地域を揚げて取り組む必要がある。

また、他地域にないイメージに湘南の「海」があるが、現在はほとんど利用されていない海上交通を活用した観光ルート開発も有望と考えられる。

④観光地、観光施設間での立ち寄り向上

観光地、観光施設間で連携を図り、一つの施設を訪れた来訪者に「あそこも立ち寄ってみよう」と思わせるような情報提供方策と周遊の仕組みづくりが必要となる。

また、鎌倉は政策上の圏域としては三浦半島圏域に含まれるが、前述の通り両観光地間の立ち寄り率は高く、一体の地域として来訪者に訴求することが観光客の増大に効果的だと考えられる。また、横浜との立ち寄り関係も多少みられ、周辺地域と連携した周遊ルート開拓なども有効だと考えられる。

6-2-5 県西

(1) 県西圏域を訪れる観光客の動向と特性

箱根・湯河原地区では宿泊観光、箱根・湯河原地区以外では日帰り観光が中心であり、近隣県からの観光目的地として集客している。女性客に人気の観光エリアである。

圏域全体で幅広い年代の客層が来訪しリピーターも多い。

また、個人旅行客が主流だが、旅行業者のツアーの割合も他の地域と比べて高い。

箱根・湯河原地区では、宿泊客では箱根という温泉地そのものが来訪目的になっており、夫婦でゆっくり温泉を楽しみに来訪する地区という特徴が見られる。

日帰り客では多様な観光施設が充実している地域として、それらの観光資源も来訪の主要な目的となっているが、それらの施設に対する入場料の支払い等が多いことから、日帰り客の消費単価は他の地域と比較して高くなっている。

訪問者が利用する交通手段としては、自家用車の利用率が最も高くなっており、特に週末の夕方などには東京方面に向かう日帰りの自動車での主要な幹線道路が渋滞するといった現象も見られている。

本調査では、鉄道の利用も自動車に次いで一定の利用率となっているが、地域内の交通手段としての路線バスの利用率は鉄道と比して低くなっている。

(2) 県西圏域の観光産業の特性

県内の観光関連業種の事業所の 6.9%とシェアこそ低いが、事業者調査の結果からは、旅行・観光客に関する売上比率は、平均で 56.0%と全県と比較して大幅に高くなっており観光と業績が密接に関連している様子がうかがえる。

また、アンケート及びヒアリングを通じて把握された観光関連事業者の現状は、総じて、比較的高い年代の働き手を中心の事業者が多く、「人材確保」「商品開発」「販路開拓」が経営課題となっている。

今後の事業展開としては、団体客の減少やネット予約の増加といった市場の変化に影響を受けているが、魅力ある宿泊商品や適切な施設整備、ホスピタリティの向上などによってリピーターだけでなく新たな客層の開拓を図る動きが見られる。

○宿泊業

- ・働き手の中心が 50 歳代となっている事業者が多く、「人材」「販路開拓」が主な経営課題となっている。
- ・団体客の減少やネット予約の増加といった市場の変化に影響を受けている。魅力ある宿泊商品や適切な施設整備によってリピーターだけでなく新たな客層の開拓を図る動きが見られる。

○観光施設業

- ・働き手の中心が 30~40 歳代となっている事業者が多く、「販路開拓」が主な経営課題となっている。
- ・リピーターの比率が高いが、ホスピタリティの向上や新たな魅力を持った施設の開発などにより、リピーターの確保とさらなる増加を図る動きが見られる。

○小売業（土産物販売業など）

- ・働き手の中心が 60 歳代となっている事業者が多く、「販路開拓」「人材（特に従業員、後継者確保）」が主な経営課題となっている。

○飲食業

- ・働き手の中心が 60 歳代となっている事業者が多く、「人材（特に従業員、後継者確保）」が主な経営課題となっている。
- ・その一方で、経済環境の動向の影響はまだ大きくはないという認識の事業者も見られる。

○旅行業

- ・働き手の中心が 20 歳代となっている事業者が多く、「技術・商品開発」「人材（特に技術、知識向上）」が主な経営課題となっている。

○交通運輸業

- ・働き手の中心が 50 歳代となっている事業者が多く、「人材」が主な経営課題となっている。

(3) 経済波及効果の分析（総括）

圏域内分の観光消費は 1,989 億円（観光消費額含む）と推計され、県内の観光消費総額の 30.5%と川崎・横浜圏域に次いで大きなシェアを占めている。

また、圏域内分の観光消費による生産波及効果は 3,652 億円（観光消費額含む）、乗数は 1.84 と算出された。

経済波及効果増大のためには、「宿泊業」における消費総額増大、または「小売業」における域内調達率向上の効果が大きい。

(4) 観光振興における課題と施策の方向性

①リピーターを惹きつけ続けるサービス水準の維持

全県と比較してもリピーターの多い地域であり、こうしたリピーターを囲い込み、さらに新たなリピーターを増やしていくことが必要である。

そのためには、例えば、主要な客層である女性をターゲットとした企画、イベントなどの創出、メニューや体験の開発、これらを組み合わせた企画イベントの創出など、常に新しいサービスや商品を提案していくことが必要であり、継続的なマーケティングにより、旅行者ニーズの把握を行っていくことが望まれる。

②連泊滞在を促進する仕組みの創出

宿泊業における消費総額増大が経済波及効果に与える影響が大きいとの試算があり、付加価値が高い宿泊商品の開発が望まれるところである。

一方で、今後、地域として検討していくべき方向は、単価の向上に加え、連泊を増やし、

宿泊滞在型の観光を促進することと考えられる。

県西地域の宿泊事業者の消費額の内訳を分析をすると、宿泊料が高く、飲食代が比較的低い構造となっており、1泊2食付きの宿泊が主流であることがうかがえるが、滞在型の観光促進のためには、泊食分離を可能とする環境整備が必要だと考える。また、こうした環境は外国人観光客の受け入れ環境としても望まれるところである。

③観光施設間のさらなる連携促進

各種の美術館など多様な観光施設の存在は当地域の強みであり、こうした施設を周遊することは滞在時間の延長につながり、消費を促す効果も期待できることから、訪問者に「あの美術館にも立ち寄ってみよう」と思わせるような仕組みが必要である。

箱根地域では、観光施設や運輸事業者などの観光事業者が連携した「箱根プロモーションフォーラム」が共同で周遊を促すイベントを開催するなど、民間主導の取り組みが先行している。こうした民主導の取り組みをさらに発展させ、宿泊事業者、観光事業者、交通事業者、旅行業者など、様々な業種の連携強化を図り、地域の観光資源のネットワーク化を進めることが期待される。

④地域全体の回遊性の向上

県西地域の立ち寄り地点数は、豊富な観光資源の割には多くなく、回遊性は必ずしも高くない。全国的な知名度を有する箱根地域の求心力を地域全体に波及させていくことが望まれる。

県西地域には花や水、歴史・文化などに関する独自の資源があり、各地域がそうした資源を活かして、集客イベントの企画や体験交流プログラムを開発、さらには観光交流の視点からのまちづくりへと発展させるなど、独自の観光魅力づくりに取り組むとともに、箱根・湯河原地域の観光資源とをネットワーク化し、回遊を促進する仕組みづくりが必要である。

⑤交通手段の充実強化

この地域では、週末の夕方などには東京方面に向かう日帰りの自動車で主要な幹線道路が渋滞するといった現象も見られている。また、本調査において、鉄道の利用も自動車に次いで一定の利用率となっているが、地域内の交通手段としての路線バスの利用率は鉄道と比して低くなっていることが把握された。

地域における交通環境の向上は、来訪者の満足度を高め、さらなる来訪を促進することに繋がると考えられる。

箱根地域ではすでに「箱根スマイル2000万人プロジェクト」がパーク&サイクル(ライド)などの社会実験に取り組んでいるが、地域における2次交通手段の多様化に加え、公共交通機関相互のシームレス化を促す試みも重要である。

⑥地域の競争力を高めるホスピタリティの向上

富士山静岡空港や羽田などの空港インフラの充実に踏まえ、海外からの観光客の受け入れ強化に取り組む必要がある。県西地域が国際的な観光地として競争力を高めていくた

めには、ハード、ソフト両面からのさらなる受け入れ体制強化が重要である。

特に、今後、個人旅行の外国人観光客が不自由なく安心して町あるきができるよう、観光案内標識の整備や、ボランティアの活用や案内所の機能強化など、観光案内の充実強化を図ることが望まれる。

また、外国人観光客は地域住民との交流や生活体験などへの志向も高く、そうしたニーズに対応する受入プログラムに加え、住民、事業者を含め地域全体で外国人を歓迎し、接遇するホスピタリティの向上を図ることが重要であり、地道な啓発活動が望まれるところである。

⑦地域内、県内からの調達促進

小売業、観光施設業といった業種で原材料費の域内調達率、県内調達率が低いのが、地理的に隣接する静岡県との結びつきがあることもその一つの要因である。小売業や飲食業における域内調達率向上が経済波及効果に与える影響が大きいことから、できるだけ地域内、県内での調達を促進するような仕組みや働きかけが求められる。

例えば、箱根地区の観光施設では、レストランで使用する食材をできるだけ周辺地域（小田原）から仕入れるようにしていたり、また、農協や宿泊施設と共同で神奈川県の特産品であるオレンジ（湘南ゴールド）を利用したメニュー開発に取り組んでいるといった例も見られる。このような取り組みを拡大していくための、生産者と観光施設、飲食・宿泊施設などとの連携を促進する場の設置や仕掛けづくりが望まれるところである。